

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                |           |  |    |       |      |           |             |        |
|------------|----------------|-----------|--|----|-------|------|-----------|-------------|--------|
| <b>事業名</b> | <b>ESD推進事業</b> |           |  |    |       | 施策番号 | I-3-(3)-① |             |        |
|            |                |           |  |    |       | コスト  | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費の目安 |
|            | 10,000 千円      | 15,000 千円 |  | 課長 | 0.2 人 | 職員   | 0.3 人     | 担当課         | 環境学習課  |
|            |                |           |  | 係長 | 0.2 人 |      |           | 課長名         | 石井     |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|   |  |   |             |   |      |                              |
|---|--|---|-------------|---|------|------------------------------|
| <b>目的</b>   | 何を(誰を)どのような状態にしたのか   | 「世界の環境首都」の実現を目指し、その基盤となる「持続可能な社会」の構築を図るため、国連など世界規模で進められている「持続可能な開発のための教育(ESD)」を、北九州ESD協議会を中心に、市民、NPO、企業、大学等と連携して進めます。また、それらの活動や本市のこれまでの取組みを国内外に向けて広く情報発信し、世界的な環境教育・開発教育の拠点を目指します。 | <b>成果実績</b> | 様々な団体による協議会への参画により、まちづくりを支える人材育成が徐々に広まりつつあります。<br>一方で、抽象的であるESDの概念を、分かりやすく普及するためのさらなる工夫をすることにより、市民への浸透を目指します。 |      |                              |
| <b>代表的な成果指標</b>   | <b>指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)</b>   | 前年度実績   | 目標          | 実績(達成率)   | →    | 【成果の状況】                      |
|   | 市民のESD活動の認識の向上と活動の普及   |   | 認識の向上と活動の普及 | —   |      | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |
|   | ESDとは、あらゆる人々が地域等の様々な課題とそのつながりに気づき、地域で既に実践している活動等に、持続可能性という視点を加えて、暮らしや社会のあり方を変えていくための学びあいの場、人づくりの場のことです。本市が目指す環境未来都市及び世界の環境首都を実現するためには、このESDの視点が不可欠です。一方で、ESD活動は多様多岐にわたっていることから、活動数を把握し、数値で表すことは困難です。 |   |             | — %   |      |                              |
|   | (最終目標と目標年度)  |   |             |   |      |                              |
| 市民意識調査におけるESD認知度  |  | 8 %   | 4.1 %       | 大変順調  | やや遅れ |                              |
| 活動を推進する上で、まずはESDについての認知度を高めるための取組みが重要であり、認知度の把握は不可欠であることから、「市民意識調査」内のESDについての認知度を指標として設定しました。 |  |   | 51.3 %      | やや遅れ  |      |                              |
|   | (最終目標と目標年度)(20% 平成26年度)  |   |             | 遅れ  |      |                              |

|             |  |             |   |         |         |                        |
|-------------|--|-------------|---|---------|---------|------------------------|
| <b>活動計画</b> | 2014年に、日本で開催予定の「ESDの10年・最終年合」において、ESD活動の推進拠点であるRCE地域のひとつとして、普及啓発活動を一層活性化させるため、これまでの取組みに加え、<br>○国内外のRCE、ESD関係機関との連携及び協議会内の活動団体の連携・パートナーシップを図るとともに、新たな活動団体の開拓を行う国際的かつ精通した人材の登用<br>○地域におけるESDコーディネーターの育成<br>○広報誌の作成、子ども向けESD教材の普及 などをを行います。 | <b>活動実績</b> | ESDの主旨をふまえ、生涯学習の取組みのひとつとして展開するため、教育委員会と連携を図りながら、社会教育主事・主事補にESD研修を実施するとともに、ユネスコスクールの登録推進を図りました。また、市民への普及を図るため、出前講演等を通じた市民センターなどにおける拠点事業の展開や、啓発リーフレットの作成・配布の支援を行いました。 |         |         |                        |
| <b>活動指標</b> | <b>指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)(上段:指標名 下段:指標の説明)</b>  | 前年度実績       | 目標  | 実績(達成率) | →       | 【活動の状況】                |
|             | 活動団体登録数  |             | 66 団体   | 70 団体   | 72 団体   | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
|             | 本市のESD活動の中心となっているESD協議会への登録団体数を、活動の指標として設定しました。目標については、環境モデル都市地域推進協議会メンバー(約380団体)の2割程度の数字としています。   |             |   |         | 102.9 % |                        |
|             |  |             |   |         | 大変順調    | やや遅れ                   |

### 【Check】評価(分析)

|                  |   |  |
|------------------|---|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <p>【成果の状況】<br/>【活動の状況】<br/>を踏まえた分析</p> <p>活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。</p> | <p>協議会の活動である4つのプロジェクト(地域ネット、調査・研究、広報、ユース)において、事業計画にもとづき着実に事業を実施し、成果発表の場である活動報告会では、協議会登録団体以外の市民を含め、参加者が150人を超えるなどの実績を残すことができました。また、協議会事務局体制の強化により、ESD推進における重要な役割を担う大学間の連携及び国内外との交流を図ることができました。今後さらに普及啓発の手法の研究等の取組強化が求められます。</p> |
|                  | <p>「経済性」<br/>「効率性」<br/>の分析</p> <p>「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。</p>           | <p>負担金の増額(H22年度から3,000千円の増)を行うことで、世界的なESD動向にかかる調査・情報収集及び国際会議等への参加、資料作成など、ESDに関する国際的な推進体制の強化を図ることができ、費用対効果は非常に高いものとなりました。</p>   |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |  |
|---------------|--|--|
| <b>見直し状況等</b> | <p>課題</p> <p>ESDの概念が広範で抽象的であることなどから、市民意識調査におけるESD認知度が目標に達していません。今後は、抽象的であるESDの概念を、分かりやすく普及するための工夫を行い、地域におけるESD活動の認知度を向上させることが課題です。</p>   | <p>その結果目指す成果(次年度の成果目標)</p> <p>これまで、ESDを認知していなかった市民が、新たにESDの考え方を認識し、活動に参加できるよう、地域における活動の普及に努めます。平成25年度の市民意識調査における「ESD認知度」については、「前年度以上の認知度確保」を目指します。</p> |
|               | <p>次年度の活動計画(見直し内容)</p> <p>本市のESD活動の中心となる北九州ESD協議会における普及啓発活動を推進するための体制強化を図る負担金を交付する(現状維持)とともに、地域活動の普及の核となるコーディネーターの養成を行います。また、市制50周年記念事業として、アジア太平洋地域におけるRCEが集結する「アジア太平洋RCE会議」を開催するため、平成25年度はその開催経費を計上します(拡充)。</p> |  |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |            |           |             |        |    |               |           |        |     |       |    |
|------------|------------|-----------|-------------|--------|----|---------------|-----------|--------|-----|-------|----|
| <b>事業名</b> | 北九州市環境首都検定 |           |             |        |    |               | 施策番号      |        |     |       |    |
|            |            |           |             |        |    |               | I-3-(3)-① |        |     |       |    |
| <b>コスト</b> | 事業費        | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費の目安 | 金額 | 6,600 千円 (備考) | 担当局       | 環境局    |     |       |    |
|            |            | 6,117 千円  | 7,361 千円    |        | 課長 | 0.15 人        | 職員        | 0.25 人 | 担当課 | 環境学習課 |    |
|            |            |           |             |        | 係長 | 0.3 人         |           |        |     | 課長名   | 石井 |
|            |            |           |             |        |    |               |           |        |     |       |    |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |  |  |             |                |                          |                              |
|-----------------|--|--|-------------|----------------|--------------------------|------------------------------|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか   | ・検定の実施により市民の環境についての学習機会を増やし、環境意識のレベルアップや環境に関心を持つ市民の裾野を広げます。<br>・市民をはじめ、人々が北九州市の環境について精通するようにします。 | <b>成果実績</b> | 成果の状況は下記の通りです。 |                          |                              |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)</b>   | 前年度実績  | 目標          | 実績(達成率)        | →                        | 【成果の状況】                      |
|                 | 北九州市環境首都検定の受検者数  | 1,058 人  | 1,500 人     | 1,879 人        | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |
|                 | 北九州市環境首都検定の受検者数を増加させ、環境について自己啓発に励む市民の創出を目指します。<br>単年度受検者数における達成目標<br>[目標]H25年度:3,000人(H23:1,500人)[実績(達成率)]1,879人(125.3%)<br>累計受検者数における達成目標<br>[目標]H20~H25年度:9,000人[実績(達成率)]H20~H23年度:4,225人(47%) |  |             | 125.3 %        |                          |                              |
|                 | (最終目標と目標年度)  |  |             |                |                          | <b>大変順調</b>                  |

|             |   |             |   |         |                          |                        |
|-------------|---|-------------|---|---------|--------------------------|------------------------|
| <b>活動計画</b> | 目標の達成と、検定制度の定着化に向けて、平成23年度も検定PRに力を入れます。また、前回受検者に対して受検を呼びかけるなど、効果的なPRを実施します。                                   | <b>活動実績</b> | 検定リピーターと新規受検者をバランスよく募ることで、目標値を大きく上回る受検者数を達成できました。 |         |                          |                        |
| <b>活動指標</b> | <b>指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)(上段:指標名 下段:指標の説明)</b>   | 前年度実績       | 目標  | 実績(達成率) | →                        | 【活動の状況】                |
|             | 受検啓発の実施   | 2 日         | 5 日   | 4 日     | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
|             | 北九州市環境首都検定の受検者数を増加させ、環境について自己啓発に励む市民の創出を目指します。市民力レτζでは「環境首都検定合格応援講座」を実施し講義形式で検定対策を行い、エコライフステージでは検定のPR活動を行います。 |             |   | 80.0 %  |                          |                        |
|             | (最終目標と目標年度)   |             |   |         |                          | <b>順調</b>              |

### 【Check】評価(分析)

|                  |  |   |
|------------------|--|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析                          | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。   |
|                  | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析                                  | 受検者数の増加 →当初の目標数値を上回る1,879人(ジュニア編は86人、一般編は1,793人)と前年度に比べて検定受検者数は大きく増加しました。学校や会社、家族などグループでの参加もあり、受検者は子どもから年長者まであらゆる年齢層にわたりました。全体的な受検者数は増加しているものの、ジュニア編の受検者数が昨年度(231人)に比べ減少していました。これは、日曜日の学校参加が難しいためであると考えられます。今後、学校の受検参加が容易となるような制度の構築を進めていきます。 |
|                  | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 本検定制度が好調な成果をあげているのは受検料が無料によるところが大きいと考えられます。しかしながら、今後は、受検者数の増加に伴うコスト増など課題も出てくると考えられます。民間を活用した効率的な運営方法など検討していきたいと思ひます。  |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |   |                         |
|---------------|---|-------------------------|
| <b>見直し状況等</b> | 課題<br>平成23年度は、代表的な成果指標に設定している受検者数が単年度目標を上回るなど、順調な成果を得ることができました。但し、ジュニア層の受検者が少ないので、小学校での受検制度を設けるなどあらゆる層の受検増を目指します。 | その結果目指す成果(次年度の成果目標)     |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)   | 単年度目標の受検者数3,000人を目指します。 |
|               | これまでの取組を継続しながら、市内各小学校での本検定の受検の推進を行います。小学校での受検推進に対応するため、事業費を拡充します(拡充)。   |                         |

# P D C A チェックシート (平成23年度実績評価)

|     |                    |           |             |        |       |                |           |       |  |
|-----|--------------------|-----------|-------------|--------|-------|----------------|-----------|-------|--|
| 事業名 | 北九州環境みらい学習システム推進事業 |           |             |        |       |                | 施策番号      |       |  |
|     |                    |           |             |        |       |                | I-3-(3)-① |       |  |
| コスト | 事業費                | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費の目安 | 金額    | 10,200 千円 (備考) | 担当局       | 環境局   |  |
|     |                    | 16,616 千円 | 20,000 千円   |        | 課長    | 0.3 人 職員 0.5 人 | 担当課       | 環境学習課 |  |
|     |                    |           | 係長          |        | 0.3 人 | 課長名            | 石井        |       |  |
|     |                    |           |             |        |       |                |           |       |  |

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|    |  |      |   |
|----|--|------|---|
| 目的 | 何を(誰を)どのような状態にしたのか<br>持続可能な社会づくりに向けて、市内に豊富にある環境学習施設や自然フィールドなどの身近な場所で、世代を超え、能力や意欲に応じて、環境学習を行える仕組みづくりを行い、「環境未来都市」推進の原動力となる「市民環境力」の醸成・向上を目指します。 | 成果実績 | 環境学習施設や自然フィールド、飲食・物産店などの有効活用や活性化、再発見などともに、地域で活躍する人材を発掘・養成することを通じて、市民環境力の向上につながりました。 |
|----|--|------|---|

| 代表的な成果指標 | 指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方) | 前年度実績  | 目標 | 実績(達成率) | →                 | 【成果の状況】                  |
|----------|---|--|----|---------|-------------------|--------------------------|
|          |   | 行動変革を実行する市民環境力を醸成・向上させる<br>環境への取組において行動変革を実行することは、市民一人ひとりが日々の生活の中で身近にできることから始めることが重要となることから、「市民意識調査」内の毎日の暮らしの中で環境活動を実行している人の比率(各取組の平均)を指標として設定しました。<br>(最終目標と目標年度) |    | 66 %    | 59.6 %<br>90.3% % | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ |
|          | (最終目標と目標年度)   |  |    |         |                   |                          |

|      |   |      |  |
|------|---|------|--|
| 活動計画 | 今年度は前年度に開催した有識者等からなる検討会の意見を参考に、<br>○システムを支えるエコツアーガイド等の人材育成<br>○環境学習(エコ)ツアーの企画・開催<br>○学習システムの総合窓口として、試行的に「環境情報コーナー」設置<br>○ホームページの開設による情報発信 などを実施します。 | 活動実績 | 環境学習施設からフィールドまで、本市の豊富な素材を活用した、環境学習を行える仕組みづくりを構築するため、エコツアーガイドの育成、モデルエコツアーの実施を行いました。<br>また、「環境情報コーナー」の設置、ホームページの開設を通じ、環境情報の発信拠点としての集約を図りました。 |
|------|---|------|--|

| 活動指標 | 指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明)   | 前年度実績  | 目標      | 実績(達成率)           | →                 | 【活動の状況】                  |
|------|--|--|---------|-------------------|-------------------|--------------------------|
|      |  | エコライフステージ・企画運営への参画者数<br>本システムのアウトプットである、行動変革を伴う市民環境力を示す指標です。 | 6,330 人 | 7,550 人           | 6,363 人<br>84.3 % | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ |
|      | エコツアー参加者数<br>エコライフの推進などの行動変革に向け、導入となる環境学習への関心・意欲を示す指標です。今後はツアーのビジネス化等民間事業者などが主体的に実施する仕組みづくりを推進します。 | 2,600 人  | 3,000 人 | 2,800 人<br>93.3 % |                   |                          |

## 【Check】評価(分析)

|           |                               |   |   |
|-----------|-------------------------------|---|---|
| 分析及び課題の整理 | 【成果の状況】<br>【活動の状況】<br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 活動計画どおりに事業を実施し、エコツアーに関しては、関心が高く予想以上の方々の参加があるなど成果がありました。また、環境情報コーナーに本市の環境施策等を紹介するパンフレットや環境関連施設情報冊子を一括に取り揃えるとともに、イベント等各種情報をホームページにアップするなど、初めて「環境」カテゴリにおける情報提供の一元化を図ることができました。一方で、今後さらに、多世代の市民が参加し、環境に関する知識や行動力を身に付けることができるよう、ツアー内容の充実を図るとともに、総合窓口の開設、システムを支える人材育成のための仕組みづくり等について検討を進めていきます。 |
|           | 「経済性」<br>「効率性」<br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | エコツアー実施については、イベントやツアーなどの実績や広いネットワークを持った事業者・団体に事業委託することで、効率的かつ有意義な学習ツアーが実施できました。また、ガイドの育成については、バスガイドや環境ボランティア等素養を持った人材に研修を行うことで、効果的な人材育成を実施できました。さらに、試行的環境情報コーナーについては、既存の案内所の人材や場所を活用することで、コストの低減につながりました。一方で、将来的に、各企業やNPO法人等による、エコツアーのビジネス化や環境人材育成事業などにつなげられるよう、仕組みの構築を進めていきます。           |

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|        |  |   |
|--------|--|---|
| 見直し状況等 | 課題   |   |
|        | 平成23年度から本事業により、試行的に小倉駅の総合観光案内所による環境情報の提供やホームページによる情報発信、エコツアーの実施、それを支える人材育成に努めてきましたが、さらに多くの多世代の市民が、環境に関する知識や行動力を身に付けることができる仕組みとなるよう、利便性が高く、効果的なシステムの拡充を図る必要があります。 |   |
|        | 次年度の活動計画(見直し内容)  | その結果目指す成果(次年度の成果目標)   |
|        | 既存の観光案内所を活用して試行的に実施している環境情報案内所運営業務については、これまでの取組み・実績をふまえ、さらに民間事業者等が有するノウハウを最大限に活用し、効率的かつ有意義な運営を図ることができるように委託業務の内容及び委託先の見直しを行います。これらの見直しにより、事業費全体としては縮小します。        | 「市民意識調査」内の毎日の暮らしの中で環境活動を実行している人の比率(各取組の平均)が70%を超えることを目指します。 |



## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                  |           |             |            |       |                |      |           |         |
|------------|------------------|-----------|-------------|------------|-------|----------------|------|-----------|---------|
| <b>事業名</b> | アジアの環境人材育成拠点形成事業 |           |             |            |       |                |      | 施策番号      |         |
|            |                  |           |             |            |       |                |      | I-3-(3)-② |         |
| <b>コスト</b> | 事業費              | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額    | 4,400 千円       | (備考) | 担当局       | 環境局     |
|            |                  | 3,050 千円  | 4,114 千円    |            | 課長    | 0.1 人 職員 0.3 人 |      | 担当課       | 環境国際戦略課 |
|            |                  |           | 係長          |            | 0.1 人 | 課長名            |      | 久保        |         |
|            |                  |           |             |            |       |                |      |           |         |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|           |                    |  |             |               |
|-----------|--------------------|--|-------------|---------------|
| <b>目的</b> | 何を(誰を)どのような状態にしたのか | 環境問題に直面しているアジア地域の行政官を対象に研修事業を行い、現地での人材育成を図るとともに市職員・関係機関職員の能力開発を行うことで、アジアの環境人材育成拠点化を図ります。 | <b>成果実績</b> | 平成23年度 431人受入 |
|-----------|--------------------|--|-------------|---------------|

| 代表的な成果指標    | 指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方) | 前年度実績  | 目標    | 実績(達成率) | →                        | 【成果の状況】 |
|-------------|---|--|-------|---------|--------------------------|---------|
|             | アジアの環境人材育成拠点化   | アジアの途上国やその都市が自らの力で取り組みを進めることができるよう、本市において環境人材育成を行います。あわせて、本市の優れた環境人材を海外において指導できるよう育成します。<br>(最終目標と目標年度)H24年度～H28年度 2200人受入 | 389 人 | 400 人   | 431 人<br>107.8% %        |         |
| (最終目標と目標年度) |   |  |       |         | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 大変順調    |

|             |  |             |                     |
|-------------|--|-------------|---------------------|
| <b>活動計画</b> | 平成24年度から平成28年度までの5年間において、2200人の研修員を受け入れます。 | <b>活動実績</b> | 研修員の受入総数140カ国6,638人 |
|-------------|--|-------------|---------------------|

| 活動指標        | 指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明) | 前年度実績   | 目標 | 実績(達成率) | →                        | 【活動の状況】 |
|-------------|--|---|----|---------|--------------------------|---------|
|             | 新規研修プログラムの確立                                   | 省エネルギーや太陽光をテーマとする、時代の変遷に伴うニーズの変化に対応した研修プログラムの確立 |    |         | 9 コース<br>%               |         |
| (最終目標と目標年度) |  |   |    |         | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 大変順調    |

### 【Check】評価(分析)

|                  |   |   |
|------------------|---|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。<br><br>「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。                     |
|                  |   | 研修生の受け入れについて、年度当初は震災の影響もあり、研修員のキャンセルが目立ちましたが、本市のPRを行うことで、積極的なプロモート活動・協力要請により、目標とする年間400人を達成しました。<br><br>(公財)北九州国際技術協力協会(KITA)や(独)国際協力機構(JICA)などと連携することで、コストの軽減を図りました。 |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |  |
|---------------|--|--|
| <b>見直し状況等</b> | 課題<br><br>平成23年度においては、目標を超える431名の研修員を受け入れました。平成24年度においても、KITAやJICAと連携を図りながら研修員受入を推進しています。また、ODA予算が減少傾向であることから、本市の独自性をより強く打ち出し、研修誘致を積極的に展開していきます。             | その結果目指す成果(次年度の成果目標)<br><br>計画通り、平成24～28年度の5年間で2,200人の研修員を受入れ、単年度では440人の受入を目指します。 |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)<br><br>事業は順調に推移しており、引き続きKITAやJICAと連携を図りながら、事業を実施していきます。また、事業経費については縮小致しますが、時代の変遷に伴う新規研修プログラムの構築などを行うことで研修事業の魅力を高めていき、これまで以上に多くの研修員を受け入れています。 |  |

# PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                          |           |             |            |    |                 |           |       |
|------------|--------------------------|-----------|-------------|------------|----|-----------------|-----------|-------|
| <b>事業名</b> | 環境ミュージアム及び北九州エコハウス維持管理事業 |           |             |            |    |                 | 施策番号      |       |
|            |                          |           |             |            |    |                 | I-3-(3)-② |       |
| <b>コスト</b> | 事業費                      | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 5,475 千円 (備考)   | 担当局       |       |
|            |                          | 73,621 千円 | 73,477 千円   |            | 課長 | 0.15 人 職員 0.3 人 | 担当課       | 環境学習課 |
|            |                          |           |             |            | 係長 | 0.15 人          | 課長名       | 石井    |
|            |                          |           |             |            |    |                 |           |       |

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |   |  |      |         |                          |                              |                |  |
|-----------------|---|--|------|---------|--------------------------|------------------------------|----------------|--|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか  | 環境ミュージアムを拠点として、来館者に公害克服の歴史を始め、廃材を活用したエコ工作やごみの分別の仕方、3Rに関する紙芝居などアクティビティ(体験活動)の実施を通して、環境について分かりやすく説明を行うことで、市民ボランティアである環境学習サポーターを地域の環境リーダーへと育成します。 |      |         |                          | <b>成果実績</b>                  | 成果の状況は下記の通りです。 |  |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br/>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)</b>   | 前年度実績  | 目標   | 実績(達成率) | →                        | 【成果の状況】                      |                |  |
|                 | 環境学習サポーターの登録数   |  |      | 68 人    |                          | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |                |  |
|                 | 将来的には館内だけでなく、地域の環境リーダーとして活躍することが目標です。そこで、どの地区にも一人はサポーターが必要であると考えます。目標については、市民センターの数としています。<br>(最終目標と目標年度) 132人 平成28年度 | 72 人   | 80 人 | 85.0 %  |                          |                              |                |  |
|                 | (最終目標と目標年度)   |  |      |         | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | やや遅れ                         |                |  |

|  |   |             |   |         |   |                        |  |  |
|--|---|-------------|---|---------|---|------------------------|--|--|
| <b>活動計画</b>  | 環境人材を育成し、地域の環境リーダーとして活動してもらうべく、月に1回の学習会を行い、知識面でのレベルアップを図ります。また、サポーター同士で工作等の技術を教えあうことで、技術面でのレベルアップを図ります。サポーターの高齢化が進んでいるため、多様な世代の取り込み、養成方法について検討していきます。 | <b>活動実績</b> | 様々な環境イベントに参加し、本市の環境学習の担い手として、成長しています。館内の活動のみならず、外部への出張も精力的に取り組むことができています。 |         |   |                        |  |  |
| <b>活動指標</b>  | <b>指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br/>(上段:指標名 下段:指標の説明)</b>  | 前年度実績       | 目標  | 実績(達成率) | → | 【活動の状況】                |  |  |
|  | 環境学習サポーター月例学習会参加者数  |             |   | 295 人   |   | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |  |  |
|  | 出前講演を利用するなど、本市の施策等様々な分野について、サポーター会及び各サポーターの向学のための自主的な学習の場として機能しており、今後の活動にさらなる拡がりを持たせているため、その参加人数を指標としています。目標値は月平均30名の参加を見込んだものです。                     | 280 人       | 360 人   | 81.9 %  |   |                        |  |  |
|  | 環境学習サポーター館内活動延べ人数   |             |   | 2,520 人 |   | 順調                     |  |  |
| 館内で、様々なエコ工作や環境実験などのアクティビティを通じて、来館者へ環境問題にかかる「気づき」を与える活動への参加者数で、人材活用を表す指標です。目標値は、一日平均7~8人の参加を見込んだものです。 | 2,699 人   | 2,200 人     | 114.5 %   |         |   |                        |  |  |

## 【Check】評価(分析)

|                 |   |  |
|-----------------|---|--|
| <b>分析及課題の整理</b> | <p><b>【成果の状況】</b><br/><b>【活動の状況】</b><br/>を踏まえた分析</p> <p>活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。</p> | <p>毎月の学習会ではおおそ、24~25名のサポーターが参加しています。H23年度のサポーターは、68名おり、約36%に当たります。館内活動は、目標値を十分超えています。それらの活動が自信を生み、出張環境ミュージアムにも積極的に参加しているということは、活動として十分有効であったと考えます。</p> |
|                 | <p><b>「経済性」</b><br/><b>「効率性」</b><br/>の分析</p> <p>「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。</p>          | <p>環境学習サポーターの活動については、現在、指定管理により、すでに民間活力を導入しているため、効率的に行われていると考えています。</p>  |

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |  |
|---------------|--|--|
| <b>見直し状況等</b> | <p>課題</p> <p>平成24年度は13人の方が新たにサポーターとしての仲間入りしました。残念ながら辞めた方もいらっしゃるのですが、登録人数は現在68人です。課題としては2点挙げられます。一点目は館内での活動が工作ばかりになってしまっているということです。二つ目は、活動を行う人たちが偏っているということです。今後もサポーターの方の活動内容の質の向上を図り、多くの方に活動・登録していただくよう努めます。</p> | <p>その結果目指す成果(次年度の成果目標)</p> <p>環境学習サポーターの登録数は、平成25年度は84人を目指します。</p> |
|               | <p>次年度の活動計画(見直し内容)</p> <p>現在のアクティビティは、工作が中心となっています。次年度は、公害を克服してきた歴史を市民に伝える「語りべ」というアクティビティに取り組みたいと考えており、月例会等だけでなく、自主的な研修を行う予定です。また、環境学習サポーターの存在をメディア等でPRしていきたいと考えています。事業費の変更はありません。</p>                           |  |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                 |           |             |            |    |                 |      |           |         |
|------------|-----------------|-----------|-------------|------------|----|-----------------|------|-----------|---------|
| <b>事業名</b> | 環境科学研究所の分析機器の整備 |           |             |            |    |                 |      | 施策番号      |         |
|            |                 |           |             |            |    |                 |      | Ⅱ-1-(2)-② |         |
| <b>コスト</b> | 事業費             | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 10,325 千円       | (備考) | 担当局       | 環境局     |
|            |                 | 3,339 千円  | 12,533 千円   |            | 課長 | 0.05 人 職員 0.9 人 |      | 担当課       | 環境科学研究所 |
|            |                 |           |             |            | 係長 | 0.3 人           |      | 課長名       | 寺師      |
|            |                 |           |             |            |    |                 |      |           |         |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |   |  |                 |          |   |                          |                              |  |  |
|-----------------|---|--|-----------------|----------|---|--------------------------|------------------------------|--|--|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか  | 環境科学研究所における検査・分析の精度向上、効率化、対象項目の拡大を図るため、限られた事業費の中で緊急性や重要性などを考慮しながら計画的に設備を更新し、市民の安全・安心を守り、地域の快適な環境づくりを進めていきます。 |                 |          |   | <b>成果実績</b>              | 現在の水準を維持しました。                |  |  |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方) | 前年度実績  | 目標              | 実績 (達成率) | → | 【成果の状況】                  |                              |  |  |
|                 | 万全な検査体制の維持  |  |                 |          |   |                          |                              |  |  |
|                 | 環境科学研究所においては、必要な検査を適切に行えるように、常に計画的な機器の整備更新に努めています。<br>(最終目標と目標年度)     |  | 現在の水準を維持・向上させる。 |          |   |                          | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |  |  |
|                 | (最終目標と目標年度)   |  |                 |          |   | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 順調                           |  |  |

|             |   |       |     |          |             |                          |                        |  |  |
|-------------|---|-------|-----|----------|-------------|--------------------------|------------------------|--|--|
| <b>活動計画</b> | 検査・分析の精度向上、効率化、対象項目の拡大を図るため、常に計画的な設備更新に努めています。  |       |     |          | <b>活動実績</b> | 下記のとおり                   |                        |  |  |
| <b>活動指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明)                              | 前年度実績 | 目標  | 実績 (達成率) | →           | 【活動の状況】                  |                        |  |  |
|             | 整備・更新した機器の数   |       |     | 2 台      |             |                          |                        |  |  |
|             | 検査・分析の精度向上等を図っていくには、計画的な設備更新の必要があり、指標として設定しました。(平成23年度は、マイクロ波式反応加速システムと、超音波洗浄機を更新の予定) | 1 台   | 2 台 | 100.0 %  |             |                          | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |  |  |
|             | (最終目標と目標年度)   |       |     |          |             | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 順調                     |  |  |

### 【Check】評価(分析)

|                  |   |  |  |
|------------------|---|--|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。    | 環境科学研究所における検査・分析の精度向上、効率化、対象項目の拡大を図るために計画し、今年度予定した機器を整備・更新できました。 |
|                  | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」<br>「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 必要な機器を計画的に整備・更新しています。  |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |   |  |
|---------------|---|--|
| <b>見直し状況等</b> | 課題  | その結果目指す成果(次年度の成果目標)                            |
|               | 老朽化した機器の更新、分析の精度向上、効率化、対象項目の拡大を図るため、計画的な機器の整備・更新が必要です。      |  |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)   |  |
|               | 環境科学研究所において、必要な検査を適切に行えるように、計画的な機器の整備更新に努めます。事業費は縮小となっています。 | 感染症予防事業検査機器類、還元気化水銀測定装置等を更新し、現在の検査体制の水準を維持します。 |

## P D C Aチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |           |             |        |    |                |           |
|------------|-----------|-------------|--------|----|----------------|-----------|
| <b>事業名</b> | ESD推進事業   |             |        |    |                | 施策番号      |
|            |           |             |        |    |                | Ⅱ-3-(4)-② |
| <b>コスト</b> | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費の目安 | 金額 | 6,550 千円 (備考)  | 担当局       |
|            | 10,000 千円 | 15,000 千円   |        | 課長 | 0.2 人 職員 0.3 人 | 担当課       |
|            |           |             |        | 係長 | 0.2 人          | 課長名       |
|            |           |             |        |    |                | 環境局       |
|            |           |             |        |    | 環境学習課          | 石井        |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|           |   |             |   |
|-----------|---|-------------|---|
| <b>目的</b> | 「世界の環境首都」の実現を目指し、その基盤となる「持続可能な社会」の構築を図るため、国連など世界規模で進められている「持続可能な開発のための教育(ESD)」を、北九州ESD協議会を中心に、市民、NPO、企業、大学等と連携して進めます。また、それらの活動や本市のこれまでの取組みを国内外に向けて広く情報発信し、世界的な環境教育・開発教育の拠点を目指します。 | <b>成果実績</b> | 様々な団体による協議会への参画により、まちづくりを支える人材育成が徐々に広まりつつあります。<br>一方で、抽象的であるESDの概念を、分かりやすく普及するためのさらなる工夫をすることにより、市民への浸透を目指します。 |
|-----------|---|-------------|---|

|                 | 指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)   | 前年度実績 | 目標          | 実績(達成率) | →          | 【成果の状況】                      |
|-----------------|---|-------|-------------|---------|------------|------------------------------|
| <b>代表的な成果指標</b> | 市民のESD活動の認識の向上と活動の普及  |       | 認識の向上と活動の普及 | —       |            | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |
|                 | ESDとは、あらゆる人々が地域等の様々な課題とそのつながりに気づき、地域で既に実践している活動等に、持続可能性という視点を加えて、暮らしや社会のあり方を変えていくための学びあいの場、人づくりの場のことです。本市が目指す環境未来都市及び世界の環境首都を実現するためには、このESDの視点が不可欠です。一方で、ESD活動は多種多様にわたっていることから、活動数を把握し、数値で表すことは困難です。<br>(最終目標と目標年度) |       |             | —       | %          |                              |
|                 | 市民意識調査におけるESD認知度  |       |             | 4.1 %   | 大変順調       | やや遅れ                         |
|                 | 活動を推進する上で、まずはESDについての認知度を高めるための取組みが重要であり、認知度の把握は不可欠であることから、「市民意識調査」内のESDについての認知度を指標として設定しました。<br>(最終目標と目標年度)(20% 平成26年度)  |       | 8 %         | 51.3 %  | やや遅れ<br>遅れ |                              |

|             |  |             |   |
|-------------|--|-------------|---|
| <b>活動計画</b> | 2014年に、日本で開催予定の「ESDの10年・最終年合会」において、ESD活動の推進拠点であるRCE地域のひとつとして、普及啓発活動を一層活性化させるため、これまでの取組みに加え、<br>○国内外のRCE、ESD関係機関との連携及び協議会内の活動団体の連携・パートナーシップを図るとともに、新たな活動団体の開拓を行う国際的かつ精通した人材の登用<br>○地域におけるESDコーディネーターの育成<br>○広報誌の作成、子ども向けESD教材の普及 などを行います。 | <b>活動実績</b> | ESDの主旨をふまえ、生涯学習の取組みのひとつとして展開するため、教育委員会と連携を図りながら、社会教育主事・主事補にESD研修を実施するとともに、ユネスコスクールの登録推進を図りました。また、市民への普及を図るため、出前講演等を通じた市民センターなどにおける拠点事業の展開や、啓発リーフレットの作成・配布の支援を行いました。 |
|-------------|--|-------------|---|

|             | 指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明)   | 前年度実績 | 目標    | 実績(達成率) | →    | 【活動の状況】                |
|-------------|--|-------|-------|---------|------|------------------------|
| <b>活動指標</b> | RCE活動実績  |       |       | 5 回     |      | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
|             | 全世界で活動しているESD推進の地域拠点であるRCEとの交流等を国際的な活動の指標として設定しました。  | 4 回   | 5 回   | 100.0 % |      |                        |
|             | 活動団体登録数  |       |       | 72 団体   | 大変順調 | やや遅れ<br>遅れ             |
|             | 本市のESD活動の中心となっているESD協議会への登録団体数を、活動の指標として設定しました。目標については、環境モデル都市地域推進協議会メンバー(約380団体)の2割程度の数字としています。 | 66 団体 | 70 団体 | 102.9 % |      |                        |

### 【Check】評価(分析)

|                  |   |   |
|------------------|---|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 協議会の活動である4つのプロジェクト(地域ネット、調査・研究、広報、ユース)において、事業計画にもとづき着実に事業を実施し、成果発表の場である活動報告会では、協議会登録団体以外の市民を含め、参加者が150人を超えるなどの実績を残すことができました。また、協議会事務局体制の強化により、ESD推進における重要な役割を担う大学間の連携及び国内外との交流を図ることができました。今後さらに普及啓発を図るため、学校・地域での活動推進、ESD推進を担う人材育成、分かりやすく実践につながる普及啓発の手法の研究等の取組強化が求められます。 |
|                  | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。<br>負担金の増額(H22年度から3,000千円の増)を行うことで、世界的なESD動向にかかる調査・情報収集及び国際会議等への参加、資料作成など、ESDに関する国際的な推進体制の強化を図ることができ、費用対効果は非常に高いものとなりました。   |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |   |
|---------------|--|---|
| <b>見直し状況等</b> | 課題<br>ESDの概念が広範で抽象的であることなどから、市民意識調査におけるESD認知度が目標に達していません。RCE地域のひとつとして、普及啓発活動の一層の活性化に向け、今後はさらに国内外のRCEとの連携を深めるとともに、抽象的であるESDの概念を、分かりやすく普及するための工夫を行い、地域におけるESD活動の認知度を向上させることが課題です。        | その結果目指す成果(次年度の成果目標)<br>「ESDの10年・最終年合会」に向けて、国際的ネットワークの強化及び普及啓発活動を推進するための体制強化を図る負担金交付(現状維持)とともに、地域の活動普及の核となるコーディネーターの養成を行います。また、市制50周年記念事業として、アジア太平洋地域におけるRCEが集結する「アジア太平洋RCE会議」を開催するため、平成25年度はその開催経費を計上します(拡充)。 |
|               | 「ESDの10年・最終年合会」に向けて、国際的ネットワークの強化及び普及啓発活動を推進するための体制強化を図る負担金交付(現状維持)とともに、地域の活動普及の核となるコーディネーターの養成を行います。また、市制50周年記念事業として、アジア太平洋地域におけるRCEが集結する「アジア太平洋RCE会議」を開催するため、平成25年度はその開催経費を計上します(拡充)。 | これまで、ESDを認知していなかった市民が、新たにESDの考え方を認識し、活動に参加できるよう、地域における活動の普及に努めます。<br>平成25年度の市民意識調査における「ESD認知度」については、「前年度以上の認知度確保」を目指します。<br>また、アジア太平洋RCE地域の開催を通じ、さらに国内外のRCEとの交流・パートナーシップの強化を図ります。                             |



# PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                   |           |             |            |    |               |            |       |     |         |
|------------|-------------------|-----------|-------------|------------|----|---------------|------------|-------|-----|---------|
| <b>事業名</b> | <b>環境国際協力推進事業</b> |           |             |            |    |               | 施策番号       |       |     |         |
|            |                   |           |             |            |    |               | II-3-(4)-② |       |     |         |
| <b>コスト</b> | 事業費               | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 6,650 千円 (備考) | 担当局        | 環境局   |     |         |
|            |                   | 5,026 千円  | 20,043 千円   |            | 課長 | 0.1 人         | 職員         | 0.6 人 | 担当課 | 環境国際戦略課 |
|            |                   |           |             |            | 係長 | 0.1 人         |            |       | 課長名 | 久保      |

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |   |  |       |     |                |   |                              |  |
|-----------------|---|--|-------|-----|----------------|---|------------------------------|--|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか  | 国、国際機関等の補助事業を活用しながら、環境国際協力の実施を通じた地球環境保全、地球規模での持続可能な社会実現、北九州地域の活性化に資することにより、世界の環境首都の実現を目指します。 |       |     | <b>成果実績</b>    | マレーシア国において廃棄物管理効率化事業を実施(H23-24)<br>中国・上海市において環境教育推進事業を実施(H22-23)<br>インドネシア・スラバヤ市における分散型排水処理施設整備事業(H23-25) |                              |  |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br/>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)</b>   |  | 前年度実績 | 目標  | <b>実績(達成率)</b> | →   | <b>【成果の状況】</b>               |  |
|                 | 戦略的国際環境協力事業の件数  |  |       |     | 3 件            |   | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |  |
|                 | 本市が有する都市間ネットワークを活用した戦略的な環境分野に関するプロジェクトを実施し、国際機関等と連携を密にして、協力対象国や都市の「緑の成長」にも資する環境国際協力を目指します。<br><br>(最終目標と目標年度)2050年(環境モデル都市行動計画に基づくもの) |  | 3 件   | 3 件 | 100.0 %        |   |                              |  |
|                 |   |  |       |     | %              | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ  | <b>大変順調</b>                  |  |
|                 |   |  |       |     |                |   |                              |  |

|   |   |     |       |         |                |   |                          |  |  |
|---|---|-----|-------|---------|----------------|---|--------------------------|--|--|
| <b>活動計画</b>   | (独)国際協力機構(JICA)が実施する草の根技術協力事業を活用し、廃棄物分野や環境教育分野において事業を展開していきます。  |     |       |         | <b>活動実績</b>    | マレーシア国において、コンポストバスケットの配布を行いました。<br>上海市において、環境教育イベントを実施しました。 |                          |  |  |
| <b>活動指標</b>   | <b>指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br/>(上段:指標名 下段:指標の説明)</b>  |     | 前年度実績 | 目標      | <b>実績(達成率)</b> | →   | <b>【活動の状況】</b>           |  |  |
|   | マレーシア国におけるコンポストバスケット配布世帯数   |     |       |         | 245 世帯         |   | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック   |  |  |
|   | マレーシア国において、生ごみ堆肥化技術の技術指導を行うことで、家庭用コンポスト(生ごみ堆肥化)バスケットの活用世帯が広がりました。これにより、メタンガスの発生が抑制され地球温暖化防止につながっています。 |     | -     | 100 世帯  | 245.0 %        |   |                          |  |  |
|   | 上海市における環境教育イベント実施回数   |     |       |         | 3 回            |   | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ |  |  |
| 上海市において、環境教育プログラムの充実化を図る上で、本市の環境教育のノウハウについての現地指導を行い、小学生を対象とする環境教育イベントを実施しました。 |   | 2 回 | 3 回   | 100.0 % |                |   |                          |  |  |

## 【Check】評価(分析)

|                  |  |  |   |
|------------------|--|--|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】<br/>【活動の状況】<br/>を踏まえた分析</b> | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。    | 廃棄物や環境教育など本市の優れた分野において、アジア諸国の環境改善に貢献しました。また、同活動の中で人材ネットワークの構築など次の展開へと発展基礎づくりを行いました。 |
|                  | <b>「経済性」<br/>「効率性」<br/>の分析</b>         | 「同じ成果をより低いコストで」<br>「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | (独)国際協力機構(JICA)による補助事業を活用することで、本市の財務負担を軽減しています。                                     |

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |   |  |
|---------------|---|--|
| <b>見直し状況等</b> | 課題  |  |
|               | 平成23年度は、マレーシア・ハントウワジャヤ市、中国・上海市、インドネシア・スラバヤ市において、環境国際協力事業を展開しました。平成24年度においては、マレーシア・ハントウワジャヤ市、インドネシア・スラバヤ市、バリクパパン市、ブラジル・ミナスジェライス州において環境国際協力事業を展開しています。ODA予算が減少傾向ではありますが、積極的な活動を引き続き展開してまいります。 |  |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)   | その結果目指す成果(次年度の成果目標)  |
|               | 平成25年度においても、マレーシア・ハントウワジャヤ市、インドネシア・スラバヤ市、バリクパパン市、西トウガラ州、ブラジル・ミナスジェライス州において事業を展開していく予定です。なお、事業費については、ODA予算など外部資金を活用し本市負担分を縮小しています。   | 環境国際協力事業5件の実施をとおして、各地域において環境改善を図るとともに、「緑の成長」にも資する環境国際協力を目指します。 |



## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                  |           |             |            |       |                |           |     |         |
|------------|------------------|-----------|-------------|------------|-------|----------------|-----------|-----|---------|
| <b>事業名</b> | アジアの環境人材育成拠点形成事業 |           |             |            |       |                | 施策番号      |     |         |
|            |                  |           |             |            |       |                | Ⅱ-3-(4)-② |     |         |
| <b>コスト</b> | 事業費              | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額    | 4,400 千円       | (備考)      | 担当局 | 環境局     |
|            |                  | 3,050 千円  | 4,114 千円    |            | 課長    | 0.1 人 職員 0.3 人 |           | 担当課 | 環境国際戦略課 |
|            |                  |           | 係長          |            | 0.1 人 | 課長名            |           | 久保  |         |
|            |                  |           |             |            |       |                |           |     |         |

| 【Plan】計画 →      |  |  |       | 【Do】実施 → 【Check】評価 |                |                          |                              |
|-----------------|--|--|-------|--------------------|----------------|--------------------------|------------------------------|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか   | 環境問題に直面しているアジア地域の行政官を対象に研修事業を行い、現地での人材育成を図るとともに市職員・関係機関職員の能力開発を行うことで、アジアの環境人材育成拠点化を図ります。 |       |                    | <b>成果実績</b>    | 平成23年度 431人受入            |                              |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br/>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)</b>  |  | 前年度実績 | 目標                 | <b>実績(達成率)</b> | →                        | <b>【成果の状況】</b>               |
|                 | アジアの環境人材育成拠点化  |  | 389 人 | 400 人              | 431 人          | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |
|                 | アジアの途上国やその都市が自らの力で取り組みを進めることができるよう、本市において環境人材育成を行います。あわせて、本市の優れた環境人材を海外において指導できるよう育成します。<br>(最終目標と目標年度)H24年度～H28年度 2200人受入 |  |       |                    | 107.8% %       |                          |                              |
|                 | (最終目標と目標年度)  |  |       |                    |                |                          |                              |

|             |  |  |       |    |                |                          |                        |  |
|-------------|--|--|-------|----|----------------|--------------------------|------------------------|--|
| <b>活動計画</b> | 平成24年度から平成28年度までの5年間に、2200人の研修員を受け入れます。                |  |       |    | <b>活動実績</b>    | 研修員の受入総数140カ国6,638人      |                        |  |
| <b>活動指標</b> | <b>指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br/>(上段:指標名 下段:指標の説明)</b> |  | 前年度実績 | 目標 | <b>実績(達成率)</b> | →                        | <b>【活動の状況】</b>         |  |
|             | 新規研修プログラムの確立   |  |       |    | 9 コース          | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |  |
|             | 省エネルギーや太陽光をテーマとする、時代の変遷に伴うニーズの変化に対応した研修プログラムの確立        |  |       |    | <b>大変順調</b>    |                          |                        |  |
|             |  |  |       |    |                |                          |                        |  |
|             |  |  |       |    |                |                          |                        |  |

| 【Check】評価(分析)    |  |   |  |
|------------------|--|---|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】<br/>【活動の状況】<br/>を踏まえた分析</b> | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 研修生の受け入れについて、年度当初は震災の影響もあり、研修員のキャンセルが目立ちましたが、本市のPRを行うことで、積極的なプロモート活動・協力要請により、目標とする年間400人を達成しました。 |
|                  | <b>「経済性」<br/>「効率性」<br/>の分析</b>         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | (公財)北九州国際技術協力協会(KITA)や(独)国際協力機構(JICA)などと連携することで、コストの軽減を図りました。                                    |

以下、予算案作成時に記入

| 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入   |  |    |  |  |  |                 |                     |  |   |
|--|--|----|--|--|--|-----------------|---------------------|--|---|
| <b>見直し状況等</b>  | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">課題</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成23年度においては、目標を超える431名の研修員を受け入れました。平成24年度においても、KITAやJICAと連携を図りながら研修員受入を推進しています。また、ODA予算が減少傾向であることから、本市の独自性をより強く打ち出し、研修誘致を積極的に展開していきます。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>次年度の活動計画(見直し内容)</td> <td>その結果目指す成果(次年度の成果目標)</td> </tr> <tr> <td>事業は順調に推移しており、引き続きKITAやJICAと連携を図りながら、事業を実施していきます。また、事業経費については縮小致しますが、時代の変遷に伴う新規研修プログラムの構築などを行うことで研修事業の魅力を高めていき、これまで以上に多くの研修員を受け入れていきます。</td> <td>計画通り、平成24～28年度の5年間で2,200人の研修員を受入れ、単年度では440人の受入を目指します。</td> </tr> </table> | 課題 |  | 平成23年度においては、目標を超える431名の研修員を受け入れました。平成24年度においても、KITAやJICAと連携を図りながら研修員受入を推進しています。また、ODA予算が減少傾向であることから、本市の独自性をより強く打ち出し、研修誘致を積極的に展開していきます。 |  | 次年度の活動計画(見直し内容) | その結果目指す成果(次年度の成果目標) | 事業は順調に推移しており、引き続きKITAやJICAと連携を図りながら、事業を実施していきます。また、事業経費については縮小致しますが、時代の変遷に伴う新規研修プログラムの構築などを行うことで研修事業の魅力を高めていき、これまで以上に多くの研修員を受け入れていきます。 | 計画通り、平成24～28年度の5年間で2,200人の研修員を受入れ、単年度では440人の受入を目指します。 |
| 課題   |  |    |  |  |  |                 |                     |  |   |
| 平成23年度においては、目標を超える431名の研修員を受け入れました。平成24年度においても、KITAやJICAと連携を図りながら研修員受入を推進しています。また、ODA予算が減少傾向であることから、本市の独自性をより強く打ち出し、研修誘致を積極的に展開していきます。 |  |    |  |  |  |                 |                     |  |   |
| 次年度の活動計画(見直し内容)  | その結果目指す成果(次年度の成果目標)  |    |  |  |  |                 |                     |  |   |
| 事業は順調に推移しており、引き続きKITAやJICAと連携を図りながら、事業を実施していきます。また、事業経費については縮小致しますが、時代の変遷に伴う新規研修プログラムの構築などを行うことで研修事業の魅力を高めていき、これまで以上に多くの研修員を受け入れていきます。 | 計画通り、平成24～28年度の5年間で2,200人の研修員を受入れ、単年度では440人の受入を目指します。  |    |  |  |  |                 |                     |  |   |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |           |           |             |            |       |                 |      |           |     |
|------------|-----------|-----------|-------------|------------|-------|-----------------|------|-----------|-----|
| <b>事業名</b> | まち美化等啓発事業 |           |             |            |       |                 |      | 施策番号      |     |
|            |           |           |             |            |       |                 |      | Ⅲ-1-(1)-③ |     |
| <b>コスト</b> | 事業費       | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額    | 3,075 千円        | (備考) | 担当局       | 環境局 |
|            |           | 1,824 千円  | 4,923 千円    |            | 課長    | 0.05 人 職員 0.2 人 |      | 担当課       | 業務課 |
|            |           |           | 係長          |            | 0.1 人 | 課長名             |      | 藤本        |     |
|            |           |           |             |            |       |                 |      |           |     |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |   |   |           |           |                          |                              |                                  |  |  |
|-----------------|---|---|-----------|-----------|--------------------------|------------------------------|----------------------------------|--|--|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか  | 北九州市空き缶等の散乱の防止に関する条例(まち美化条例)に基づき、ポイ捨てのない清潔で美しいまちづくりを推進するため、市民や企業、ボランティア団体等と連携し、清掃活動等のまち美化事業を実施することで、まち美化に対する意識の高揚・定着を図っていきます。 |           |           |                          | <b>成果実績</b>                  | ・多くの市民が参加し、市民のまち美化意識の高揚へと繋がりました。 |  |  |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)   | 前年度実績   | 目標        | 実績 (達成率)  | →                        | 【成果の状況】                      |                                  |  |  |
|                 | まち美化ボランティア清掃参加者数の推移(春と秋)  |   |           | 119,049 人 |                          | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |                                  |  |  |
|                 | まち美化意識の高揚を図るため、「“クリーン北九州”まち美化キャンペーン」(春)、「市民いっせいまち美化の日」(秋)を設定し、市内でのまち美化清掃や啓発行事を行い、参加者の増加に努めます。<br>(最終目標と目標年度) 125,000人(平成25年度) | 100,804 人   | 125,000 人 | 95.2 %    |                          |                              |                                  |  |  |
|                 | 市民意識調査におけるまち美化清掃実行の割合   |   |           | 54 %      | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 順調                           |                                  |  |  |
|                 | 市民のまち美化意識の定着を図り、市民意識調査における地域でのまち美化清掃が「常に実行」及び「時々実行」の回答の割合が増えるように努めます。<br>(最終目標と目標年度) 60%(平成25年度)                              | —   | 60 %      | 90.0 %    |                          |                              |                                  |  |  |

|             |   |          |          |          |                          |  |  |  |
|-------------|---|----------|----------|----------|--------------------------|--|--|--|
| <b>活動計画</b> | 市民・団体がきれいな環境づくり・モラルマナーの向上に関心を高めることを目的に、いっせい清掃(社)北九州市衛生総連合会と共同で呼びかけ清掃参加者数の増加に努めます。       |          |          |          | <b>活動実績</b>              | ・雨天のため、春の清掃参加者数が減ったが、多くの市民が参加し、市民のまち美化意識の高揚へと繋がりました。 |  |  |
| <b>活動指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明)                                  | 前年度実績    | 目標       | 実績 (達成率) | →                        | 【活動の状況】  |  |  |
|             | “クリーン北九州”まち美化キャンペーン(春)の清掃参加者数   |          |          | 26,526 人 |                          | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック                               |  |  |
|             | 自主的な美化活動を促進するために、市内各区で行う大規模清掃をはじめ、ボランティア団体に清掃を呼びかけたり、ポイ捨て防止等の啓発活動を実施し、清掃参加者数の増加に努めています。 | 32,554 人 | 34,000 人 | 78.0 %   |                          |  |  |  |
|             | 「市民いっせいまち美化の日」(秋)の清掃参加者数  |          |          | 92,523 人 | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 順調   |  |  |
|             | まち美化を継続的に根気強くPRするため、市民参加型の行事として、特に会場を設けず、幅広く参加を呼びかけて実施し、市民のまち美化意識の高揚・定着を図っています。         | 68,250 人 | 91,000 人 | 101.7 %  |                          |  |  |  |

### 【Check】評価(分析)

|                  |   |  |   |
|------------------|---|--|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | (社)北九州市衛生総連合会と共催することにより、より市民・自治会(衛生協会)とのつながりが強くなり、まち美化に対する関心を持続的に高めることが可能になっています。                               |
|                  | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 現時点で、十分にコストを削減しているが、市民、団体等への広報・PRの方法は依頼文・チラシの配布等が主体のため、インターネットでの清掃申請をもっと利用しやすく、市民の間に浸透することで、より一層のコスト削減が可能と思われる。 |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |  |
|---------------|--|--|
| <b>見直し状況等</b> | 課題   |  |
|               | まち美化ボランティア清掃参加者数の推移(春と秋)は、122,152人(達成率97.7%)となり、ほぼ目標どおりの成果を得ることができ、平成24年度も順調に成果が出ています。今後も、市民や企業、ボランティア団体等との連携し、清掃活動等のまち美化事業を実施します。 |  |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)  | その結果目指す成果(次年度の成果目標)  |
|               | インターネットでの清掃申請を利用しやすくし、依頼文・チラシについても効率的な配布を行うことで、事業費は縮小していますが、より多くの方々に清掃に参加していただけるよう取り組んでいきます。                                       | 「まち美化ボランティア清掃参加者数」は125,000人、「市民意識調査におけるまち美化清掃実行の割合」は60%を目指します。また、清掃活動等を通じて、まち美化に対する意識の高揚・定着を図っていきます。 |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                  |                        |                          |            |                    |                      |            |
|------------|------------------|------------------------|--------------------------|------------|--------------------|----------------------|------------|
| <b>事業名</b> | 北九州エコライフステージ開催事業 |                        |                          |            |                    | 施策番号                 | VI-1-(1)-① |
|            |                  |                        |                          |            |                    | (備考)<br>実行委員会形式で事業実施 | 担当局        |
| <b>コスト</b> | 事業費              | 平成23年度執行額<br>16,398 千円 | 平成24年度当初予算額<br>21,020 千円 | 人件費<br>の目安 | 金額<br>7,475 千円     | 担当課                  | 環境学習課      |
|            |                  |                        |                          |            | 課長 0.15 人 職員 0.5 人 | 課長名                  | 石井         |
|            |                  |                        |                          |            | 係長 0.2 人           |                      |            |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |  |   |         |                                   |             |             |                          |                              |
|-----------------|--|---|---------|-----------------------------------|-------------|-------------|--------------------------|------------------------------|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたいのか  | 市民一人ひとりが楽しみながら環境活動に参加し、様々なテーマで実践や交流を重ね、また新たな取組を産み出していく「市民環境力」を強化するための情報交流の場・発信の場をつくりまします。 |         |                                   |             | <b>成果実績</b> | 下記の代表的な成果指標のとおりです。       |                              |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br/>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)</b>  |   | 前年度実績   | 目標                                | 実績<br>(達成率) | →           | <b>【成果の状況】</b>           |                              |
|                 | エコライフステージ参加者数  |   | 66.5 万人 | 66.5 万人以上                         | 73.9 万人     | 111.1 %     | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |
|                 | 参加者数とは、各地域が主体となって実施される「地域・テーマ別事業」の参加者数と、シンボル事業「エコライフステージ」(市民・企業・NPO・行政等が集結し、日ごろの環境活動やエコライフを提案するイベント)の来場者数の合計数です。市民の環境活動への参加が市民の環境力につながると考え、設定しました。<br>(最終目標と目標年度) 66.5万人以上(28年度) |   |         |                                   |             |             |                          |                              |
|                 | 市民・企業・行政等の交流によるネットワーク構築と拡大<br>「市民環境力」を強化するための情報交流の場・発信の場づくりを推進します。具体的には、環境に配慮したイベント運営の実施、環境をテーマとしたポータルサイトの運営・効果的かつタイムリーな情報発信を行います。<br>(最終目標と目標年度)                                |   |         | 市民・企業・行政等の交流によるネットワーク構築と拡大を目指します。 |             |             |                          | 大変順調                         |

|             |   |             |                |        |             |         |                          |                        |
|-------------|---|-------------|----------------|--------|-------------|---------|--------------------------|------------------------|
| <b>活動計画</b> | 環境情報の収集・発信を効果的に行い、参加者数の拡大を図ることで、市民の力で環境力を高める仕組みづくりを推進します。また、事業実施にあたっては、行政コスト削減の観点から、協賛金収入増加に向けて取り組まします。   | <b>活動実績</b> | 活動結果は下記のとおりです。 |        |             |         |                          |                        |
| <b>活動指標</b> | <b>指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br/>(上段: 指標名 下段: 指標の説明)</b>  |             | 前年度実績          | 目標     | 実績<br>(達成率) | →       | <b>【活動の状況】</b>           |                        |
|             | エコライフステージ行事数  |             | 155 行事         | 180 行事 | 189 行事      | 105.0 % | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
|             | 行事数とは、各地域が主体となって実施される「地域・テーマ別事業」及びシンボル事業「エコライフステージ」(市民・企業・NPO・行政等が集結し、日ごろの環境活動やエコライフを提案する環境イベント)の行事合計数です。地域で行われている環境活動の行事数増加が市民の環境力につながると考え、設定しました。 |             |                |        |             |         |                          |                        |
|             |   |             |                |        |             |         |                          | 大変順調                   |

### 【Check】評価(分析)

|                  |   |   |  |  |  |  |  |
|------------------|---|---|--|--|--|--|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <p><b>【成果の状況】</b><br/><b>【活動の状況】</b><br/>を踏まえた分析</p> <p>活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。</p> | <p>成果の状況・活動の状況ともに順調です。同時開催イベントや周辺施設との連携により年々拡がりを見せ、平成23年度の参加者数は過去最高を記録しました。エコライフステージ開催10周年を迎え、広報を強化したことが有効だったと考えられます。また、東日本大震災の復興支援企画を通じ、市民等があらためてこれまでの生活や暮らし方を見直すきっかけとなったと判断しています。</p>                                 |  |  |  |  |  |
|                  | <p><b>「経済性」</b><br/><b>「効率性」</b><br/>の分析</p> <p>「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。</p>          | <p>本事業は、主に市の負担金と協賛金で成り立っており、事業実施にあたって、毎年、市のコストを見直すとともに、協賛金等の収入の増加を図っています。平成23年度の協賛社数は昨年より1社増加して48社でしたが、協賛金の割合は、14.2%(昨年度は15.8%)で昨年度より減少しました。東日本大震災による経済低迷等による影響が原因と考えられますが、今後も行政コスト削減の観点から引き続き協賛金収入増加に向けて取り組んでいきます。</p> |  |  |  |  |  |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |   |  |  |  |  |  |
|---------------|--|---|--|--|--|--|--|
| <b>見直し状況等</b> | 課題   | <p>エコライフステージ参加者数や行事数など、平成23年度の成果指標及び活動指標は、ともに目標値を上回りました。「市民環境力」をさらに強化するための情報交流の場・発信の場づくりとして市民・企業等のネットワーク構築と拡大を目指していきます。本事業を支える事業費については、毎年市のコストを見直すとともに、環境未来都市推進の原動力となる協賛金収入増加に向けて取り組んでいるところですが、平成24年度の反応からも経済低迷等による影響が懸念されます。</p> |  |  |  |  |  |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)  | その結果目指す成果(次年度の成果目標)   |  |  |  |  |  |
|               | <p>平成24年度は、「市民環境力」を強化するための情報交流の場・発信の場づくりとして、環境をテーマとしたポータルサイトのリニューアルを行っていますが、平成25年度以降はそれを活用し、環境情報の収集・発信を効果的に行い、参加者数の拡大を図ることで、市民環境力を高める仕組みづくりを推進します(現状維持)。</p> | <p>上記で掲げている成果指標及び活動指標の目標値を維持するとともに、市民・企業・行政等のネットワーク構築とさらなる拡大を目指します。平成25年度の「エコライフステージ参加者数」は前年度以上の参加者数を目指します。</p>   |  |  |  |  |  |



## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                      |             |        |    |                |            |     |       |
|------------|----------------------|-------------|--------|----|----------------|------------|-----|-------|
| <b>事業名</b> | <b>菜の花プロジェクト推進事業</b> |             |        |    |                | 施策番号       |     |       |
|            |                      |             |        |    |                | VI-1-(1)-① |     |       |
| <b>コスト</b> | 平成23年度執行額            | 平成24年度当初予算額 | 人件費の目安 | 金額 | 5,400 千円       | (備考)       | 担当局 | 環境局   |
|            | 1,780 千円             | 1,917 千円    |        | 課長 | 0.1 人 職員 0.3 人 |            | 担当課 | 環境学習課 |
|            |                      |             |        | 係長 | 0.2 人          |            | 課長名 | 石井    |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|  |   |  |             |                    |   |                              |
|--|---|--|-------------|--------------------|---|------------------------------|
| <b>目的</b>  | 何を(誰を)どのような状態にしたのか  | 菜の花の栽培や菜種の搾油体験等を通じて、市民に「資源循環(菜種→食用油→せっけんやバイオディーゼル燃料)」や新エネルギーの利用促進につながることを体感し、学んでもらうことで環境意識の向上を目指します。 | <b>成果実績</b> | 下記の代表的な成果指標のとおりです。 |   |                              |
| <b>代表的な成果指標</b>  | <b>指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br/>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)</b>   | 前年度実績  | 目標          | 実績(達成率)            | → | 【成果の状況】                      |
|  | 菜の花プロジェクト推進事業における菜種の回収団体数   | 31 団体  | 30 団体       | 17 団体              | → | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |
|  | 菜種の播種から収穫まで、地域や市民センター等市民の目に触れる場所で栽培活動に取り組んだ団体数です。この団体数が増えることで、資源循環をより市民に広く伝えることができると考えます。回収した菜種は、搾油の実演に活用します。目標については、小学校区の25%で設定しました。<br>(最終目標と目標年度) 32団体(26年度) |  |             | 56.7 %             |   |                              |
|  | 市民自らの実践による環境意識の向上   | 市民自らの実践による環境意識の向上を目指します。   | 大変順調        | やや遅れ               |   |                              |
| 菜の花の栽培から廃食用油の再利用の一連の流れの中で、「資源循環」や「新エネルギーの利用促進」を体感し、市民自らの実践による環境意識の向上を目指します。<br>(最終目標と目標年度) | 遅れ  |  |             |                    |   |                              |

|             |   |             |                |         |   |                        |
|-------------|---|-------------|----------------|---------|---|------------------------|
| <b>活動計画</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・菜種の配布、回収(保幼・小・中学校、市民センター)</li> <li>・搾油機の貸出、搾油の実演</li> <li>・市民公募イベント「菜の花プロジェクトin河内温泉」春・秋実施</li> <li>・菜の花プロジェクト補助金交付</li> <li>・廃油ステーションの拡大</li> </ul> | <b>活動実績</b> | 活動結果は下記のとおりです。 |         |   |                        |
| <b>活動指標</b> | <b>指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br/>(上段:指標名 下段:指標の説明)</b>  | 前年度実績       | 目標             | 実績(達成率) | → | 【活動の状況】                |
|             | 補助金交付件数   | 5 団体        | 5 団体           | 5 団体    | → | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
|             | 地域や市民センター等市民の目に触れる200㎡以上の土地で、菜の花の栽培から菜種油の利用を実施する市民団体・NPO等の自主的な取り組みに対して、補助金を交付した団体の数です。この団体数が増えることで、資源循環をより市民に広く伝えることができると考えます。目標については、平成22年度及び平成23年度予算要求団体数で設定しました。                         |             |                | 100.0 % |   |                        |
|             |   |             | 大変順調           | やや遅れ    |   |                        |
|             |   | 遅れ          |                |         |   |                        |

### 【Check】評価(分析)

|                  |   |  |
|------------------|---|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <p>【成果の状況】<br/>【活動の状況】<br/>を踏まえた分析</p> <p>「経済性」<br/>「効率性」<br/>の分析</p> | <p>活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。</p> <p>平成23年度は梅雨の時期が早まり、乾燥期間を十分確保することができなかったことなどから、菜種の回収は目標に届きませんでした。活動の状況については、菜種の配布・回収や市民公募イベントの実施、補助金の交付、搾油機の貸出など予定どおりに進んでおり、菜の花を活用した環境学習の輪が広がっています。</p> <p>「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。</p> <p>菜種を無料配布し、それをもとに行う事業であるためコストを減らすことは困難です。しかし、河内温泉でのイベントについてはNPO団体に委託することで、より効率的に低コストで市民に楽しみながら環境学習に参加していただくことができました。</p> |
|------------------|---|--|

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |   |
|---------------|--|---|
| <b>見直し状況等</b> | <p>課題</p> <p>菜の花の栽培等を通じた分かりやすい環境学習により、資源循環を理解しやすく、市民が気軽に取組むことができる活動ではありますが、平成20年度の本格実施以降、助成について広報等を行っても、補助件数が伸び悩んでおり、一定の団体による取組みに限られている傾向にあります。菜種の回収団体も平成24年度は8団体と少ない状況です。当事業のあり方を見直す必要があります。</p> <p>次年度の活動計画(見直し内容)</p> <p>取組団体への助成については、平成26年度中の廃止を目指しますが、他の既存制度を活用するなど、取組団体の活動を支援する手法を検討します。また、菜種の配付・回収事業は早急により方を検討します。予算は事業縮小のため減額します。</p> | <p>その結果目指す成果(次年度の成果目標)</p> <p>菜種回収団体数の目標は、当該事業の見直し中のため数値を計上できません。単独事業としての取組みは縮小する一方で、資源循環や新エネルギーの利用等により低炭素社会を築く仕組みの学びを環境ミュージアムやエコライフステージ等のイベントを通して深め、市民自らの実践による環境意識の向上を目指します。</p> |
|---------------|--|---|

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                |           |             |            |    |          |      |            |       |     |         |
|------------|----------------|-----------|-------------|------------|----|----------|------|------------|-------|-----|---------|
| <b>事業名</b> | 北九州市民環境パスポート事業 |           |             |            |    |          |      | 施策番号       |       |     |         |
|            |                |           |             |            |    |          |      | VI-1-(1)-① |       |     |         |
| <b>コスト</b> | 事業費            | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 3,575 千円 | (備考) | 担当局        | 環境局   |     |         |
|            |                | 13,377 千円 | 17,439 千円   |            | 課長 | 0.05 人   |      | 職員         | 0.2 人 | 担当課 | 循環社会推進課 |
|            |                |           |             |            | 係長 | 0.15 人   |      |            |       | 課長名 | 敷田      |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|           |                    |  |             |                    |
|-----------|--------------------|--|-------------|--------------------|
| <b>目的</b> | 何を(誰を)どのような状態にしたのか | レジ袋発生抑制(リデュース)を図るとともに、市民に楽しみながら環境活動に参加できるきっかけを提供するため、買物の際に参加店でレジ袋を断るとポイントシールがもらえ、20ポイント貯まると参加店で50円の割引券として利用できる「カンパスシール事業」を実施します。 | <b>成果実績</b> | 下記の代表的な成果指標のとおりです。 |
|-----------|--------------------|--|-------------|--------------------|

| 代表的な成果指標 | 指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)                                   | 前年度実績             | 目標     | 実績(達成率) | →      | 【成果の状況】   |
|----------|---|-------------------|--------|---------|--------|-----------|
|          |   | カンパスシールによるレジ袋お断り率 |        |         | 20.0 % |           |
|          | レジ袋のリデュースによるCO2削減効果に結びつくとともに、市民の身近な環境活動への参加状況を表す指標とします。<br><br>(最終目標と目標年度)平成25年度までにレジ袋お断り率25% | 20.3 %            | 25.0 % | 80.0 %  |        |           |
|          | (最終目標と目標年度)   |                   |        |         |        | <b>順調</b> |

|             |  |             |                 |
|-------------|--|-------------|-----------------|
| <b>活動計画</b> | 目標値は、当初目標のお断り率20%を超えて推移しているが、今後も継続して積極的な広報活動を行い、市民の環境活動への参加を働きかけることにより、平成25年度までにお断り率25%を目指して取り組んでいきます。 | <b>活動実績</b> | 活動結果は、下記のとおりです。 |
|-------------|--|-------------|-----------------|

| 活動指標 | 指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明) | 前年度実績   | 目標 | 実績(達成率) | →   | 【活動の状況】   |
|------|--|---------|----|---------|-----|-----------|
|      |  | 広報活動の実施 |    |         | 9 回 |           |
|      | 環境パスポート事業に係る情報誌(カンパスinfo)やイベント等を通じ、広報活動を実施します。 | 9 回     | —  |         |     |           |
|      |  |         |    |         |     | <b>順調</b> |

### 【Check】評価(分析)

|                  |                               |  |   |
|------------------|-------------------------------|--|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | 【成果の状況】<br>【活動の状況】<br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。        | 事業開始時は、9.5%だったレジ袋お断り率は、目標の20%を超えて推移しています。事業者や店舗の統合による参加店の減少、事業者独自のポイント制度定着によるお断り率の伸び悩みなどの課題もありますが、お断り率が20%を超えていることから一定の成果をあげていると考えます。 |
|                  | 「経済性」<br>「効率性」<br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」<br>「同じコストでより高い成果を」<br>得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | カンパスシール事業は、参加店舗のシール購入代金を原資にしており、本市が担う部分は運営・参画支援の部分であるため、経済性・効率性は高いと考えます。  |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |   |   |
|---------------|---|---|
| <b>見直し状況等</b> | 課題  | レジ袋お断り率を向上させるため、継続して市民や事業者に啓発を行う必要があります。            |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)   | その結果目指す成果(次年度の成果目標)                                 |
|               | レジ袋お断り率を向上させるため、市民や事業者に対してイベントやキャンペーン等を通じた啓発活動を強化しますが、広告掲載費など啓発方法の見直しを行い、事業費は縮小します。 | カンパスシール事業をきっかけに、レジ袋発生抑制するための取り組みを推進します。(目標:お断り率25%) |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |             |     |                         |                           |            |  |                |            |
|------------|-------------|-----|-------------------------|---------------------------|------------|--|----------------|------------|
| <b>事業名</b> | 古紙リサイクル推進事業 |     |                         |                           |            |  | 施策番号           | VI-1-(1)-② |
|            | <b>コスト</b>  | 事業費 | 平成23年度執行額<br>260,081 千円 | 平成24年度当初予算額<br>272,213 千円 | 人件費<br>の目安 | 金額<br>2,750 千円<br>課長 0 人 職員 0.3 人<br>係長 0.05 人 | (備考)           | 担当局<br>環境局 |
|            |             |     |                         |                           |            |  | 担当課<br>循環社会推進課 |            |
|            |             |     |                         |                           |            |  | 課長名<br>敷田      |            |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|           |  |             |                 |
|-----------|--|-------------|-----------------|
| <b>目的</b> | 何を(誰を)どのような状態にしたいのか<br>一般廃棄物の減量化・資源化促進のため、以下の事業を通じて、町内会等の市民団体による古紙の集団資源回収活動を支援します。①回収量に応じて市民団体に奨励金を支払う奨励金制度 ②古紙の保管庫を市民団体に貸与する保管庫貸与制度 ③未回収地域の解消を図るため、まちづくり協議会へ回収量に応じた奨励金を支払う地域調整奨励金制度 | <b>成果実績</b> | 成果の状況は下記のとおりです。 |
|-----------|--|-------------|-----------------|

| 代表的な成果指標 | 指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)                           | 前年度実績   | 目標        | 実績 (達成率)                               | →                        | 【成果の状況】 |
|----------|--|---|-----------|--|--------------------------|---------|
|          |  | 年間古紙回収量<br>平成23年に策定した循環型社会形成推進基本計画に掲げたりサイクル率35%以上を目指す為、平成32年度までに1人あたりの古紙回収量の10%増加(対21年度比)を目指します。<br>(最終目標と目標年度)一人あたり10%回収量の増加(平成32年度) | 29,485 トン | 30,500 トン<br><small>(古紙集団資源回収)</small> | 29,106 トン<br><br>95.4 %  |         |
|          | 古紙回収に取り組むまちづくり協議会の増加<br>古紙回収に取り組むまちづくり協議会の増加を目指します。<br>(最終目標と目標年度)全136団体の参加(目標年度の設定なし) | 120 団体  | 136 団体    | 123 団体<br><br>90.4 %                   | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 順調      |

|             |   |             |                |
|-------------|---|-------------|----------------|
| <b>活動計画</b> | 古紙回収団体および回収量の増加を目指し、市政だより、かえるプレス等による古紙回収の周知を図ります。 | <b>活動実績</b> | 下記の活動指標のとおりです。 |
|-------------|---|-------------|----------------|

| 活動指標 | 指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明) | 前年度実績   | 目標  | 実績 (達成率) | →                        | 【活動の状況】 |
|------|---|---|-----|----------|--------------------------|---------|
|      |   | 広報活動の実施<br>市政だより、かえるプレス及び出前講演等による、古紙回収の周知を行います。 | 7 回 | —        | 4 回                      |         |
|      |   |   |     |          | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 順調      |

### 【Check】評価(分析)

|                  |  |  |
|------------------|--|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析<br><br><b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。<br><br>新聞発行部数の減少や電子媒体の普及による古紙の流通量が減少している中、概ね前年度の回収量を維持できたと考えます。引き続き啓発を行い、回収量の増加を図ります。古紙をリサイクルする意識はかなり浸透し、家庭ごみの減量に大きく貢献しており、今後も必要な事業と考えています。<br><br>「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。<br><br>行政回収よりも低コストで、回収業者と自由に契約ができるため利便性も高く、また、奨励金は町内会等の貴重な活動資源であることから、地域コミュニティの活性化を図る上で大きな役割を担っています。 |
|------------------|--|--|

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |   |   |
|---------------|---|---|
| <b>見直し状況等</b> | 課題<br><br>平成23年度は概ね前年度の回収量を維持し、平成24年度についても同等以上の回収量を維持できるものと考えていますが、目標達成に向け、引き続き啓発や周知を行い、家庭ごみでの排出量を減少させ、回収量の増加に向けた取組みを進めていく必要があります。<br><br>次年度の活動計画(見直し内容) | その結果目指す成果(次年度の成果目標)<br><br>前年同様、30,500トン为目标として取組みを行います。 |
|---------------|---|---|



## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                                       |           |             |            |    |              |      |            |         |
|------------|---------------------------------------|-----------|-------------|------------|----|--------------|------|------------|---------|
| <b>事業名</b> | 地域特性型(メニュー選択方式)市民環境活動推進事業(剪定枝リサイクル事業) |           |             |            |    |              |      | 施策番号       |         |
|            |                                       |           |             |            |    |              |      | VI-1-(1)-③ |         |
| <b>コスト</b> | 事業費                                   | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 6,250 千円     | (備考) | 担当局        | 環境局     |
|            |                                       | 9,671 千円  | 10,643 千円   |            | 課長 | 0 人 職員 0.7 人 |      | 担当課        | 循環社会推進課 |
|            |                                       |           |             |            | 係長 | 0.1 人        |      | 課長名        | 敷田      |

| 【Plan】計画 →      |   |   |       | 【Do】実施 → 【Check】評価 |             |   |                              |
|-----------------|---|---|-------|--------------------|-------------|---|------------------------------|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか  | 平成23年8月に策定した北九州市循環型社会形成推進基本計画に掲げている「市民等各主体が主体的・協動的に3R・適正処理に取り組むことを通じた持続可能な都市モデル」を目指すため、地域団体が自主的に行う環境活動を推進します。 |       |                    | <b>成果実績</b> | 平成23年度は、地域団体において79回の剪定枝リサイクル活動を行っており、3R意識の醸成に繋がっています。 |                              |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br/>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)</b> |   | 前年度実績 | 目標                 | 実績(達成率)     | →   | 【成果の状況】                      |
|                 | 3Rの意識醸成   |   | —     | —                  | —           | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ                              | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |
|                 | 地域が自主的に取り組むリサイクル活動により、3Rの意識醸成を行い、市民による環境活動を推進します。<br>(最終目標と目標年度)    |   |       |                    |             |   | 順調                           |
| (最終目標と目標年度)     |   |   |       |                    |             |   |                              |

|             |  |  |       |    |             |                          |                        |
|-------------|--|--|-------|----|-------------|--------------------------|------------------------|
| <b>活動計画</b> | 剪定枝リサイクルを周知するため、広報活動を行います。                             |  |       |    | <b>活動実績</b> | 下記の代表的な成果指標のとおりです。       |                        |
| <b>活動指標</b> | <b>指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br/>(上段:指標名 下段:指標の説明)</b> |  | 前年度実績 | 目標 | 実績(達成率)     | →                        | 【活動の状況】                |
|             | 広報活動の実施  |  | 7 回   | —  | 4 回         | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
|             | 出前講演やパンフレット等を作成するなど、広報活動を実施します。                        |  |       |    |             |                          | 順調                     |
|             |  |  |       |    |             |                          |                        |

| 【Check】評価(分析)    |  |   |  |
|------------------|--|---|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】<br/>【活動の状況】<br/>を踏まえた分析</b> | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 活動は、予定通り行いました。地域回収団体も協力して行い、地域コミュニティの活性化に繋がりました。剪定枝がリサイクルされることにより、ごみ焼却量の削減につながるとともに、循環型社会の推進に寄与していると考えます。      |
|                  | <b>「経済性」<br/>「効率性」<br/>の分析</b>         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | 地域が自主的に取り組むリサイクル活動であり、市民環境力による3R活動を推進する上で必要と考えます。経費の主な使途は、剪定枝の回収と処理費用ですが、回収業務と処理業務を一括契約することにより、コストの削減につとめています。 |

以下、予算案作成時に記入

| 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入  |   |                 |                     |   |   |
|---|---|-----------------|---------------------|---|---|
| <b>見直し状況等</b>   | 課題  |                 |                     |   |   |
|   | 平成22年度は21団体130.42トン、平成23年度は22団体159.17トンの回収・リサイクルを行いました。剪定枝については家庭でのリサイクルが困難であることから、引き続き剪定枝に関するリサイクル活動への支援を行う必要があります。  |                 |                     |   |   |
|   | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">次年度の活動計画(見直し内容)</td> <td style="width: 50%;">その結果目指す成果(次年度の成果目標)</td> </tr> <tr> <td>事業費は現状維持し、引き続き剪定枝のリサイクル活動の支援を行います。なお、回収団体が増加する場合は、複数の団体の回収日を同一日にする等の対応を行い、コストの増加を抑制します。</td> <td>地域の自主的な剪定枝のリサイクル活動を通じ、3Rの意識醸成を行い、市民による環境活動を推進します。</td> </tr> </table> | 次年度の活動計画(見直し内容) | その結果目指す成果(次年度の成果目標) | 事業費は現状維持し、引き続き剪定枝のリサイクル活動の支援を行います。なお、回収団体が増加する場合は、複数の団体の回収日を同一日にする等の対応を行い、コストの増加を抑制します。 | 地域の自主的な剪定枝のリサイクル活動を通じ、3Rの意識醸成を行い、市民による環境活動を推進します。 |
| 次年度の活動計画(見直し内容)   | その結果目指す成果(次年度の成果目標)   |                 |                     |   |   |
| 事業費は現状維持し、引き続き剪定枝のリサイクル活動の支援を行います。なお、回収団体が増加する場合は、複数の団体の回収日を同一日にする等の対応を行い、コストの増加を抑制します。 | 地域の自主的な剪定枝のリサイクル活動を通じ、3Rの意識醸成を行い、市民による環境活動を推進します。   |                 |                     |   |   |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |  |           |             |        |    |               |      |            |         |
|------------|--|-----------|-------------|--------|----|---------------|------|------------|---------|
| <b>事業名</b> | 地域特性型(メニュー選択方式)市民環境活動推進事業(廃食用油リサイクル事業) |           |             |        |    |               |      | 施策番号       |         |
|            |  |           |             |        |    |               |      | VI-1-(1)-③ |         |
| <b>コスト</b> | 事業費                                    | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費の目安 | 金額 | 3,625 千円      | (備考) | 担当局        | 環境局     |
|            |  | 430 千円    | 472 千円      |        | 課長 | 0 人 職員 0.35 人 |      | 担当課        | 循環社会推進課 |
|            |  |           |             |        | 係長 | 0.1 人         |      | 課長名        | 敷田      |
|            |  |           |             |        |    |               |      |            |         |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|   |  |   |       |    |            |             |                                    |  |  |
|---|--|---|-------|----|------------|-------------|------------------------------------|--|--|
| <b>目的</b>   | 何を(誰を)どのような状態にしたのか   | 平成23年8月に策定した北九州市循環型社会形成推進基本計画に掲げている「市民等各主体が主体的・協動的に3R・適正処理に取り組むことに通じた持続可能な都市モデル」を目指すため、地域団体が自主的に行う環境活動を推進します。 |       |    |            | <b>成果実績</b> | 廃食用油の回収に関する認知度が低いため、回収量が少なくなっています。 |  |  |
| <b>代表的な成果指標</b>   | <b>指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)</b><br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方) |   | 前年度実績 | 目標 | 実績(達成率)    | →           | 【成果の状況】                            |  |  |
|   | 3Rの意識醸成  |   | —     | —  | —          |             | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック       |  |  |
|   | 地域が自主的に取り組むリサイクル活動により、3Rの意識醸成を行い、市民による環境活動を推進します。<br>(最終目標と目標年度)     |   |       |    |            |             |                                    |  |  |
|   | 廃食用油回収量  |   | —     | —  | 6,298 ℓ    | 大変順調<br>順調  | やや遅れ                               |  |  |
| 参加団体が市民センター等に設置した回収ボックスを活用し、回収された廃食用油は委託業者によりバイオディーゼル燃料(BDF)にリサイクルし、市のごみ収集車や市営バスの一部で利用しています。このBDFは植物由来の廃食用油から精製されるためカーボンニュートラルであり、CO2削減による地球温暖化防止などの効果がある。またBDFを自動車燃料として使用することで化石燃料を節約することができます。<br>(最終目標と目標年度) |  |   |       |    | やや遅れ<br>遅れ |             |                                    |  |  |

|             |   |  |       |    |             |                    |                        |  |  |
|-------------|---|--|-------|----|-------------|--------------------|------------------------|--|--|
| <b>活動計画</b> | 廃食用油リサイクルを周知するため、広報活動を行います。                             |  |       |    | <b>活動実績</b> | 下記の代表的な成果指標のとおりです。 |                        |  |  |
| <b>活動指標</b> | <b>指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)</b><br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明) |  | 前年度実績 | 目標 | 実績(達成率)     | →                  | 【活動の状況】                |  |  |
|             | 広報活動の実施   |  | 7 回   | —  | 4 回         |                    | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |  |  |
|             | 出前講演や、ちらしを作成するなど、広報活動を実施します。                            |  |       |    |             |                    |                        |  |  |
|             |   |  |       |    |             | 大変順調<br>やや遅れ<br>遅れ | やや遅れ                   |  |  |
|             |   |  |       |    |             |                    |                        |  |  |

### 【Check】評価(分析)

|                  |  |   |  |
|------------------|--|---|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】<br/>【活動の状況】<br/>を踏まえた分析</b> | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 地域が自主的に取り組むリサイクル活動により、コミュニティ活動の活性化が図られており、また、リサイクルされたものが、市民に身近な市のごみ収集車や市営バスの燃料等として利用されていることで、循環型社会の構築にむけた市民啓発のための重要な取り組みの事例として有効ですが、廃食用油の回収量が少ないことから、より一層の広報活動が必要であると考えています。 |
|                  | <b>「経済性」<br/>「効率性」<br/>の分析</b>         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。」  | 現在は、回収拠点も少ないためルート回収などコスト削減の仕組みまでには至っていませんが、現在の拠点を中心にエリアを拡大し、ルート回収が出来るような対象地域を定めて広報活動を行う必要があると考えます。   |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |  |
|---------------|--|--|
| <b>見直し状況等</b> | 課題   | その結果目指す成果(次年度の成果目標)                                |
|               | 平成22年度は6,371ℓ、平成23年度は6,298ℓの回収・リサイクルを行いました。廃食用油については家庭でのリサイクルが困難であることから、引き続き廃食用油に関するリサイクル活動への支援を行う必要があります。 |  |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)  |  |
|               | 積極的な啓発により回収拠点の拡大を図りつつ、回収方法等の見直しを行い、収集運搬コストを削減し、事業費を縮小します。  | 地域の自主的な廃食用油のリサイクル活動を通じ、3Rの意識醸成を行い、市民による環境活動を推進します。 |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |   |           |             |            |    |          |      |            |       |     |         |
|------------|---|-----------|-------------|------------|----|----------|------|------------|-------|-----|---------|
| <b>事業名</b> | 地域特性型(メニュー選択方式)市民環境活動推進事業(生ごみ処理機設置助成事業) |           |             |            |    |          |      | 施策番号       |       |     |         |
|            |   |           |             |            |    |          |      | VI-1-(1)-③ |       |     |         |
| <b>コスト</b> | 事業費                                     | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 1,250 千円 | (備考) | 担当局        | 環境局   |     |         |
|            |   | 1,120 千円  | 2,048 千円    |            | 課長 | 0 人      |      | 職員         | 0.1 人 | 担当課 | 循環社会推進課 |
|            |   |           |             |            | 係長 | 0.05 人   |      | 課長名        | 敷田    |     |         |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |  |   |       |             |             |             |  |                              |  |
|-----------------|--|---|-------|-------------|-------------|-------------|--|------------------------------|--|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか   | 電気式生ごみ処理機の購入を一部助成することにより、家庭から排出される生ごみの資源化・減量化を図ります。 |       |             |             | <b>成果実績</b> | H23年度には、57台の購入助成を行い、生ごみの資源化・減量化に寄与しています。 |                              |  |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br/>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)</b>  |   | 前年度実績 | 目標          | 実績<br>(達成率) | →           | <b>【成果の状況】</b>                           |                              |  |
|                 | 生ごみの減量化  |   | —     | 目標設定はありません。 | 集計中         |             | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ                 | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |  |
|                 | 北九州市循環型社会形成推進基本計画において、家庭ごみ量における生ごみ(厨芥類)の8%削減(対H21年度比)を目指します。<br><br>(最終目標と目標年度) 家庭ごみ量における厨芥類(生ごみ)の8%削減(対H21年度比)[H32年度] (H21年度は、86,044トン) |   |       |             | 順調          |             |  |                              |  |
| (最終目標と目標年度)     |  |   |       |             |             |             |  |                              |  |

|             |  |  |  |  |             |                 |  |  |  |
|-------------|--|--|--|--|-------------|-----------------|--|--|--|
| <b>活動計画</b> | 生ごみの資源化・減量化を推進するため、電気式生ごみ処理機の購入を助成します。 |  |  |  | <b>活動実績</b> | 活動結果は、下記のとおりです。 |  |  |  |
|-------------|--|--|--|--|-------------|-----------------|--|--|--|

|             |  |  |       |       |             |        |                          |                        |  |
|-------------|--|--|-------|-------|-------------|--------|--------------------------|------------------------|--|
| <b>活動指標</b> | <b>指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br/>(上段:指標名 下段:指標の説明)</b> |  | 前年度実績 | 目標    | 実績<br>(達成率) | →      | <b>【活動の状況】</b>           |                        |  |
|             | 電気式生ごみ処理機の助成台数   |  | 71 台  | 100 台 | 57 台        | 57.0 % | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |  |
|             | H23年度は、100台分の生ごみ処理機の購入助成を行います。                         |  |       |       | 順調          |        |                          |                        |  |
|             |  |  |       |       |             |        |                          |                        |  |

### 【Check】評価(分析)

|                  |  |  |   |
|------------------|--|--|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】<br/>【活動の状況】<br/>を踏まえた分析</b> | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 震災後の節電の推進等外的要因により、助成金申請者数は57台でしたが、助成台数である100台の受付はあったことから、電気式生ごみ処理機の普及・啓発という点では一定の成果があったと考えています。               |
|                  | <b>「経済性」<br/>「効率性」<br/>の分析</b>         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 生ごみの減量化は、大規模堆肥化施設等による堆肥化やガス化等が考えられますが、生ごみの分別回収に関するコストや、施設の建設コスト等が発生します。それらと比較して、本事業は低いコストでより高い効果が得られると考えています。 |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |   |                                 |
|---------------|---|---------------------------------|
| <b>見直し状況等</b> | 課題  |                                 |
|               | 平成12年度より助成事業を実施していますが、この間、多くの市民に電気式生ごみ処理機を利用いただいていることから、近年は申請者が減少しています。このことから、他の生ごみリサイクル事業と連携しながら、北九州市循環型社会形成推進基本計画において目標としている家庭ごみ量における生ごみ(厨芥類)の8%削減(対平成21年度比)を目指した取組みを行う必要があります。 |                                 |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)   | その結果目指す成果(次年度の成果目標)             |
|               | 近年、申請者が減少していることから助成台数を減らし、事業費を縮小します。  | 生ごみ処理機の設置を通じ、生ごみ(厨芥類)の削減を目指します。 |



## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                                       |           |             |            |    |          |      |            |     |     |         |
|------------|---------------------------------------|-----------|-------------|------------|----|----------|------|------------|-----|-----|---------|
| <b>事業名</b> | 地域特性型(メニュー選択方式)市民環境活動推進事業(生ごみリサイクル事業) |           |             |            |    |          |      | 施策番号       |     |     |         |
|            |                                       |           |             |            |    |          |      | VI-1-(1)-③ |     |     |         |
| <b>コスト</b> | 事業費                                   | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 9,575 千円 | (備考) | 担当局        | 環境局 |     |         |
|            |                                       | 5,542 千円  | 6,223 千円    |            | 課長 | 0.05 人   |      | 職員         | 1 人 | 担当課 | 循環社会推進課 |
|            |                                       |           |             |            | 係長 | 0.15 人   |      |            |     | 課長名 | 敷田      |
|            |                                       |           |             |            |    |          |      |            |     |     |         |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |  |   |       |                     |         |             |                                       |                              |  |
|-----------------|--|---|-------|---------------------|---------|-------------|---------------------------------------|------------------------------|--|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか   | 生ごみコンポスト化の基礎知識を学ぶとともに、コンポスト化容器活用のコツや問題発生時の対処方法等を習得する講座を実施し、コンポスト化容器を使用することによる生ごみリサイクル活動の普及により、生ごみの資源化・減量化を図ります。 |       |                     |         | <b>成果実績</b> | 多数の市民に対し講座を実施したことにより、環境意識の醸成に繋がっています。 |                              |  |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br/>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)</b>  |   | 前年度実績 | 目標                  | 実績(達成率) | →           | <b>【成果の状況】</b>                        |                              |  |
|                 | 生ごみの減量化  |   |       | 単年度の目標設定はありませ<br>ん。 | 集計中     |             |                                       | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |  |
|                 | 北九州市循環型社会形成推進基本計画において、家庭ごみ量における生ごみ(厨芥類)の8%削減(対H21年度比)を目指します。<br><br>(最終目標と目標年度) 家庭ごみ量における厨芥類(生ごみ)の8%削減(対H21年度比)[H32年度] (H21年度は、86,044トン) |   |       |                     |         |             |                                       |                              |  |
|                 | (最終目標と目標年度)  |   |       |                     |         |             | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ              | <b>大変順調</b>                  |  |

|  |  |         |       |       |             |  |                |                          |  |
|--|--|---------|-------|-------|-------------|--|----------------|--------------------------|--|
| <b>活動計画</b>  | 生ごみコンポスト化容器活用講座を年3回(春・夏・秋)程度実施します。また、地域における生ごみのリサイクル活動を普及させるため、地域生ごみリサイクル講座を実施します。 |         |       |       | <b>活動実績</b> | 下記の活動のほかに、地域における生ごみの普及促進を図るため、地域生ごみリサイクル講座の講師等となる生ごみコンポストアドバイザー(ボランティア)を養成する講座を実施しました。 |                |                          |  |
| <b>活動指標</b>  | <b>指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br/>(上段:指標名 下段:指標の説明)</b>                             |         | 前年度実績 | 目標    | 実績(達成率)     | →  | <b>【活動の状況】</b> |                          |  |
|  | 生ごみコンポスト化容器活用講座等参加者数(延べ数)  |         | 390 名 | 790 名 | 834 名       |  |                | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック   |  |
|  | 生ごみコンポスト化容器の普及と活用を推進するため、生ごみコンポスト化容器活用講座(市主催講座)を実施します。                             |         |       |       | 105.6 %     |  |                |                          |  |
|  | 地域生ごみリサイクル講座実施地域数  |         | 5 地域  | 10 地域 | 14 地域       |  |                | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ |  |
| 生ごみコンポスト化容器の普及と活用を推進するため、地域生ごみリサイクル講座(地域主催講座)を実施します。 |  | 140.0 % |       |       | <b>大変順調</b> |  |                |                          |  |

### 【Check】評価(分析)

|                  |  |  |   |
|------------------|--|--|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】<br/>【活動の状況】<br/>を踏まえた分析</b> | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 個人や地域が自主的に取り組むリサイクル活動であり、かつ生ごみの減量を促進する事業です。生ごみのコンポスト化を行うことにより、家庭ごみの処理経費を抑制する効果もあり、市民の環境意識の醸成に繋がっています。         |
|                  | <b>「経済性」<br/>「効率性」<br/>の分析</b>         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 生ごみの減量化は、大規模堆肥化施設等による堆肥化やガス化等が考えられますが、生ごみの分別回収に関するコストや、施設の建設コスト等が発生します。それらと比較して、本事業は低いコストでより高い効果が得られると考えています。 |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |   |
|---------------|--|---|
| <b>見直し状況等</b> | 課題   | 平成23年度、24年度ともに、実施地域、講座参加者数が増加していますが、北九州市循環型社会形成推進基本計画における生ごみ(厨芥類)の削減目標の達成に向けては、引き続き啓発活動を行い、生ごみのリサイクル活動の普及に努める必要があります。 |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)  | その結果目指す成果(次年度の成果目標)   |
|               | 事業費を現状維持し、引き続き市民向け講座を行うとともに、他の生ごみ関連事業と連携しながら、生ごみの減量化・資源化に向けた啓発を行います。 | 生ごみリサイクルの啓発を行うことにより、生ごみ(厨芥類)の削減を目指します。  |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |              |           |             |            |    |              |      |            |           |
|------------|--------------|-----------|-------------|------------|----|--------------|------|------------|-----------|
| <b>事業名</b> | 自然環境保全活動支援事業 |           |             |            |    |              |      | 施策番号       |           |
|            |              |           |             |            |    |              |      | VI-1-(1)-③ |           |
| <b>コスト</b> | 事業費          | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 1,050 千円     | (備考) | 担当局        | 環境局       |
|            |              | 958 千円    | 1,000 千円    |            | 課長 | 0 人 職員 0.1 人 |      | 担当課        | 環境未来都市推進室 |
|            |              |           |             |            | 係長 | 0.03 人       |      | 課長名        | 塚本        |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|           |  |             |                               |
|-----------|--|-------------|-------------------------------|
| <b>目的</b> | 何を(誰を)どのような状態にしたいのか<br>市民団体等が行う自然環境保全活動やその啓発活動に対して支援を行い、市民の自主的かつ継続的な活動を推進するため、活動費の一部を助成します(1団体10万円以内)。 | <b>成果実績</b> | 14団体の応募があり、14団体に助成することができました。 |
|-----------|--|-------------|-------------------------------|

| 代表的な成果指標    | 指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方) | 前年度実績  | 目標 | 実績(達成率)                | →                        | 【成果の状況】 |
|-------------|---|--|----|------------------------|--------------------------|---------|
|             | 自然環境保全に対する意識向上  | 自然環境保全に対する市民団体などの自発的な活動の促進を図り、市民団体などによる北九州市の環境保全に努めます。<br>(環境保全が目標のため、数値で示すことが困難)<br><br>(最終目標と目標年度) |    | 自発的な活動の促進を図り、環境保全に努めます | %                        |         |
| (最終目標と目標年度) |   |  |    |                        | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 順調      |

|             |  |             |                                   |
|-------------|--|-------------|-----------------------------------|
| <b>活動計画</b> | 市民団体等が行う自然環境保全活動(希少種保全、エコツアー・環境学習の実施、竹林整備及び植樹等)を支援するため、助成を実施します。 | <b>活動実績</b> | それぞれの団体に助成することで、多様な自然環境保全活動を実施できた |
|-------------|--|-------------|-----------------------------------|

| 活動指標        | 指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明) | 前年度実績   | 目標   | 実績(達成率) | →                        | 【活動の状況】 |
|-------------|--|---|------|---------|--------------------------|---------|
|             | 自然環境保全活動の支援                                    | 自然環境保全の分野では市民、地域団体の自主的な活動の活性化が不可欠ですが、資金不足などの問題から活動の開始に踏み切れず、また活動の継続が難しくなっている団体などに対して、毎年一定数(10団体程度)の団体に助成することで、活動の推進が図れます。 | 8 団体 | 10 団体   | 14<br>140.0 %            |         |
| (最終目標と目標年度) |  |   |      |         | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 順調      |

### 【Check】評価(分析)

|           |  |   |  |
|-----------|--|---|--|
| 分析及び課題の整理 | <b>【成果の状況】<br/>【活動の状況】<br/>を踏まえた分析</b> | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 近年、自然環境への意識の高まりにより、様々なNPOや市民ボランティア団体が自然環境保全活動を行っています。しかし、資金不足や人材不足により、活動の開始に踏み切れない団体等があるため、市の支援により、活発化を図る必要があると考えます。また、様々な地域、分野で自然環境保全活動を実施している団体に、助成することで、多様な自然環境保全活動を実施できました。また、市民に対しての啓発活動にも繋がりました。 |
|           | <b>「経済性」<br/>「効率性」<br/>の分析</b>         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | 自然環境保全に関する活動は、市民とりわけ地域団体の自主的な活動が不可欠であり、市が、直接雇用や業者を通じて、保全活動を行うのではなく、ボランティア団体が自然環境保全活動をすることで、コスト削減に繋がります。  |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|        |   |   |
|--------|---|---|
| 見直し状況等 | 課題  | 自然環境保全活動支援事業は、10団体を目安していますが、14団体の応募がありました。分野も、希少種保全、竹林整備、環境学習・啓発など多岐に渡っています。毎年同じ団体の応募もあり活動の継続が可能にはなっていますが、より多くの新規団体の応募を促すことも考慮したいと思えます。 |
|        | 次年度の活動計画(見直し内容)                                     | その結果目指す成果(次年度の成果目標)   |
|        | いろいろな分野での活動団体の応募を促進します。平成25年度からから生物多様性戦略推進事業に統合します。 | 自然環境保全に対する市民団体などの自発的な活動の促進を図り、市民団体などによる北九州市の環境保全に努めます。  |

# P D C A チェックシート (平成23年度実績評価)

|     |                  |           |             |        |    |                 |                   |     |       |
|-----|------------------|-----------|-------------|--------|----|-----------------|-------------------|-----|-------|
| 事業名 | 北九州エコライフステージ開催事業 |           |             |        |    |                 | 施策番号              |     |       |
|     |                  |           |             |        |    |                 | VI-1-(2)-①        |     |       |
| コスト | 事業費              | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費の目安 | 金額 | 7,475 千円        | (備考) 実行委員会形式で事業実施 | 担当局 | 環境局   |
|     |                  | 16,398 千円 | 21,020 千円   |        | 課長 | 0.15 人 職員 0.5 人 |                   | 担当課 | 環境学習課 |
|     |                  |           |             |        | 係長 | 0.2 人           |                   | 課長名 | 石井    |

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|   |  |                                   |                    |         |                          |
|---|--|-----------------------------------|--------------------|---------|--------------------------|
| 目的  | 何を(誰を)どのような状態にしたのか<br>市民一人ひとりが楽しみながら環境活動に参加し、様々なテーマで実践や交流を重ね、また新たな取組を産み出していく「市民環境力」を強化するための情報交流の場・発信の場をつくりまします。  | 成果実績                              | 下記の代表的な成果指標のとおりです。 |         |                          |
| 代表的な成果指標  | 指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)  | 前年度実績                             | 目標                 | 実績(達成率) | → 【成果の状況】                |
|   | エコライフステージ参加者数  | 66.5 万人                           | 66.5 万人以上          | 73.9 万人 | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ |
|   | 参加者数とは、各地域が主体となって実施される「地域・テーマ別事業」の参加者数と、シンボル事業「エコライフステージ」(市民・企業・NPO・行政等が集結し、日ごろの環境活動やエコライフを提案するイベント)の来場者数の合計数です。市民の環境活動への参加が市民の環境力につながると考え、設定しました。<br>(最終目標と目標年度) 66.5万人以上(28年度) |                                   |                    | 111.1 % |                          |
|   | 市民・企業・行政等の交流によるネットワーク構築と拡大   | 市民・企業・行政等の交流によるネットワーク構築と拡大を目指します。 |                    |         |                          |
| 「市民環境力」を強化するための情報交流の場・発信の場づくりを推進します。具体的には、環境に配慮したイベント運営の実施、環境をテーマとしたポータルサイトの運営・効果的かつタイムリーな情報発信を行います。<br>(最終目標と目標年度) |  |                                   |                    |         |                          |

|      |   |        |                |         |                          |
|------|---|--------|----------------|---------|--------------------------|
| 活動計画 | 環境情報の収集・発信を効果的に行い、参加者数の拡大を図ることで、市民の力で環境力を高める仕組みづくりを推進します。また、事業実施にあたっては、行政コスト削減の観点から、協賛金収入増加に向けて取り組みます。  | 活動実績   | 活動結果は下記のとおりです。 |         |                          |
| 活動指標 | 指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明)  | 前年度実績  | 目標             | 実績(達成率) | → 【活動の状況】                |
|      | エコライフステージ行事数  | 155 行事 | 180 行事         | 189 行事  | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ |
|      | 行事数とは、各地域が主体となって実施される「地域・テーマ別事業」及びシンボル事業「エコライフステージ」(市民・企業・NPO・行政等が集結し、日ごろの環境活動やエコライフを提案する環境イベント)の行事合計数です。地域で行われている環境活動の行事数増加が市民の環境力につながると考え、設定しました。 |        |                | 105.0 % |                          |
|      |   |        |                | 大変順調    |                          |
|      |   |        |                |         |                          |

## 【Check】評価(分析)

|           |                               |   |  |
|-----------|-------------------------------|---|--|
| 分析及び課題の整理 | 【成果の状況】<br>【活動の状況】<br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 成果の状況・活動の状況ともに順調です。同時開催イベントや周辺施設との連携により年々拡がりを見せ、平成23年度の参加者数は過去最高を記録しました。エコライフステージ開催10周年を迎え、広報を強化したことが有効だったと考えられます。また、東日本大震災の復興支援企画を通じ、市民等があらためてこれまでの生活や暮らし方を見直すきっかけとなったと判断しています。                                 |
|           | 「経済性」<br>「効率性」<br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | 本事業は、主に市の負担金と協賛金で成り立っており、事業実施にあたって、毎年、市のコストを見直すとともに、協賛金等の収入の増加を図っています。平成23年度の協賛社数は昨年より1社増加して48社でしたが、協賛金の割合は、14.2%(昨年度は15.8%)で昨年度より減少しました。東日本大震災による経済低迷等による影響が原因と考えられますが、今後も行政コスト削減の観点から引き続き協賛金収入増加に向けて取り組んでいきます。 |

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|        |  |  |  |
|--------|--|--|--|
| 見直し状況等 | 課題   | エコライフステージ参加者数や行事数など、平成23年度の成果指標及び活動指標は、ともに目標値を上回りました。「市民環境力」をさらに強化するための情報交流の場・発信の場づくりとして市民・企業等のネットワーク構築と拡大を目指していきます。本事業を支える事業費については、毎年市のコストを見直すとともに、環境未来都市推進の原動力となる協賛金収入増加に向けて取り組んでいるところですが、平成24年度の反応からも経済低迷等による影響が懸念されます。 |  |
|        | 次年度の活動計画(見直し内容)  | その結果目指す成果(次年度の成果目標)  |  |
|        | 平成24年度は、「市民環境力」を強化するための情報交流の場・発信の場づくりとして、環境をテーマとしたポータルサイトのリニューアルを行っています。平成25年度以降はそれを活用し、環境情報の収集・発信を効果的に行い、参加者数の拡大を図ることで、市民環境力を高める仕組みづくりを推進します(現状維持)。 | 上記で掲げている成果指標及び活動指標の目標値を維持するとともに、市民・企業・行政等のネットワーク構築とさらなる拡大を目指します。平成25年度の「エコライフステージ参加者数」は前年度以上の参加者数を目指します。   |  |



# PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                          |           |             |            |    |          |      |            |       |     |       |
|------------|--------------------------|-----------|-------------|------------|----|----------|------|------------|-------|-----|-------|
| <b>事業名</b> | 環境ミュージアム及び北九州エコハウス維持管理事業 |           |             |            |    |          |      | 施策番号       |       |     |       |
|            |                          |           |             |            |    |          |      | VI-1-(2)-① |       |     |       |
| <b>コスト</b> | 事業費                      | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 5,475 千円 | (備考) | 担当局        | 環境局   |     |       |
|            |                          | 73,621 千円 | 73,477 千円   |            | 課長 | 0.15 人   |      | 職員         | 0.3 人 | 担当課 | 環境学習課 |
|            |                          |           |             |            | 係長 | 0.15 人   |      |            |       | 課長名 | 石井    |

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |  |   |           |                     |                          |                              |                |  |  |
|-----------------|--|---|-----------|---------------------|--------------------------|------------------------------|----------------|--|--|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか   | 市民や国内外の人々が、環境ミュージアムで開かれるイベントや、出張環境ミュージアムに参加し、気軽に「環境」について、見て・感じて・学べ、交流・協働できるようになることを目指します。 |           |                     |                          | <b>成果実績</b>                  | 成果の状況は下記の通りです。 |  |  |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)  | 前年度実績   | 目標        | 実績 (達成率)            | →                        | 【成果の状況】                      |                |  |  |
|                 | 環境ミュージアム利用者数   | 111,919 人   | 148,000 人 | 104,973 人<br>70.9 % |                          | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |                |  |  |
|                 | 環境教育・学習の中心的な役割を果たし、市内のみならず、国内外、さらに子どもから社会人、お年寄りまでの幅広い年齢層が集まる場であるため、指標としました。掲げた数値は、指定管理者の目標数値です。<br>(最終目標と目標年度) 25年度 157,000人 |   |           |                     | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | やや遅れ                         |                |  |  |

|             |   |             |  |                  |                          |                        |
|-------------|---|-------------|--|------------------|--------------------------|------------------------|
| <b>活動計画</b> | 老朽化した展示内容の更新、IT技術を活用し、より楽しく、分かりやすい展示案内を目指します。また市内の豊富な環境素材を利用し「いつでも・だれでも・どこでも」環境について学ぶことができる中核施設としての役割を果たすべく、壁面緑化や風力発電機など低炭素社会の「見える化」「感じる化」を進め、イベントや出張環境ミュージアムを行うことで集客を図ります。 | <b>活動実績</b> | 成果の状況は以下のとおりです。館内の改修に伴い、回数が例年に比べ若干減りました。 |                  |                          |                        |
| <b>活動指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明)  | 前年度実績       | 目標                                       | 実績 (達成率)         | →                        | 【活動の状況】                |
|             | イベントや企画展の開催件数   | 135         | 100 回                                    | 130 回<br>130.0 % |                          | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
|             | スタッフ・環境学習サポーターの出張環境ミュージアム回数   | 128 回       | 100 回                                    | 123 回<br>123.0 % | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 大変順調                   |

## 【Check】評価(分析)

|                  |                                       |   |  |
|------------------|---------------------------------------|---|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】<br/>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 集客状況は目標に達することはできませんでしたが、アンケート結果によると100%の方が満足していることがうかがえました。これは体験を通して環境についての理解を深めることができ、対話を通して学ぶことで意識に残るからであると考えます。スタッフが独自に展開する企画展やイベント等も交流や情報発信という意味では効果的であったと考えます。出張環境ミュージアムなど館外活動を増やすことで広報活動も同時にでき、集客も見込めるのではないかと考えます。 |
|                  | <b>「経済性」<br/>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。   | 環境学習を中心とする本館では、日ごろから廃材の再利用に力を入れています。企画展やイベント等でも裏紙や廃材を使い、手作りによる資料や材料を準備しています。環境学習サポーターによるエコ工作なども同じことが言えます。今後も節電など環境に配慮した方法で活動を行っていきます。又、指定管理者制度を既に導入し、経済性・効率性にも最大限取り組んでいます。   |

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |   |
|---------------|--|---|
| <b>見直し状況等</b> | 課題   |   |
|               | 平成23年度に改修を行ったこともあり、平成24年度の来館者数は増加しています。12月末現在で104,841人の方に来館していただきました。昨年度同時期と比べると約2割増加しています。新たに新設された「北九州 地球の道」の利用者も三ヶ月で367人であり、今後も期待できます。さらに魅力的なミュージアムにするために指定管理者と協議し、リピーターを増やすために魅力あるプログラムを開発するなどサービスの向上に努めます。 |   |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)  | その結果目指す成果(次年度の成果目標)   |
|               | 「北九州 地球の道」という新たな体験学習プログラム及びAR(拡張現実)を活用した展示を、有効に活用し、多くの方に来館していただき、環境未来都市の環境学習施設の核という役割を果たしていきます。「地球の道」を積極的に活用した事業を行います。(事業費は現状維持)   | 平成24年度の環境ミュージアムの利用者数は、現在の状況から類推すると、2割増の約12万6千人の利用が見込まれます。平成25年度は地球の道を大いに活用し、前年度比増の157,000人利用を目指します。 |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |            |           |             |               |    |          |              |     |       |     |       |
|------------|------------|-----------|-------------|---------------|----|----------|--------------|-----|-------|-----|-------|
| <b>事業名</b> | ESD推進事業    |           |             |               |    |          | 施策番号         |     |       |     |       |
|            |            |           |             |               |    |          | VI-1-(2)-(2) |     |       |     |       |
| <b>コスト</b> | <b>事業費</b> | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | <b>人件費の目安</b> | 金額 | 6,550 千円 | (備考)         | 担当局 | 環境局   |     |       |
|            |            | 10,000 千円 | 15,000 千円   |               | 課長 | 0.2 人    |              | 職員  | 0.3 人 | 担当課 | 環境学習課 |
|            |            |           |             |               | 係長 | 0.2 人    |              |     |       | 課長名 | 石井    |
|            |            |           |             |               |    |          |              |     |       |     |       |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|           |   |             |   |
|-----------|---|-------------|---|
| <b>目的</b> | 「世界の環境首都」の実現を目指し、その基盤となる「持続可能な社会」の構築を図るため、国連など世界規模で進められている「持続可能な開発のための教育(ESD)」を、北九州ESD協議会を中心に、市民、NPO、企業、大学等と連携して進めます。また、それらの活動や本市のこれまでの取組みを国内外に向けて広く情報発信し、世界的な環境教育・開発教育の拠点を目指します。 | <b>成果実績</b> | 様々な団体による協議会への参画により、まちづくりを支える人材育成が徐々に広まりつつあります。<br>一方で、抽象的であるESDの概念を、分かりやすく普及するためのさらなる工夫をすることにより、市民への浸透を目指します。 |
|-----------|---|-------------|---|

|                 | 指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)  | 前年度実績 | 目標          | 実績 (達成率) | →      | 【成果の状況】                      |
|-----------------|---|-------|-------------|----------|--------|------------------------------|
| <b>代表的な成果指標</b> | 市民のESD活動の認識の向上と活動の普及<br>ESDとは、あらゆる人々が地域等の様々な課題とそのつながりに気付き、地域で既に実践している活動等に、持続可能性という視点を加えて、暮らしや社会のあり方を変えていくための学びあいの場、人づくりの場のことです。本市が目指す環境未来都市及び世界の環境首都を実現するためには、このESDの視点が不可欠です。一方で、ESD活動は多種多様にわたっていることから、活動数を把握し、数値で表すことは困難です。<br>(最終目標と目標年度) |       | 認識の向上と活動の普及 | —        |        | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |
|                 | 市民意識調査におけるESD認知度<br>活動を推進する上で、まずはESDについての認知度を高めるための取組みが重要であり、認知度の把握は不可欠であることから、「市民意識調査」内のESDについての認知度を指標として設定しました。<br>(最終目標と目標年度)(20% 平成26年度)  |       | 8 %         | 4.1 %    | 51.3 % |                              |

|             |  |             |  |
|-------------|--|-------------|--|
| <b>活動計画</b> | 2014年に、日本で開催予定の「ESDの10年・最終年会合」において、ESD活動の推進拠点であるRCE地域のひとつとして、普及啓発活動を一層活性化させるため、これまでの取組みに加え、<br>○国内外のRCE、ESD関係との連携及び協議会内の活動団体の連携・パートナーシップを図るとともに、新たな活動団体の開拓を行う国際的かつ精通した人材の登用<br>○地域におけるESDコーディネーターの育成<br>○広報誌の作成、子ども向けESD教材の普及 などを行います。 | <b>活動実績</b> | ESDの主旨をふまえ、生涯学習の取組みの一つとして展開するため、教育委員会と連携を図りながら、社会教育主事・主事補にESD研修を実施するとともに、ユネスコスクールの登録推進を図りました。また、市民への普及を図るため、出前講演等を通じた市民センターなどにおける拠点事業の展開や、啓発リーフレットの作成・配布の支援を行いました。 |
|-------------|--|-------------|--|

|             | 指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明)   | 前年度実績 | 目標    | 実績 (達成率) | →       | 【活動の状況】                  |
|-------------|---|-------|-------|----------|---------|--------------------------|
| <b>活動指標</b> | RCE活動実績   |       | 4 回   | 5 回      | 5 回     | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック   |
|             | 全世界で活動しているESD推進の地域拠点であるRCEとの交流等を国際的な活動の指標として設定しました。   |       |       |          | 100.0 % |                          |
|             | 活動団体登録数<br>本市のESD活動の中心となっているESD協議会への登録団体数を、活動の指標として設定しました。目標については、環境モデル都市地域推進協議会メンバー(約380団体)の2割程度の数字としています。 | 66 団体 | 70 団体 | 72 団体    | 102.9 % | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ |

### 【Check】評価(分析)

|                  |  |   |
|------------------|--|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析<br>活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 協議会の活動である4つのプロジェクト(地域ネット、調査・研究、広報、ユース)において、事業計画にもとづき着実に事業を実施し、成果発表の場である活動報告会では、協議会登録団体以外の市民を含め、参加者が150人を超えるなどの実績を残すことができました。また、協議会事務局体制の強化により、ESD推進における重要な役割を担う大学間の連携及び国内外との交流を図ることができました。今後さらに普及啓発を図るため、学校・地域での活動推進、ESD推進を担う人材育成、分かりやすく実践につながる普及啓発の手法の研究等の取組強化が求められます。 |
|                  | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析<br>「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。           | 負担金の増額(H22年度から3,000千円の増)を行うことで、世界的なESD動向にかかる調査・情報収集及び国際会議等への参加、資料作成など、ESDに関する国際的な推進体制の強化を図ることができ、費用対効果は非常に高いものとなりました。   |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |  |
|---------------|--|--|
| <b>見直し状況等</b> | 課題<br>ESDの概念が広範で抽象的であることなどから、市民意識調査におけるESD認知度が目標に達していません。今後は、抽象的であるESDの概念を、分かりやすく普及するための工夫を行い、地域におけるESD活動の認知度を向上させることが課題です。  |  |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)  | その結果目指す成果(次年度の成果目標)  |
|               | 本市のESD活動の中心となる北九州ESD協議会における普及啓発活動を推進するための体制強化を図る負担金を交付する(現状維持)とともに、地域活動の普及の核となるコーディネーターの養成を行います。また、市制50周年記念事業として、アジア太平洋地域におけるRCEが集結する「アジア太平洋RCE会議」を開催するため、平成25年度はその開催経費を計上します(拡充)。 | これまで、ESDを認知していなかった市民が、新たにESDの考え方を認識し、活動に参加できるよう、地域における活動の普及に努めます。<br>平成25年度の市民意識調査における「ESD認知度」については、「前年度以上の認知度確保」を目指します。 |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |            |                       |                         |            |    |                  |     |            |       |
|------------|------------|-----------------------|-------------------------|------------|----|------------------|-----|------------|-------|
| <b>事業名</b> | 北九州市環境首都検定 |                       |                         |            |    |                  |     | 施策番号       |       |
|            |            |                       |                         |            |    |                  |     | VI-1-(2)-② |       |
| <b>コスト</b> | 事業費        | 平成23年度執行額<br>6,117 千円 | 平成24年度当初予算額<br>7,361 千円 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 6,600 千円 (備考)    | 担当局 | 環境局        |       |
|            |            |                       |                         |            | 課長 | 0.15 人 職員 0.25 人 |     | 担当課        | 環境学習課 |
|            |            |                       |                         |            | 係長 | 0.3 人            |     |            | 課長名   |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |  |  |             |                |                          |                              |
|-----------------|--|--|-------------|----------------|--------------------------|------------------------------|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか   | <ul style="list-style-type: none"> <li>検定の実施により市民の環境についての学習機会を増やし、環境意識のレベルアップや環境に関心を持つ市民の裾野を広げます。</li> <li>市民をはじめ、人々が北九州市の環境について精通するようにします。</li> </ul> | <b>成果実績</b> | 成果の状況は下記の通りです。 |                          |                              |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)  | 前年度実績  | 目標          | 実績 (達成率)       | →                        | 【成果の状況】                      |
|                 | 北九州市環境首都検定の受検者数<br>北九州市環境首都検定の受検者数を増加させ、環境について自己啓発に励む市民の創出を目指します。<br>単年度受検者数における達成目標<br>[目標]H25年度: 3,000人 (H23: 1,500人) [実績(達成率)]1,879人 (125.3%)<br>累計受検者数における達成目標<br>[目標]H20~H25年度: 9,000人 [実績(達成率)]H20~H23年度: 4,225人 (47%) | 1,058 人  | 1,500 人     | 1,879 人        | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |
|                 | (最終目標と目標年度)  |  |             | 125.3 %        |                          | <b>大変順調</b>                  |
|                 |  |  |             |                |                          |                              |

|                                      |   |             |   |          |                          |                        |
|--------------------------------------|---|-------------|---|----------|--------------------------|------------------------|
| <b>活動計画</b>                          | 目標の達成と、検定制度の定着化に向けて、平成23年度も検定PRIに力を入れます。また、前回受検者に対して受検を呼びかけるなど、効果的なPRを実施します。                                | <b>活動実績</b> | 検定リピーターと新規受検者をバランスよく募ることで、目標値を大きく上回る受検者数を達成できました。 |          |                          |                        |
| <b>活動指標</b>                          | <b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明)  | 前年度実績       | 目標  | 実績 (達成率) | →                        | 【活動の状況】                |
|                                      | 受検啓発の実施   | 2 日         | 5 日   | 4 日      | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
|                                      | 北九州市環境首都検定の受検者数を増加させ、環境について自己啓発に励む市民の創出を目指す。市民カレッジでは「環境首都検定合格応援講座」を実施し講義形式で検定対策を行い、エコライフステージでは検定のPR活動を行います。 |             |   | 80.0 %   |                          |                        |
|                                      | 団体受検増加への取り組み  | 78 団体       | 90 団体   | 105 団体   | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | <b>順調</b>              |
| 学校や企業、市民団体等、グループで受検することで、受検者増を促進します。 | 116.7 %   |             |   |          |                          |                        |

### 【Check】評価(分析)

|                 |   |   |  |
|-----------------|---|---|--|
| <b>分析及課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 受検者数の増加 → 当初の目標数値を上回る1,879人(ジュニア編は86人、一般編は1,793人)と前年度に比べて検定受検者数は大きく増加しました。学校や会社、家族などグループでの参加もあり、受検者は子どもから年長者まであらゆる年齢層にわたりました。全体的な受検者数は増加しているものの、ジュニア編の受検者数が昨年度(231人)に比べ減少していました。これは、日曜日の学校参加が難しいためであると考えられます。今後、学校の受検参加が容易となるような制度の構築を進めていきます。 |
|                 | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | 本検定制度が好調な成果をあげているのは受検料が無料によるところが大きいと考えられます。しかしながら、今後は、受検者数の増加に伴うコスト増など課題も出てくると考えられます。民間を活用した効率的な運営方法などを検討していきたいと思えます。  |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |   |  |
|---------------|---|--|
| <b>見直し状況等</b> | 課題<br>平成23年度は、代表的な成果指標に設定している受検者数が単年度目標を上回るなど、順調な成果を得ることができました。但し、ジュニア層の受検者が少ないので、小学校での受検制度を設けるなどあらゆる層の受検増を目指します。 | その結果目指す成果(次年度の成果目標)<br>単年度目標の受検者数3,000人を目指します。 |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)<br>これまでの取組を継続しながら、市内各小学校での本検定の受検の推進を行います。小学校での受検推進に対応するため、事業費を拡充します(拡充)。                          |  |



## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                  |           |             |        |    |          |                      |            |       |     |       |
|------------|------------------|-----------|-------------|--------|----|----------|----------------------|------------|-------|-----|-------|
| <b>事業名</b> | 北九州エコライフステージ開催事業 |           |             |        |    |          |                      | 施策番号       |       |     |       |
|            |                  |           |             |        |    |          |                      | VI-1-(2)-② |       |     |       |
| <b>コスト</b> | 事業費              | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費の目安 | 金額 | 7,475 千円 | (備考)<br>実行委員会形式で事業実施 | 担当局        | 環境局   |     |       |
|            |                  | 16,398 千円 | 21,020 千円   |        | 課長 | 0.15 人   |                      | 職員         | 0.5 人 | 担当課 | 環境学習課 |
|            |                  |           |             |        | 係長 | 0.2 人    |                      |            |       | 課長名 | 石井    |
|            |                  |           |             |        |    |          |                      |            |       |     |       |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|           |                     |   |             |                    |
|-----------|---------------------|---|-------------|--------------------|
| <b>目的</b> | 何を(誰を)どのような状態にしたいのか | 市民一人ひとりが楽しみながら環境活動に参加し、様々なテーマで実践や交流を重ね、また新たな取組を産み出していく「市民環境力」を強化するための情報交流の場・発信の場をつくり出す。 | <b>成果実績</b> | 下記の代表的な成果指標のとおりです。 |
|-----------|---------------------|---|-------------|--------------------|

| 代表的な成果指標                   | 指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)  | 前年度実績  | 目標                                | 実績 (達成率)  | →                        | 【成果の状況】 |
|----------------------------|---|--|-----------------------------------|-----------|--------------------------|---------|
|                            | エコライフステージ参加者数   | 参加者数とは、各地域が主体となって実施される「地域・テーマ別事業」の参加者数と、シンボル事業「エコライフステージ」(市民・企業・NPO・行政等が集結し、日ごろの環境活動やエコライフを提案するイベント)の来場者数の合計数です。市民の環境活動への参加が市民の環境力につながると考え、設定しました。<br>(最終目標と目標年度) 66.5万人以上(28年度) | 66.5 万人                           | 66.5 万人以上 | 73.9 万人<br>111.1 %       |         |
| 市民・企業・行政等の交流によるネットワーク構築と拡大 | 「市民環境力」を強化するための情報交流の場・発信の場づくりを推進します。具体的には、環境に配慮したイベント運営の実施、環境をテーマとしたポータルサイトの運営・効果的かつタイムリーな情報発信を行います。<br>(最終目標と目標年度) |  | 市民・企業・行政等の交流によるネットワーク構築と拡大を目指します。 |           | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 大変順調    |

|             |  |             |                |
|-------------|--|-------------|----------------|
| <b>活動計画</b> | 環境情報の収集・発信を効果的に行い、参加者数の拡大を図ることで、市民の力で環境力を高める仕組みづくりを推進します。また、事業実施にあたっては、行政コスト削減の観点から、協賛金収入増加に向けて取り組みます。 | <b>活動実績</b> | 活動結果は下記のとおりです。 |
|-------------|--|-------------|----------------|

| 活動指標 | 指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明) | 前年度実績   | 目標     | 実績 (達成率) | →                        | 【活動の状況】 |
|------|---|---|--------|----------|--------------------------|---------|
|      | エコライフステージ行事数                                      | 行事数とは、各地域が主体となって実施される「地域・テーマ別事業」及びシンボル事業「エコライフステージ」(市民・企業・NPO・行政等が集結し、日ごろの環境活動やエコライフを提案する環境イベント)の行事合計数です。地域で行われている環境活動の行事数増加が市民の環境力につながると考え、設定しました。 | 155 行事 | 180 行事   | 189 行事<br>105.0 %        |         |
|      |   |   |        |          | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 大変順調    |

### 【Check】評価(分析)

|                  |  |   |
|------------------|--|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <p>【成果の状況】<br/>【活動の状況】<br/>を踏まえた分析</p> <p>活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。</p> | <p>成果の状況・活動の状況ともに順調です。同時開催イベントや周辺施設との連携により年々拡がりを見せ、平成23年度の参加者数は過去最高を記録しました。エコライフステージ開催10周年を迎え、広報を強化したことが有効だったと考えられます。また、東日本大震災の復興支援企画を通じ、市民等があらためてこれまでの生活や暮らし方を見直すきっかけとなったと判断しています。</p> <p>「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。</p> <p>本事業は、主に市の負担金と協賛金で成り立っており、事業実施にあたって、毎年、市のコストを見直すとともに、協賛金等の収入の増加を図っています。平成23年度の協賛社数は昨年より1社増加して48社でしたが、協賛金の割合は、14.2%(昨年度は15.8%)で昨年度より減少しました。東日本大震災による経済低迷等による影響が原因と考えられますが、今後も行政コスト削減の観点から引き続き協賛金収入増加に向けて取り組んでいきます。</p> |
|------------------|--|---|

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |   |  |
|---------------|---|--|
| <b>見直し状況等</b> | <p>課題</p> <p>エコライフステージ参加者数や行事数など、平成23年度の成果指標及び活動指標は、ともに目標値を上回りました。「市民環境力」をさらに強化するための情報交流の場・発信の場づくりとして市民・企業等のネットワーク構築と拡大を目指していきます。本事業を支える事業費については、毎年市のコストを見直すとともに、環境未来都市推進の原動力となる協賛金収入増加に向けて取り組んでいるところですが、平成24年度の反応からも経済低迷等による影響が懸念されます。</p> | <p>その結果目指す成果(次年度の成果目標)</p> <p>平成24年度は、「市民環境力」を強化するための情報交流の場・発信の場づくりとして、環境をテーマとしたポータルサイトのリニューアルを行っています。平成25年度以降はそれを活用し、環境情報の収集・発信を効果的に行い、参加者数の拡大を図ることで、市民環境力を高める仕組みづくりを推進します(現状維持)。</p> <p>上記で掲げている成果指標及び活動指標の目標値を維持するとともに、市民・企業・行政等のネットワーク構築とさらなる拡大を目指します。平成25年度の「エコライフステージ参加者数」は前年度以上の参加者数を目指します。</p> |
|---------------|---|--|



# PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |             |           |             |        |    |          |                      |     |        |     |       |
|------------|-------------|-----------|-------------|--------|----|----------|----------------------|-----|--------|-----|-------|
| <b>事業名</b> | こども環境学習推進事業 |           |             |        |    |          | 施策番号                 |     |        |     |       |
|            |             |           |             |        |    |          | VI-1-(2)-②           |     |        |     |       |
| <b>コスト</b> | 事業費         | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費の目安 | 金額 | 5,600 千円 | (備考)<br>実行委員会形式で事業実施 | 担当局 | 環境局    |     |       |
|            |             | 2,271 千円  | 9,050 千円    |        | 課長 | 0.15 人   |                      | 職員  | 0.25 人 | 担当課 | 環境学習課 |
|            |             |           |             |        | 係長 | 0.2 人    |                      |     |        | 課長名 | 石井    |

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|   |   |             |                             |          |                          |                              |
|---|---|-------------|-----------------------------|----------|--------------------------|------------------------------|
| <b>目的</b>   | 何を(誰を)どのような状態にしたいのか<br>本市の未来を担う子どもたちを対象に環境教育副読本及び環境教育ワークブック「みどりのノート」を作成、配布することで、環境学習を体系的、計画的に実施し、環境意識の高い児童、生徒の育成を目指します。また、こどもエコクラブへの登録呼びかけや活動サポート等による啓発授業の実施等を行い、環境学習の機会を提供します。 | <b>成果実績</b> | 子どもたちが楽しみながら活動する姿が多く見られました。 |          |                          |                              |
| <b>代表的な成果指標</b>   | <b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)   | 前年度実績       | 目標                          | 実績 (達成率) | →                        | 【成果の状況】                      |
|   | こどもエコクラブ登録団体数   | 35 団体       | 40 団体                       | 36 団体    | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |
|   | 3才から高校生までの子どもたちが、地域の中での主体的な環境学習や実践活動を通じて、将来にわたり環境を大切にすることを意識を持ち、環境にやさしい暮らし方を実践することを目的としたこどもエコクラブに登録し、活動を展開している団体数を指標としました。目標値は福岡県における登録団体(およそ100団体)の4割を設定しました。<br>(最終目標と目標年度)   |             |                             | 90.0 %   |                          |                              |
|   | 児童・生徒の環境意識の向上   |             |                             |          |                          | 順調                           |
| 環境ミュージアムに来館する児童・生徒からのお礼の作文や引率教員のアンケート結果などから、児童・生徒の環境意識の向上を確認しています。又、民間団体が毎年主催している児童・生徒対象の「環境作文」からも確認を行っています。<br>(最終目標と目標年度) |   |             |                             |          |                          |                              |

|             |  |             |   |          |                          |                        |
|-------------|--|-------------|---|----------|--------------------------|------------------------|
| <b>活動計画</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>こどもエコクラブの推進</li> <li>環境教育ワークブック「みどりのノート」の配布</li> <li>環境カードゲームの作成、配布</li> </ul>                          | <b>活動実績</b> | こどもエコクラブについては夏の交流会や壁新聞教室の実施や環境イベントへ参加しました。<br>環境教育ワークブック「みどりのノート」については、市内の全小学生、教員を対象に配布し、平成24年度分「みどりのノート」増刷しました。<br>環境カードゲームについては、イベントなどにおいて紹介しました。 |          |                          |                        |
| <b>活動指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明)   | 前年度実績       | 目標  | 実績 (達成率) | →                        | 【活動の状況】                |
|             | こどもエコクラブのイベント・広報活動数  | 6 回         | 6 回   | 7 回      | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
|             | すでに活動している子どもたちへの交流・学習機会を提供すべく、イベントを開催し、こどもエコクラブの意義を多くの市民に周知するため、チラシを配ったり、環境カードゲームを活用した広報活動を展開した回数を指標とします。目標数は2か月に1回の割合で行うことを目標とするため6回に設定しています。 |             |   | 116.7 %  |                          |                        |
|             |  |             |   |          |                          | 大変順調                   |
|             |  |             |   |          |                          |                        |

## 【Check】評価(分析)

|                  |   |   |
|------------------|---|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <p><b>【成果の状況】</b><br/><b>【活動の状況】</b><br/>を踏まえた分析</p> <p>活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。</p> | <p>イベントや広報活動は、年間を通して7回の活動ができ大変順調であると考えます。広報活動により新規に3団体の加入がありました。新規加入したクラブも夏の交流会やエコツアーなどに積極的に参加しました。環境カードゲームは、環境イベント等で活用し、たくさんの子どもたちが体験することができました。知名度も上がっていると思います。</p>       |
|                  | <p>「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。</p>   | <p>「こどもエコクラブ」は「日本環境協会」が中心となって活動しています。本市は地方事務局として活動しているため事務的な処理は少なく、活動自体もクラブ主体で行うなど効率的に動いています。市としては、夏の交流会や壁新聞教室等を開催したり、エコクラブ便りを作成したり、低コストでお互いの交流が図れており、現状のままの取組でよいと考えます。</p> |

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |   |
|---------------|--|---|
| <b>見直し状況等</b> | <p>課題</p> <p>教育委員会と連携して、子どもへの環境学習が体系的、計画的に実施されています。みどりのノートや副読本については、現場の先生方のご意見を伺い方向性を定めていきます。こどもエコクラブについては、全国的に登録数が減少しており、本市も登録だけで活動していない団体数を整理した結果、平成24年度は20団体に減りました。登録数増が課題です。</p> |   |
|               | <p>次年度の活動計画(見直し内容)</p> <p>こどもエコクラブの市主催の行事を減らすため、事業費全体としては縮小しますが、イベント等への参加、PRは続けていきます。</p>  | <p>その結果目指す成果(次年度の成果目標)</p> <p>こどもエコクラブの登録団体数は、25団体を目指します。</p> |

# PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                          |           |             |            |        |                 |            |       |    |
|------------|--------------------------|-----------|-------------|------------|--------|-----------------|------------|-------|----|
| <b>事業名</b> | 環境ミュージアム及び北九州エコハウス維持管理事業 |           |             |            |        |                 | 施策番号       |       |    |
|            |                          |           |             |            |        |                 | VI-1-(2)-③ |       |    |
| <b>コスト</b> | 事業費                      | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額     | 5,475 千円 (備考)   | 担当局        |       |    |
|            |                          | 73,621 千円 | 73,477 千円   |            | 課長     | 0.15 人 職員 0.3 人 | 担当課        | 環境学習課 |    |
|            |                          |           | 係長          |            | 0.15 人 |                 |            | 課長名   | 石井 |
|            |                          |           |             |            |        |                 |            |       |    |

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |  |           |             |                |                          |                              |
|-----------------|--|-----------|-------------|----------------|--------------------------|------------------------------|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか<br>市民や国内外の人々が、環境ミュージアムで開かれるイベントや、出張環境ミュージアムに参加し、気軽に「環境」について、見て・感じて・学べ、交流・協働できるようになることを目指します。            |           | <b>成果実績</b> | 成果の状況は下記の通りです。 |                          |                              |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br/>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)</b>  | 前年度実績     | 目標          | 実績<br>(達成率)    | →                        | 【成果の状況】                      |
|                 | 環境ミュージアム利用者数   | 111,919 人 | 148,000 人   | 104,973 人      | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |
|                 | 環境教育・学習の中心的な役割を果たし、市内のみならず、国内外、さらに子どもから社会人、お年寄りまでの幅広い年齢層が集まる場であるため、指標としました。目標値は、指定管理者の目標数値です。<br>(最終目標と目標年度) 25年度 157,000人 |           |             | 70.9 %         |                          |                              |
|                 | (最終目標と目標年度)  |           |             |                |                          | やや遅れ                         |
|                 |  |           |             |                |                          |                              |

|   |  |       |             |  |                          |                        |
|---|--|-------|-------------|--|--------------------------|------------------------|
| <b>活動計画</b>   | 老朽化した展示内容の更新、IT技術を活用し、より楽しく、分かりやすい展示案内を目指します。また市内の豊富な環境素材を利用し、「いつでも・だれでも・どこでも」環境について学ぶことができる中核施設としての役割を果たすべく、壁面緑化や風力発電機など低炭素社会の「見える化」「感じる化」を進め、イベントや出張環境ミュージアムを行うことで集客を図ります。 |       | <b>活動実績</b> | 成果の状況は以下のとおりです。館内の改修に伴い、回数が例年に比べ若干減りました。 |                          |                        |
| <b>活動指標</b>   | <b>指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br/>(上段:指標名 下段:指標の説明)</b>   | 前年度実績 | 目標          | 実績<br>(達成率)                              | →                        | 【活動の状況】                |
|   | イベントや企画展の開催件数  | 135   | 100 回       | 130 回                                    | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
|   | より多くの市民に来館していただき、市民・スタッフ・サポーターが対話を通して交流しながら、情報提供を行うという意味では、より多くの企画展やイベントを開催することが大切であると考え、開催数を指標としました。目標値である100回は、年間の土日の日数です。   |       |             | 130.0 %                                  |                          |                        |
|   | スタッフ・環境学習サポーターの出張環境ミュージアム回数  | 128 回 | 100 回       | 123 回                                    |                          | 大変順調                   |
| 学校や市民センター、市の主催するイベント等、様々な場所へも出張し、数々のエコ工作や環境実験などのアクティビティに参加者とともに行うことで、市民に対し、学習機会を提供できると考えました。目標値である100回は、年間の土日の日数です。 | 123.0 %  |       |             | やや遅れ<br>遅れ                               |                          | 大変順調                   |

## 【Check】評価(分析)

|                  |  |  |
|------------------|--|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <p><b>【成果の状況】</b><br/><b>【活動の状況】</b><br/><b>を踏まえた分析</b></p> <p>活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。</p> | <p>集客状況は目標に達することはできませんでしたが、アンケート結果によると100%の方が満足していることがうかがえました。これは体験を通して環境についての理解を深めることができ、対話を通して学ぶことで意識に残るからであると考えます。スタッフが独自に展開する企画展やイベント等も交流や情報発信という意味では効果的であったと考えます。出張環境ミュージアムなど館外での活動を増やすことで、広報活動も同時にでき、集客も見込めるのではないかと考えます。</p> |
|                  | <p><b>「経済性」</b><br/><b>「効率性」</b><br/><b>の分析</b></p> <p>「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。</p>          | <p>環境学習を中心とする本館では、日ごろから廃材の再利用に力を入れています。企画展やイベント等でも裏紙や廃材を使い、手作りによる資料や材料を準備しています。環境学習サポーターによるエコ工作なども同じことが言えます。今後も節電など環境に配慮した方法で活動を行っていきます。又、指定管理者制度を既に導入し、経済性、効率性にも最大限取り組んでいます。</p>  |

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |  |
|---------------|--|--|
| <b>見直し状況等</b> | <p>課題</p> <p>平成23年度に改修を行ったこともあり、平成24年度の来館者数は増加しています。12月末現在で104,841人の方に来館していただきました。昨年度同時期と比べると約2割増加しています。新たに新設された「北九州 地球の道」の利用者も三ヶ月で367人であり、今後も期待できます。さらに魅力的なミュージアムにするために、指定管理者と協議し、リピーターを増やすために魅力あるプログラムを開発するなどサービスの向上に努めます。</p> |  |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)  | その結果目指す成果(次年度の成果目標)  |
|               | <p>「北九州 地球の道」という新たな体験学習プログラム及びAR(拡張現実)を活用した展示を、有効に活用し、多くの方に来館していただき、環境未来都市の環境学習施設の核という役割を果たしていきます。「地球の道」を積極的に活用した事業を行います。(事業費は現状維持)</p>  | <p>平成24年度の環境ミュージアムの利用者数は、現在の状況から類推すると、2割増の約12万6千人の利用が見込まれます。平成25年度は地球の道を大いに活用し、前年度比増157,000人の利用を目指します。</p> |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                             |           |             |        |    |          |            |     |       |     |     |
|------------|-----------------------------|-----------|-------------|--------|----|----------|------------|-----|-------|-----|-----|
| <b>事業名</b> | 親しみシンボル事業(環境マスコットキャラクターの活用) |           |             |        |    |          | 施策番号       |     |       |     |     |
|            |                             |           |             |        |    |          | VI-1-(2)-③ |     |       |     |     |
| <b>コスト</b> | 事業費                         | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費の目安 | 金額 | 8,700 千円 | (備考)       | 担当局 | 環境局   |     |     |
|            |                             | 12,632 千円 | 16,207 千円   |        | 課長 | 0.3 人    |            | 職員  | 0.3 人 | 担当課 | 総務課 |
|            |                             |           |             |        | 係長 | 0.3 人    |            |     |       | 課長名 | 渡部  |
|            |                             |           |             |        |    |          |            |     |       |     |     |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|           |                    |   |             |  |
|-----------|--------------------|---|-------------|--|
| <b>目的</b> | 何を(誰を)どのような状態にしたのか | 環境広報・イメージ戦略の一環として、親しみやすく愛着の持てる環境マスコットキャラクターを制作し、市民が目にする機会や触れあえる場を創出することによって、本市が「環境未来都市」であることの市民の認知度の向上を図るとともに、市民の環境意識をさらに高めることを目指します。 | <b>成果実績</b> | 環境マスコットキャラクターを制作したことにより、特に「環境未来都市」の認知度が低い層(若年層や主婦層)が、本市の環境政策等に触れる機会が増えました。 |
|-----------|--------------------|---|-------------|--|

|                 | 指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)   | 前年度実績 | 目標              | 実績(達成率) | →                      | 【成果の状況】                      |
|-----------------|---|-------|-----------------|---------|------------------------|------------------------------|
| <b>代表的な成果指標</b> | 「環境未来都市」の認知度の向上、環境都市であると実感する市民の増加   |       | 「環境未来都市」の認知度の向上 |         | 大変<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |
|                 | 市民が本市が「環境未来都市」であるということが感じられる状態を数値で表すことは現在のところ困難です。代替の指標として「市民意識調査」などで「環境未来都市」の認知度の調査を行うことを検討します。<br>(最終目標と目標年度) |       |                 |         |                        |                              |
|                 | (最終目標と目標年度)   |       |                 |         |                        |                              |

|             |   |             |                                     |
|-------------|---|-------------|-------------------------------------|
| <b>活動計画</b> | マスコットキャラクターの着ぐるみを環境関連イベントに出演させたり、啓発グッズの制作・配布を通じて、市民の目に触れる機会を増やし、「環境未来都市」の認知度の向上を図ります。 | <b>活動実績</b> | 下記の活動のほかに、公共施設等でのPR及びサンプリングを60日行った。 |
|-------------|---|-------------|-------------------------------------|

|  | 指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明)                                  | 前年度実績  | 目標   | 実績(達成率) | →                      | 【活動の状況】                |
|--|---|--------|------|---------|------------------------|------------------------|
| <b>活動指標</b>  | 環境マスコットキャラクターイベント参加日数   |        | 64 日 | 68 日    | 大変<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
|  | 環境関連のイベントへの出演日数や、その他イベントでのブースの出展等の参加日数を増やし、環境マスコットキャラクターと併せて本市環境施策の認知度の向上を図ります。 | —      |      | 106.3 % |                        |                        |
|  | 環境マスコットキャラクター使用承認申請数  |        | 32 回 | 28 回    |                        | 順調                     |
| 行政機関以外が環境マスコットキャラクターを使用する機会を増やすことで、市民の目に触れる機会を増やします。 | —   | 87.5 % |      | 遅れ      |                        |                        |

### 【Check】評価(分析)

|                  |   |   |   |
|------------------|---|---|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 成果の状況については、本市が「環境未来都市」であるということを感じられる状態であることを数値で表すことは、現在は困難ですが、北九州市といえば、「環境」という声を多く耳にすることから、順調としました。活動の状況については、市の代表的なマスコットキャラクターとして定着しつつあり、イベントへの参加件数が増えていることから、順調としました。 |
|                  | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | イベントへの参加は主に緊急雇用創出事業での業者委託を行っています。市民の認知度の向上に向けて、イベントの開催やPRノウハウを有する業者委託は適しており、経済的にも、効率的にも有効であると考えています。  |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |                                   |
|---------------|--|-----------------------------------|
| <b>見直し状況等</b> | 課題<br>環境マスコットキャラクターのイベントへの参加日数が12月末時点で134日、キャラクター使用承認申請件数が37回と平成24年度も順調に伸びており、「環境未来都市」としての本市の認知度の向上が進んでいる状態といえます。しかしながら、キャラクターの浸透度を含め、市民に十分周知が広がっている状態ではありません。         |                                   |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)  | その結果目指す成果(次年度の成果目標)               |
|               | 本市において環境は「緑の成長戦略」の柱であり、大きなセールスポイントとなっています。そのため平成25年度は、引き続き広報活動を行っていきませんが、広報活動の実施にあたっては、よりPR効果の高いイベントに的を絞って、環境マスコットキャラクターを効果的に出演させるなど、費用対効果の高い委託内容に見直します。事業費は縮小となっています。 | 次年度も本年度と同様、「環境未来都市」の認知度の向上を目指します。 |



## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                               |           |             |            |    |                |            |           |
|------------|-------------------------------|-----------|-------------|------------|----|----------------|------------|-----------|
| <b>事業名</b> | EV(電気自動車)活用環境向上のためのネットワーク整備事業 |           |             |            |    |                | 施策番号       |           |
|            |                               |           |             |            |    |                | VI-2-(1)-② |           |
| <b>コスト</b> | 事業費                           | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 6,400 千円 (備考)  | 担当局        |           |
|            |                               | 18,374 千円 | 0 千円        |            | 課長 | 0.1 人 職員 0.3 人 | 担当課        | 環境未来都市推進室 |
|            |                               |           |             |            | 係長 | 0.3 人          | 課長名        | 塚本        |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |   |  |             |                |                          |                              |
|-----------------|---|--|-------------|----------------|--------------------------|------------------------------|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか  | ガソリン車と比べて走行距離が短いEV(電気自動車)の普及推進のため、市内の公共施設に充電器を整備します。 | <b>成果実績</b> | 成果の状況は以下の通りです。 |                          |                              |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)                     | 前年度実績  | 目標          | 実績 (達成率)       | →                        | 【成果の状況】                      |
|                 | 電気自動車等の普及台数(単年度)  |  |             | 80 台           |                          | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |
|                 | 市内の電気自動車等の普及台数<br>(最終目標と目標年度) H25年度までに市内で300台   | 50 台   | 70 台        | 114.3 %        |                          |                              |
|                 | 電気自動車へ転換した場合のCO2削減量(単年度)  |  |             | 148 t          | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 順調                           |
|                 | 80台(H24年3月末の電気自動車普及台数) × 1.85t(ガソリン車から電気自動車へ転換した場合のCO2排出係数)<br>(最終目標と目標年度) H25年度までに555t削減 | 92.5 t   | 130 t       | 113.8 %        |                          |                              |

|   |  |             |   |                    |                          |                        |
|---|--|-------------|---|--------------------|--------------------------|------------------------|
| <b>活動計画</b>                               | 設置要望の高い急速充電器を北九州都市高速道路上のパーキングエリアに整備するとともに、空白地域にある公共施設等を中心に倍速充電器を整備します。 | <b>活動実績</b> | 急速充電器2箇所整備(北九州都市高速道路山路PA・富野PA)、倍速充電器9箇所整備(市営駐車場5箇所・北九州空港1箇所・出張所3箇所) |                    |                          |                        |
| <b>活動指標</b>                               | <b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明)               | 前年度実績       | 目標  | 実績 (達成率)           | →                        | 【活動の状況】                |
|   | 市内公共施設へのEV充電設備   |             |   | 11 箇所              |                          | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
|   | 空白地や市民ニーズの高い場所に設置し、EVの利便性向上を図ります。                                      | 3 箇所        | 8 箇所  | 137.5 %            |                          |                        |
|   | 今回の充電器設置箇所の利用回数  |             |   | 急速 300 回<br>倍速 5 回 | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 順調                     |
| 公共施設に整備した充電器の利用回数は急速200回/月、倍速10回/月を目指します。 | -  | -           |   |                    |                          |                        |

### 【Check】評価(分析)

|                  |   |   |  |
|------------------|---|---|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 設置予定を超える箇所への整備が達成でき、利用回数も順調に伸びており、EVユーザーの利便性向上とEV普及の推進を図ることができました。 |
|                  | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。   | 日産自動車からの充電器の寄贈や福北高速道路公社などの関連企業と連携し、コスト削減を図れました。                    |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |   |  |
|---------------|---|--|
| <b>見直し状況等</b> | 課題<br><br>市・民間を合わせた充電器の設置台数が増え、当初の平成25年度までに50ヶ所という目標を前倒して達成しました。また、市内のEV普及台数や充電器の利用回数も徐々に、順調に伸びており、今後は課金等の運用方法についても民間での動向などを見据えながら、事業を進める必要があります。 | その結果目指す成果(次年度の成果目標)  |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)   | 既存の充電器の利用状況や民間での設置状況を踏まえて今後の事業を再考する必要があるため、公共での整備はH24年度までで一旦中断します。「休止」 |
|               | 市で設置している充電器を維持し、民間でのEV普及状況や充電器の整備状況、そして運用状況(課金など)を踏まえて、平成25年度の環境モデル都市計画において見直します。   |  |



## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                       |                       |                          |            |                     |     |           |            |
|------------|-----------------------|-----------------------|--------------------------|------------|---------------------|-----|-----------|------------|
| <b>事業名</b> | 電気自動車導入及び充電インフラ整備助成事業 |                       |                          |            |                     |     |           | 施策番号       |
|            |                       |                       |                          |            |                     |     |           | VI-2-(1)-② |
| <b>コスト</b> | 事業費                   | 平成23年度執行額<br>7,831 千円 | 平成24年度当初予算額<br>16,000 千円 | 人件費<br>の目安 | 金額<br>8,900 千円 (備考) | 担当局 | 環境局       |            |
|            |                       |                       |                          |            | 課長 0.1 人 職員 0.5 人   | 担当課 | 環境未来都市推進室 |            |
|            |                       |                       |                          |            | 係長 0.4 人            | 課長名 | 塚本        |            |

| 【Plan】計画 → |                    |  |  | 【Do】実施 → 【Check】評価 |  |             |                |
|------------|--------------------|--|--|--------------------|--|-------------|----------------|
| <b>目的</b>  | 何を(誰を)どのような状態にしたのか | 電気自動車等の普及を推進するため、市内事業者を対象に購入費の助成するものです。また、電気自動車等の普及に必要な不可欠な充電インフラ設備の一部を助成するものです。 |  |                    |  | <b>成果実績</b> | 成果の状況は以下の通りです。 |

| 代表的な成果指標 | 指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)                            | 前年度実績            | 目標    | 実績 (達成率) | →    | 【成果の状況】                  |
|----------|---|------------------|-------|----------|------|--------------------------|
|          |   | 電気自動車等の普及台数(単年度) |       |          | 80 台 |                          |
|          | 市内の電気自動車等の普及台数<br>(最終目標と目標年度) H25年度までに市内で300台   | 50 台             | 70 台  | 114.3 %  |      |                          |
|          | 電気自動車へ転換した場合のCO2削減量(単年度)  |                  |       | 148 t    |      | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ |
|          | 80台(H24年3月末の電気自動車普及台数) × 1.85t(ガソリン車から電気自動車へ転換した場合のCO2排出係数)<br>(最終目標と目標年度) H25年度までに555t削減 | 92.5 t           | 130 t | 113.8 %  |      |                          |

|             |   |             |                |
|-------------|---|-------------|----------------|
| <b>活動計画</b> | 電気自動車1台あたり、上限25万円の助成を行いました。また充電インフラ工事費の3分の1(上限: 急速充電器100万円、倍速充電器20万円) | <b>活動実績</b> | 成果の状況は以下の通りです。 |
|-------------|---|-------------|----------------|

| 活動指標 | 指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明) | 前年度実績       | 目標                | 実績 (達成率) | →    | 【活動の状況】                  |
|------|---|-------------|-------------------|----------|------|--------------------------|
|      |   | 電気自動車等の助成件数 |                   |          | 20 台 |                          |
|      | 市内事業者に対する電気自動車等の購入助成を行います。                        | -           | 50 台              | 40.0 %   |      |                          |
|      | 充電インフラ整備助成件数                                      |             |                   | 急速3 基    |      | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ |
|      | 市内事業者に対する充電インフラ工事費等の助成を行います。                      | -           | 急速: 3 基<br>倍速: 20 | 急速3 基    |      |                          |

| 【Check】評価(分析)    |                               |  |  |
|------------------|-------------------------------|--|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | 【成果の状況】<br>【活動の状況】<br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。        | 電気自動車等の助成については、目標台数の半分にも至りませんでした。要因としては、電気自動車に対する消費者の浸透不足やプラグインハイブリッド車の市販が申請期限後半であったことから助成件数が伸びなかったことが考えられます。しかしながら、今後は車種の増加やプラグインハイブリッド車の販売が伸びてくると考えられます。充電インフラ整備助成については、急速充電器の助成件数は、目標に達しましたが、倍速充電器の申請はありませんでした。充電インフラ整備については、電気自動車の台数が少ない中で設置者のメリットが不明確であったことが考えられます。 |
|                  | 「経済性」<br>「効率性」<br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」<br>「同じコストでより高い成果を」<br>得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 充電インフラ整備については一般開放を条件としていたので、民間活力の導入により充電ネットワークの拡大につながりました。仮に1件あたりの助成金を減らすこととした場合、さらに申請件数が減ることが考えられるため、慎重に検討する必要があります。  |

以下、予算案作成時に記入

| 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入 |   |
|--|---|
| <b>見直し状況等</b>                            | 課題  |
|  | 電気自動車等の助成は、募集からわずか2ヶ月で終了するなど市民の関心は高くなっています。しかし、補助金が打ち切られてから販売台数が減少したとの報告もあり普及が波に乗っているとはいえないものとなっています。一方、充電器の補助に関しては、ある程度市内での充電器の普及が進んだことや国の助成制度の拡大もあることから市の助成制度を見直す必要があります。 |
|  | 次年度の活動計画(見直し内容)   |
|  | その結果目指す成果(次年度の成果目標)   |
|  | 電気自動車等の助成は、エコカー補助金による普及促進効果や他都市の動向を勘案し、1台あたりの補助額を減らし、50台程度募集します。充電器の補助は次年度は行わず、国や民間での設置・課金の動向を踏まえて今後の計画を検討します。「縮小」  |
|  | 平成25年度に市内に官民合わせて、EV、PHV導入300台を目標に助成制度を活用します。環境未来都市計画に掲げるH28年までに6,000台に向けた普及を加速させます。   |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                 |           |             |            |    |               |            |           |
|------------|-----------------|-----------|-------------|------------|----|---------------|------------|-----------|
| <b>事業名</b> | 市民植樹・美しいまちづくり事業 |           |             |            |    |               | 施策番号       |           |
|            |                 |           |             |            |    |               | VI-2-(1)-③ |           |
| <b>コスト</b> | 事業費             | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 2,000 千円 (備考) | 担当局        |           |
|            |                 | 4,249 千円  | 10,000 千円   |            | 課長 | 0 人 職員 0.2 人  | 担当課        | 環境未来都市推進室 |
|            |                 |           |             |            | 係長 | 0.05 人        | 課長名        | 塚本        |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|           |   |             |  |
|-----------|---|-------------|--|
| <b>目的</b> | 何を(誰を)どのような状態にしたのか<br>希望する市民に対し、人生の記念日に苗木を配布し、樹木を育てることを感じてもらいます。また、記念樹植樹をきっかけに各家庭の緑を増やすことで、世界の環境首都にふさわしい都市と自然が共生したうおいのある美しいまちを創ります。 | <b>成果実績</b> | 記念樹という身近な切り口により、緑に関心のある人の底上げを図ることができました。 |
|-----------|---|-------------|--|

| 代表的な成果指標   | 指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方) | 前年度実績   | 目標          | 実績 (達成率)            | →                  | 【成果の状況】                  |
|--|--|---|-------------|---------------------|--------------------|--------------------------|
|  | うるおいのある美しいまち   | 記念樹を配布し、市民に植樹していただくことで、まちなかの緑化を促進し、都市と自然が共生するまちを創ります。<br>(指標は累計で示す)<br>(最終目標と目標年度) 7万5千本植樹、平成35年度(累計) | 9,709 本     | 75,000 本            | 14,668 本<br>19.6 % | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ |
| 環境首都100万本植樹プロジェクト促進<br>市民をはじめ、企業やNPO、行政などさまざまな主体が市内各地に植樹活動を行い、緑化を促進することで都市と自然が共生するまちを創ります。<br>(指標は累計で示す)<br>(最終目標と目標年度) 100万本植樹、平成35年度(累計) |  | 252,669 本   | 1,000,000 本 | 352,916 本<br>35.3 % | 順調                 |                          |

|             |  |             |  |
|-------------|--|-------------|--|
| <b>活動計画</b> | 本事業の目的を広くPRし、多くの市民に緑を育てる喜びを伝えることにより記念樹配布数を増加させます。また、市民をはじめ企業やNPO、行政などさまざまな主体に「環境首都100万本植樹プロジェクト」をPRし、多くの主体による植樹活動を推進します。 | <b>活動実績</b> | 記念樹という身近な切り口により、緑に関心のある人の底上げを図ることができました。 |
|-------------|--|-------------|--|

| 活動指標   | 指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明) | 前年度実績   | 目標       | 実績 (達成率)             | →                 | 【活動の状況】                  |
|--|---|---|----------|----------------------|-------------------|--------------------------|
|  | わたし記念日～記念樹における苗木の配布数                              | 記念樹配布を希望した市民に対して、年間5,000本を配布し、家庭から緑を増やしていく、市民の手による植樹を推進します。<br>(日々の活動が成果へとつながるため、単年度の配布数を活動指標としました) | 3,826 本  | 5,000 本              | 4,959 本<br>99.2 % | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ |
| 環境首都100万本植樹プロジェクト植樹本数<br>市民をはじめ、企業やNPO、行政などさまざまな主体が市内各地に植樹活動を行い、平成35年までに市内一円に新たに100万本植樹するものです。<br>(日々の活動が成果へとつながるため、単年度の配布数を活動指標としました) |   | 91,352 本  | 67,000 本 | 100,247 本<br>149.6 % | 順調                |                          |

### 【Check】評価(分析)

|                  |  |   |
|------------------|--|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析<br>活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 記念樹プレゼントという個人に関わる切り口によって、記念樹を植え、緑を増やすことができました。また、緑化は短期間でできるものではなく、緑化(環境)意識もまた短期間で向上しないため、常に啓発する必要があります。 |
|                  | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析<br>「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。          | 企業やNPOなどにも、PRをお願いし幅広く広報できるようにしています。また、記念日に関わる写真館などにもポスター掲示します。  |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |
|---------------|--|
| <b>見直し状況等</b> | 課題<br>平成 23年度の配布もおおむね目標を達成し、秋の記念樹配布では目標の2500本を達成しました。今後は、配布先での生長の様子などをHPなどを活用して報告できる仕組みを作ります。また、春の配布においても目標達成するように広報に力を入れます。                                   |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)  |
|               | その結果目指す成果(次年度の成果目標)<br>緑化を進めることで、都市と自然が共生するうるおいのあるまちにつながることを啓発するため、広報活動はもちろん、引き続き記念樹配布を行い、家庭から緑を増やすよう努めます。また、生長の様子を共有できるツールを検討します。平成25年度からは、生物多様性戦略推進事業に統合します。 |
|               | 都市と自然が共生するうるおいのある美しいまちを創出するため、年間5000本(累計7万5千本)の配布目標を維持します。   |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                             |           |             |            |    |              |      |            |           |
|------------|-----------------------------|-----------|-------------|------------|----|--------------|------|------------|-----------|
| <b>事業名</b> | 北九州スマートコミュニティ創造事業(グリーングリッド) |           |             |            |    |              |      | 施策番号       |           |
|            |                             |           |             |            |    |              |      | VI-2-(1)-③ |           |
| <b>コスト</b> | 事業費                         | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 2,000 千円     | (備考) | 担当局        | 環境局       |
|            |                             | 9,000 千円  | 3,000 千円    |            | 課長 | 0 人 職員 0.2 人 |      | 担当課        | 環境未来都市推進室 |
|            |                             |           |             |            | 係長 | 0.05 人       |      | 課長名        | 塚本        |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |  |                                |                     |         |                          |  |  |  |  |
|-----------------|--|--------------------------------|---------------------|---------|--------------------------|--|--|--|--|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか   | 「自然と人が融合し環境未来都市を先導する緑の東田地区」の実現 |                     |         | <b>成果実績</b>              | 八幡東田グリーングリッド基本計画・基本設計の策定と一部壁面緑化等の工事(枝光前田1号線の植栽外) |  |  |  |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)  | 前年度実績                          | 目標                  | 実績(達成率) | →                        | 【成果の状況】  |  |  |  |
|                 | 東田地区内の緑化推進   |                                | 環境最先端のまちに相応しい質の高い創出 |         |                          | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック                     |  |  |  |
|                 | 生物多様性等に配慮した質の高い緑の創出を官民協働で取り組みます。既存の樹木や新に植樹した樹木が成長していくことで、2050年には地区内の緑被率も倍増するような計画です。(現在16%→30%)長期の計画であるため、数値目標の設定はありませんが、目標を達成するため、地区内の官民の緑化推進を図っていきます。<br>(最終目標と目標年度) |                                | -                   |         | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 順調   |  |  |  |
|                 | (最終目標と目標年度)  |                                |                     |         |                          |  |  |  |  |

|             |  |       |    |         |                          |                        |  |  |  |  |
|-------------|--|-------|----|---------|--------------------------|------------------------|--|--|--|--|
| <b>活動計画</b> | 平成23年度は、東田グリーングリッドの基本計画・基本設計を行うとともに、一部の緑化工事を行います。      |       |    |         |                          | <b>活動実績</b>            | 八幡東田グリーングリッド基本計画・基本設計の策定と一部壁面緑化等の工事(枝光前田1号線の植栽外) |  |  |  |
| <b>活動指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明) | 前年度実績 | 目標 | 実績(達成率) | →                        | 【活動の状況】                |  |  |  |  |
|             | 基本計画・基本設計の策定   | -     | -  |         |                          | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |  |  |  |  |
|             | 枝光前田1号線の緑化工事   | -     | -  |         | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 順調                     |  |  |  |  |
|             |  |       |    |         |                          |                        |  |  |  |  |

### 【Check】評価(分析)

|                  |   |   |   |
|------------------|---|---|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 基本計画・基本設計を策定し、一部の緑化工事を行いました。基本計画策定を受け、平成24年度より、LED照明の導入や道路・公園緑化の推進等、公共部門は建設局が「八幡東田グリーングリッド事業」として行っていくこととなりました。環境局としては、更なる民有地緑化の推進を図っていくため、詳細な環境調査を行い、民間への働きかけや事業の進捗を管理していきます。 |
|                  | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | 東田まちづくり連絡会への協力要請など、民間の緑化推進を図るためのPRを積極的に行っています。  |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |   |
|---------------|--|---|
| <b>見直し状況等</b> | 課題<br><br>現在、環境調査業務委託を実施しています。また、地区内の民間企業より緑化の相談や助成制度の説明などを求められたりしており、関心の高さが伺えます。今後も、公共の緑化を進めるとともに、民間の緑化推進を図るためのPRを積極的に行っていく必要があります。 | その結果目指す成果(次年度の成果目標)<br><br>引き続き環境調査を行うとともに、東田まちづくり連絡会への協力要請など、民間の緑化推進を図るためのPRを積極的に行っていきます。事業費(環境調査)は現状維持とします。 |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)  | 生物多様性等に配慮した質の高い緑の創出を官民協働で取り組みます。  |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                   |           |             |            |     |                |            |     |           |
|------------|-------------------|-----------|-------------|------------|-----|----------------|------------|-----|-----------|
| <b>事業名</b> | 次世代エネルギーパーク構想推進事業 |           |             |            |     |                | 施策番号       |     |           |
|            |                   |           |             |            |     |                | VI-2-(2)-① |     |           |
| <b>コスト</b> | 事業費               | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額  | 8,650 千円       | (備考)       | 担当局 | 環境局       |
|            |                   | 946 千円    | 22,000 千円   |            | 課長  | 0.1 人 職員 0.6 人 |            | 担当課 | 環境未来都市推進室 |
|            |                   |           | 係長          |            | 0 人 | 課長名            |            | 香具  |           |
|            |                   |           |             |            |     |                |            |     |           |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |  |  |           |           |             |         |                          |                              |  |  |
|-----------------|--|--|-----------|-----------|-------------|---------|--------------------------|------------------------------|--|--|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか<br>風力発電や太陽光発電といった、全国有数の多種多様なエネルギー関連施設が立地している若松区響灘地区において、市民が次世代エネルギーに触れられる環境を構築するとともに、ビクターズインダストリーとしても活用します。また、産業地区として低炭素社会のあり方を示すモデルとなることや、エネルギー関連企業誘致などにつなげることを示します。 |  |           |           | <b>成果実績</b> |         |                          |                              |  |  |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br/>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)</b>  |  | 前年度実績     | 目標        | 実績<br>(達成率) | →       | <b>【成果の状況】</b>           |                              |  |  |
|                 | 北九州エコタウン・エネルギーパーク見学者数  |  | 120,217 人 | 100,000 人 | 100,576 人   | 100.6 % | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |  |  |
|                 | 北九州若松区における環境学習の場をエコタウンと次世代エネルギーパークを一体的に評価するため合計見学者数を指標をします。<br>(最終目標と目標年度)   |  |           |           |             |         |                          |                              |  |  |
|                 |  |  |           |           |             |         |                          | 順調                           |  |  |
|                 |  |  |           |           |             |         |                          |                              |  |  |

|             |  |  |       |       |             |                |                          |                        |  |  |  |
|-------------|--|--|-------|-------|-------------|----------------|--------------------------|------------------------|--|--|--|
| <b>活動計画</b> | 関係企業連絡会を開催します。<br>パーク運営、イベント実施を行います。<br>燃料電池自動車の導入を目指します。<br>施設見学受入れを行います。<br>パーク地域の拡大検討を行います。 |  |       |       | <b>活動実績</b> | 活動結果は下記のとおりです。 |                          |                        |  |  |  |
| <b>活動指標</b> | <b>指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br/>(上段:指標名 下段:指標の説明)</b>   |  | 前年度実績 | 目標    | 実績<br>(達成率) | →              | <b>【活動の状況】</b>           |                        |  |  |  |
|             | イベント参加人数   |  | 168 人 | 160 人 | 95 人        | 59.4 %         | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |  |  |  |
|             | 次世代エネルギーパーク関連施設ツアーについて、定員数の合計を目標値として設定しました。※年度ごとにツアーや講座の実施状況が異なります。                            |  |       |       |             |                |                          |                        |  |  |  |
|             |  |  |       |       |             |                |                          | やや遅れ                   |  |  |  |
|             |  |  |       |       |             |                |                          |                        |  |  |  |

### 【Check】評価(分析)

|                  |  |   |  |
|------------------|--|---|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】<br/>【活動の状況】<br/>を踏まえた分析</b> | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | エコタウンセンターの見学者総数は、平成22年度で101,245人、平成23年度で100,576人と若干減ったものの、「次世代エネルギーパーク」のみの見学者数は平成22年度で18,972人、平成23年度では19,128人と若干増加しました。総延数は2年連続して目標の10万人を越えています。見学者が伸び悩んだ原因としては、平成23年度の4月のエコタウンセンターや工場の見学者数が、例年に比べ低く、東日本大震災の影響を受けているのではないかと考えられます。また、次世代エネルギーパーク関連施設のツアー参加人数の達成率が低いのは、エコタウンセンターへの交通の便が悪いことが考えられます。 |
|                  | <b>「経済性」<br/>「効率性」<br/>の分析</b>         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | これまでのバスツアーでは、エコタウンセンターで集合・解散としており、マイカー等でエコタウンセンターに自力で来ることができる人たちが対象となっていました。交通の便の良い小倉駅などでも集合解散できるように、バスの発着場所を増やすことで、ツアー参加者数を増加させることができるのではないかと考えます。  |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |   |   |
|---------------|---|---|
| <b>見直し状況等</b> | 課題  | エコタウンセンターへの交通の便が悪いことなどから、バスツアーの参加者が少ないため、今後ツアー参加者数が増加する方法を検討する必要があります。また、展示物やパンフレットの内容が古くなっているため、更新していく必要もあります。 |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)   | その結果目指す成果(次年度の成果目標)   |
|               | パークの展示ルームは、平成24年度リニューアル中であり、平成25年度はそれに合わせて一般用パンフレットの改訂を行うなど、拡充を図る予定です。平成24年度はバスツアー参加者の増加を目指し、バスの発着場所を増やしました。バス発着場所の増加により、予約満席となった日程もあったものの、8月20日以降は、同行する保護者の仕事の都合等で参加希望者があまり集まらなかったため、平成25年度は、スケジュールや内容の見直しを行います。事業費は、内部事務経費の見直しにより「縮小」しています。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスツアーの定員充足率を向上させます。</li> <li>・見学者数100,000人を目指します。</li> </ul>            |



# PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                   |            |             |        |    |           |      |            |     |     |           |
|------------|-------------------|------------|-------------|--------|----|-----------|------|------------|-----|-----|-----------|
| <b>事業名</b> | 北九州スマートコミュニティ創造事業 |            |             |        |    |           |      | 施策番号       |     |     |           |
|            |                   |            |             |        |    |           |      | VI-2-(2)-① |     |     |           |
| <b>コスト</b> | 事業費               | 平成23年度執行額  | 平成24年度当初予算額 | 人件費の目安 | 金額 | 39,000 千円 | (備考) | 担当局        | 環境局 |     |           |
|            |                   | 369,780 千円 | 408,065 千円  |        | 課長 | 1 人       |      | 職員         | 1 人 | 担当課 | 環境未来都市推進室 |
|            |                   |            |             |        | 係長 | 2 人       |      |            |     | 課長名 | 柴田        |
|            |                   |            |             |        |    |           |      |            |     |     |           |

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|           |  |  |
|-----------|--|--|
| <b>目的</b> | 何を(誰を)どのような状態にしたいのか<br>「スマートグリッド(次世代送電網)」を核として、「ライフスタイル」や「ビジネススタイル」「交通システム」など街を構成する様々な要素を低炭素型のものに変革します。こうした取組みを通じて、国内外に先駆けCO2の50%削減と豊かな市民生活が両立した社会を実現するとともに、北九州発のグリーンイノベーション(低炭素社会の実現に向けた新たな技術革新)を起こし、それらをアジア地域等海外にビジネススペースで技術移転することで、地域経済の浮揚につなげます。 | <b>成果実績</b><br>本事業の成果の検証を、毎年度、数値で検証することは困難ですが、平成26年度末に市内一般街区と比較してCO2排出量50%削減します。(2005年比) |
|-----------|--|--|

|                 | <b>指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)</b><br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方) | 前年度実績 | 目標                             | 実績(達成率) | →                        | 【成果の状況】                      |
|-----------------|--|-------|--------------------------------|---------|--------------------------|------------------------------|
| <b>代表的な成果指標</b> | 地域社会が参加するエネルギーコミュニティの実現  |       | 地域社会が参加するエネルギーコミュニティの実現を目指します。 | -       | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |
|                 | 「地域社会が参加するエネルギーコミュニティの実現」を数値で表すことは、現在は困難だと考えています。(本年度から本格実証開始のため)    |       |                                | -       |                          | <b>順調</b>                    |
|                 | (最終目標と目標年度)26年度末50%CO2削減   |       |                                |         |                          |                              |
|                 | (最終目標と目標年度)  |       |                                |         |                          |                              |

|             |  |   |
|-------------|--|---|
| <b>活動計画</b> | 平成26年度の事業完了に向け、平成22年度から事業を推進しています。平成23年度は、主に参画企業による地域節電所の設置、スマートメーターの導入、各エネルギーマネジメントシステムなど及び電力の需給状況に応じて電気料金を変動させるダイナミックプライシングの制度設計などを行います。 | <b>活動実績</b><br>参画企業による地域節電所の設置、スマートメーターの導入、各エネルギーマネジメントシステムの設置。<br>ダイナミックプライシングの制度設計。 |
|-------------|--|---|

|             | <b>指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)</b><br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明) | 前年度実績 | 目標   | 実績(達成率) | →                        | 【活動の状況】                |
|-------------|---|-------|------|---------|--------------------------|------------------------|
| <b>活動指標</b> | プロジェクト着手数   |       | 38 件 | 38 件    | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
|             | 平成26年度の事業完了に向け、38の個別プロジェクトの着手数を指標として設定しました。             | 38 件  | 38 件 | 100.0 % |                          | <b>順調</b>              |
|             |   |       |      |         |                          |                        |

## 【Check】評価(分析)

|                  |   |   |   |
|------------------|---|---|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 活動の状況については、事業が予定どおりに進んでいるため、順調としました。成果の状況については、毎年度、測定することが困難です。平成23年度は、参画企業による地域節電所の設置、スマートメーターの導入、各エネルギーマネジメントシステムの導入やダイナミックプライシングの制度設計など、本事業を推進するにあたって必要不可欠なハード整備や制度設計を行ったことから、順調としました。 |
|                  | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。   | 本事業は、本市及び地元企業などで構成する「北九州スマートコミュニティ創造協議会」が実施主体となって事業を推進しています。この協議会が、国の「次世代エネルギー・社会システム実証事業」に選定されており、国からの補助により総事業費に対する市の負担は大幅に縮小されています。   |

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |   |   |
|---------------|---|---|
| <b>見直し状況等</b> | 課題<br>平成23年度は、参画企業による地域節電所の設置、スマートメーターの導入、各エネルギーマネジメントシステムの導入やダイナミックプライシングの制度設計など、本事業を推進するにあたって必要不可欠なハード整備や制度設計を行い、今年度から本格的な実証を開始しました。実証事業としては国内をはじめ国外からも注目を集めており、今年度は既に400件以上の視察などを受け入れています。一方、今後の事業展開を見据えた計画作りに着手する必要があります。 | その結果目指す成果(次年度の成果目標)<br>平成26年度末までに、50%CO2削減(平成17年比)を目指します。 |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)<br>上述の課題を踏まえ、平成25年度は前年度に加えて、スマートメータ・宅内表示器を活用したビジネスモデル調査(垂直展開)や実証の成果を他地域に展開する可能性調査(水平展開)にも取り組みます。事業全体としては、実証事業の成果の展開に向けた調査事業は強化しますが、その他の事務の見直し等の努力を行い、予算は縮小します。  |   |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |              |                        |                          |            |    |                 |            |           |
|------------|--------------|------------------------|--------------------------|------------|----|-----------------|------------|-----------|
| <b>事業名</b> | 環境未来技術開発助成事業 |                        |                          |            |    |                 | 施策番号       |           |
|            |              |                        |                          |            |    |                 | VI-2-(2)-② |           |
| <b>コスト</b> | 事業費          | 平成23年度執行額<br>84,480 千円 | 平成24年度当初予算額<br>85,500 千円 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 6,075 千円 (備考)   | 担当局        | 環境局       |
|            |              |                        |                          |            | 課長 | 0.05 人 職員 0.4 人 | 担当課        | 環境未来都市推進室 |
|            |              |                        |                          |            | 係長 | 0.25 人          | 課長名        | 山本        |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |  |       |      |                 |  |                              |  |
|-----------------|--|-------|------|-----------------|--|------------------------------|--|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか<br>新規性、独自性に優れ、かつ実現性の高い環境技術の実証研究等に対して、その研究開発費を助成することにより、市内中小企業等に技術開発の機会を提供するとともに、本市における環境分野の集積を図ります。 |       |      | <b>成果実績</b>     | 22年度末までの事業化数: 13件<br>※23年度末の事業化数については調査中 |                              |  |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)  | 前年度実績 | 目標   | <b>実績 (達成率)</b> | →  | <b>【成果の状況】</b>               |  |
|                 | 本助成事業で助成した研究開発の事業化数  | 12 件  | 13 件 | 13 件            | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ                 | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |  |
|                 | 本事業は、数年後の事業化を目指した実証研究等に対する助成であるため、「事業化数」を成果指標に設定します。<br>(最終目標と目標年度) 16件(25年度末)   |       |      | 100.0 %         |  |                              |  |
|                 | (最終目標と目標年度)  |       |      |                 |  | <b>順調</b>                    |  |
|                 |  |       |      |                 |  |                              |  |

|             |  |       |      |                 |   |                        |  |
|-------------|--|-------|------|-----------------|---|------------------------|--|
| <b>活動計画</b> | 今年度も市内中小企業等に技術開発の機会を提供するとともに、本市における環境分野の集積を図るため、本助成制度を引き続き実施します。 |       |      | <b>活動実績</b>     | 23年度の採択数: 17件<br>(うち 新規: 11件, 継続6件)<br>※15年度から23年度までののべ採択件数: 150件 |                        |  |
| <b>活動指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明)         | 前年度実績 | 目標   | <b>実績 (達成率)</b> | →   | <b>【活動の状況】</b>         |  |
|             | 本助成事業の採択件数   | 16 件  | 12 件 | 17 件            | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ  | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |  |
|             | 上記活動計画の目安とするため、本助成事業の採択件数を活動指標として設定します。                          |       |      | 141.7 %         |   |                        |  |
|             | (最終目標と目標年度)  |       |      |                 |   | <b>順調</b>              |  |
|             |  |       |      |                 |   |                        |  |

### 【Check】評価(分析)

|                  |   |   |   |
|------------------|---|---|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 成果の状況、活動の状況とも、目標を達成していることから、いずれも「順調」としました。当事業を進めることで、市内中小企業等に技術開発の機会を提供することができ、地域産業の活性化につながっていると考えます。 |
|                  | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | 上記のとおり、事業化数は目標どおり年々増加し、市内環境産業の振興・集積につながっていることから、「順調」としました。  |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |   |  |
|---------------|---|--|
| <b>見直し状況等</b> | 課題  |  |
|               | 平成24年度8月調査時点における事業化数は14件であり、また、平成24年度も12件の採択をしていることから、目標の達成に向けて事業は順調に進んでいると考えます。申請を受ける研究テーマによりますが、採択に際しては予算の範囲内で事業化の実現性の高い優れた研究を吟味することが課題であると考えます。    |  |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)   | その結果目指す成果(次年度の成果目標)  |
|               | 事業費全体としては縮小しますが、希少金属(レアメタル)・資源のリサイクルや新エネルギー・省エネルギー関連技術における事業化目前の研究開発を支援するため、新たに「上限額: 2,000万円、助成期間: 1年間、助成率: 2/3」という枠組みの「事業化チャレンジ枠」を設け、さらに事業化の促進を図ります。 | 次年度末までに、累計16件の事業化を目指すとともに、今後の更なる事業化を図るため、次年度も10件以上の研究テーマの採択を目指します。 |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                      |           |             |               |    |                 |            |           |
|------------|----------------------|-----------|-------------|---------------|----|-----------------|------------|-----------|
| <b>事業名</b> | <b>紫川エコリバー構想推進事業</b> |           |             |               |    |                 | 施策番号       |           |
|            |                      |           |             |               |    |                 | VI-2-(3)-① |           |
| <b>コスト</b> | <b>事業費</b>           | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | <b>人件費の目安</b> | 金額 | 4,025 千円 (備考)   | 担当局        | 環境局       |
|            |                      | 488 千円    | 1,840 千円    |               | 課長 | 0.1 人 職員 0.25 人 | 担当課        | 環境未来都市推進室 |
|            |                      |           |             |               | 係長 | 0.1 人           | 課長名        | 平石        |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|           |  |             |   |
|-----------|--|-------------|---|
| <b>目的</b> | 何を(誰を)どのような状態にしたいのか<br>市民・来訪者が集まる小倉都心部において、太陽光発電や屋上緑化等の環境政策を積極的に推進します。率先して低炭素社会の見える化・感じる化を図るため勝山橋に太陽光発電ルーフを整備し、小倉都心部の低炭素顔づくり・にぎわいづくりを行ないます。また、小倉都心部低炭素まちづくり推進プランを作成し、都心の新たな環境による魅力づくりに繋がります。 | <b>成果実績</b> | 環境配慮施設の具体的な取組みを目で「見て」、「感じる」という経験が少ない、という印象を受けました。 |
|-----------|--|-------------|---|

| 指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)  | 前年度実績 | 目標       | 実績(達成率) | →                        | 【成果の状況】                      |
|--|-------|----------|---------|--------------------------|------------------------------|
| 市民が環境配慮の取組みを「見て」「感じる」ことができる状態  | —     | —        | —       | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |
| 環境配慮の取組みを、「見て」「感じて」もらう状態を数値化することは、困難であると考えています。<br>(最終目標と目標年度) —   | —     | —        | —       |                          |                              |
| CO2削減効果<br>『小倉都心部低炭素まちづくり推進プラン(平成22年策定)』における削減見込。フォローアップにて事業概要(導入状況)を把握する予定でしたが、企業等による取組も含まれており、現段階では正確な評価は出来ません。<br>(最終目標と目標年度) 2013年度までに年間10,296t-CO2削減。 | —     | 10,296 t | —       |                          | やや遅れ                         |

|             |   |             |                |
|-------------|---|-------------|----------------|
| <b>活動計画</b> | プランに基づき、事業を推進します。<br>本年度は、前年度製作したエコスポットマップや、環境配慮施設のPRプレート等を配布・配置し、これらを活用したイベントなどを実施します。 | <b>活動実績</b> | 活動結果は下記のとおりです。 |
|-------------|---|-------------|----------------|

| 指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明)  | 前年度実績 | 目標  | 実績(達成率) | →                        | 【活動の状況】                |
|---|-------|-----|---------|--------------------------|------------------------|
| エコスポットマップを活用した環境学習ツアーの実施  | —     | 1 回 | 1 回     | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
| 環境配慮の取組みを、「見て」「感じて」もらう状態を数値化することは、困難であると考えています。具体的には、近隣小学校から依頼を受け、エコスポットマップを活用した環境学習ツアーを実施しました。 | —     | —   | 100.0 % |                          |                        |
|   | —     | —   | —       |                          | やや遅れ                   |

### 【Check】評価(分析)

|                  |                               |  |
|------------------|-------------------------------|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | 【成果の状況】<br>【活動の状況】<br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。<br><br>近隣小学校からの提案・要望から、エコスポットマップ等を活用した環境学習ツアーを実施し、非常に好評でした。小学校では、環境に対する取組みを日頃より学習しており、環境学習に対する意識が非常に高いと感じました。しかし、環境配慮施設の具体的な取組みを目で「見て」、「感じる」という経験が少ない、という印象を受けました。平成24年度以降も同様ツアーの実施を継続していくとともに、エコスポットマップを活用したPRを“ねらい”としたイベント等実施を検討していく必要があります。 |
|                  | 【経済性】<br>【効率性】<br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。<br><br>本事業の取り組みは、パンフレットやPRプレートによる市民に向けた情報発信が不可欠です。また、勝山橋ルーフにおける太陽光発電は、水環境館の電力量の削減に寄与しています。  |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |   |
|---------------|--|---|
| <b>見直し状況等</b> | 課題<br><br>本事業は、環境配慮型取組の「見える化」・「感じる化」を行い、広く市民や来訪者に周知することを目的としているが、その効果を評価することが困難です。基盤となる紫川エコリバー構想には、企業による取組も含まれているため、今後、企業の取組の進捗確認も必要となります。 |   |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)  | その結果目指す成果(次年度の成果目標)   |
|               | 本事業の基盤である紫川エコリバー構想は、平成25年度が計画最終年度となるため、企業等による実施状況等も含めて進捗管理、および成果指標の算定法を検討・実施します(イベント等でのアンケート集計等)。<br>(※事業の見直しを実施し、事業予算は「縮小」となる予定です。)       | 本事業の基盤である紫川エコリバー構想で計画されている事業の進捗確認を行い、10,296t-CO2を削減することを目標とします。 |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                |           |             |            |        |          |            |     |       |     |
|------------|----------------|-----------|-------------|------------|--------|----------|------------|-----|-------|-----|
| <b>事業名</b> | 北九州市民環境パスポート事業 |           |             |            |        |          | 施策番号       |     |       |     |
|            |                |           |             |            |        |          | VI-2-(3)-① |     |       |     |
| <b>コスト</b> | 事業費            | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額     | 3,575 千円 | (備考)       | 担当局 | 環境局   |     |
|            |                | 13,377 千円 | 17,439 千円   |            | 課長     | 0.05 人   |            | 職員  | 0.2 人 | 担当課 |
|            |                |           | 係長          |            | 0.15 人 |          |            | 課長名 | 敷田    |     |
|            |                |           |             |            |        |          |            |     |       |     |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|           |                    |  |             |                    |
|-----------|--------------------|--|-------------|--------------------|
| <b>目的</b> | 何を(誰を)どのような状態にしたのか | レジ袋発生抑制(リデュース)を図るとともに、市民に楽しみながら環境活動に参加できるきっかけを提供するため、買物の際に参加店でレジ袋を断るとポイントシールがもらえ、20ポイント貯まると参加店で50円の割引券として利用できる「カンパスシール事業」を実施します。 | <b>成果実績</b> | 下記の代表的な成果指標のとおりです。 |
|-----------|--------------------|--|-------------|--------------------|

| 代表的な成果指標  | 指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方) | 前年度実績  | 目標     | 実績(達成率) | →                        | 【成果の状況】 |
|---|---|--------|--------|---------|--------------------------|---------|
|   | カンパスシールによるレジ袋お断り率   |        |        |         | 20.0 %                   |         |
| レジ袋のリデュースによるCO2削減効果に結びつくとともに、市民の身近な環境活動への参加状況を表す指標とします。<br>(最終目標と目標年度)平成25年度までにレジ袋お断り率25% | 20.3 %  | 25.0 % | 80.0 % |         | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ |         |
|   | (最終目標と目標年度)   |        |        |         |                          | 順調      |

|             |   |             |                 |
|-------------|---|-------------|-----------------|
| <b>活動計画</b> | 目標値は、当初目標のお断り率20%を超えて推移していますが、今後も継続して積極的な広報活動を行い、市民の環境活動への参加を働きかけることにより、平成25年度までにお断り率25%を目指して取り組んでいきます。 | <b>活動実績</b> | 活動結果は、下記のとおりです。 |
|-------------|---|-------------|-----------------|

| 活動指標   | 指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明) | 前年度実績 | 目標 | 実績(達成率) | →                        | 【活動の状況】 |
|--|--|-------|----|---------|--------------------------|---------|
|  | 広報活動の実施  |       |    |         | 9 回                      |         |
| 環境パスポート事業に係る情報誌(カンパスinfo)やイベント等を通じ、広報活動を実施します。 | 9 回  | — %   | %  | %       | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ |         |
|  |  |       |    |         |                          | 順調      |

### 【Check】評価(分析)

|                  |                               |   |   |
|------------------|-------------------------------|---|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | 【成果の状況】<br>【活動の状況】<br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 事業開始時は、9.5%だったレジ袋お断り率は、目標の20%を超えて推移しています。事業者や店舗の統合による参加店の減少、事業者独自のポイント制度定着によるお断り率の伸び悩みなどの課題もありますが、お断り率が20%を超えていることから一定の成果をあげていると考えます。 |
|                  | 「経済性」<br>「効率性」<br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | カンパスシール事業は、参加店舗のシール購入代金を原資にしており、本市が担う部分は運営・参画支援の部分であるため、経済性・効率性は高いと考えます。  |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |   |   |
|---------------|---|---|
| <b>見直し状況等</b> | 課題  | レジ袋お断り率を向上させるため、継続して市民や事業者に啓発を行う必要があります。            |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)   | その結果目指す成果(次年度の成果目標)                                 |
|               | レジ袋お断り率を向上させるため、市民や事業者に対してイベントやキャンペーン等を通じた啓発活動を強化しますが、広告掲載費など啓発方法の見直しを行い、事業費は縮小します。 | カンパスシール事業をきっかけに、レジ袋発生抑制するための取り組みを推進します。(目標:お断り率25%) |



## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|     |              |                       |                         |            |                         |      |                  |
|-----|--------------|-----------------------|-------------------------|------------|-------------------------|------|------------------|
| 事業名 | ノーマイカー普及戦略事業 |                       |                         |            |                         |      | 施策番号             |
|     |              |                       |                         |            |                         |      | VI-2-(3)-①       |
| コスト | 事業費          | 平成23年度執行額<br>2,145 千円 | 平成24年度当初予算額<br>3,024 千円 | 人件費<br>の目安 | 金額<br>4,650 千円          | (備考) | 担当局<br>環境局       |
|     |              |                       |                         |            | 課長<br>0.1 人 職員<br>0.2 人 |      | 担当課<br>環境未来都市推進室 |
|     |              |                       |                         |            | 係長<br>0.2 人             |      | 課長名<br>塚本        |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|    |   |      |                |
|----|---|------|----------------|
| 目的 | 何を(誰を)どのような状態にしたのか<br>過度なマイカー利用を抑制し、環境にやさしい公共交通機関を積極的な利用を促進します。 | 成果実績 | 成果の状況は以下の通りです。 |
|----|---|------|----------------|

|          | 指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方) | 前年度実績 | 目標   | 実績(達成率) | →                        | 【成果の状況】                      |    |
|----------|---|-------|------|---------|--------------------------|------------------------------|----|
| 代表的な成果指標 | ノーマイカーデー参加者の数(単年度)  | 58 社  | 70 社 | 74 社    | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |    |
|          | マイカー通勤者を主な対象として、参加企業数及び参加者の増加を図ります。<br>(最終目標と目標年度)          |       |      | 105.7 % |                          |                              |    |
|          | ノーマイカーデー実施によるCO2削減量(単年度)                                    | 37 t  | 50 t | 71 t    |                          | 142.0 %                      | 順調 |
|          | マイカー利用から公共交通機関を利用したことによるCO2の削減量<br>(最終目標と目標年度)              |       |      |         |                          |                              |    |

|      |   |      |                |
|------|---|------|----------------|
| 活動計画 | H22年度は10月から3月までの毎月毎週第2・第4水曜日をノーマイカーデーとし実施しましたが、H23年度は、10月から毎週水曜日をノーマイカーデーとし、市内企業及び市民に広く参加を呼びかけます。特に10月・11月の推進月間には市内飲食店で割引などの特典が受けられるなど楽しみながら取組む仕組みとします。 | 活動実績 | 活動の状況は以下の通りです。 |
|------|---|------|----------------|

|      | 指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明)                                      | 前年度実績      | 目標     | 実績(達成率)              | →                        | 【活動の状況】                |
|------|---|------------|--------|----------------------|--------------------------|------------------------|
| 活動指標 | 市内企業や飲食店、交通事業者などへの協力依頼  | 市内企業への参加依頼 | 効果的なPR | 様々な媒体を利用した効果的なPRを行った | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
|      | ノーマイカーデー参加者を募るために市内企業への参加依頼や、JRやモルル、バスなどの駅や駅周辺、そして車内でのチラシ・ポスターのぼり旗掲示など幅広く普及啓発を行います。 |            |        |                      |                          |                        |

### 【Check】評価(分析)

|           |  |  |
|-----------|--|--|
| 分析及び課題の整理 | <p>【成果の状況】<br/>【活動の状況】<br/>を踏まえた分析</p> <p>活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。</p> | <p>H22年度よりも事業を拡大し、参加企業・参加者も増えましたが、更なる普及啓発が必要と考えます。今後は、ドライバーに直接訴えかけるPRを行い、事業の定着・参加者の拡大を図っていきます。</p> |
|           | <p>「経済性」<br/>「効率性」<br/>の分析</p> <p>「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。</p>         | <p>ノーマイカーデーの認知度があがれば、普及啓発の内容を絞り込むことが考えられますが、現段階では、H22年10月から本格スタートしたところであり、幅広くPRを行っていく必要があります。</p>  |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|        |  |  |
|--------|--|--|
| 見直し状況等 | <p>課題</p> <p>ドライバーに直接視覚的に訴えかける「PR横断幕」の設置や、市民への周知を行うため、自治会と協力してのチラシの回覧などを実施しました。費用対効果に優れた参加者の拡大が課題です。</p>               |  |
|        | <p>次年度の活動計画(見直し内容)</p> <p>既存のPR媒体等の活用を見直すことで、大幅な経費節減を図りながら、引き続き個別企業との協議などを行い参加企業数を拡大させ、H25年環境モデル都市計画において見直します。「縮小」</p> | <p>その結果目指す成果(次年度の成果目標)</p> <p>市内企業100社程度の参加を目指します。</p> |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|          |            |     |           |             |            |       |          |            |     |
|----------|------------|-----|-----------|-------------|------------|-------|----------|------------|-----|
| 事業名      | エコドライブ推進事業 |     |           |             |            |       | 施策番号     | VI-2-(3)-① |     |
|          | コスト        | 事業費 | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額    | 8,900 千円 | (備考)       | 担当局 |
| 7,731 千円 |            |     | 4,405 千円  | 課長          |            | 0.1 人 | 職員       | 0.5 人      | 担当課 |
|          |            |     | 係長        | 0.4 人       |            | 課長名   | 塚本       |            |     |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|    |                    |   |      |                |
|----|--------------------|---|------|----------------|
| 目的 | 何を(誰を)どのような状態にしたのか | 自動車から排出されるCO2削減のため、企業内でのエコドライブ活動を支援するとともに市民へのエコドライブの普及啓発を図ります。(※H24年からは、H23年までの他事務事業で行っていた「エコドラ北九州プロジェクト」の事業を統合しました。) | 成果実績 | 成果の状況は以下の通りです。 |
|----|--------------------|---|------|----------------|

| 代表的な成果指標                     | 指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方) | 前年度実績 | 目標    | 実績(達成率) | →                        | 【成果の状況】 |
|------------------------------|---|-------|-------|---------|--------------------------|---------|
|                              | エコドラ北九州プロジェクト参加事業者のCO2削減量(単年度)                              |       |       |         | 196 t                    |         |
| 参加事業者のCO2の削減量<br>(最終目標と目標年度) |   | 139 t | 150 t | 130.7 % |                          |         |
| (最終目標と目標年度)                  |   |       |       |         | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 順調      |

|      |   |      |               |
|------|---|------|---------------|
| 活動計画 | 市内事業者へのエコドライブ活動の普及のため、「エコドラ北九州プロジェクト」を実施し、エコドライブ活動の支援を行います。優良活動企業には市からの認定や表彰を実施します。また市民向けに「エコドラ燃費グランプリ」や出前講演、アイドリングストップ運動を行います。 | 活動実績 | 活動実績は以下の通りです。 |
|------|---|------|---------------|

| 活動指標  | 指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明) | 前年度実績 | 目標   | 実績(達成率) | →                        | 【活動の状況】 |
|---|--|-------|------|---------|--------------------------|---------|
|   | エコドラ北九州プロジェクト参加事業者数                            |       |      |         | 36 社                     |         |
| エコドライブ活動に取り組む市内事業者数                           |  | 9 社   | 50 社 | 72.0 %  |                          |         |
| 市民向けのエコドライブの普及啓発(各活動の参加者の合計)                  |  |       |      | 532 人   | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 順調      |
| アイドリングストップ運動への参加者数、個人向け燃費グランプリ参加者数、出前講演の受講者数。 |  | 380 人 | -    |         |                          |         |

### 【Check】評価(分析)

|                       |  |   |  |
|-----------------------|--|---|--|
| 分析及び課題の整理             | 【成果の状況】<br>【活動の状況】<br>を踏まえた分析  | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。               | エコドラ北九州プロジェクトの参加事業者が増加しCO2削減効果も向上しました。また表彰を実施することで事業者の意欲が高まりました。今年度から市民へのさらなる普及を図るため、優良活動企業に対する市の認定制度や「エコドラ北九州プロジェクト」で構築した「燃費管理サイト」を活用し、市民向けに楽しみながらエコドライブに取り組める「エコドラ燃費グランプリ」を実施しました。 |
| 「経済性」<br>「効率性」<br>の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」<br>「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | プロジェクトはH19年度から5カ年計画でモデルを構築するものとしており、H23年度で一定のモデルが構築できました。今後はより低いコストでモデルの普及を図っていきます。 |  |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|        |  |   |
|--------|--|---|
| 見直し状況等 | 課題   | その結果目指す成果(次年度の成果目標)                           |
| 見直し内容  | 市内事業者に対して、エコドラ北九州プロジェクトの効果等をPRすることにより、参加事業者数を増やしていくことが課題です。  |   |
| 見直し内容  | エコドライブ活動モデルがある程度構築できたため、コンサルタント業務の見直しを行いながら、個別企業との協議を行い企業の自主的な参加を促すなど、平成25年環境モデル都市計画において見直します。「縮小」 | 参加事業者数・参加市民数を増やし、エコドライブの普及に繋げ、二酸化炭素削減効果を高めます。 |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                 |           |             |            |    |          |      |            |       |     |           |
|------------|-----------------|-----------|-------------|------------|----|----------|------|------------|-------|-----|-----------|
| <b>事業名</b> | 中小企業省エネ設備導入促進事業 |           |             |            |    |          |      | 施策番号       |       |     |           |
|            |                 |           |             |            |    |          |      | VI-2-(3)-① |       |     |           |
| <b>コスト</b> | 事業費             | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 4,825 千円 | (備考) | 担当局        | 環境局   |     |           |
|            |                 | 46,423 千円 | 100,000 千円  |            | 課長 | 0.05 人   |      | 職員         | 0.3 人 | 担当課 | 環境未来都市推進室 |
|            |                 |           |             |            | 係長 | 0.2 人    |      |            |       | 課長名 | 山本        |

| 【Plan】計画 →      |   |   |       | 【Do】実施 → 【Check】評価 |             |                          |  |
|-----------------|---|---|-------|--------------------|-------------|--------------------------|--|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか  | エネルギー消費の削減及び新エネルギーの普及拡大に必要な省エネルギー型設備及び新エネルギーを利用した発電設備を設置する市内の中小企業等に対し、導入経費の一部を補助し、低炭素社会づくりを推進します。また、市内における投資を促進し、地域産業の活性化を図ります。 |       |                    |             | <b>成果実績</b>              | 平成23年度新規事業のため、平成24年度末に効果検証を行います。市内中小企業の補助金へのニーズが非常に高いもので、今後省エネ効果が見込まれます。 |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)</b><br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)                                      |   | 前年度実績 | 目標                 | 実績(達成率)     | →                        | 【成果の状況】  |
|                 | 省エネルギー効果  |   |       |                    | -           | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック   |
|                 | 省エネルギー型設備及び新エネルギーを利用した発電設備の導入による省エネルギー効果を成果指標としました。補助事業者の平成22年度と平成24年度の使用電力量から省エネ効果を算出します。<br>(最終目標と目標年度) |   | -     | -                  | -           |                          |  |
|                 |   |   |       |                    |             |                          |  |
| (最終目標と目標年度)     |   |   |       |                    | <b>大変順調</b> |                          |  |

|             |  |  |       |      |             |                          |                        |
|-------------|--|--|-------|------|-------------|--------------------------|------------------------|
| <b>活動計画</b> | 省エネルギー型設備(高効率空調、高効率照明、高効率ボイラー、節水型便器等)、新エネルギー(太陽光発電、小型風力発電等)を利用した発電設備を複合的に導入する市内の中小企業等に対し、補助対象経費の3分の1以内、1件あたりの限度額300万円で助成を行います。 |  |       |      | <b>活動実績</b> | 活動結果は下記のとおりです。           |                        |
| <b>活動指標</b> | <b>指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)</b><br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明)  |  | 前年度実績 | 目標   | 実績(達成率)     | →                        | 【活動の状況】                |
|             | 補助金交付件数  |  |       |      | 41 件        | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
|             | 省エネ設備及び新エネ設備の導入により低炭素社会づくり及び地域産業の活性化に結びつきます。   |  | -     | 25 件 | 164.0 %     |                          |                        |
|             |  |  |       |      |             |                          |                        |
|             |  |  |       |      | <b>大変順調</b> |                          |                        |

| 【Check】評価(分析)    |  |   |  |
|------------------|--|---|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】<br/>【活動の状況】<br/>を踏まえた分析</b> | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 活動や成果は予定どおり目標を達成しました。平成23年度予算額5,000千円に対し、予算を上回る6,800千円の応募がありました。 |
|                  | <b>「経済性」<br/>「効率性」<br/>の分析</b>         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | 目標を上回る件数の応募があり、市内の低炭素型社会づくり及び地域産業の活性化につながっていると考えます。              |

以下、予算案作成時に記入

| 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入 |  |
|--|--|
| <b>見直し状況等</b>                            | 課題   |
|  | 平成24年度は当初予算額をはるかに上回る申請があり、9月に補正予算を計上するなど、事業者の省エネ、節電への取り組みの意識は非常に高くなっています。今後は、事業者の多様なニーズをいかに取り込み、投資効果を高めることが課題であると考えます。 |
|  | 次年度の活動計画(見直し内容)  |
|  | その結果目指す成果(次年度の成果目標)  |
|  | 商工会議所や関連経済団体等と協力しながら事業の普及拡大を行います。さらに、省エネ診断士育成事業や北九州エコプレミアム産業創造事業等他事業とのシナジー効果を生み出すよう審査基準の見直しを行います。事業費は拡充して行うこととしています。   |
|  | 市内中小企業のニーズを取り込み、今年度を上回る省エネルギー型設備及び新エネルギーを利用した発電設備の導入を目指します。  |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |              |           |             |            |                |               |           |            |
|------------|--------------|-----------|-------------|------------|----------------|---------------|-----------|------------|
| <b>事業名</b> | グリーン電力普及拡大事業 |           |             |            |                |               | 施策番号      | VI-2-(3)-① |
|            | <b>コスト</b>   | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額             | 8,650 千円 (備考) | 担当局       | 環境局        |
| 567 千円     |              | 2,385 千円  | 課長          |            | 0.1 人 職員 0.6 人 | 担当課           | 環境未来都市推進室 |            |
|            |              | 係長        | 0.3 人       |            | 課長名            | 平石            |           |            |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |   |  |            |             |             |                 |                |                              |
|-----------------|---|--|------------|-------------|-------------|-----------------|----------------|------------------------------|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか  | 太陽光発電は、再生可能エネルギーの中でも潜在的な利用可能量が多く、エネルギー自給率の低い我が国の国産エネルギーとして重要も位置を占める可能性があります。しかしながら、設置に係る費用、環境価値の有効活用等様々な課題があり、経済的に自立するに至っていません。本市は、環境モデル都市行動計画で太陽光発電の大幅な普及拡大を目指しています。今後、太陽光発電の普及を見据え、地域内でのグリーン電力証書の普及を目指します。 |            |             | <b>成果実績</b> | 下記の代表的な成果指標のとおり |                |                              |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br/>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)</b>   |  | 前年度実績      | 目標          | 実績(達成率)     | →               | <b>【成果の状況】</b> |                              |
|                 | グリーン電力証書発行実績  |  |            |             | 92,904 kWh  |                 | 大変順調<br>順調     | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |
|                 | 市内でイベント等が実施される際に、実施団体からグリーン電力証書を購入してもらい、購入した量(kWh)を指標とします。目標値は、H22年とH23年の北九州市立自然史・歴史博物館太陽光発電所における認証量の平均値の累積年数分(平均値97,724; 今回は、97,724×2=195,448)とします。<br>(最終目標と目標年度)平成26年度までに488,620kWhを販売します。 |  | 39,372 kWh | 195,448 kWh | 47.5 %      |                 |                |                              |
|                 |   |  |            |             |             |                 | やや遅れ<br>遅れ     | やや遅れ                         |
|                 |   | (最終目標と目標年度)  |            |             |             |                 |                |                              |

|             |   |  |            |            |             |                |                |                        |
|-------------|---|--|------------|------------|-------------|----------------|----------------|------------------------|
| <b>活動計画</b> | グリーン電力の認証と販売を行います。また、グリーン電力証書の周知を図るため、ホームページやイベントのチラシ等を利用し、PRを行います。   |  |            |            | <b>活動実績</b> | 活動結果は下記のとおりです。 |                |                        |
| <b>活動指標</b> | <b>指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br/>(上段: 指標名 下段: 指標の説明)</b>  |  | 前年度実績      | 目標         | 実績(達成率)     | →              | <b>【活動の状況】</b> |                        |
|             | グリーン電力証書のPR   |  |            |            | 53,532 kWh  |                | 大変順調<br>順調     | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
|             | 市内でイベント等が実施される際に、実施団体に対してグリーン電力証書を購入してもらうようPRを実施します。また、購入実績のある団体に対してもPRを実施します。目標値は、証書を購入してもらう量とし、平成22年度と23年度の北九州市立自然史・歴史博物館太陽光発電所の認証量の平均値(97,724kWh)とします。 |  | 39,372 kWh | 97,724 kWh | 54.8 %      |                |                |                        |
|             |   |  |            |            |             |                | やや遅れ<br>遅れ     | やや遅れ                   |
|             |   |  |            |            |             |                |                |                        |

### 【Check】評価(分析)

|                  |   |   |  |
|------------------|---|---|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 目標値には達していないものの、初年度である平成22年度のグリーン電力証書販売量は39,372kWhでしたが、23年度には53,532kwhに増加しました。まだ、グリーン電力証書の認知度が低いこと、証書購入のメリットが買う側に見えにくいことが、購入量が少ない原因として考えられます。認知度を高めるため、今後PRなどを積極的に行っていく必要があります。 |
|                  | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | コスト自体は、グリーン電力認証センターとの契約料やマーク使用料に必要なものとなっています。今後、同じコストでより高い成果をあげるためには、販売量を増やすことが必要です。   |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |  |
|---------------|--|--|
| <b>見直し状況等</b> | 課題   | グリーン電力証書の認知度が低いこと、証書購入のメリットが買う側に見えにくいことが、購入量が少ない原因として考えられます。 |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)  | その結果目指す成果(次年度の成果目標)  |
|               | PR用チラシを更新して環境関連イベント等で配るなど、認知度の向上を目指すとともに、50周年記念事業など大型イベントへの販売打診を行うなど、認知度向上を目指したPR活動を行います。また、これまでは証書は、イベントで使用される電力に活用するのみだったが、新たな取り組みとして、地元企業と協力し、グリーン電力証書を活用して生産した製品を活用することについて検討を行います。事業の見直しを行い、事業予算は縮小となる予定です。 | PR等により認知度を向上させ、目標値である97,724kWhの販売を目指します。                     |



## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                          |                        |                          |            |   |      |                  |
|------------|--------------------------|------------------------|--------------------------|------------|---|------|------------------|
| <b>事業名</b> | 北九州市役所環境・エネルギープロジェクト推進事業 |                        |                          |            |   |      | 施策番号             |
|            |                          |                        |                          |            |   |      | VI-2-(3)-①       |
| <b>コスト</b> | 事業費                      | 平成23年度執行額<br>26,113 千円 | 平成24年度当初予算額<br>30,000 千円 | 人件費<br>の目安 | 金額<br>6,150 千円<br>課長 0.1 人 職員 0.4 人<br>係長 0.2 人 | (備考) | 担当局<br>環境局       |
|            |                          |                        |                          |            |   |      | 担当課<br>環境未来都市推進室 |
|            |                          |                        |                          |            |   |      | 課長名<br>平石        |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |  |  |             |   |                          |                              |
|-----------------|--|--|-------------|---|--------------------------|------------------------------|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたいのか  | 環境モデル都市としての市役所の率先垂範を实践するため、また、省エネ法及び温対法の規制へ対応するため、平成23年度から本事業により市役所の環境・エネルギー対策として、省エネ・節電を推進します。また、市民等に省エネ・節電を広く浸透させます。 | <b>成果実績</b> | 現在集計中であるが、把握できている本庁舎だけでも、昨年7月から比較すると約23%の節電効果があることから成果の状況は順調と判断しています。 |                          |                              |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)</b>                           | 前年度実績  | 目標          | 実績(達成率)   | →                        | 【成果の状況】                      |
|                 | エネルギー消費原単位の改善  | —  | 1 %         | 集計中   |                          | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |
|                 | 省エネ・節電の評価指標として、市有施設の総エネルギー使用量の年1%以上の改善を指標としました。<br>(最終目標と目標年度)H27年度までに総エネルギー使用量H22年度比5%減 |  |             |   |                          |                              |
|                 | (最終目標と目標年度)  |  |             |   | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 順調                           |

|             |                         |             |                |
|-------------|-------------------------|-------------|----------------|
| <b>活動計画</b> | 全体会議を開催し、全庁的な取組みを推進します。 | <b>活動実績</b> | 活動結果は下記のとおりです。 |
|-------------|-------------------------|-------------|----------------|

|   |   |       |     |         |                          |                        |
|---|---|-------|-----|---------|--------------------------|------------------------|
| <b>活動指標</b>   | <b>指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)(上段:指標名 下段:指標の説明)</b> | 前年度実績 | 目標  | 実績(達成率) | →                        | 【活動の状況】                |
|   | 節電推進本部会議開催回数                                      | —     | 6 回 | 6 回     |                          | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
|   | 全庁的な省エネ・節電を推進するため、北九州市節電推進本部を設置し、本部会議を開催します。      |       |     | 100.0 % |                          |                        |
|   | 省エネ王コンテスト   | —     | 1 回 | 1 回     | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 順調                     |
| 市民向けに家庭での省エネ・節電を推進するため、消費電力削減率により選考する省エネ王コンテストを開催します。 | 100.0 %   |       |     |         |                          |                        |

### 【Check】評価(分析)

|                  |   |   |   |
|------------------|---|---|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 市役所における成果については、現在集計中であるが、把握できている本庁舎だけでも、昨年7月から比較すると約23%の節電効果があることから、有効な取組みであると判断しています。また、省エネ王コンテストについては、参加者が少なく、予定通りの成果は得られませんでした。今後は、教育委員会と協力し、また対象を小学生だけから幅広くすることについて検討しています。 |
|                  | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | 白熱電球をLED電球に更新するなど、節電による経済的にも効果の高いものから効率的に取り組んでいます。  |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |   |
|---------------|--|---|
| <b>見直し状況等</b> | 課題<br>平成23年度の実績は順調ですが、毎年削減していくことが必要なため、今後も省エネ・節電の推進を図る必要があります。                     | その結果目指す成果(次年度の成果目標)                             |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)  | 市有施設の総エネルギー使用量について、H23年度実績の1%以上削減を目標とします。(省エネ法) |
|               | 平成25年度については、平成24年度から事業費を縮小しますが、把握できている古い空調機やハロゲン電球といった更新することで節電効果のある設備を随時更新していきます。 |   |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                              |                         |                           |            |                     |     |           |            |
|------------|------------------------------|-------------------------|---------------------------|------------|---------------------|-----|-----------|------------|
| <b>事業名</b> | 地球環境にやさしい「太陽光発電」「屋上緑化」普及支援事業 |                         |                           |            |                     |     |           | 施策番号       |
|            |                              |                         |                           |            |                     |     |           | VI-2-(3)-② |
| <b>コスト</b> | 事業費                          | 平成23年度執行額<br>122,314 千円 | 平成24年度当初予算額<br>152,900 千円 | 人件費<br>の目安 | 金額<br>8,400 千円 (備考) | 担当局 | 環境局       |            |
|            |                              |                         |                           |            | 課長 0.1 人 職員 0.7 人   | 担当課 | 環境未来都市推進室 |            |
|            |                              |                         |                           |            | 係長 0.2 人            | 課長名 | 平石        |            |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|  |  |  |             |           |      |                              |
|--|--|--|-------------|-----------|------|------------------------------|
| <b>目的</b>  | 何を(誰を)どのような状態にしたいのか  | 市民による太陽光発電システム・太陽熱利用システム・地中熱利用システムの設置や事業者による屋上緑化事業に対し費用の一部を補助することで、市民や事業者の自主的な取組による地球温暖化対策を促進する。市内における家庭部門・業務部門におけるCO2排出を削減する。 | <b>成果実績</b> |           |      |                              |
| <b>代表的な成果指標</b>  | <b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)  | 前年度実績  | 目標          | 実績 (達成率)  | →    | 【成果の状況】                      |
|  | 太陽光発電システム導入量   | 5,261 kW   | 25,600 kW   | 13,967 kW | 大変順調 | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |
|  | 地球温暖化対策を推進していくためには、温室効果ガスを排出しない新エネルギーの導入が必要である。補助金を交付することで促進された市内における太陽光発電システム導入量を把握するもの。<br>(最終目標と目標年度) 2013年度までに32,000kW設置(GFPより。) |  |             | 54.6 %    |      |                              |
|  | 屋上緑化面積   | 320 m2   | 4,800 m2    | 2,554 m2  | やや遅れ | 大変順調                         |
| 地球温暖化対策を推進していくためには、温室効果ガスを排出しない新エネルギーの導入が必要である。補助金を交付することで促進された市内における屋上緑化面積を把握するもの。<br>(最終目標と目標年度) 2013年度までに6,000m2設置(小倉都心。GFPより。) | 53.2 %   |  |             |           |      |                              |

|             |  |             |                |
|-------------|--|-------------|----------------|
| <b>活動計画</b> | 昨年度、応募が振るわなかった「太陽熱利用システム」および「地中熱利用システム」については、メニューから除外し、昨年度より関心とともに急増した「太陽光発電システム」に重点をおいて補助件数を事業を実施する。<br>屋上緑化設備を導入する事業者に対する補助事業については、継続して実施する。 | <b>活動実績</b> | 活動結果は下記のとおりです。 |
|-------------|--|-------------|----------------|

|   |   |           |            |           |      |                        |
|---|---|-----------|------------|-----------|------|------------------------|
| <b>活動指標</b>   | <b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明)  | 前年度実績     | 目標         | 実績 (達成率)  | →    | 【活動の状況】                |
|   | 太陽光発電システム導入補助金の交付   | 95,683 千円 | 105,000 千円 | 119,543 円 | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
|   | 地球温暖化対策を推進していくためには、温室効果ガスを排出しない新エネルギーの導入が必要である。補助金を交付します。 |           |            | 113.9 %   |      |                        |
|   | 屋上緑化補助金の交付  | 1,000 千円  | 2,000 千円   | 2,000 円   | やや遅れ | 大変順調                   |
| 地球温暖化対策を推進していくためには、温室効果ガスを排出しない新エネルギーの導入が必要であるため、屋上緑化補助金を交付します。 | 100.0 %   |           |            |           |      |                        |

### 【Check】評価(分析)

|                  |   |   |   |
|------------------|---|---|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 本事業により、市民は新エネルギー・屋上緑化導入の初期経費の軽減ができ、システム等を導入しやすくなった。住宅・民間建築物に導入されることで市民の目に触れる機会も増え、新エネルギー導入に対する理解に繋がった。<br>太陽光発電システムにおいては予定件数を超過する申請があり、平成22年度以上の導入促進に繋がるという実績が得られた。 |
|                  | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | 太陽光発電システムや屋上緑化導入の需要が増えることで、地場の工務店・造園業者を始めとする企業の活動機会が増え、経済対策に繋がった。   |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |  |
|---------------|--|--|
| <b>見直し状況等</b> | <b>課題</b><br>・太陽光発電システムの住宅への設置は、年々増加傾向にあり、GFPの目標値を達成する見込みであるが、補助件数の増大に伴い、予算が不足しており、他事業からの流用等により補っている点が課題です。<br>・屋上緑化設備については、平成23年度および平成24年度の申請・相談件数が予算規模を上回っています。また、市の補助を受けていない導入状況の把握が困難(国の補助(パイロットシティ事業)を受けているものは、確認済。)。 | その結果目指す成果(次年度の成果目標)  |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)  |  |
|               | 平成25年度から「新エネルギー等設備導入支援事業」とし、本事業全体の予算は『縮小』となる予定です。<br>①太陽光発電システム…目標値を上回る普及が進んでいるため廃止とします。<br>②屋上緑化…都市部緑化や直下階の省エネ効果は、その他の代替策があるため、廃止とします。<br>③家庭用燃料電池(エネファーム)…平成24年度からの新メニューであり、その価格の高さから次年度についても実施していきます。                   | ①太陽光発電システムおよび②屋上緑化については、補助事業は廃止としますが、引き続き、平成25年度末までに累計32,000kW、累計4,800m2導入を目指します。そのため、各設備導入に対する相談対応などを継続して行っていきます。<br>③家庭用燃料電池(エネファーム)については、補助事業を継続実施し、平成25年度で150件の導入を目指します。 |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                |           |             |            |    |          |      |            |       |     |           |
|------------|----------------|-----------|-------------|------------|----|----------|------|------------|-------|-----|-----------|
| <b>事業名</b> | 関門海峡潮流発電設置推進事業 |           |             |            |    |          |      | 施策番号       |       |     |           |
|            |                |           |             |            |    |          |      | VI-2-(3)-② |       |     |           |
| <b>コスト</b> | 事業費            | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 8,650 千円 | (備考) | 担当局        | 環境局   |     |           |
|            |                | 9,780 千円  | 7,400 千円    |            | 課長 | 0.1 人    |      | 職員         | 0.6 人 | 担当課 | 環境未来都市推進室 |
|            |                |           |             |            | 係長 | 0.3 人    |      |            |       | 課長名 | 平石        |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |  |  |    |          |   |             |                              |  |  |
|-----------------|--|--|----|----------|---|-------------|------------------------------|--|--|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか   | 本市固有の再生可能エネルギーである関門海峡の潮流エネルギーを活用した潮流発電の実用化に向け、課題抽出・最適化のための実証研究及び市民の「見える化・感じる化」を図るための情報発信を行います。 |    |          |   | <b>成果実績</b> | 下記の代表的な成果指標のとおり。             |  |  |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)  | 前年度実績  | 目標 | 実績 (達成率) | → | 【成果の状況】     |                              |  |  |
|                 | 潮流発電装置を設置し、実証実験を行う。  | -  | -  | -        |   | -           | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |  |  |
|                 | 地元企業、大学と共同で、門司区大里のニッカウキスキー(株)門司工場棧橋に潮流発電実験装置を設置し、実証研究及び、実証研究過程の情報公開も含めた潮流発電の「見える化・感じる化」を行います。<br><br>(最終目標と目標年度)平成24年度末までに必要なデータを全て収集。 | -  | -  | -        | - | -           |                              |  |  |

|             |   |             |                |          |   |         |                        |  |  |
|-------------|---|-------------|----------------|----------|---|---------|------------------------|--|--|
| <b>活動計画</b> | 門司区大里のニッカウキスキー(株)門司工場棧橋に潮流発電実験装置を設置し、設置維持管理をしながら実証研究を開始します。 | <b>活動実績</b> | 活動結果は下記のとおりです。 |          |   |         |                        |  |  |
| <b>活動指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明)    | 前年度実績       | 目標             | 実績 (達成率) | → | 【活動の状況】 |                        |  |  |
|             | メディアによるPR件数   | -           | 15 回           | 19 回     |   | 126.7 % | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |  |  |
|             | 見える化・感じる化に関する指標として、新聞やテレビなどのメディアから取り上げてもらい、PRします。           | -           | -              | -        | - | -       |                        |  |  |

### 【Check】評価(分析)

|                  |   |   |   |
|------------------|---|---|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 平成23年度目的とした、ニッカウキスキー(株)門司工場棧橋への潮流発電実験装置の設置は予定どおり完了しました。<br>実証研究においては、今後、データ収集等を進め、潮流発電装置で発電を行い、ニッカウキスキーのレンガ倉庫をLEDライトでライトアップし、見える化・感じる化につながるよう取組む予定です。 |
|                  | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | 今後研究の効率性を高めるため、北九州工業高等専門学校を加え、実証研究を進めていきます。   |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|---------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| <b>見直し状況等</b> | 課題   | ・関門海峡潮流発電は、実証研究を進めるにあたり、設置前に想定されていなかった発電・充電に関する問題が発生しました。<br>・潮流エネルギーについての市民理解の増進を図る必要があります。 |  |  |  |  |  |  |  |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)  | その結果目指す成果(次年度の成果目標)  |  |  |  |  |  |  |  |
|               | 平成24年度に見える化として潮流発電装置で発電した電力を利用し、ニッカウキスキーLEDIによるライトアップを実施し、市民へのPRを行いました。イルミネーションは平成25年3月末まで設置する予定となっています。平成25年度は、発電効率の向上を目指し、研究を進める予定となっています。※他事業と一本化予定。事業の見直しを行い、予算は『縮小』となる予定です。 | 発電の高効率化を目指した検討やメンテナンスにかかる費用等のデータ収集を行う予定です。   |  |  |  |  |  |  |  |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                          |           |             |            |    |          |            |     |       |     |
|------------|--------------------------|-----------|-------------|------------|----|----------|------------|-----|-------|-----|
| <b>事業名</b> | 環境モデル都市シンボル事業(北九州空港低炭素化) |           |             |            |    |          | 施策番号       |     |       |     |
|            |                          |           |             |            |    |          | VI-2-(3)-② |     |       |     |
| <b>コスト</b> | 事業費                      | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 1,480 千円 | (備考)       | 担当局 | 環境局   |     |
|            |                          | 20,079 千円 | 0 千円        |            | 課長 | 0.02 人   |            | 職員  | 0.1 人 | 担当課 |
|            |                          |           |             |            | 係長 | 0.05 人   |            | 課長名 | 平石    |     |
|            |                          |           |             |            |    |          |            |     |       |     |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |   |  |       |                        |                        |         |                |                              |  |  |
|-----------------|---|--|-------|------------------------|------------------------|---------|----------------|------------------------------|--|--|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか<br>北九州市の玄関口である北九州空港のアーケード屋根を薄膜型太陽光パネルに更新することで、低炭素社会を目指す本市の姿勢を広くPRし見える化を図ります。 |  |       |                        | <b>成果実績</b>            |         |                |                              |  |  |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)                           |  | 前年度実績 | 目標                     | 実績<br>(達成率)            | →       | <b>【成果の状況】</b> |                              |  |  |
|                 | 温室効果ガス削減効果  |  | —     | 3.85 t-CO <sub>2</sub> | 3.85 t-CO <sub>2</sub> | 100.0 % | →              | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |  |  |
|                 | 薄膜型太陽光パネルを設置することで、削減される温室効果ガス<br>(最終目標と目標年度)  |  |       |                        |                        |         |                |                              |  |  |
|                 | —   |  | —     | —                      | —                      | →       | 順調             |                              |  |  |
| (最終目標と目標年度)     |   |  |       |                        |                        |         |                |                              |  |  |

|  |   |  |       |      |             |                |                |                        |  |  |  |  |
|--|---|--|-------|------|-------------|----------------|----------------|------------------------|--|--|--|--|
| <b>活動計画</b>  | 北九州市の玄関口である北九州空港のアーケード屋根を薄膜型太陽光パネルに更新することで、低炭素社会を目指す本市の姿勢を広くPRし見える化を図ります。 |  |       |      | <b>活動実績</b> | 活動結果は下記のとおりです。 |                |                        |  |  |  |  |
| <b>活動指標</b>  | <b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明)                  |  | 前年度実績 | 目標   | 実績<br>(達成率) | →              | <b>【活動の状況】</b> |                        |  |  |  |  |
|  | 太陽光発電設備の設置  |  | —     | 9 kW | 9 kW        | 100.0 %        | →              | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |  |  |  |  |
|  | 9kW相当の薄膜型太陽光パネルを設置します。  |  |       |      |             |                |                |                        |  |  |  |  |
|  | —   |  | —     | —    | —           | →              | 順調             |                        |  |  |  |  |
| 低炭素社会を目指す本市の姿勢を広くPR<br>多くの人の目に留まる場所に太陽光パネルを設置します。また、PRパネルの設置、マスコミへの発表を実施します。 |   |  |       |      |             |                |                |                        |  |  |  |  |

### 【Check】評価(分析)

|                  |   |   |  |
|------------------|---|---|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 薄膜太陽光パネルを空の玄関口である北九州空港に設置し、マスコミ発表も実施していることから、低炭素社会を目指す姿勢をPRするのに有効な取組みであると判断しています。                        |
|                  | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。   | 本事業は環境省の「地域グリーンニューディール基金」から100%助成しています。また、北九州空港という多くの人の目に留まる場所に設置し、PRパネルも設置していることから、効率よくPRできていると判断しています。 |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |                     |
|---------------|--|---------------------|
| <b>見直し状況等</b> | 課題<br>北九州市の玄関口である北九州空港のアーケード屋根を薄膜型太陽光パネルに更新し、低炭素社会を目指す本市の姿勢を広くPRし見える化を実施できました。 |                     |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)  | その結果目指す成果(次年度の成果目標) |
|               | H23年度で事業を終了しました。   | —                   |



## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                 |           |             |        |    |          |      |            |       |     |           |
|------------|-----------------|-----------|-------------|--------|----|----------|------|------------|-------|-----|-----------|
| <b>事業名</b> | 低炭素社会「見える化」推進事業 |           |             |        |    |          |      | 施策番号       |       |     |           |
|            |                 |           |             |        |    |          |      | VI-2-(3)-② |       |     |           |
| <b>コスト</b> | 事業費             | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費の目安 | 金額 | 8,650 千円 | (備考) | 担当局        | 環境局   |     |           |
|            |                 | 17,700 千円 | 0 千円        |        | 課長 | 0.1 人    |      | 職員         | 0.6 人 | 担当課 | 環境未来都市推進室 |
|            |                 |           |             |        | 係長 | 0.3 人    |      |            |       | 課長名 | 平石        |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|   |   |   |       |          |      |                              |             |  |  |  |
|---|---|---|-------|----------|------|------------------------------|-------------|--|--|--|
| <b>目的</b>   | 何を(誰を)どのような状態にしたいのか   | 本市は、北九州市グリーンフロンティアプランで、市内重点地区での低炭素社会の「見える化」をリーディングプロジェクトとして掲げており、当プロジェクトを具現化するために、新エネルギー、省エネルギー機器を導入し、地球温暖化問題の解決に貢献するとともに、低炭素社会のあるべき姿の見える化に繋がる事業を実施する事業者に対し、導入費の一部を補助します。 |       |          |      |                              | <b>成果実績</b> |  |  |  |
| <b>代表的な成果指標</b>   | <b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)         | 前年度実績   | 目標    | 実績 (達成率) | →    | 【成果の状況】                      |             |  |  |  |
|   | 太陽光発電・省エネルギー型照明導入によるCO2削減効果   | 340 t   | 100 t | 443.1 t  | →    | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |             |  |  |  |
|   | 補助により導入された太陽光発電および省エネルギー型照明によるCO2削減効果を検証。(※目標及び実績値は申請時見込み。今後、事業者からの報告を受ける予定。) |   |       | 443.1 %  |      |                              |             |  |  |  |
|   | (最終目標と目標年度) 平成23年度までに年間100t-CO2の削減  |   |       | —        | 大変順調 |                              | 大変順調        |  |  |  |
| 低炭素社会「見える化」効果   |   |   | —     | 順調       |      |                              |             |  |  |  |
| 当該事業は小倉都心、八幡東田、若松響灘の3地区を重点地区として進めることとしており、低炭素社会の「見える化」が重点地区において効果的に行われているかを検証します。 |   |   |       | やや遅れ     |      |                              |             |  |  |  |
| (最終目標と目標年度) —   |   |   |       | 遅れ       |      |                              |             |  |  |  |

|             |   |                 |          |          |   |                        |             |                |  |  |  |
|-------------|---|-----------------|----------|----------|---|------------------------|-------------|----------------|--|--|--|
| <b>活動計画</b> | 環境省の地域グリーンニューデール基金を活用しての平成22年度からの2か年計画の事業。前年度と同程度の件数を補助するため、1件あたりの補助上限額を1,000万円から300万円に下げて実施。 |                 |          |          |   |                        | <b>活動実績</b> | 活動結果は下記のとおりです。 |  |  |  |
| <b>活動指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明)                                      | 前年度実績           | 目標       | 実績 (達成率) | → | 【活動の状況】                |             |                |  |  |  |
|             | 太陽光発電・省エネルギー型照明導入補助金の交付   | 3191 千円<br>8 千円 | 18000 千円 | 17720 千円 | → | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |             |                |  |  |  |
|             | 太陽光発電および省エネルギー型照明を導入する為の補助金を交付します。  |                 |          | 98.4 %   |   |                        |             |                |  |  |  |
|             |   |                 |          |          | — | 大変順調                   |             | 大変順調           |  |  |  |
|             |   |                 |          | やや遅れ     |   |                        |             |                |  |  |  |
|             |   |                 |          | 遅れ       |   |                        |             |                |  |  |  |

### 【Check】評価(分析)

|                  |                                       |   |   |
|------------------|---------------------------------------|---|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】<br/>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 平成23年度は24件の申請を受け付け、そのうち9件を採択し助成を行いました。これにより、合計して年間約270kWhの電力量の削減と約104tのCO2削減が見込まれます。(申請時の見込み。※電力やCO2の正式な削減量の値は、要綱に基づき、事業所から報告を受けます。)<br>LED照明や太陽光発電の普及に寄与しただけでなく、市内の事業者到低炭素社会の「見える化」に取り組んでもらうきっかけとなり、高い効果があったといえます。 |
|                  | <b>「経済性」<br/>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。   | 本事業は環境省の「地域グリーンニューデール基金」から100%助成しています。また、助成により、LEDや太陽光発電の普及のみならず、低炭素社会の「見える化」という二次的な効果も生み出しており、効果は高いといえます。  |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |  |
|---------------|--|--|
| <b>見直し状況等</b> | 課題   |  |
|               | 本事業活用による省エネ等機器導入は、当初見込みよりも大幅な削減へ繋がると想定されます。課題としては、本事業の趣旨である「見える化」を継続的に実施するため、事業者側のPRに加え、市によるPR等(エコツアー内での紹介など)を検討する必要があります。 |  |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)  | その結果目指す成果(次年度の成果目標)  |
|               | 本事業は、地域グリーンニューデール基金を活用した事業のため、平成22年度および平成23年度の2か年実施で終了となります。補助金交付者については、平成24年度末頃から平成25年度初頭に実績状況報告を求める予定です。                 | 実績状況報告を当初計画と比較する予定です。なお、平成23年度までの導入で100t-CO2の削減を目指しており、目標値をクリアしている見込みです。 |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                             |           |             |            |    |          |      |            |       |     |         |
|------------|-----------------------------|-----------|-------------|------------|----|----------|------|------------|-------|-----|---------|
| <b>事業名</b> | 家庭・建築物省エネルギー改修・新エネルギー導入促進事業 |           |             |            |    |          |      | 施策番号       |       |     |         |
|            |                             |           |             |            |    |          |      | VI-2-(3)-② |       |     |         |
| <b>コスト</b> | 事業費                         | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 1,480 千円 | (備考) | 担当局        | 環境局   |     |         |
|            |                             | 14,091 千円 | 0 千円        |            | 課長 | 0.02 人   |      | 職員         | 0.1 人 | 担当課 | 未来都市推進室 |
|            |                             |           |             |            | 係長 | 0.05 人   |      |            |       | 課長名 | 平石      |
|            |                             |           |             |            |    |          |      |            |       |     |         |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |   |   |       |      |             |                          |                              |  |  |  |
|-----------------|---|---|-------|------|-------------|--------------------------|------------------------------|--|--|--|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか  | 厚生労働省の「ふるさと雇用再生特別基金事業」として、福岡県から100%補助を受け、新規雇用を行い、環境モデル都市としての取組みである家庭や事業所の省エネ・新エネ導入の促進を行います。 |       |      |             |                          | <b>成果実績</b>                  |  |  |  |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方) |   | 前年度実績 | 目標   | 実績<br>(達成率) | →                        | <b>【成果の状況】</b>               |  |  |  |
|                 | 省エネ改修工事実施件数   |   | 12 件  | 50 件 | 64 件        | →                        | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |  |  |  |
|                 | 省エネ診断をもとに実施する省エネ改修工事の実施件数<br>(最終目標と目標年度)                              |   |       |      | 128.0 %     |                          |                              |  |  |  |
|                 |   |   |       |      |             | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | <b>順調</b>                    |  |  |  |
|                 |   | (最終目標と目標年度)   |       |      |             |                          |                              |  |  |  |

|                                 |   |         |       |       |             |             |                        |  |  |  |
|---------------------------------|---|---------|-------|-------|-------------|-------------|------------------------|--|--|--|
| <b>活動計画</b>                     | 省エネ診断要員の雇用を新たに創出し、家庭・業務部門における省エネ行動、省エネ改修工事を促すために、省エネ診断を実施します。 |         |       |       |             | <b>活動実績</b> | 活動結果は下記のとおりです。         |  |  |  |
| <b>活動指標</b>                     | <b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明)      |         | 前年度実績 | 目標    | 実績<br>(達成率) | →           | <b>【活動の状況】</b>         |  |  |  |
|                                 | 省エネ診断員の雇用   |         | 3 人   | 3 人   | 3 人         | →           | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |  |  |  |
|                                 | 雇用・経済対策の観点から省エネ診断要員の雇用を新たに創出します。                              |         |       |       | 100.0 %     |             |                        |  |  |  |
|                                 | 省エネ診断の実施  |         | 76 回  | 100 回 | 161 回       | →           | <b>順調</b>              |  |  |  |
| 省エネ行動、省エネ改修工事を促すために省エネ診断を実施します。 |   | 161.0 % |       |       |             |             |                        |  |  |  |

### 【Check】評価(分析)

|                  |   |   |  |
|------------------|---|---|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 省エネ診断員を新たに雇用し、省エネ相談や省エネ診断、省エネ改修・新エネ導入設計施工実践講座を実施してきた結果、省エネ相談、省エネ診断の件数も増加しており、省エネ改修工事を実施した件数も増加していることから有効な取組みであると判断しています。 |
|                  | <b>【経済性】</b><br><b>【効率性】</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。」  | 本事業は厚生労働省の「ふるさと雇用再生特別基金事業」から100%補助を受けています。新たな雇用の創出により、公共・民間を問わず、幅広く需要を喚起することができ、地場建設企業の浮揚等にもつながることから、有効な取組みであると判断しています。  |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |   |                     |
|---------------|---|---------------------|
| <b>見直し状況等</b> | 課題  | -                   |
|               | 厚生労働省の「ふるさと雇用再生特別基金事業」として、福岡県から100%補助を受け、新規雇用を行い、環境モデル都市としての取組みである家庭や事業所の省エネ・新エネ導入の促進を実施しました。 |                     |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)   | その結果目指す成果(次年度の成果目標) |
|               | H23年度で事業を終了しました。  | -                   |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                         |           |             |            |    |                 |      |            |         |
|------------|-------------------------|-----------|-------------|------------|----|-----------------|------|------------|---------|
| <b>事業名</b> | 「北九州市循環型社会形成推進基本計画」推進事業 |           |             |            |    |                 |      | 施策番号       |         |
|            |                         |           |             |            |    |                 |      | VI-3-(1)-① |         |
| <b>コスト</b> | 事業費                     | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 2,325 千円        | (備考) | 担当局        | 環境局     |
|            |                         | 2,869 千円  | 1,154 千円    |            | 課長 | 0.05 人 職員 0.1 人 |      | 担当課        | 循環社会推進課 |
|            |                         |           |             |            | 係長 | 0.1 人           |      | 課長名        | 敷田      |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|           |                    |   |             |                     |
|-----------|--------------------|---|-------------|---------------------|
| <b>目的</b> | 何を(誰を)どのような状態にしたのか | 今後10年間の先駆的な廃棄物行政のあり方を示す「北九州市循環型社会形成推進基本計画」に基づいて、市民、事業者、NPO、行政など地域社会を構成する各主体が連携・協働して取り組みを進め、従来の「循環型」の取組みに「低炭素」「自然共生」の取組みを加えた「持続可能な都市のモデル」の実現を目指していきます。 | <b>成果実績</b> | 計画の目標は、H32に設定しています。 |
|-----------|--------------------|---|-------------|---------------------|

| 代表的な成果指標 | 指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方) | 前年度実績  | 目標    | 実績 (達成率) | →                        | 【成果の状況】 |
|----------|--|--|-------|----------|--------------------------|---------|
|          | 市民1人一日あたりの家庭ごみ量  | 平成21年度: 506g ⇒ 平成32年度: 470g以下<br>(最終目標と目標年度) | 505 g | —        | 集計中                      |         |
| リサイクル率   | 平成21年度: 30.4% ⇒ 平成32年度: 35%以上<br>(最終目標と目標年度)                   | 30.2 %                                       | —     | 集計中      | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 順調      |

|             |  |             |                |
|-------------|--|-------------|----------------|
| <b>活動計画</b> | 「北九州市一般廃棄物処理基本計画」の計画期間が平成22年度に終了したことに伴い、持続可能な社会の実現に向け、今後10年間の廃棄物行政のあり方を示す「北九州市循環型社会形成推進基本計画」を策定。 | <b>活動実績</b> | 活動結果は下記のとおりです。 |
|-------------|--|-------------|----------------|

| 活動指標 | 指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明) | 前年度実績                               | 目標 | 実績 (達成率) | →                        | 【活動の状況】 |
|------|---|-------------------------------------|----|----------|--------------------------|---------|
|      | 計画の策定   | 平成23年8月に「北九州市循環型社会形成推進基本計画」を策定しました。 | —  | —        |                          |         |
|      |   |                                     |    |          | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 大変順調    |

### 【Check】評価(分析)

|                  |                               |   |  |
|------------------|-------------------------------|---|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | 【成果の状況】<br>【活動の状況】<br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 平成23年度には「北九州市循環型社会形成推進基本計画」を策定し、持続可能な社会の実現に向けた、環境未来都市にふさわしい目標設定を行いました。今後、計画目標の達成に向けて、各事業と連携しながら推進していくこととします。 |
|                  | 【経済性】<br>【効率性】<br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | 計画全体の事業実施状況を把握しながら、各事業の適正な進行管理を行っていくこととします。  |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |   |   |
|---------------|---|---|
| <b>見直し状況等</b> | 課題  |   |
|               | 平成23年度に、今後10年間の廃棄物行政の指標となる計画を策定しました。ごみ減量・リサイクル率向上が頭打ちの傾向にある中で、計画に定めた目標を達成できるよう、毎年、成果指標である数値の管理を行うとともに、各事業の適正な進行管理を行うことが必要となります。 |   |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)   | その結果目指す成果(次年度の成果目標)                                   |
|               | 計画の進捗状況を検証するための委員会の開催等について、適切な見直しを行うことにより事業費を縮小しますが、さらなるごみ減量とリサイクル率の向上に向けて、データを集積して最新の現状を分析し、より効果的・効率的な施策や啓発・広報の方法の検討を行います。     | 計画の中間目標年度の平成27年度における目標値達成に向け、家庭ごみの減量・リサイクル率の向上を目指します。 |

# PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                 |           |             |               |    |          |      |            |       |     |         |
|------------|-----------------|-----------|-------------|---------------|----|----------|------|------------|-------|-----|---------|
| <b>事業名</b> | <b>3R活動推進事業</b> |           |             |               |    |          |      | 施策番号       |       |     |         |
|            |                 |           |             |               |    |          |      | VI-3-(1)-① |       |     |         |
| <b>コスト</b> | <b>事業費</b>      | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | <b>人件費の目安</b> | 金額 | 7,325 千円 | (備考) | 担当局        | 環境局   |     |         |
|            |                 | 893 千円    | 1,518 千円    |               | 課長 | 0.05 人   |      | 職員         | 0.7 人 | 担当課 | 循環社会推進課 |
|            |                 |           |             |               | 係長 | 0.15 人   |      |            |       | 課長名 | 敷田      |

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|  |  |  |    |          |                          |                              |   |  |  |
|--|--|--|----|----------|--------------------------|------------------------------|---|--|--|
| <b>目的</b>  | 何を(誰を)どのような状態にしたのか   | 個人、市民団体、事業者が行う3R活動を奨励する3R活動推進表彰や、市内の一般廃棄物大量排出事業者や大規模事業所等の所有者等に対する資源化・減量化計画書の提出による一般廃棄物の減量化・資源化、適正処理の推進など、廃棄物の発生抑制(Reduce)・再利用(Reuse)・再生使用(Recycle)の3R(スリーアール)活動を推進します。 |    |          |                          | <b>成果実績</b>                  | 事業所の資源化・減量化等の定期的な点検や3R活動に対する表彰を行うことで、3R活動の意識を醸成し向上することに繋がっています。 |  |  |
| <b>代表的な成果指標</b>  | <b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)                    | 前年度実績  | 目標 | 実績 (達成率) | →                        | 【成果の状況】                      |   |  |  |
|  | 事業所から排出される一般廃棄物の資源化率の向上  | -  | -  | -        |                          | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |   |  |  |
|  | 事業所に係る資源化・減量化計画書を作成することで、各事業所から発生する廃棄物の資源化・減量化や適正処理を定期的に点検し、資源化率の向上を図ります。<br>(最終目標と目標年度) | -  | -  | -        |                          |                              |   |  |  |
|  | 3R活動推進表彰による3R活動に対する意識の向上   | -  | -  | -        | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | <b>順調</b>                    |   |  |  |
| 廃棄物の発生抑制(Reduce)・再利用(Reuse)・再生使用(Recycle)の3R(スリーアール)活動を積極的に取り組んでいる個人、市民団体、事業者を表彰し、これらの活動を奨励します。<br>(最終目標と目標年度) | -  | -  | -  |          |                          |                              |   |  |  |

|             |  |             |                |
|-------------|--|-------------|----------------|
| <b>活動計画</b> | 3R活動に対する意識の向上を図るため、3R活動推進表彰を実施します。事業所から排出される一般廃棄物のリサイクル率の向上を図るため、提出対象事業所の全事業所に資源化・減量化計画書の提出を求めるとともに、訪問調査を行います。 | <b>活動実績</b> | 活動結果は、下記のとおりです |
|-------------|--|-------------|----------------|

|   |  |       |             |          |                          |                        |
|---|--|-------|-------------|----------|--------------------------|------------------------|
| <b>活動指標</b>   | <b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明) | 前年度実績 | 目標          | 実績 (達成率) | →                        | 【活動の状況】                |
|   | 事業所から排出される一般廃棄物の適正処理の点検                                  | -     | 目標設定はありません。 | -        |                          | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
|   | 資源化・減量化計画書の提出に加え、必要に応じて訪問調査を行います。                        | -     | -           | -        |                          |                        |
|   | 3R活動推進表彰に関する市民への広報活動                                     | 13 団体 | 目標設定はありません。 | 10 団体    | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | <b>順調</b>              |
| 募集時に、各区・市民センター等へのリーフレット配布のほか、かえるプレス等で3R活動推進賞受賞団体を紹介します。 | -  | -     | -           |          |                          |                        |

## 【Check】評価(分析)

|                  |   |   |  |
|------------------|---|---|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | H23年度は、受賞団体10団体のうち8団体が子どもの団体や学校関係であり、子ども達の日常の生活に3Rが定着してきており、今後の活動の広がりが窺われました。また、条例対象事業所については、訪問調査を実施し、他事業所の取り組み等を紹介することにより、3R意識がさらに高まっていると考えています。  |
|                  | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | 条例対象事業所に対する資源化・減量化計画書の提出については、市内事業系一般廃棄物排出の主である大量排出事業者や大規模事業所等の事業者が、計画書作成により廃棄物排出の振り返りを行う機会となっており、事業者への廃棄物適正処理の啓発や3R活動の周知・普及の手段として、費用対効果は高いと考えています。また、3R活動推進表彰については、表彰式を単独で行わず、市主催事業(エコライフステージ)の一環として行うなど、事業を遂行するにあたって、コスト削減に努めています。 |

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |  |  |  |
|---------------|--|--|--|--|
| <b>見直し状況等</b> | <b>課題</b>  | 平成23年度は、受賞団体10団体のうち8団体が子どもの団体や学校関係であり、子ども達の日常の生活に3Rが定着してきており、今後の活動の広がりが窺われました。また、条例対象事業所については、訪問調査を実施し、他事業所の取り組み等を紹介することにより、3R意識が高まってきていると考えています。しかしながら、3R活動の認知度はまだ低いことから、継続的に啓発活動に努めていく必要があります。 |  |  |
|               | <b>次年度の活動計画(見直し内容)</b>   | <b>その結果目指す成果(次年度の成果目標)</b>   |  |  |
|               | 3R活動に対する意識の向上と、3R活動の推進を図るため、引き続き3R活動推進表彰の実施及び資源化・減量化計画書提出対象事業所の全事業所に提出を求めるとともに、訪問調査を実施しますが、事務の効率化による事務経費の削減により事業費は縮小します。 | 3R活動推進表彰や一般廃棄物大量排出事業者や大規模事業所等の所有者等に対する資源化・減量化計画書の提出を通じた一般廃棄物の減量化・資源化、適正処理の推進を行い、資源化率の向上や3R活動に対する意識の向上を図ります。  |  |  |



## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |             |            |             |            |    |          |      |            |       |     |         |
|------------|-------------|------------|-------------|------------|----|----------|------|------------|-------|-----|---------|
| <b>事業名</b> | 古紙リサイクル推進事業 |            |             |            |    |          |      | 施策番号       |       |     |         |
|            |             |            |             |            |    |          |      | VI-3-(1)-① |       |     |         |
| <b>コスト</b> | 事業費         | 平成23年度執行額  | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 2,750 千円 | (備考) | 担当局        | 環境局   |     |         |
|            |             | 260,081 千円 | 272,213 千円  |            | 課長 | 0 人      |      | 職員         | 0.3 人 | 担当課 | 循環社会推進課 |
|            |             |            |             |            | 係長 | 0.05 人   |      |            |       | 課長名 | 敷田      |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |  |   |  |           |            |                              |                    |  |  |
|-----------------|--|---|--|-----------|------------|------------------------------|--------------------|--|--|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか   | 一般廃棄物の減量化・資源化促進のため、以下の事業を通じて、町内会等の市民団体による古紙の集団資源回収活動を支援します。①回収量に応じて市民団体に奨励金を支払う奨励金制度 ②古紙の保管庫を市民団体に貸与する保管庫貸与制度 ③未回収地域の解消を図るため、まちづくり協議会へ回収量に応じた奨励金を支払う地域調整奨励金制度 |  |           |            | <b>成果実績</b>                  | 下記の代表的な成果指標のとおりです。 |  |  |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)  | 前年度実績   | 目標                                     | 実績 (達成率)  | →          | 【成果の状況】                      |                    |  |  |
|                 | 年間古紙回収量  |   |  | 29,106 トン |            | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |                    |  |  |
|                 | 平成23年に策定した循環型社会形成推進基本計画に掲げたりサイクル率35%以上を目指す為、平成32年度までに1人あたりの古紙回収量の10%増加(対21年度比)を目指します。<br>(最終目標と目標年度)一人あたり10%回収量の増加(平成32年度) | 29,485 トン   | 30,500 トン<br><small>(古紙集団資源回収)</small> | 95.4 %    |            |                              |                    |  |  |
|                 | 古紙回収に取り組むまちづくり協議会数   |   |  | 123 団体    | 大変順調<br>順調 | 順調                           |                    |  |  |
|                 | 古紙回収に取り組むまちづくり協議会の増加を目指します。<br>(最終目標と目標年度)全136団体の参加(目標年度の設定なし)   | 120 団体  | 136 団体                                 | 90.4 %    | やや遅れ<br>遅れ |                              |                    |  |  |

|             |  |       |    |            |            |                        |                |  |  |
|-------------|--|-------|----|------------|------------|------------------------|----------------|--|--|
| <b>活動計画</b> | 古紙回収団体および回収量の増加を目指し、市政だより、かえるプレス等による古紙回収の周知を図ります。        |       |    |            |            | <b>活動実績</b>            | 下記の活動指標のとおりです。 |  |  |
| <b>活動指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明) | 前年度実績 | 目標 | 実績 (達成率)   | →          | 【活動の状況】                |                |  |  |
|             | 広報活動の実施  |       |    | 4 回        |            | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |                |  |  |
|             | 市政だより、かえるプレス及び出前講演等による、古紙回収の周知を行います。                     | 7 回   | —  |            |            |                        |                |  |  |
|             |  | 団体    | 団体 | 団体         | 大変順調<br>順調 | 順調                     |                |  |  |
|             |  |       |    | やや遅れ<br>遅れ |            |                        |                |  |  |

### 【Check】評価(分析)

|                  |   |   |  |
|------------------|---|---|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 新聞発行部数の減少や電子媒体の普及による古紙の流通量が減少している中、概ね前年度の回収量を維持できたと考えます。引き続き啓発を行い、回収量の増加を図ります。古紙をリサイクルする意識はかなり浸透し、家庭ごみの減量に大きく貢献しており、今後も必要な事業と考えています。 |
|                  | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | 行政回収よりも低コストで、回収業者と自由に契約ができるため利便性も高く、また、奨励金は町内会等の貴重な活動資金であることから、地域コミュニティの活性化を図る上で大きな役割を担っています。  |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |                              |  |  |
|---------------|--|------------------------------|--|--|
| <b>見直し状況等</b> | 課題   |                              |  |  |
|               | 平成23年度は概ね前年度の回収量を維持し、平成24年度についても同等以上の回収量を維持できるものと考えていますが、目標達成に向け、引き続き啓発や周知を行い、家庭ごみでの排出量を減少させ、回収量の増加に向けた取組みを進めていく必要があります。 |                              |  |  |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)  | その結果目指す成果(次年度の成果目標)          |  |  |
|               | 事業費を現状維持し、雑がみ回収を促進するなどの啓発や、未実施地域に対して回収制度の案内を行い、古紙回収量の増加を図ります。  | 前年同様、30,500トン为目标として取組みを行います。 |  |  |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                                       |           |             |            |    |          |      |            |       |     |         |
|------------|---------------------------------------|-----------|-------------|------------|----|----------|------|------------|-------|-----|---------|
| <b>事業名</b> | 地域特性型(メニュー選択方式)市民環境活動推進事業(剪定枝リサイクル事業) |           |             |            |    |          |      | 施策番号       |       |     |         |
|            |                                       |           |             |            |    |          |      | VI-3-(1)-① |       |     |         |
| <b>コスト</b> | 事業費                                   | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 6,250 千円 | (備考) | 担当局        | 環境局   |     |         |
|            |                                       | 9,671 千円  | 10,643 千円   |            | 課長 | 0 人      |      | 職員         | 0.7 人 | 担当課 | 循環社会推進課 |
|            |                                       |           |             |            | 係長 | 0.1 人    |      |            |       | 課長名 | 敷田      |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |  |   |    |             |                          |                              |   |  |  |
|-----------------|--|---|----|-------------|--------------------------|------------------------------|---|--|--|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか   | 平成23年8月に策定した北九州市循環型社会形成推進基本計画に掲げている「市民等各主体が主体的・協動的に3R・適正処理に取り組むことに通じた持続可能な都市モデル」を目指すため、地域団体が自主的に行う環境活動を推進します。 |    |             |                          | <b>成果実績</b>                  | 平成23年度は、地域団体において79回の剪定枝リサイクル活動を行っており、3R意識の醸成に繋がっています。 |  |  |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標</b><br>(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方) | 前年度実績   | 目標 | 実績<br>(達成率) | →                        | 【成果の状況】                      |   |  |  |
|                 | 3Rの意識醸成  |   |    | —           |                          | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |   |  |  |
|                 | 地域が自主的に取り組むリサイクル活動により、3Rの意識醸成を行い、市民による環境活動を推進します。<br>(最終目標と目標年度)       | —   | —  |             |                          |                              |   |  |  |
| (最終目標と目標年度)     |  |   |    |             | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | <b>順調</b>                    |   |  |  |

|             |                            |  |  |  |  |             |                    |  |  |  |
|-------------|----------------------------|--|--|--|--|-------------|--------------------|--|--|--|
| <b>活動計画</b> | 剪定枝リサイクルを周知するため、広報活動を行います。 |  |  |  |  | <b>活動実績</b> | 下記の代表的な成果指標のとおりです。 |  |  |  |
|-------------|----------------------------|--|--|--|--|-------------|--------------------|--|--|--|

|             |   |       |    |             |                          |                        |
|-------------|---|-------|----|-------------|--------------------------|------------------------|
| <b>活動指標</b> | <b>指標</b><br>(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明) | 前年度実績 | 目標 | 実績<br>(達成率) | →                        | 【活動の状況】                |
|             | 広報活動の実施   |       |    | 4 回         |                          | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
|             | 出前講演やパンフレット等を作成するなど、広報活動を実施します。                           | 7 回   | —  |             |                          |                        |
|             |   |       |    |             | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | <b>順調</b>              |

### 【Check】評価(分析)

|                  |                                       |   |  |
|------------------|---------------------------------------|---|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】<br/>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 活動は、予定通り行いました。地域回収団体も協力して行い、地域コミュニティの活性化に繋がりました。剪定枝がリサイクルされることにより、ごみ焼却量の削減につながるとともに、循環型社会の推進に寄与していると考えます。      |
|                  | <b>「経済性」<br/>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。   | 地域が自主的に取り組むリサイクル活動であり、市民環境力による3R活動を推進する上で必要と考えます。経費の主な使途は、剪定枝の回収と処理費用ですが、回収業務と処理業務を一括契約することにより、コストの削減につとめています。 |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |   |   |  |  |
|---------------|---|---|--|--|
| <b>見直し状況等</b> | 課題  | 平成22年度は21団体130.42トン、平成23年度は22団体159.17トンの回収・リサイクルを行いましたが、剪定枝については家庭でのリサイクルが困難であることから、引き続き剪定枝に関するリサイクル活動への支援を行う必要があります。 |  |  |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)   | その結果目指す成果(次年度の成果目標)   |  |  |
|               | 事業費は現状維持し、引き続き剪定枝のリサイクル活動の支援を行います。なお、回収団体が増加する場合は、複数の団体の回収日を同一日にする等の対応を行い、コストの増加を抑制します。 | 地域の自主的な剪定枝のリサイクル活動を通じ、3Rの意識醸成を行い、市民による環境活動を推進します。   |  |  |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |  |           |             |            |    |          |            |     |        |     |         |
|------------|--|-----------|-------------|------------|----|----------|------------|-----|--------|-----|---------|
| <b>事業名</b> | 地域特性型(メニュー選択方式)市民環境活動推進事業(廃食用油リサイクル事業) |           |             |            |    |          | 施策番号       |     |        |     |         |
|            |  |           |             |            |    |          | VI-3-(1)-① |     |        |     |         |
| <b>コスト</b> | 事業費                                    | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 3,625 千円 | (備考)       | 担当局 | 環境局    |     |         |
|            |  | 430 千円    | 472 千円      |            | 課長 | 0 人      |            | 職員  | 0.35 人 | 担当課 | 循環社会推進課 |
|            |  |           |             |            | 係長 | 0.1 人    |            |     |        | 課長名 | 敷田      |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|  |   |   |    |          |                          |                                    |      |  |
|--|---|---|----|----------|--------------------------|------------------------------------|------|--|
| <b>目的</b>  | 何を(誰を)どのような状態にしたいのか   | 平成23年8月に策定した北九州市循環型社会形成推進基本計画に掲げている「市民等各主体が主体的・協動的に3R・適正処理に取り組むことに通じた持続可能な都市モデル」を目指すため、地域団体が自主的に行う環境活動を推進します。 |    |          | <b>成果実績</b>              | 廃食用油の回収に関する認知度が低いため、回収量が少なくなっています。 |      |  |
| <b>代表的な成果指標</b>  | <b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方) | 前年度実績   | 目標 | 実績 (達成率) | →                        | 【成果の状況】                            |      |  |
|  | 3Rの意識醸成   | —   | —  | —        | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック       |      |  |
|  | 地域が自主的に取り組むリサイクル活動により、3Rの意識醸成を行い、市民による環境活動を推進します。<br>(最終目標と目標年度)    | —   | —  | —        |                          | やや遅れ                               |      |  |
|  | 廃食用油回収量   | —   | —  | 6,298 ℓ  |                          | やや遅れ                               | やや遅れ |  |
| 参加団体が市民センター等に設置した回収ボックスを活用し、回収された廃食用油は委託業者によりバイオディーゼル燃料(BDF)にリサイクルし、市のごみ収集車や市営バスの一部で利用しています。このBDFは植物由来の廃食用油から精製されるためカーボンニュートラルであり、CO <sub>2</sub> 削減による地球温暖化防止などの効果がある。またBDFを自動車燃料として使用することで化石燃料を節約することができます。<br>(最終目標と目標年度) | —   | —   | —  | 遅れ       |                          | 遅れ                                 |      |  |

|             |  |       |    |             |                          |                        |  |
|-------------|--|-------|----|-------------|--------------------------|------------------------|--|
| <b>活動計画</b> | 廃食用油リサイクルを周知するため、広報活動を行います。                            |       |    | <b>活動実績</b> | 下記の代表的な成果指標のとおりです。       |                        |  |
| <b>活動指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明) | 前年度実績 | 目標 | 実績 (達成率)    | →                        | 【活動の状況】                |  |
|             | 広報活動の実施  | 7 回   | —  | 4 回         | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |  |
|             | 出前講演や、パンフレット等を作成するなど、広報活動を実施します。                       | —     | —  | —           |                          | やや遅れ                   |  |
|             | —  | —     | —  | 遅れ          |                          | 遅れ                     |  |

### 【Check】評価(分析)

|                  |   |   |   |
|------------------|---|---|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 地域が自主的に取り組むリサイクル活動により、コミュニティ活動の活性化が図られており、また、リサイクルされたものが、市民に身近な市のごみ収集車や市営バスの燃料等として利用されていることで、循環型社会の構築にむけた市民啓発のための重要な取り組みの事例として有効であるが、廃食用油の回収量が少ないことから、より一層の広報活動が必要であると考えています。 |
|                  | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | 現在は、回収拠点も少ないためルート回収などコスト削減の仕組みまでには至っていないが、現在の拠点を中心にエリアを拡大し、ルート回収が出来るような対象地域を定めて広報活動を行う必要があると考えます。   |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |  |  |  |
|---------------|--|--|--|--|
| <b>見直し状況等</b> | 課題   |  |  |  |
|               | 平成22年度は6,371ℓ、平成23年度は6,298ℓの回収・リサイクルを行いました。廃食用油については家庭でのリサイクルが困難であることから、引き続き廃食用油に関するリサイクル活動への支援を行う必要があります。 |  |  |  |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)  | その結果目指す成果(次年度の成果目標)                                |  |  |
|               | 積極的な啓発により回収拠点の拡大を図りつつ、回収方法等の見直しを行い、収集運搬コストを削減し、事業費を縮小します。  | 地域の自主的な廃食用油のリサイクル活動を通じ、3Rの意識醸成を行い、市民による環境活動を推進します。 |  |  |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |   |           |             |        |    |          |      |            |       |     |         |
|------------|---|-----------|-------------|--------|----|----------|------|------------|-------|-----|---------|
| <b>事業名</b> | 地域特性型(メニュー選択方式)市民環境活動推進事業(生ごみ処理機設置助成事業) |           |             |        |    |          |      | 施策番号       |       |     |         |
|            |   |           |             |        |    |          |      | VI-3-(1)-① |       |     |         |
| <b>コスト</b> | 事業費                                     | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費の目安 | 金額 | 1,250 千円 | (備考) | 担当局        | 環境局   |     |         |
|            |   | 1,120 千円  | 2,048 千円    |        | 課長 | 0 人      |      | 職員         | 0.1 人 | 担当課 | 循環社会推進課 |
|            |   |           |             |        | 係長 | 0.05 人   |      | 課長名        | 敷田    |     |         |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |  |   |                 |  |   |                              |    |
|-----------------|--|---|-----------------|--|---|------------------------------|----|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか   | 電気式生ごみ処理機の購入を一部助成することにより、家庭から排出される生ごみの資源化・減量化を図ります。 | <b>成果実績</b>     | H23年度には、57台の購入助成を行い、生ごみの資源化・減量化に寄与しています。 |   |                              |    |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標</b><br><small>(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br/>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)</small>   | 前年度実績   | 目標              | 実績<br>(達成率)                              | → | 【成果の状況】                      |    |
|                 | 生ごみの減量化  | —   | 単年度の目標設定はありません。 | 集計中                                      |   | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |    |
|                 | 北九州市循環型社会形成推進基本計画において、家庭ごみ量における生ごみ(厨芥類)の8%削減(対H21年度比)を目指します。<br><br>(最終目標と目標年度) 家庭ごみ量における厨芥類(生ごみ)の8%削減(対H21年度比)[H32年度] (H21年度は、86,044トン) |   |                 |  |   | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ     | 順調 |
|                 | (最終目標と目標年度)  |   |                 |  |   |                              |    |

|             |   |       |       |             |   |                          |                 |  |  |
|-------------|---|-------|-------|-------------|---|--------------------------|-----------------|--|--|
| <b>活動計画</b> | 生ごみの資源化・減量化を推進するため、電気式生ごみ処理機の購入を助成します。                                    |       |       |             |   | <b>活動実績</b>              | 活動結果は、下記のとおりです。 |  |  |
| <b>活動指標</b> | <b>指標</b><br><small>(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br/>(上段:指標名 下段:指標の説明)</small> | 前年度実績 | 目標    | 実績<br>(達成率) | → | 【活動の状況】                  |                 |  |  |
|             | 電気式生ごみ処理機の助成台数  | 71 台  | 100 台 | 57 台        |   | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック   |                 |  |  |
|             | H23年度は、100台分の生ごみ処理機の購入助成を行います。  |       |       | 57.0 %      |   | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ |                 |  |  |
|             |   |       |       |             |   | 順調                       |                 |  |  |

### 【Check】評価(分析)

|                  |                               |   |   |
|------------------|-------------------------------|---|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | 【成果の状況】<br>【活動の状況】<br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 震災後の節電の推進等外的要因により、助成金申請者数は57台でしたが、助成台数である100台の受付はあったことから、電気式生ごみ処理機の普及・啓発という点では一定の成果があったと考えています。               |
|                  | 【経済性】<br>【効率性】<br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。」  | 生ごみの減量化は、大規模堆肥化施設等による堆肥化やガス化等が考えられますが、生ごみの分別回収に関するコストや、施設の建設コスト等が発生します。それらと比較して、本事業は低いコストでより高い効果が得られると考えています。 |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |                                      |   |  |  |
|---------------|--------------------------------------|---|--|--|
| <b>見直し状況等</b> | 課題                                   | 平成12年度より助成事業を実施していますが、この間、多くの市民に電気式生ごみ処理機を利用いただいていることから、近年は申請者が減少しています。このことから、他の生ごみリサイクル事業と連携しながら、北九州市循環型社会形成推進基本計画において目標としている家庭ごみ量における生ごみ(厨芥類)の8%削減(対平成21年度比)を目指した取組みを行う必要があります。 |  |  |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)                      | その結果目指す成果(次年度の成果目標)   |  |  |
|               | 近年、申請者が減少していることから助成台数を減らし、事業費を縮小します。 | 生ごみ処理機の設置を通じ、生ごみ(厨芥類)の削減を目指します。   |  |  |



## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                                       |           |             |        |    |          |      |            |     |     |         |
|------------|---------------------------------------|-----------|-------------|--------|----|----------|------|------------|-----|-----|---------|
| <b>事業名</b> | 地域特性型(メニュー選択方式)市民環境活動推進事業(生ごみリサイクル事業) |           |             |        |    |          |      | 施策番号       |     |     |         |
|            |                                       |           |             |        |    |          |      | VI-3-(1)-① |     |     |         |
| <b>コスト</b> | 事業費                                   | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費の目安 | 金額 | 9,575 千円 | (備考) | 担当局        | 環境局 |     |         |
|            |                                       | 5,542 千円  | 6,223 千円    |        | 課長 | 0.05 人   |      | 職員         | 1 人 | 担当課 | 循環社会推進課 |
|            |                                       |           |             |        | 係長 | 0.15 人   |      |            |     | 課長名 | 敷田      |
|            |                                       |           |             |        |    |          |      |            |     |     |         |

| 【Plan】計画 →      |  |   |                 | 【Do】実施 → 【Check】評価       |             |                                       |  |
|-----------------|--|---|-----------------|--------------------------|-------------|---------------------------------------|--|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか   | 生ごみコンポスト化の基礎知識を学ぶとともに、コンポスト化容器活用のコツや問題発生時の対処方法等を習得する講座を実施し、コンポスト化容器を使用することによる生ごみリサイクル活動の普及により、生ごみの資源化・減量化を図ります。 |                 |                          | <b>成果実績</b> | 多数の市民に対し講座を実施したことにより、環境意識の醸成に繋がっています。 |  |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)  | 前年度実績   | 目標              | 実績(達成率)                  | →           | 【成果の状況】                               |  |
|                 | 生ごみの減量化  | —   | 単年度の目標設定はありません。 | 集計中                      |             | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック          |  |
|                 | 北九州市循環型社会形成推進基本計画において、家庭ごみ量における生ごみ(厨芥類)の8%削減(対H21年度比)を目指します。<br><br>(最終目標と目標年度) 家庭ごみ量における厨芥類(生ごみ)の8%削減(対H21年度比)[H32年度] (H21年度は、86,044トン) |   |                 |                          |             |                                       |  |
|                 | (最終目標と目標年度)  |   |                 |                          |             |                                       |  |
|                 |  |   |                 | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | <b>大変順調</b> |                                       |  |

|  |  |       |       |         |             |  |  |
|--|--|-------|-------|---------|-------------|--|--|
| <b>活動計画</b>  | 生ごみコンポスト化容器活用講座を年3回(春・夏・秋)程度実施します。また、地域における生ごみのリサイクル活動を普及させるため、地域生ごみリサイクル講座を実施します。 |       |       |         | <b>活動実績</b> | 下記の活動のほかに、地域における生ごみの普及促進を図るため、地域生ごみリサイクル講座の講師等となる生ごみコンポストアドバイザー(ボランティア)を養成する講座を実施しました。 |  |
| <b>活動指標</b>  | <b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明)                             | 前年度実績 | 目標    | 実績(達成率) | →           | 【活動の状況】  |  |
|  | 生ごみコンポスト化容器活用講座等参加者数(延べ数)  | 390 名 | 790 名 | 834 名   |             | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック   |  |
|  | 生ごみコンポスト化容器の普及と活用を推進するため、生ごみコンポスト化容器活用講座(市主催講座)を実施します。                             |       |       | 105.6 % |             |  |  |
|  | 地域生ごみリサイクル講座実施地域数  | 5 地域  | 10 地域 | 14 地域   | 140.0 %     | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ   |  |
| 生ごみコンポスト化容器の普及と活用を推進するため、地域生ごみリサイクル講座(地域主催講座)を実施します。 |  |       |       |         |             |  |  |
|  |  |       |       |         |             | <b>大変順調</b>  |  |

| 【Check】評価(分析)    |                               |  |   |
|------------------|-------------------------------|--|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | 【成果の状況】<br>【活動の状況】<br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。    | 個人や地域が自主的に取り組むリサイクル活動であり、かつ生ごみの減量を促進する事業です。生ごみのコンポスト化を行うことにより、家庭ごみの処理経費を抑制する効果もあり、市民の環境意識の醸成に繋がっています。         |
|                  | 「経済性」<br>「効率性」<br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」<br>「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 生ごみの減量化は、大規模堆肥化施設等による堆肥化やガス化等が考えられますが、生ごみの分別回収に関するコストや、施設の建設コスト等が発生します。それらと比較して、本事業は低いコストでより高い効果が得られると考えています。 |

以下、予算案作成時に記入

| 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入 |   |
|--|---|
| <b>見直し状況等</b>                            | 課題  |
|  | 平成23年度、24年度ともに、実施地域、講座参加者数が増加していますが、北九州市循環型社会形成推進基本計画における生ごみ(厨芥類)の削減目標の達成に向けては、引き続き啓発活動を行い、生ごみのリサイクル活動の普及に努める必要があります。 |
|  | 次年度の活動計画(見直し内容)   |
|  | その結果目指す成果(次年度の成果目標)   |
|  | 事業費を現状維持し、引き続き市民向け講座を行うとともに、他の生ごみ関連事業と連携しながら、生ごみの減量化・資源化に向けた啓発を行います。  |
|  | 生ごみリサイクルの啓発を行うことにより、生ごみ(厨芥類)の削減を目指します。  |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|           |                |     |           |             |            |        |          |            |       |     |         |
|-----------|----------------|-----|-----------|-------------|------------|--------|----------|------------|-------|-----|---------|
| 事業名       | 北九州市民環境パスポート事業 |     |           |             |            |        | 施策番号     | VI-3-(1)-① |       |     |         |
|           | コスト            | 事業費 | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額     | 3,575 千円 | (備考)       | 担当局   | 環境局 |         |
| 13,377 千円 |                |     | 17,439 千円 | 課長          |            | 0.05 人 | 職員       |            | 0.2 人 | 担当課 | 循環社会推進課 |
|           |                |     |           | 係長          |            | 0.15 人 | 課長名      |            | 敷田    |     |         |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|          |   |  |        |        |         |                          |                              |  |  |
|----------|---|--|--------|--------|---------|--------------------------|------------------------------|--|--|
| 目的       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか  | レジ袋発生抑制(リデュース)を図るとともに、市民に楽しみながら環境活動に参加できるきっかけを提供するため、買物の際に参加店でレジ袋を断るとポイントシールがもらえ、20ポイント貯まると参加店で50円の割引券として利用できる「カンパスシール事業」を実施します。 |        |        |         | 成果実績                     | 下記の代表的な成果指標のとおりです。           |  |  |
| 代表的な成果指標 | <b>指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)</b><br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)                      |  | 前年度実績  | 目標     | 実績(達成率) | →                        | 【成果の状況】                      |  |  |
|          | カンパスシールによるレジ袋お断り率   |  | 20.3 % | 25.0 % | 20.0 %  | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |  |  |
|          | レジ袋のリデュースによるCO2削減効果に結びつくとともに、市民の身近な環境活動への参加状況を表す指標とします。<br>(最終目標と目標年度)平成25年度までにレジ袋お断り率25% |  |        |        | 80.0 %  |                          |                              |  |  |
|          |   |  |        |        |         |                          | 順調                           |  |  |
|          |   | (最終目標と目標年度)  |        |        |         |                          |                              |  |  |

|      |  |  |       |     |         |                          |                        |  |  |
|------|--|--|-------|-----|---------|--------------------------|------------------------|--|--|
| 活動計画 | 目標値は、当初目標のお断り率20%を超えて推移しているが、今後も継続して積極的な広報活動を行い、市民の環境活動への参加を働きかけることにより、平成25年度までにお断り率25%を目指して取り組んでいきます。 |  |       |     |         | 活動実績                     | 活動結果は、下記のとおりです。        |  |  |
| 活動指標 | <b>指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)</b><br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明)  |  | 前年度実績 | 目標  | 実績(達成率) | →                        | 【活動の状況】                |  |  |
|      | 広報活動の実施  |  | 9 回   | — % | 9 回     | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |  |  |
|      | 環境パスポート事業に係る情報誌(カンパスinfo)やイベント等を通じ、広報活動を実施します。   |  |       |     |         |                          |                        |  |  |
|      |  |  |       |     |         |                          | 順調                     |  |  |
|      |  |  |       |     |         |                          |                        |  |  |

### 【Check】評価(分析)

|           |   |   |   |
|-----------|---|---|---|
| 分析及び課題の整理 | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 事業開始時は、9.5%だったレジ袋お断り率は、目標の20%を超えて推移しています。事業者や店舗の統合による参加店の減少、事業者独自のポイント制度定着によるお断り率の伸び悩みなどの課題もありますが、お断り率が20%を超えていることから一定の成果をあげていると考えます。 |
|           | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | カンパスシール事業は、参加店舗のシール購入代金を原資にしており、本市が担う部分は運営・参画支援の部分であるため、経済性・効率性は高いと考えます。  |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|        |   |  |  |  |
|--------|---|--|--|--|
| 見直し状況等 | 課題  | レジ袋お断り率を向上させるため、継続して市民や事業者に啓発を行う必要があります。             |  |  |
|        | 次年度の活動計画(見直し内容)   | その結果目指す成果(次年度の成果目標)                                  |  |  |
|        | レジ袋お断り率を向上させるため、市民や事業者に対してイベントやキャンペーン等を通じた啓発活動を強化しますが、広告掲載費など啓発方法の見直しを行い、事業費は縮小します。 | カンパスシール事業をきっかけに、レジ袋発生抑制するための取り組みを推進します。(目標: お断り率25%) |  |  |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                          |           |             |            |    |                 |      |            |         |
|------------|--------------------------|-----------|-------------|------------|----|-----------------|------|------------|---------|
| <b>事業名</b> | 「北九州市循環型社会形成推進基本計画」市推進事業 |           |             |            |    |                 |      | 施策番号       |         |
|            |                          |           |             |            |    |                 |      | VI-3-(1)-② |         |
| <b>コスト</b> | 事業費                      | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 2,325 千円        | (備考) | 担当局        | 環境局     |
|            |                          | 2,869 千円  | 1,154 千円    |            | 課長 | 0.05 人 職員 0.1 人 |      | 担当課        | 循環社会推進課 |
|            |                          |           |             |            | 係長 | 0.1 人           |      | 課長名        | 敷田      |
|            |                          |           |             |            |    |                 |      |            |         |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|           |                    |   |             |                     |
|-----------|--------------------|---|-------------|---------------------|
| <b>目的</b> | 何を(誰を)どのような状態にしたのか | 今後10年間の先駆的な廃棄物行政のあり方を示す「北九州市循環型社会形成推進基本計画」に基づいて、市民、事業者、NPO、行政など地域社会を構成する各主体が連携・協働して取り組みを進め、従来の「循環型」の取組みに「低炭素」「自然共生」の取組みを加えた「持続可能な都市のモデル」の実現を目指していきます。 | <b>成果実績</b> | 計画の目標は、H32に設定しています。 |
|-----------|--------------------|---|-------------|---------------------|

| 代表的な成果指標 | 指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方) | 前年度実績   | 目標    | 実績 (達成率) | →                        | 【成果の状況】 |
|----------|--|---|-------|----------|--------------------------|---------|
|          |  | 市民1人一日あたりの家庭ごみ量<br>平成21年度: 506g ⇒ 平成32年度: 470g以下<br>(最終目標と目標年度) | 505 g | —        | 集計中                      |         |
|          | リサイクル率<br>平成21年度: 30.4% ⇒ 平成32年度: 35%以上<br>(最終目標と目標年度)         | 30.2 %  | —     | 集計中      | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 順調      |

|             |  |             |                |
|-------------|--|-------------|----------------|
| <b>活動計画</b> | 「北九州市一般廃棄物処理基本計画」の計画期間が平成22年度に終了したことに伴い、持続可能な社会の実現に向け、今後10年間の廃棄物行政のあり方を示す「北九州市循環型社会形成推進基本計画」を策定しました。 | <b>活動実績</b> | 活動結果は下記のとおりです。 |
|-------------|--|-------------|----------------|

| 活動指標 | 指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明) | 前年度実績  | 目標 | 実績 (達成率) | →                        | 【活動の状況】 |
|------|---|--|----|----------|--------------------------|---------|
|      |   | 計画の策定<br>平成23年8月に「北九州市循環型社会形成推進基本計画」を策定しました。 | —  | —        |                          |         |
|      |   |  |    |          | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 順調      |

### 【Check】評価(分析)

|                  |                               |   |  |
|------------------|-------------------------------|---|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | 【成果の状況】<br>【活動の状況】<br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 平成23年度には「北九州市循環型社会形成推進基本計画」を策定し、持続可能な社会の実現に向けた、環境未来都市にふさわしい目標設定を行いました。今後、計画目標の達成に向けて、各事業と連携しながら推進していくこととします。 |
|                  | 【経済性】<br>【効率性】<br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | 計画全体の事業実施状況を把握しながら、各事業の適正な進行管理を行っていくこととします。  |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |   |
|---------------|---|
| <b>見直し状況等</b> | 課題  |
|               | 平成23年度に、今後10年間の廃棄物行政の指標となる計画を策定しました。ごみ減量・リサイクル率向上が頭打ちの傾向にある中で、計画に定めた目標を達成できるよう、毎年、成果指標である数値の管理を行うとともに、各事業の適正な進行管理を行うことが必要となります。 |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)   |
|               | その結果目指す成果(次年度の成果目標)   |
|               | 計画の進捗状況を検証するための委員会の開催等について、適切な見直しを行うことにより事業費を縮小しますが、さらなるごみ減量とリサイクル率の向上に向けて、データを集積して最新の現状を分析し、より効果的・効率的な施策や啓発・広報の方法の検討を行います。     |
|               | 計画の中間目標年度の平成27年度における目標値達成に向け、家庭ごみの減量・リサイクル率の向上を目指します。   |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                     |           |             |            |    |               |      |            |          |
|------------|---------------------|-----------|-------------|------------|----|---------------|------|------------|----------|
| <b>事業名</b> | 産業廃棄物資源化・減量化技術等支援事業 |           |             |            |    |               |      | 施策番号       |          |
|            |                     |           |             |            |    |               |      | VI-3-(1)-③ |          |
| <b>コスト</b> | 事業費                 | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 350 千円        | (備考) | 担当局        | 環境局      |
|            |                     | 588 千円    | 536 千円      |            | 課長 | 0 人 職員 0.02 人 |      | 担当課        | 産業廃棄物対策室 |
|            |                     |           |             |            | 係長 | 0.02 人        |      | 課長名        | 水口       |
|            |                     |           |             |            |    |               |      |            |          |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|           |                    |  |             |                 |
|-----------|--------------------|--|-------------|-----------------|
| <b>目的</b> | 何を(誰を)どのような状態にしたのか | 産業廃棄物の処理業者や排出事業者に対し、市内における産業廃棄物の処理等に関する情報を調査・提供することで、市内で発生する産業廃棄物の減量化・適正処理に関する意識の向上を目指します。 | <b>成果実績</b> | 成果の状況は下記のとおりです。 |
|-----------|--------------------|--|-------------|-----------------|

| 代表的な成果指標 | 指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方) | 前年度実績   | 目標    | 実績 (達成率) | →                        | 【成果の状況】 |
|----------|--|---|-------|----------|--------------------------|---------|
|          |  | 産業廃棄物の処理業者や排出事業者を対象とした講習会への参加人数<br>産業廃棄物の減量化及び適正処理に関する効果的な情報発信を行うための講習会を開催し、処理業者や排出事業者の意識の向上を図ります。過去の実績等を考慮し、市内2,000事業者のうち40%以上の参加を目標とします。<br>(最終目標と目標年度) 800人(毎年度) | 763 人 | 800 人    | 582 人<br><br>72.8 %      |         |
|          |  |   |       |          | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ |         |

|             |   |             |                 |
|-------------|---|-------------|-----------------|
| <b>活動計画</b> | 産業廃棄物の減量化・適正処理に関する講習会への参加率向上を図るため、市内に所在する許可処理業者及び多量排出事業者に対して講習会周知文を送付します。 | <b>活動実績</b> | 活動の状況は下記のとおりです。 |
|-------------|---|-------------|-----------------|

| 活動指標 | 指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明) | 前年度実績   | 目標        | 実績 (達成率)  | →                        | 【活動の状況】 |
|------|---|---|-----------|-----------|--------------------------|---------|
|      |   | 講習会周知文を送付した許可処理業者及び多量排出事業者数<br>市内の全ての許可処理業者及び多量排出事業者に対して講習会周知文を送付し、参加人数の増加を目指します。 | 2,012 事業者 | 2,000 事業者 | 1,986 事業者<br><br>99.3 %  |         |
|      |   |   |           |           | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ |         |

### 【Check】評価(分析)

|                  |  |   |
|------------------|--|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析<br><br><b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。<br><br>活動は予定どおり行いましたが、成果は目標に届きませんでした。しかし、市内に所在する許可処理業者及び多量排出事業者約2,000事業者に対して講習会周知文を送付しており、廃棄物の減量化及び適正処理推進に対する意識啓発は十分に行うことができたかと判断しています。<br><br>「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。<br><br>講習会の開催業務は外部の専門家へ委託していますが、60万円程度の経費で約600人の許可処理業者及び多量排出事業者へ必要な情報を伝達できており、事業の経済性・効率性は高いと考えています。 |
|------------------|--|---|

以下、予算要求時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算要求時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |  |
|---------------|--|--|
| <b>見直し状況等</b> | 課題<br><br>市内の許可処理業者や多量排出事業者に対する講習会周知文の送付については、目標値をほぼ達成しており、この状態を継続していきたいと考えています。今後は、この活動を続けることで、市内2,000事業者の40%以上の講習会参加という成果目標の達成を目指します。<br><br>次年度の活動計画(見直し内容)<br><br>市内2,000事業者への講習会周知文の送付について、100%の達成率を目指します。事業費は内部事務経費の見直しにより縮小していますが、産業廃棄物処理業の許可審査や届出受付の際などに講習会の周知を行うことで、参加率の向上を目指します。 | その結果目指す成果(次年度の成果目標)<br><br>講習会参加率40%以上(毎年度800人)という目標の達成を目指します。 |
|---------------|--|--|



## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |            |     |                       |                         |            |  |                  |            |
|------------|------------|-----|-----------------------|-------------------------|------------|--|------------------|------------|
| <b>事業名</b> | 3R技術高度化研究会 |     |                       |                         |            |  | 施策番号             | VI-3-(2)-① |
|            | <b>コスト</b> | 事業費 | 平成23年度執行額<br>2,729 千円 | 平成24年度当初予算額<br>5,617 千円 | 人件費<br>の目安 | 金額<br>1,450 千円<br>課長 0.05 人 職員 0.05 人<br>係長 0.05 人 | (備考)             | 担当局<br>環境局 |
|            |            |     |                       |                         |            |  | 担当課<br>環境未来都市推進室 |            |
|            |            |     |                       |                         |            |  | 課長名<br>山本        |            |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |   |  |             |   |                          |                              |
|-----------------|---|--|-------------|---|--------------------------|------------------------------|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか  | 本市の環境政策上推進すべき分野や今後事業化が有望と考えられる分野について、産学官による研究会の設置を含めた、研究体制の整備を行い、事業展開を見据えた研究開発や市場性・経済性等の調査、情報交換を支援していきます。<br>＜検討テーマ＞<br>・希少金属・資源のリサイクル ・バイオマスの活用 ・既存リサイクル事業の高度化 など | <b>成果実績</b> | RO膜(逆浸透膜)のリサイクルに関する研究について、委託事業や補助金への採択等を目指しましたが、今年度はそこまでには至りませんでした。 |                          |                              |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)                           | 前年度実績  | 目標          | 実績(達成率)   | →                        | 【成果の状況】                      |
|                 | 3R高度化研究会から委託事業・補助事業につながった件数   |  |             | 0 件   |                          | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |
|                 | 研究会の活動を通じ、次のステップ(国・NEDO・市の委託事業や補助金への採択等)に移行できた件数を成果指標として設定します。<br>(最終目標と目標年度) 毎年度1件の採択等を目指します | 1 件  | 1 件         | 0.0 %   |                          |                              |
|                 |   |  |             |   | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | やや遅れ                         |
| (最終目標と目標年度)     |   |  |             |   |                          |                              |

|             |   |             |  |         |                          |                        |
|-------------|---|-------------|--|---------|--------------------------|------------------------|
| <b>活動計画</b> | 今年度は、RO膜(逆浸透膜)のリサイクルに関する研究の進展に向けて、産学官による研究会の設置を含めた、研究体制の整備を進めるとともに、新たな案件で有望なものがあれば、同様の取組みを行います。 | <b>活動実績</b> | RO膜(逆浸透膜)のリサイクルに関する研究に関し、北九州市立大学教授を含めた、産学官による研究体制を整えました。 |         |                          |                        |
| <b>活動指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明)  | 前年度実績       | 目標   | 実績(達成率) | →                        | 【活動の状況】                |
|             | 産学官による研究体制の整備件数   |             |  | 1 件     |                          | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
|             | 上記活動計画の目安とするため、産学官による研究会の設置を含めた、研究体制の整備件数を活動指標として設定します。   | 1 件         | 1 件  | 100.0 % |                          |                        |
|             |   |             |  |         | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 順調                     |
|             |   |             |  |         |                          |                        |

### 【Check】評価(分析)

|                  |  |  |
|------------------|--|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析<br><br><b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。<br><br>成果の状況については、今年度は委託事業や補助金への採択等に至ったものがなかったことから、やや遅れとしました。<br>活動の状況については、企業からのRO膜(逆浸透膜)のリサイクル研究に関する提案について、北九州市立大学教授を含めた、産学官による研究体制を整えたことから順調としました。<br><br>当研究会は、有望な分野については検討を継続し、展望が見えないものについては早々に検討を止めるスクラップ&ビルド方式を採用した合理的な運営を行っており、効率的です。 |
|------------------|--|--|

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |   |  |  |
|---------------|---|--|--|
| <b>見直し状況等</b> | 課題<br><br>当事業は、①希少金属・資源のリサイクル ②バイオマスの活用 ③既存リサイクル事業の高度化 という3つのテーマに絞って活動していますが、対象事業が減少しています。今後は対象を拡げ、エネルギーに関するものや低炭素化といったものを対象に加えるよう検討していく必要があります。<br><br>次年度の活動計画(見直し内容) |  | その結果目指す成果(次年度の成果目標)<br><br>有望な分野については検討を継続するものの、展望が見えないものについては早々に検討を止めるスクラップ&ビルド方式を更に徹底するよう見直すとともに、事業費の縮小を行います。引き続き、RO膜(逆浸透膜)のリサイクルに関する研究の進展に向けて取り組むとともに、新たな案件についても模索していきます。 |
|---------------|---|--|--|

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |            |           |             |        |    |          |      |            |       |     |           |
|------------|------------|-----------|-------------|--------|----|----------|------|------------|-------|-----|-----------|
| <b>事業名</b> | 北九州エコタウン事業 |           |             |        |    |          |      | 施策番号       |       |     |           |
|            |            |           |             |        |    |          |      | VI-3-(2)-① |       |     |           |
| <b>コスト</b> | 事業費        | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費の目安 | 金額 | 4,575 千円 | (備考) | 担当局        | 環境局   |     |           |
|            |            | 19,119 千円 | 13,914 千円   |        | 課長 | 0.05 人   |      | 職員         | 0.4 人 | 担当課 | 環境未来都市推進室 |
|            |            |           |             |        | 係長 | 0.1 人    |      |            |       | 課長名 | 山本        |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|           |                    |  |             |                    |
|-----------|--------------------|--|-------------|--------------------|
| <b>目的</b> | 何を(誰を)どのような状態にしたのか | 1997年にスタートしたエコタウン事業は、工場の立地促進を中心に展開してきましたが、リサイクル産業を中心とした静脈産業は、創生期から競争の時代に突入し、高度な技術と経済的価値の高い資源へのリサイクルという視点が重要になっています。よって、市の環境未来技術助成を始めとする産学官の新たな研究開発投資を呼び込むことにより、エコタウン事業の高度化・高付加価値化を図っていきます。また、ビジターズ・インダストリーという観点から視察者の積極的な受入も進めていきます。 | <b>成果実績</b> | 下記の代表的な成果指標のとおりです。 |
|-----------|--------------------|--|-------------|--------------------|

| 代表的な成果指標       | 指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)                   | 前年度実績  | 目標        | 実績 (達成率)             | →               | 【成果の状況】                  |
|----------------|--|--|-----------|----------------------|-----------------|--------------------------|
|                | エコタウン事業による投資額  | エコタウン事業の高度化を図るためには新たな投資が必要であり、投資額を成果指標として設定します。<br>(最終目標と目標年度) 毎年3億円 | 3 億円      | 5 億円                 | 8 億円<br>160.0 % | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ |
| 北九州エコタウンへの視察者数 | エコタウン事業への関心の高さやビジターズ・インダストリーという観点から視察者数を、成果指標として設定しています。<br>(最終目標と目標年度) 毎年10万人 | 101,245 人  | 100,000 人 | 100,576 人<br>100.6 % |                 |                          |

|             |   |             |             |
|-------------|---|-------------|-------------|
| <b>活動計画</b> | 北九州市環境産業推進会議の新エコタウン部会において、エコタウン事業の高度化・高付加価値化に向けた会合を重ねるとともに、新エコタウン部会の下にエコタウン高度化連携研究会やリチウムイオン電池リユース・リサイクル研究会などを設置し、社会システム構築に向けた研究や実証研究等を継続して行っていきます。また、視察についても、エコタウン企業を視察できる定型コースを設定するなど、視察者が見学しやすい環境を整備していきます。 | <b>活動実績</b> | 下記の活動指標のとおり |
|-------------|---|-------------|-------------|

| 活動指標 | 指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明) | 前年度実績                                   | 目標   | 実績 (達成率) | →               | 【活動の状況】                  |
|------|---|---|------|----------|-----------------|--------------------------|
|      | 実証研究数   | 上記活動計画の目安とするため、本助成事業の採択件数を活動指標として設定します。 | 16 件 | 17 件     | 17 件<br>100.0 % | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ |
|      |   |   |      |          |                 |                          |

### 【Check】評価(分析)

|                  |                               |  |  |
|------------------|-------------------------------|--|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | 【成果の状況】<br>【活動の状況】<br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。    | 視察者数や投資額については、順調に伸びてきています。                                 |
|                  | 「経済性」<br>「効率性」<br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」<br>「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 視察者の増加や民間による新たな投資や新規雇用が行われており、経済・効率性という面においてはかなりの効果がありました。 |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |   |
|---------------|--|---|
| <b>見直し状況等</b> | 課題   | エコタウン事業の高度化・高付加価値化を図っていくため、市の環境未来技術助成や国の助成等も活用し、さらに新たな研究開発投資を呼び込む必要があると考えています。また、エコタウンへの来場者は平成22年度、23年度と目標の10万人を上回り、平成24年度も上半期は約5万人と目標を達成できる見込みです。今後は、平成24年10月に近隣に開設した響灘ピオトープ等とも連携を図りながら、益々エコタウン事業への関心を高めてもらうよう工夫が必要だと考えます。 |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)  | その結果目指す成果(次年度の成果目標)   |
|               | エコタウンの高度化・高付加価値化に向けた支援を行っていくとともに、新たに開園したピオトープ等とも連携しながら視察者の増加に向けた取り組みを進めていきます。内部事業経費の見直しにより事業費は縮小しています。 | エコタウン事業による投資額を年間5億円、エコタウンへの来場者毎年10万人とします。   |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                |           |             |            |    |          |            |     |       |     |           |
|------------|----------------|-----------|-------------|------------|----|----------|------------|-----|-------|-----|-----------|
| <b>事業名</b> | 環境産業ネットワーク形成事業 |           |             |            |    |          | 施策番号       |     |       |     |           |
|            |                |           |             |            |    |          | VI-3-(2)-① |     |       |     |           |
| <b>コスト</b> | 事業費            | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 3,825 千円 | (備考)       | 担当局 | 環境局   |     |           |
|            |                | 2,559 千円  | 2,290 千円    |            | 課長 | 0.05 人   |            | 職員  | 0.3 人 | 担当課 | 環境未来都市推進室 |
|            |                |           |             |            | 係長 | 0.1 人    |            |     |       | 課長名 | 山本        |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|           |                    |  |             |                                     |
|-----------|--------------------|--|-------------|-------------------------------------|
| <b>目的</b> | 何を(誰を)どのような状態にしたのか | 「環境が経済を拓く」の取り組みを実践していくため、環境産業の振興について、経済団体、事業者、大学等の各主体が情報を共有し、共に考え、連携して行動することを目的とした「環境産業推進会議」及び5つの部会を設置し、低炭素化に貢献する産業ネットワークを構築します。 | <b>成果実績</b> | 北九州市環境産業推進会議 登録団体数 549社・団体 登録者数679名 |
|-----------|--------------------|--|-------------|-------------------------------------|

| 代表的な成果指標   | 指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方) | 前年度実績             | 目標     | 実績 (達成率) | →       | 【成果の状況】                  |
|--|--|-------------------|--------|----------|---------|--------------------------|
|  | 大変順調   | 北九州市環境産業推進会議登録団体数 | 450 団体 | 500 団体   | 549 団体  | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ |
| 北九州市環境産業推進会議は、環境産業の振興について、行政、事業者、経済団体などの各主体が、「情報を共有し、共に考え、共に行動する場」として設置された産業ネットワークであるため。<br>(最終目標と目標年度)24年度末までに600団体 |  |                   |        |          |         |                          |
| 北九州市環境産業推進会議登録者数   |  | 504 名             | 550 名  | 679 名    | 123.5 % |                          |
| 同上<br>(最終目標と目標年度)平成24年度末までに700名  |  |                   |        |          |         |                          |

|             |   |             |   |
|-------------|---|-------------|---|
| <b>活動計画</b> | 先進的ビジネスの創出など様々な視点から設置した5つの部会を年4回の予定で開催します。各部会の活動を基に、年2回運営委員会を開催し、環境産業推進会議の具体的行動及び全体の運営並びに活動方針を検討し、低炭素社会の構築に向け、産業界、学術機関、行政が一体となって取り組みます。 | <b>活動実績</b> | 23年度は運営委員会を2回開催すると共に、各部会も計画通り年4回開催。また、臨時に合同セミナーを2回開催。 |
|-------------|---|-------------|---|

| 活動指標  | 指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明) | 前年度実績           | 目標    | 実績 (達成率) | →     | 【活動の状況】                  |
|---|---|-----------------|-------|----------|-------|--------------------------|
|   | 順調  | 北九州環境産業推進会議参加者数 | 700 人 | 700 人    | 980 人 | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ |
| 多くの企業の方が一堂に集まり情報交換を行っていくことは事業を推進していくためにも、また、登録者を増やしていくためにも、非常に重要なことと考えています。 |   |                 |       |          |       |                          |
|   |   |                 |       |          |       |                          |

### 【Check】評価(分析)

|                  |   |   |  |
|------------------|---|---|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 登録者数が順調に増加すると共に、総会や合同セミナーの参加者数も多く、推進会議に対する事業者等の期待度が伺えます。また、平成23年度は、各部会の下に、リチウムイオン電池リユース・リサイクル研究会、太陽光発電普及促進協議会及び北九州エコプレミアム販路拡大支援WGを設置し、将来に向けた具体的な環境産業振興策の検討を重ねています。   |
|                  | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。   | 各部会及び研究会等の活動により、産業界への省エネ設備の普及促進のために中小企業省エネ設備導入促進事業及び環境産業融資制度を創設しました。特に中小企業省エネ設備促進事業は、設備工事を市内工事業者に限定したため、補助交付額の3倍の1億5千万円が市内工事業者に流れることとなりました。また、市内事業者へ低炭素化への取り組みを促進するため、「業態別省エネ対策ガイドブック」を製作して、登録事業者・工事施工業者へ配布。さらに、北九州市エコプレミアム販売拡大支援WGを通じて、産業経済局と連携し、環境配慮型製品の販路開拓・拡大に取り組むなど具体的な展開を図っています。 |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |   |  |
|---------------|---|--|
| <b>見直し状況等</b> | 課題<br>平成22年2月に推進会議を立上げてから3年目を迎え、平成23年度までに市内の主要企業の多くが北九州市環境産業推進会議への登録を終了していることから、新規登録団体数は頭打ちの状態です。また、各部会においては、積極的な意見、提案等が少なく、会議がやや形式化した面もあります。今後は会議を活性化するための工夫が必要であると考えています。 | その結果目指す成果(次年度の成果目標)<br>平成24年度末までに登録団体550団体、登録者数700名を目指します。 |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)<br>環境産業推進会議の活性化を図っていくため、組織や構成員の見直し等の検討を行うとともに、総会・合同セミナーの内容の充実を図っていきます。内部事務経費の見直しにより事業費は縮小しています。   |  |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                                 |           |             |            |    |          |      |            |       |     |           |  |
|------------|---------------------------------|-----------|-------------|------------|----|----------|------|------------|-------|-----|-----------|--|
| <b>事業名</b> | レアメタル(リチウムイオン電池)リユースリサイクル拠点形成事業 |           |             |            |    |          |      | 施策番号       |       |     |           |  |
|            |                                 |           |             |            |    |          |      | VI-3-(2)-① |       |     |           |  |
| <b>コスト</b> | 事業費                             | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 3,650 千円 | (備考) | 担当局        | 環境局   |     |           |  |
|            |                                 | 1,680 千円  | 5,000 千円    |            | 課長 | 0.1 人    |      | 職員         | 0.2 人 | 担当課 | 環境未来都市推進室 |  |
|            |                                 |           |             |            | 係長 | 0.1 人    |      |            |       | 課長名 | 山本        |  |
|            |                                 |           |             |            |    |          |      |            |       |     |           |  |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |   |   |                |   |                          |                              |
|-----------------|---|---|----------------|---|--------------------------|------------------------------|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか  | 北九州エコタウンには、リサイクルに関する技術と知識が集積されている。この特徴を活かし、リチウムイオン電池のリユースやリサイクルに関して、研究開発から事業化に至るまでの支援を進め、リサイクルに関する優位性とリユースに関する研究を融合させたモデルを提案していきます。 | <b>成果実績</b>    | 当事業の成果の検証を、毎年度、数値で検証することは困難ですが、リチウムイオン電池のリユースやリサイクルに関して、研究開発から事業化に至るまでの支援を進め、リチウムイオン電池産業の拠点化を目指します。 |                          |                              |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)   | 前年度実績   | 目標             | 実績(達成率)   | →                        | 【成果の状況】                      |
|                 | 研究開発から事業化までの支援  | —   | 研究開発から事業化までの支援 | —   | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |
|                 | 産学官による、リユース・リサイクルの2部会からなる研究会(リチウムイオン電池リユース・リサイクル研究会)を設立し、社会システムの構築を含めた、研究開発から事業化までの支援を進めていきます。<br>(最終目標と目標年度) リチウムイオン電池産業の拠点化 |   |                | —   |                          | 順調                           |
|                 |   |   |                |   |                          |                              |
| (最終目標と目標年度)     |   |   |                |   |                          |                              |

|             |   |             |   |         |                          |                        |
|-------------|---|-------------|---|---------|--------------------------|------------------------|
| <b>活動計画</b> | 今年度は、上記研究会を設立するとともに、各種補助金等も活用しながら、両部会とも、今後の実証研究に向けた技術開発、調査研究等を進めます。 | <b>活動実績</b> | 平成23年7月、上記研究会を設立。平成24年3月には第2回研究会(総会)を開催し、各部会の平成23年度の研究成果等を報告。 |         |                          |                        |
| <b>活動指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明)            | 前年度実績       | 目標  | 実績(達成率) | →                        | 【活動の状況】                |
|             | 研究会(総会)の開催回数  | —           | 2 回   | 2 回     | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
|             | 各研究の進捗状況等に応じ、適宜各部会を開催するとともに、そうした活動状況の報告等を行うため、研究会(総会)を開催します。        |             |   | 100.0 % |                          | 順調                     |
|             |   |             |   |         |                          |                        |
|             |   |             |   |         |                          |                        |

### 【Check】評価(分析)

|                  |   |   |  |
|------------------|---|---|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 成果の状況については、今年度は上記研究会を設立し、各種研究開発の支援を進めたことから、また活動の状況については、今年度は各研究の進捗状況等に応じ、上記研究会(総会)2回、部会各3回を開催したことから、いずれも順調としました。 |
|                  | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | 当研究会の事務局は環境未来都市推進室ですが、運営の一部を民間業者に委託するなど、コスト削減に努めています。平成24年度は今年度の運営を踏まえ、更なる効率の向上を目指します。                           |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |   |
|---------------|--|---|
| <b>見直し状況等</b> | 課題<br>研究会活動としては、平成23年度に協議した結果をベースに、本年度は実証の段階に入っており、順調に推移しています。今後の社会システム構築や実証にあたり、研究会の運営、事業化を見据えたプレイヤー、資金確保が大きな課題です。      |   |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)  | その結果目指す成果(次年度の成果目標)   |
|               | 当初、平成23~24年度の2年間の活動予定で始めた事業ですが、上述のとおり、5年~10年先を見据えたテーマであることから、研究会の運営方法の見直しにより、事業費は縮小しますが、事業スキームの構築に向けた取組み等を進めていくこととしています。 | リチウムイオン電池リユース・リサイクル研究会における、研究や事業化に至るまでの支援を精力的に進め、北九州市独自のモデルを構築していきます。 |



## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |            |           |             |            |    |                  |            |           |
|------------|------------|-----------|-------------|------------|----|------------------|------------|-----------|
| <b>事業名</b> | 3R技術高度化研究会 |           |             |            |    |                  | 施策番号       |           |
|            |            |           |             |            |    |                  | VI-3-(2)-② |           |
| <b>コスト</b> | 事業費        | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 1,450 千円 (備考)    | 担当局        |           |
|            |            | 2,729 千円  | 5,617 千円    |            | 課長 | 0.05 人 職員 0.05 人 | 担当課        | 環境未来都市推進室 |
|            |            |           |             |            | 係長 | 0.05 人           | 課長名        | 山本        |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |   |  |             |   |                          |                              |
|-----------------|---|--|-------------|---|--------------------------|------------------------------|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか  | 本市の環境政策上推進すべき分野や今後事業化が有望と考えられる分野について、産学官による研究会の設置を含めた、研究体制の整備を行い、事業展開を見据えた研究開発や市場性・経済性等の調査、情報交換を支援していきます。<br>＜検討テーマ＞<br>・希少金属・資源のリサイクル ・バイオマスの活用 ・既存リサイクル事業の高度化 など | <b>成果実績</b> | RO膜(逆浸透膜)のリサイクルに関する研究について、委託事業や補助金への採択等を目指しましたが、今年度はそこまでには至りませんでした。 |                          |                              |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)                         | 前年度実績  | 目標          | <b>実績 (達成率)</b>   | →                        | <b>【成果の状況】</b>               |
|                 | 3R高度化研究会から委託事業・補助事業につながった件数   |  |             | 0 件   |                          | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |
|                 | 研究会の活動を通じ、次のステップ(国・NEDO・市の委託事業や補助金への採択等)に移行できた件数を成果指標として設定します。<br>(最終目標と目標年度) 毎年度1件の採択等を目指します | 1 件  | 1 件         | 0.0 %   |                          |                              |
|                 | (最終目標と目標年度)   |  |             |   | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | <b>やや遅れ</b>                  |

|             |   |             |  |                 |                          |                        |
|-------------|---|-------------|--|-----------------|--------------------------|------------------------|
| <b>活動計画</b> | 今年度は、RO膜(逆浸透膜)のリサイクルに関する研究の進展に向けて、産学官による研究会の設置を含めた、研究体制の整備を進めるとともに、新たな案件で有望なものがあれば、同様の取組みを行います。 | <b>活動実績</b> | RO膜(逆浸透膜)のリサイクルに関する研究に関し、北九州市立大学教授を含めた、産学官による研究体制を整えました。 |                 |                          |                        |
| <b>活動指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明)  | 前年度実績       | 目標   | <b>実績 (達成率)</b> | →                        | <b>【活動の状況】</b>         |
|             | 産学官による研究体制の整備件数   |             |  | 1 件             |                          | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
|             | 上記活動計画の目安とするため、産学官による研究会の設置を含めた、研究体制の整備件数を活動指標として設定します。   | 1 件         | 1 件  | 100.0 %         |                          |                        |
|             | (最終目標と目標年度)   |             |  |                 | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | <b>順調</b>              |

### 【Check】評価(分析)

|                  |                                       |   |  |
|------------------|---------------------------------------|---|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】<br/>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 成果の状況については、今年度は委託事業や補助金への採択等に至ったものがなかったことから、やや遅れとしました。<br>活動の状況については、企業からのRO膜(逆浸透膜)のリサイクル研究に関する提案について、北九州市立大学教授を含めた、産学官による研究体制を整えたことから順調としました。 |
|                  | <b>「経済性」<br/>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。」  | 当研究会は、有望な分野については検討を継続し、展望が見えないものについては早々に検討を止めるスクラップ&ビルド方式を採用した合理的な運営を行っており、効率的です。  |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |   |  |
|---------------|---|--|
| <b>見直し状況等</b> | 課題  | 当事業は、①希少金属・資源のリサイクル ②バイオマスの活用 ③既存リサイクル事業の高度化 という3つのテーマに絞って活動していますが、対象事業が減少しています。今後は対象を拡げ、エネルギーに関するものや低炭素化といったものを対象に加えるよう検討していく必要があります。 |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)   | その結果目指す成果(次年度の成果目標)  |
|               | 有望な分野については検討を継続するものの、展望が見えないものについては早々に検討を止めるスクラップ&ビルド方式を更に徹底するよう見直すとともに、事業費の縮小を行います。引き続き、RO膜(逆浸透膜)のリサイクルに関する研究の進展に向けて取り組むとともに、新たな案件についても模索していきます。 | 昨年度に引き続き、RO膜のリサイクルに関する研究について取り組みを進め、新規案件を含め、委託事業や補助金へ1件採択されることを目指します。  |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |              |           |             |            |    |          |      |            |       |     |           |
|------------|--------------|-----------|-------------|------------|----|----------|------|------------|-------|-----|-----------|
| <b>事業名</b> | 環境未来技術開発助成事業 |           |             |            |    |          |      | 施策番号       |       |     |           |
|            |              |           |             |            |    |          |      | VI-3-(2)-② |       |     |           |
| <b>コスト</b> | 事業費          | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 6,075 千円 | (備考) | 担当局        | 環境局   |     |           |
|            |              | 84,480 千円 | 85,500 千円   |            | 課長 | 0.05 人   |      | 職員         | 0.4 人 | 担当課 | 環境未来都市推進室 |
|            |              |           |             |            | 係長 | 0.25 人   |      |            |       | 課長名 | 山本        |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |  |  |      |          |                          |                              |  |  |  |
|-----------------|--|--|------|----------|--------------------------|------------------------------|--|--|--|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか   | 新規性、独自性に優れ、かつ実現性の高い環境技術の実証研究等に対して、その研究開発費を助成することにより、市内中小企業等に技術開発の機会を提供するとともに、本市における環境分野の集積を図ります。 |      |          |                          | <b>成果実績</b>                  | 22年度末までの事業化数: 13件<br>※23年度末の事業化数については調査中 |  |  |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)          | 前年度実績  | 目標   | 実績 (達成率) | →                        | 【成果の状況】                      |  |  |  |
|                 | 本助成事業で助成した研究開発の事業化数  |  |      | 13 件     |                          | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |  |  |  |
|                 | 本事業は、数年後の事業化を目指した実証研究等に対する助成であるため、「事業化数」を成果指標に設定します。<br>(最終目標と目標年度) 16件(25年度末) | 12 件   | 13 件 | 100.0 %  |                          |                              |  |  |  |
|                 | (最終目標とその水準)  |  |      |          | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 順調                           |  |  |  |

|             |  |       |      |          |                          |                        |  |  |  |
|-------------|--|-------|------|----------|--------------------------|------------------------|--|--|--|
| <b>活動計画</b> | 今年度も市内中小企業等に技術開発の機会を提供するとともに、本市における環境分野の集積を図るため、本助成制度を引き続き実施します。 |       |      |          |                          | <b>活動実績</b>            | 23年度の採択数: 17件<br>(うち 新規: 11件、継続6件)<br>※15年度から23年度までののべ採択件数: 150件 |  |  |
| <b>活動指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明)         | 前年度実績 | 目標   | 実績 (達成率) | →                        | 【活動の状況】                |  |  |  |
|             | 本助成事業の採択件数   |       |      | 17 件     |                          | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |  |  |  |
|             | 上記活動計画の目安とするため、本助成事業の採択件数を活動指標として設定します。                          | 16 件  | 12 件 | 141.7 %  |                          |                        |  |  |  |
|             |  |       |      |          | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 順調                     |  |  |  |

### 【Check】評価(分析)

|                  |   |   |   |
|------------------|---|---|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 成果の状況、活動の状況とも、目標を達成していることから、いずれも「順調」としました。当事業を進めることで、市内中小企業等に技術開発の機会を提供することができ、地域産業の活性化につながっていると考えています。 |
|                  | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | 上記のとおり、事業化数は目標どおり年々増加し、市内環境産業の振興・集積につながっていることから、「順調」としました。  |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |  |
|---------------|--|--|
| <b>見直し状況等</b> | 課題<br>平成24年度8月調査時点における事業化数は14件であり、また、平成24年度も12件の採択をしていることから、目標の達成に向けて事業は順調に進んでいると考えます。申請を受ける研究テーマによりますが、採択に際しては予算の範囲内で事業化の実現性の高い優れた研究を吟味することが課題であると考えます。 | その結果目指す成果(次年度の成果目標)  |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)  | 次年度末までに、累計16件の事業化を目指すとともに、今後の更なる事業化を図るため、次年度も10件以上の研究テーマの採択を目指します。 |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                  |           |             |        |    |                 |            |     |           |
|------------|------------------|-----------|-------------|--------|----|-----------------|------------|-----|-----------|
| <b>事業名</b> | 北九州エコプレミアム産業創造事業 |           |             |        |    |                 | 施策番号       |     |           |
|            |                  |           |             |        |    |                 | VI-3-(2)-③ |     |           |
| <b>コスト</b> | 事業費              | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費の目安 | 金額 | 5,825 千円        | (備考)       | 担当局 | 環境局       |
|            |                  | 11,946 千円 | 11,493 千円   |        | 課長 | 0.05 人 職員 0.3 人 |            | 担当課 | 環境未来都市推進室 |
|            |                  |           |             |        | 係長 | 0.3 人           |            | 課長名 | 山本        |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |   |   |      |          |             |                          |                              |  |
|-----------------|---|---|------|----------|-------------|--------------------------|------------------------------|--|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか  | 環境への負荷が低いことを新しい付加価値として捉えた製品や技術、産業活動を「エコプレミアム」と定義し、北九州発のエコプレミアムを選定しています。選定された製品・サービスは北九州市がPRのバックアップを行い、販売促進につながることを目的としています。 |      |          | <b>成果実績</b> | 下記の代表的な成果指標のとおりです。       |                              |  |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)                                 | 前年度実績   | 目標   | 実績 (達成率) | →           | <b>【成果の状況】</b>           |                              |  |
|                 | エコプレミアム選定件数   |   |      | 13 件     |             | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |  |
|                 | 選定された製品・サービスが、この事業によりどれだけ販売促進につながったかを具体的な数値で表すことは情報が得られないため、選定件数を指標とします。<br>(最終目標と目標年度) 200件選定・平成27年度 | 15 件  | 10 件 | 130.0 %  |             |                          |                              |  |
|                 | (最終目標と目標年度)   |   |      |          |             | <b>大変順調</b>              |                              |  |

|             |   |       |    |             |                |                          |                        |  |
|-------------|---|-------|----|-------------|----------------|--------------------------|------------------------|--|
| <b>活動計画</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・200件選定(平成27年度目標)に向けて市内企業の掘り起こしを行っていきます。</li> <li>・紹介カタログを作成するとともに、西日本総合展示場で開催する環境見本市「エコテクノ」、東京で開催される環境総合展示会「エコプロダクツ」に出展しPRします。</li> </ul> |       |    | <b>活動実績</b> | 活動結果は下記のとおりです。 |                          |                        |  |
| <b>活動指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明)  | 前年度実績 | 目標 | 実績 (達成率)    | →              | <b>【活動の状況】</b>           |                        |  |
|             | 北九州エコプレミアムのPR活動   |       |    | —           |                | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |  |
|             | 200件選定(平成27年度)を目標として、市内企業の掘り起こしを行います。また、環境見本市「エコテクノ」や「エコプロダクツ」への出展、エコタウンセンターでの常設展示や環境産業推進会議でのチラシ配布等、様々なPR活動を行います。   | —     | —  | —           |                |                          |                        |  |
|             | (最終目標と目標年度)   |       |    |             |                | <b>大変順調</b>              |                        |  |

### 【Check】評価(分析)

|                  |   |   |  |
|------------------|---|---|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 活動や成果は予定どおり目標を達成し、平成23年度までにエコプロダクツ148件、エコサービス30件、合計178件選定しています。当初目標は、平成23年度までに140件でしたが、目標を上回るペースで推移しています。引き続き、北九州エコプレミアムの知名度向上と選定企業の営業活動促進のためPR活動を行い、また、販売促進につながるようなエコプレミアム製品販路開拓事業も併せて行います。なお、産業経済局と連携を図りながら事業を行っていきます。 |
|                  | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | 事業開始当初は、選定に関わる業務をすべて委託していましたが、平成19年度から委託をやめ、職員が事務を行っており、委託料のコストは削減されています。  |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |   |                     |
|---------------|---|---------------------|
| <b>見直し状況等</b> | 課題<br>平成24年度は新たに6件を選定しましたが、既選定製品のうち4件を生産中止等で削除しました。しかしながら、いままでに180件を選定し、目標を上回るペースで推移しています。今後も、北九州エコプレミアムの知名度向上と選定企業の営業活動促進のためPR活動を行います。 | その結果目指す成果(次年度の成果目標) |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)   | 新規の選定件数は10件を目標とします。 |
|               | 環境見本市「エコテクノ」等への出展、エコタウンセンターでの常設展示や環境産業推進会議でのチラシ配布等、様々なPR活動を行います。また、産業経済局等と相互連携を図り、販売促進につながるようなPR策の検討を行います。内部事務経費の見直しにより事業費は縮小しています。     |                     |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                    |           |             |        |    |          |      |            |       |     |           |
|------------|--------------------|-----------|-------------|--------|----|----------|------|------------|-------|-----|-----------|
| <b>事業名</b> | エコアクション21認証・登録支援事業 |           |             |        |    |          |      | 施策番号       |       |     |           |
|            |                    |           |             |        |    |          |      | VI-3-(2)-③ |       |     |           |
| <b>コスト</b> | 事業費                | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費の目安 | 金額 | 1,825 千円 | (備考) | 担当局        | 環境局   |     |           |
|            |                    | 2,383 千円  | 2,887 千円    |        | 課長 | 0.05 人   |      | 職員         | 0.1 人 | 担当課 | 環境未来都市推進室 |
|            |                    |           |             |        | 係長 | 0.05 人   |      |            |       | 課長名 | 山本        |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                                       |  |             |                                  |          |                          |                              |  |  |
|---------------------------------------|--|-------------|----------------------------------|----------|--------------------------|------------------------------|--|--|
| <b>目的</b>                             | 何を(誰を)どのような状態にしたいのか<br>低炭素化社会の実現には、産業界の取組が必須です。その一つとして、市内企業の環境に配慮した経営を促進するため、環境省が策定したガイドラインに基づく環境経営システム「エコアクション21」の認証登録に向けた支援事業を行い低炭素化社会の実現を目指します。 | <b>成果実績</b> | 導入セミナー参加 63社<br>北九州市内認証・登録企業 16社 |          |                          |                              |  |  |
| <b>代表的な成果指標</b>                       | <b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)  | 前年度実績       | 目標                               | 実績 (達成率) | →                        | 【成果の状況】                      |  |  |
|                                       | エコアクション21普及活動(導入セミナー参加者数)  |             |                                  | 63 社     |                          | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |  |  |
|                                       | 導入セミナーへの参加者数の増<br>(最終目標と目標年度) 年間100社の参加を目指す  | 124 社       | 100 社                            | 63.0 %   |                          |                              |  |  |
|                                       | エコアクション21認証・登録企業数  |             |                                  | 16 社     | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | <b>やや遅れ</b>                  |  |  |
| 認証・登録企業数の増<br>(最終目標と目標年度) 年間登録20社を目指す | 47 社   | 40 社        | 40.0 %                           |          |                          |                              |  |  |

|             |  |             |  |          |                          |                        |  |  |
|-------------|--|-------------|--|----------|--------------------------|------------------------|--|--|
| <b>活動計画</b> | 北九州市内事業者に対し100社を対象に掘り起こし調査を実施、積極的なPRに取り組むとともに、エコアクション21取得によるブランド力を高めるための検討を行います。 | <b>活動実績</b> | エコアクション21 導入セミナー、実践講座への参加を企業訪問等で促しました。54社訪問。 |          |                          |                        |  |  |
| <b>活動指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明)                         | 前年度実績       | 目標   | 実績 (達成率) | →                        | 【活動の状況】                |  |  |
|             | エコアクション21 導入セミナーの参加依頼のための企業訪問数   |             |  | 63 社     |                          | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |  |  |
|             | エコアクション21のPR、取得によるメリットの広報、掘り起こし調査。企業訪問により、導入セミナー、実践講座への参加を促し、認証・登録企業数増に努めます。     | 54 社        | 100 社  | 63.0 %   |                          |                        |  |  |
|             |  |             |  |          | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | <b>やや遅れ</b>            |  |  |
|             |  |             |  |          |                          |                        |  |  |

### 【Check】評価(分析)

|                  |   |  |  |
|------------------|---|--|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 導入セミナー参加者、認証登録企業数ともに、目標を下回りました。企業が「エコアクション21」を取得することによるメリットを十分に理解できていない面もあると思われます。平成22年度は北九州市公共工事等の入札参加資格者審査等での加点を受けられることにより、建設業関連の企業の取得が目立ちましたが、平成23年度は新しく取得を促す要因がありませんでした。 |
|                  | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 市政だより、北九州市ホームページ等に掲載、北九州市環境産業推進会議でのPR、北九州テクサポートへのセミナー参加企業掘り起こし業務委託を継続して行います。   |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |   |                     |
|---------------|---|---------------------|
| <b>見直し状況等</b> | 課題<br>エコアクション21認証登録の更新を行わない事業者が多く、認証登録事業所の累計が伸び悩んでいます。そのため、エコアクション21認証のメリットの周知などPR活動に努めます。  |                     |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)   | その結果目指す成果(次年度の成果目標) |
|               | 環境見本市「エコテクノ」等への出展、エコタウンセンターでの常設展示や環境産業推進会議でのチラシ配布等、様々なPR活動を行います。また、産業経済局等と相互連携を図り、販売促進につながるようなPR策の検討を行います。内部事務経費の見直しにより事業費は縮小しています。 | 認証登録企業数 年間15社とします。  |



## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                |           |             |            |        |                 |            |         |    |
|------------|----------------|-----------|-------------|------------|--------|-----------------|------------|---------|----|
| <b>事業名</b> | 北九州市民環境パスポート事業 |           |             |            |        |                 | 施策番号       |         |    |
|            |                |           |             |            |        |                 | VI-3-(3)-③ |         |    |
| <b>コスト</b> | 事業費            | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額     | 3,575 千円 (備考)   | 担当局        |         |    |
|            |                | 13,377 千円 | 17,439 千円   |            | 課長     | 0.05 人 職員 0.2 人 | 担当課        | 循環社会推進課 |    |
|            |                |           | 係長          |            | 0.15 人 |                 |            | 課長名     | 敷田 |
|            |                |           |             |            |        |                 |            |         |    |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |   |  |             |                    |         |                          |                              |
|-----------------|---|--|-------------|--------------------|---------|--------------------------|------------------------------|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか  | レジ袋発生抑制(リデュース)を図るとともに、市民に楽しみながら環境活動に参加できるきっかけを提供するため、買物の際に参加店でレジ袋を断るとポイントシールがもらえ、20ポイント貯まると参加店で50円の割引券として利用できる「カンパスシール事業」を実施します。 | <b>成果実績</b> | 下記の代表的な成果指標のとおりです。 |         |                          |                              |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br/>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)</b>                       |  | 前年度実績       | 目標                 | 実績(達成率) | →                        | 【成果の状況】                      |
|                 | カンパスシールによるレジ袋お断り率   |  | 20.3 %      | 25.0 %             | 20.0 %  | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |
|                 | レジ袋のリデュースによるCO2削減効果に結びつくとともに、市民の身近な環境活動への参加状況を表す指標とします。<br>(最終目標と目標年度)平成25年度までにレジ袋お断り率25% |  |             |                    | 80.0 %  |                          |                              |
|                 |   |  |             |                    |         |                          | 順調                           |
| (最終目標と目標年度)     |   |  |             |                    |         |                          |                              |

|             |  |             |                 |        |         |                          |                        |
|-------------|--|-------------|-----------------|--------|---------|--------------------------|------------------------|
| <b>活動計画</b> | 目標値は、当初目標のお断り率20%を超えて推移していますが、今後も継続して積極的な広報活動を行い、市民の環境活動への参加を働きかけることにより、平成25年度までにお断り率25%を目指して取り組んでいます。 | <b>活動実績</b> | 活動結果は、下記のとおりです。 |        |         |                          |                        |
| <b>活動指標</b> | <b>指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br/>(上段:指標名 下段:指標の説明)</b>   |             | 前年度実績           | 目標     | 実績(達成率) | →                        | 【活動の状況】                |
|             | カンパスシールによるレジ袋お断り率  |             | 20.3 %          | 25.0 % | 20.0 %  | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
|             | レジ袋のリデュースによるCO2削減効果に結びつくとともに、市民の身近な環境活動への参加状況を表す指標とします。  |             |                 |        | 80.0 %  |                          |                        |
|             |  |             |                 |        |         |                          | 順調                     |
| (最終目標と目標年度) |  |             |                 |        |         |                          |                        |

### 【Check】評価(分析)

|                  |  |  |                                     |
|------------------|--|--|-------------------------------------|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析                          | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。<br><br>事業開始時は、9.5%だったレジ袋お断り率は、目標の20%を超えて推移しています。事業者や店舗の統合による参加店の減少、事業者独自のポイント制度定着によるお断り率の伸び悩みなどの課題もありますが、お断り率が20%を超えていることから一定の成果をあげていると考えます。 | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析 |
|                  | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | カンパスシール事業は、参加店舗のシール購入代金を原資にしており、本市が担う部分は運営・参画支援の部分であるため、経済性・効率性は高いと考えます。   |                                     |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |   |   |
|---------------|---|---|
| <b>見直し状況等</b> | 課題<br><br>レジ袋お断り率を向上させるため、継続して市民や事業者に啓発を行う必要があります。                                  | その結果目指す成果(次年度の成果目標)   |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)   | レジ袋お断り率を向上させるため、市民や事業者に対してイベントやキャンペーン等を通じた啓発活動を強化しますが、広告掲載費など啓発方法の見直しを行い、事業費は縮小します。 |
|               | レジ袋お断り率を向上させるため、市民や事業者に対してイベントやキャンペーン等を通じた啓発活動を強化しますが、広告掲載費など啓発方法の見直しを行い、事業費は縮小します。 | カンパスシール事業をきっかけに、レジ袋発生抑制するための取り組みを推進します。(目標:お断り率25%)                                 |

# PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                 |           |             |        |    |          |      |            |       |     |         |
|------------|-----------------|-----------|-------------|--------|----|----------|------|------------|-------|-----|---------|
| <b>事業名</b> | <b>3R活動推進事業</b> |           |             |        |    |          |      | 施策番号       |       |     |         |
|            |                 |           |             |        |    |          |      | VI-3-(3)-③ |       |     |         |
| <b>コスト</b> | 事業費             | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費の目安 | 金額 | 7,325 千円 | (備考) | 担当局        | 環境局   |     |         |
|            |                 | 893 千円    | 1,518 千円    |        | 課長 | 0.05 人   |      | 職員         | 0.7 人 | 担当課 | 循環社会推進課 |
|            |                 |           |             |        | 係長 | 0.15 人   |      | 課長名        | 敷田    |     |         |

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|           |                    |  |             |   |
|-----------|--------------------|--|-------------|---|
| <b>目的</b> | 何を(誰を)どのような状態にしたのか | 個人、市民団体、事業者が行う3R活動を奨励する3R活動推進表彰や、市内の一般廃棄物大量排出事業者や大規模事業所等の所有者等に対する資源化・減量化計画書の提出による一般廃棄物の減量化・資源化、適正処理の推進など、廃棄物の発生抑制(Reduce)・再利用(Reuse)・再生使用(Recycle)の3R(スリーアール)活動の推進を図ります。 | <b>成果実績</b> | 事業所の資源化・減量化等の定期的な点検や3R活動に対する表彰を行うことで、3R活動の意識を醸成し向上することに繋がっています。 |
|-----------|--------------------|--|-------------|---|

| 代表的な成果指標   | 指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方) | 前年度実績   | 目標 | 実績(達成率) | →  | 【成果の状況】                  |
|--|---|---|----|---------|----|--------------------------|
|  | 事業系一般廃棄物の資源化率   | 当該事業所には、資源化・減量化計画書を年度ごとに作成することで、各事業所から発生する廃棄物の資源化・減量化や適正処理を定期的に点検し、資源化率の向上を図ります。<br>(最終目標と目標年度) | -  | -       | -  | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ |
| 3R活動推進表彰に関する市民への周知<br>廃棄物の発生抑制(Reduce)・再利用(Reuse)・再生使用(Recycle)の3R(スリーアール)活動を積極的に取り組んでいる個人、市民団体、事業者を表彰し、広く周知を図ることによりこれらの活動を奨励します。<br>(最終目標と目標年度) |   | -   | -  | -       | 順調 |                          |

|             |  |             |                |
|-------------|--|-------------|----------------|
| <b>活動計画</b> | 3R活動推進表彰を継続実施し、3R活動の推進を図ります。資源化・減量化計画書提出対象事業所の全事業所に提出を求めるとともに、訪問調査を行うなどリサイクル率の向上を図ります。 | <b>活動実績</b> | 活動結果は、下記のとおりです |
|-------------|--|-------------|----------------|

| 活動指標   | 指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明) | 前年度実績  | 目標                    | 実績(達成率)               | →   | 【活動の状況】                  |
|--|--|--|-----------------------|-----------------------|-----|--------------------------|
|  | 事業系一般廃棄物の資源化率                                  | 資源化・減量化計画書の提出だけでなく、必要に応じて訪問調査を行い、適正処理の指導を行います。 | -                     | 団体<br>単年度の目標設定はありません。 | 7 件 | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ |
| 3R活動推進表彰に関する市民への広報活動<br>広報活動として、募集時に、各区・市民センター等へのリーフレット配布のほか、かえるプレス等に3R活動推進賞受賞団体を紹介するなど、市内に実際に行われている3R活動を広く知らせることにより、3R活動に対する意識の向上を図ります。 |  | 13 団体  | 団体<br>単年度の目標設定はありません。 | 10 団体                 | 順調  |                          |

## 【Check】評価(分析)

|                  |  |   |
|------------------|--|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <p><b>【成果の状況】</b><br/><b>【活動の状況】</b><br/>を踏まえた分析</p> <p>活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。</p> | <p>H23年度は、受賞団体10団体のうち8団体が子どもの団体や学校関係であり、子ども達の日常生活に3Rが定着してきており、今後の活動の広がりが窺われました。また、条例対象事業所については、訪問調査を実施し、他事業所の取り組み等を紹介することにより、3R意識がさらに高まっていると考えています。</p>   |
|                  | <p><b>「経済性」</b><br/><b>「効率性」</b><br/>の分析</p> <p>「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。</p>         | <p>条例対象事業所に対する資源化・減量化計画書の提出については、市内事業系一般廃棄物排出の主である大量排出事業者や大規模事業所等の事業者が、計画書作成により廃棄物排出の振り返りを行う機会となっており、事業者への廃棄物適正処理の啓発や3R活動の周知・普及の手段として、費用対効果は高いと考えています。また、3R活動推進表彰については、表彰式を単独で行わず、市主催事業(エコライフステージ)の一環として行うなど、事業を遂行するにあたって、コスト削減に努めています。</p> |

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |   |
|---------------|--|---|
| <b>見直し状況等</b> | <p>課題</p> <p>平成23年度は、受賞団体10団体のうち8団体が子どもの団体や学校関係であり、子ども達の日常生活に3Rが定着してきており、今後の活動の広がりが窺われました。また、条例対象事業所については、訪問調査を実施し、他事業所の取り組み等を紹介することにより、3R意識が高まってきていると考えています。しかしながら、3R活動の認知度はまだ低いことから、継続的に啓発活動に努めていく必要があります。</p> | <p>その結果目指す成果(次年度の成果目標)</p> <p>3R活動推進表彰や一般廃棄物大量排出事業者や大規模事業所等の所有者等に対する資源化・減量化計画書の提出を通じた一般廃棄物の減量化・資源化、適正処理の推進を行い、資源化率の向上や3R活動に対する意識の向上を図ります。</p> |
|               | <p>次年度の活動計画(見直し内容)</p> <p>3R活動に対する意識の向上と、3R活動の推進を図るため、引き続き3R活動推進表彰の実施及び資源化・減量化計画書提出対象事業所の全事業所に提出を求めるとともに、訪問調査を実施しますが、事務の効率化による事務経費の削減により事業費は縮小します。</p>   |   |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                            |           |             |            |    |        |            |     |        |     |     |
|------------|----------------------------|-----------|-------------|------------|----|--------|------------|-----|--------|-----|-----|
| <b>事業名</b> | 3R活動推進事業(グリーンコンシューマー推進懇話会) |           |             |            |    |        | 施策番号       |     |        |     |     |
|            |                            |           |             |            |    |        | VI-3-(3)-③ |     |        |     |     |
| <b>コスト</b> | 事業費                        | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 760 千円 | (備考)       | 担当局 | 環境局    |     |     |
|            |                            | 374 千円    | 327 千円      |            | 課長 | 0.02 人 |            | 職員  | 0.04 人 | 担当課 | 総務課 |
|            |                            |           |             |            | 係長 | 0.02 人 |            |     |        | 課長名 | 佐藤  |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|  |  |   |       |        |             |                          |                              |  |  |  |
|--|--|---|-------|--------|-------------|--------------------------|------------------------------|--|--|--|
| <b>目的</b>  | 何を(誰を)どのような状態にしたのか<br>3Rを進め持続可能な社会の実現を図っていくためには、市民や事業者が日常生活や事業活動の中で長寿命・省エネ・リサイクル性等に配慮した商品を優先的に使用する必要があります。そのため、市民・事業者・行政が連携して環境に配慮した消費者(グリーンコンシューマー)の育成を図る仕組みづくりを進めます。 |   |       |        | <b>成果実績</b> | 成果実績は下記のとおり              |                              |  |  |  |
| <b>代表的な成果指標</b>  | <b>指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br/>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)</b>  |   | 前年度実績 | 目標     | 実績<br>(達成率) | →                        | <b>【成果の状況】</b>               |  |  |  |
|  | 環境にやさしいエコ商品・省エネ性能の高い製品の購入・利用が「常に実行」及び「時々実行」の回答の割合  |   | -     | -      | 75.0 %      |                          | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |  |  |  |
|  | 市民が商品等を購入・利用する際、環境問題を配慮した行動を取っているかを図る指標となります。平成24年4月の市民意識調査の結果が75%だったことを受けて、成果の指標としました。<br>(最終目標と目標年度) 80.0%(平成26年度目標)   |   | -     | -      | 74.3 %      |                          |                              |  |  |  |
|  | マイバックの持参(ノーレジ袋推進)が「常に実行」及び「時々実行」の回答の割合   |   | -     | -      | 74.3 %      | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | <b>順調</b>                    |  |  |  |
| 市民が買い物の際マイバックを持参し、CO2削減努力を意識して行っているかを図る指標となります。平成24年4月の市民意識調査の結果が74.3%だったことを受けて、成果の指標としました。<br>(最終目標と目標年度) 80.0%(平成26年度目標) |  | - | -     | 74.3 % |             |                          |                              |  |  |  |

|             |   |     |       |        |             |                          |                        |  |  |  |
|-------------|---|-----|-------|--------|-------------|--------------------------|------------------------|--|--|--|
| <b>活動計画</b> | 市民、企業、行政が一体となって取組む「北九州グリーンコンシューマー推進懇話会」を中心として、レジ袋削減運動や過剰包装の自粛の全市展開、北九州3R活動推進表彰、グリーン購入推進運動などを進めます。 |     |       |        | <b>活動実績</b> | 活動実績は下記のとおり              |                        |  |  |  |
| <b>活動指標</b> | <b>指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br/>(上段:指標名 下段:指標の説明)</b>  |     | 前年度実績 | 目標     | 実績<br>(達成率) | →                        | <b>【活動の状況】</b>         |  |  |  |
|             | 北九州グリーンコンシューマー推進懇話会の開催  |     | 1 回   | 3 回    | 2 回         |                          | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |  |  |  |
|             | グリーンコンシューマー育成を推進するため、各種施策・事業について議論します。  |     | 1 回   | 3 回    | 66.7 %      |                          |                        |  |  |  |
|             |   |     | 1 回   | 3 回    | 66.7 %      | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | <b>順調</b>              |  |  |  |
|             |   | 1 回 | 3 回   | 66.7 % |             |                          |                        |  |  |  |

### 【Check】評価(分析)

|                  |  |   |  |
|------------------|--|---|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】<br/>【活動の状況】<br/>を踏まえた分析</b> | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | カンパスシール事業は企業独自の制度も含めたレジ袋お断り率が23.9%に達し、1年間でレジ袋1,675万枚、1,001トンのCO2削減効果に繋がっています。また、市民意識調査における環境にやさしいエコ商品・省エネ性能の高い製品の購入・利用が75.0%、マイバックの持参率も74.3%となり、身近な環境活動として定着しています。グリーンコンシューマーの活動を促進するには、市民・企業・行政の理解と協力が必要であり、同懇話会において意見交換しながら進めていく必要があります。 |
|                  | <b>「経済性」<br/>「効率性」<br/>の分析</b>         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | 費用としては、委員への報酬のみであり、低コストとなっています。  |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |   |  |
|---------------|---|--|
| <b>見直し状況等</b> | 課題<br>本事業は、市民、事業者、行政が協働してグリーンコンシューマーの育成を図る仕組みづくりを進めるものです。これまで、主にマイバック運動を促進するカンパス事業の現状と課題、事業継続の可否等についての協議を行ってきました。カンパス事業については更なる発展に向けて3年間の事業継続が決定したことから、市民へのグリーン購入の普及促進など新たな取組について検討していく必要があります。 |  |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)   | その結果目指す成果(次年度の成果目標)  |
|               | 推進懇話会を目標回数開催し、マイバック持参率の向上を図るとともに、市民・事業者・行政が協働して、市民・事業者へのグリーン購入の促進やリデュースを促進する新たな取組等について検討します。(事業費は現状維持)  | 市民意識調査での環境にやさしいエコ商品・省エネ性能の高い製品の購入・利用及びマイバックの持参の数値目標80%(平成26年度)達成に向け、前年度以上の達成率を確保します。 |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                |                       |                         |            |                        |     |           |            |
|------------|----------------|-----------------------|-------------------------|------------|------------------------|-----|-----------|------------|
| <b>事業名</b> | 市民と自然のふれあい推進事業 |                       |                         |            |                        |     |           | 施策番号       |
|            |                |                       |                         |            |                        |     |           | VI-4-(1)-① |
| <b>コスト</b> | 事業費            | 平成23年度執行額<br>2,939 千円 | 平成24年度当初予算額<br>3,100 千円 | 人件費<br>の目安 | 金額<br>2,200 千円 (備考)    | 担当局 | 環境局       |            |
|            |                |                       |                         |            | 課長<br>0.05 人 職員 0.15 人 | 担当課 | 環境未来都市推進室 |            |
|            |                |                       |                         |            | 係長<br>0.05 人           | 課長名 | 塚本        |            |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |   |       |    |          |   |         |                              |             |                      |
|-----------------|---|-------|----|----------|---|---------|------------------------------|-------------|----------------------|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか<br>「北九州市自然環境保全ネットワークの会」を運営することにより、自然環境保全の活動を行っている会員相互の情報交換や活動への参加募集、ボランティアの呼びかけ等を行い、多様な自然環境の保全に努めます。 |       |    |          |   |         |                              | <b>成果実績</b> | 多くの人に参加してもらうことができました |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)   | 前年度実績 | 目標 | 実績 (達成率) | → | 【成果の状況】 |                              |             |                      |
|                 | 自然環境保全活動促進による北九州市の自然環境保全  |       |    |          |   |         | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |             |                      |
|                 | 様々な保全活動を促進し、北九州市の自然環境保全に努めます。<br>(自然環境保全が目的のため、数値で示すことが困難)<br>(最終目標と目標年度)   |       |    |          |   |         |                              |             |                      |
|                 |   |       |    |          |   |         | 順調                           |             |                      |
| (最終目標と目標年度)     |   |       |    |          |   |         |                              |             |                      |

|             |  |         |       |          |   |         |                        |             |                            |
|-------------|--|---------|-------|----------|---|---------|------------------------|-------------|----------------------------|
| <b>活動計画</b> | 「北九州市自然環境保全ネットワークの会」を運営することにより、自然環境保全の活動を行っている会員相互の情報交換や活動への参加募集、ボランティアの呼びかけ等を行い、多様な自然環境の保全に努めます。また、北九州市の豊かな自然について冊子を作成し、自然環境保全の啓発に努めます。 |         |       |          |   |         |                        | <b>活動実績</b> | 活動をPRし、数多くの方に参加を促すことができました |
| <b>活動指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明)   | 前年度実績   | 目標    | 実績 (達成率) | → | 【活動の状況】 |                        |             |                            |
|             | 自然環境保全活動参加者数(イベント等の延べ参加者数)   |         |       | 2,000 人  |   |         | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |             |                            |
|             | 多様な自然環境を保全するためには、市民・市民団体との協働が欠かせませんが、「自然ネット」の活動を促進し、メルマガ等の活用により、会員相互の情報の共有を行うことで、様々な保全活動への参加者数を増やします。                                    | 2,600 人 | 2,000 | 100.0 %  |   |         |                        |             |                            |
|             |  |         |       |          |   |         | 順調                     |             |                            |
| (最終目標と目標年度) |  |         |       |          |   |         |                        |             |                            |

### 【Check】評価(分析)

|                  |  |   |
|------------------|--|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析<br>活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 里山保全、自然公園及び海岸清掃や生き物調査などを行うことにより、自然環境保全やそのための啓発などができました。       |
|                  | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析<br>「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。          | 自然に関する活動は市民団体やNPOとの協働で行っており、市民の力も合わせて行っているため、コスト削減にはつながっています。 |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |                               |
|---------------|--|-------------------------------|
| <b>見直し状況等</b> | 課題<br>環境保全活動などの情報を収集し、それらを会員にメールマガジンなどを通して、活動の促進を図りました。情報はひとつでも多く収集し、さらに発展します。 |                               |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)  | その結果目指す成果(次年度の成果目標)           |
|               | 今年度同様に取り組みます。<br>平成25年度から生物多様性戦略推進事業に統合します。                                    | 様々な保全活動を促進し、北九州市の自然環境保全に努めます。 |



## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                 |           |             |            |    |          |      |            |       |     |           |
|------------|-----------------|-----------|-------------|------------|----|----------|------|------------|-------|-----|-----------|
| <b>事業名</b> | 曾根干潟保全・利用計画策定事業 |           |             |            |    |          |      | 施策番号       |       |     |           |
|            |                 |           |             |            |    |          |      | VI-4-(1)-① |       |     |           |
| <b>コスト</b> | 事業費             | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 1,365 千円 | (備考) | 担当局        | 環境局   |     |           |
|            |                 | 3,000 千円  | 3,000 千円    |            | 課長 | 0.01 人   |      | 職員         | 0.1 人 | 担当課 | 環境未来都市推進室 |
|            |                 |           |             |            | 係長 | 0.05 人   |      |            |       | 課長名 | 塚本        |
|            |                 |           |             |            |    |          |      |            |       |     |           |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|           |                     |  |             |  |
|-----------|---------------------|--|-------------|--|
| <b>目的</b> | 何を(誰を)どのような状態にしたいのか | 北九州市生物多様性戦略のリーディングプロジェクトの一つである「固有の生態系の保全と利用」を進めていくため、平成11年度に作成された「曾根干潟保全・利用計画」の基本理念を踏まえつつ、北九州市の財産である「曾根干潟」の環境を今後も保全して後世に受け継いでいきます。 | <b>成果実績</b> |  |
|-----------|---------------------|--|-------------|--|

| 代表的な成果指標    | 指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方) | 前年度実績   | 目標 | 実績 (達成率)                      | →                        | 【成果の状況】 |
|-------------|--|---|----|-------------------------------|--------------------------|---------|
|             | 曾根干潟の環境保全  | 都市と自然が共生したまちを目指すとともに、北九州市の多様な自然の保全に努めます。特に曾根干潟においては今後も継続して環境調査などを通して保全していきます。<br>(環境保全が目的のため、数値で示すことが困難)<br>(最終目標と目標年度) |    | 都市と自然が共生したまちを目指し、多様な自然の保全に努める |                          |         |
| (最終目標と目標年度) |  |   |    |                               | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 順調      |

|             |  |             |                                |
|-------------|--|-------------|--------------------------------|
| <b>活動計画</b> | 曾根干潟の現状について詳細な調査を行い、現状把握を行った上で計画の素案、最終案などの議論や意見交換などを行いつつ、計画を策定します。 | <b>活動実績</b> | 地盤高調査などにより、曾根干潟の環境の詳細把握ができました。 |
|-------------|--|-------------|--------------------------------|

| 活動指標        | 指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明) | 前年度実績                          | 目標 | 実績 (達成率) | →                        | 【活動の状況】 |
|-------------|---|--------------------------------|----|----------|--------------------------|---------|
|             | 計画策定に向けた計画  | 計画策定のため曾根干潟についての詳細な環境調査等を行います。 |    |          |                          |         |
| (最終目標と目標年度) |   |                                |    |          | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 順調      |

### 【Check】評価(分析)

|                  |                               |   |  |
|------------------|-------------------------------|---|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | 【成果の状況】<br>【活動の状況】<br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 地盤高調査を行うことで地形について知り、合わせて行った生き物調査によって現状の把握ができました。 |
|                  | 【経済性】<br>【効率性】<br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | 市民団体などが行っている調査については情報収集を行い、調査の重複を避けました。          |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |   |
|---------------|--|---|
| <b>見直し状況等</b> | 課題   | その結果目指す成果(次年度の成果目標)   |
|               | 平成11年から10年以上調査を行っていなかった地盤高調査を行い、現状の把握ができました。それによって定期的な調査の重要性が分かりました。 |   |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)  |   |
|               | 計画策定を目標に、干潟環境など現状の把握などに今後も努めます。事業費は現状維持とし、計画策定に取り組みます。               | 都市と自然が共生したまちを目指すとともに、北九州市の多様な自然の保全に努めます。特に曾根干潟においては今後も継続して環境調査などを通して保全していきます。 |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |              |                       |                         |            |    |          |      |            |       |     |           |
|------------|--------------|-----------------------|-------------------------|------------|----|----------|------|------------|-------|-----|-----------|
| <b>事業名</b> | 自然・生き物情報整備事業 |                       |                         |            |    |          |      | 施策番号       |       |     |           |
|            |              |                       |                         |            |    |          |      | VI-4-(1)-① |       |     |           |
| <b>コスト</b> | 事業費          | 平成23年度執行額<br>1,310 千円 | 平成24年度当初予算額<br>2,404 千円 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 1,365 千円 | (備考) | 担当局        | 環境局   |     |           |
|            |              |                       |                         |            | 課長 | 0.01 人   |      | 職員         | 0.1 人 | 担当課 | 環境未来都市推進室 |
|            |              |                       |                         |            | 係長 | 0.05 人   |      |            |       | 課長名 | 塚本        |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|           |                    |  |             |                   |
|-----------|--------------------|--|-------------|-------------------|
| <b>目的</b> | 何を(誰を)どのような状態にしたのか | 北九州市の自然環境をいくつかの角度から現地調査を行い、自然環境情報の充実を図り、後世にも多くの恵みをもたらす自然環境の維持に努めていきます。 | <b>成果実績</b> | 調査を行い、現状の把握ができました |
|-----------|--------------------|--|-------------|-------------------|

| 代表的な成果指標 | 指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方) | 前年度実績  | 目標 | 実績 (達成率)                      | →                        | 【成果の状況】 |
|----------|--|--|----|-------------------------------|--------------------------|---------|
|          | 北九州市の環境保全  | 都市と自然が共生したまちを目指すとともに、北九州市の多様な自然の保全に努めます。<br>(環境保全が目的のため、数値で示すことが困難)<br>(最終目標と目標年度) |    | 都市と自然が共生したまちを目指す、多様な自然の保全に努める |                          |         |
|          | (最終目標と目標年度)  |  |    |                               | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 順調      |

|             |   |             |             |
|-------------|---|-------------|-------------|
| <b>活動計画</b> | カプトガニ等希少な動植物が生息し、市民の関心の高い曽根干潟の継続調査に取り組むため生物(鳥類、目視など)調査を行います。<br>また、市民団体など調査を行っている情報収集を行います。 | <b>活動実績</b> | 現状の把握ができました |
|-------------|---|-------------|-------------|

| 活動指標 | 指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明) | 前年度実績  | 目標  | 実績 (達成率) | →                        | 【活動の状況】 |
|------|---|--|-----|----------|--------------------------|---------|
|      | 曽根干潟における環境調査                                      | 特に曽根干潟の目視調査や鳥類調査など環境調査を継続することにより、現状を把握しながら保全に努めます。 | 6 回 | 4 回      | 7 回<br>175.0 %           |         |
|      |   |  |     |          | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 順調      |

### 【Check】評価(分析)

|           |                               |   |  |
|-----------|-------------------------------|---|--|
| 分析及び課題の整理 | 【成果の状況】<br>【活動の状況】<br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 曽根干潟の生き物調査を行うことで、現状を把握するとともに貴重なデータの収集ができました。 |
|           | 【経済性】<br>【効率性】<br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | 市民団体などが行っている調査については、情報収集を行い、調査の重複を避けました。     |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|        |   |  |
|--------|---|--|
| 見直し状況等 | 課題  | 他部局や市民団体からの情報の収集も行うようにします。また、他部局との連携を図り、調査の重複を避けることができました。 |
|        | 次年度の活動計画(見直し内容)   | その結果目指す成果(次年度の成果目標)  |
|        | 生き物及び環境調査は継続し、データの集積が必要です。今後も同様に調査を継続します。平成25年度から生物多様性戦略推進事業に統合します。 | 都市と自然が共生したまちを目指すとともに、北九州市の多様な自然の保全に努めます。                   |

# P D C A チェックシート (平成23年度実績評価)

|     |                 |     |                       |                          |                 |                  |           |            |
|-----|-----------------|-----|-----------------------|--------------------------|-----------------|------------------|-----------|------------|
| 事業名 | 市民植樹・美しいまちづくり事業 |     |                       |                          |                 |                  | 施策番号      | VI-4-(1)-② |
|     | コスト             | 事業費 | 平成23年度執行額<br>4,249 千円 | 平成24年度当初予算額<br>10,000 千円 | 人件費の目安          | 金額 2,000 千円 (備考) | 担当局       | 環境局        |
|     |                 |     |                       |                          | 課長 0 人 職員 0.2 人 | 担当課              | 環境未来都市推進室 |            |
|     |                 |     |                       |                          | 係長 0.05 人       | 課長名              | 塚本        |            |

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|   |  |             |  |          |      |                              |  |
|---|--|-------------|--|----------|------|------------------------------|--|
| 目的  | 何を(誰を)どのような状態にしたのか<br>希望する市民に対し、人生の記念日に苗木を配布し、樹木を育てることを感じてもらいます。また、記念樹植樹をきっかけに各家庭の緑を増やすことで、世界の環境首都にふさわしい都市と自然が共生したうらおいのある美しいまちを創ります。 | 成果実績        | 記念樹という身近な切り口により、緑に関心のある人の底上げを図ることができました。 |          |      |                              |  |
| 代表的な成果指標  | 指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)  | 前年度実績       | 目標                                       | 実績(達成率)  | →    | 【成果の状況】                      |  |
|   | うらおいのある美しいまち   |             |  | 14,668 本 | 大変順調 | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |  |
|   | 記念樹を配布し、市民に植樹していただくことで、まちなかの緑化を促進し、都市と自然が共生するまちを創ります。<br>(指標は累計で示す)  | 9,709 本     | 75,000 本                                 | 19.6 %   |      |                              |  |
|   | (最終目標と目標年度)7万5千本植樹、平成35年度(累計)  |             |  |          | 順調   | 順調                           |  |
| 環境首都100万本植樹プロジェクト促進   |  |             | 352,916 本                                |          |      |                              |  |
| 市民をはじめ、企業やNPO、行政などさまざまな主体が市内各地に植樹活動を行い、緑化を促進することで都市と自然が共生するまちを創ります。<br>(指標は累計で示す) | 252,669 本  | 1,000,000 本 | 35.3 %                                   | やや遅れ     | 遅れ   |                              |  |
| (最終目標と目標年度)100万本植樹、平成35年度(累計)   |  |             |  |          |      |                              |  |

|   |  |          |  |           |      |                        |    |
|---|--|----------|--|-----------|------|------------------------|----|
| 活動計画  | 本事業の目的を広くPRし、多くの市民に緑を育てる喜びを伝えることにより記念樹配布数を増加させます。また、市民をはじめ企業やNPO、行政などさまざまな主体に「環境首都100万本植樹プロジェクト」をPRし、多くの主体による植樹活動を推進します。 | 活動実績     | 記念樹という身近な切り口により、緑に関心のある人の底上げを図ることができました。 |           |      |                        |    |
| 活動指標  | 指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明)   | 前年度実績    | 目標                                       | 実績(達成率)   | →    | 【活動の状況】                |    |
|   | わたし記念日～記念樹における苗木の配布数   |          |  | 4,959 本   | 大変順調 | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |    |
|   | 記念樹配布を希望した市民に対して、年間5,000本を配布し、家庭から緑を増やしていく、市民の手による植樹を推進します。<br>(日々の活動が成果へとつながるため、単年度の配布数を活動指標としました)                      | 3,826 本  | 5,000 本                                  | 99.2 %    |      |                        |    |
|   | 環境首都100万本植樹プロジェクト植樹本数  |          |  | 100,247 本 | 順調   | 順調                     |    |
| 市民をはじめ、企業やNPO、行政などさまざまな主体が市内各地に植樹活動を行い、平成35年までに市内一円に新たに100万本植樹するものです。<br>(日々の活動が成果へとつながるため、単年度の配布数を活動指標としました) | 91,352 本   | 67,000 本 | 149.6 %                                  | やや遅れ      |      |                        | 遅れ |

## 【Check】評価(分析)

|           |                               |   |   |
|-----------|-------------------------------|---|---|
| 分析及び課題の整理 | 【成果の状況】<br>【活動の状況】<br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 記念樹プレゼントという個人に関わる切り口によって、記念樹を植え、緑を増やすことができました。また、緑化は短期間でできるものではなく、緑化(環境)意識もまた短期間で向上しないため、常に啓発する必要があります。 |
|           | 【経済性】<br>【効率性】<br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | 企業やNPOなどにも、PRをお願いし幅広く広報できるようにしています。また、記念日に関わる写真館などにもポスター掲示します。  |

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|   |   |                     |
|---|---|---------------------|
| 見直し状況等  | 課題  |                     |
|   | 平成23年度の配布もおおむね目標を達成し、秋の記念樹配布では目標の2500本を達成しました。今後は、配布先での生長の様子などをHPなどを活用して報告できる仕組みを作ります。また、春の配布においても目標達成するように広報に力を入れます。 |                     |
|   | 次年度の活動計画(見直し内容)   | その結果目指す成果(次年度の成果目標) |
| 緑化を進めることで、都市と自然が共生するうらおいのあるまちにつながることを啓発するため、広報活動はもちろん、引き続き記念樹配布を行い、家庭から緑を増やすよう努めます。また、生長の様子を共有できるツールを検討します。平成25年度から生物多様性戦略推進事業に統合します。 | 都市と自然が共生するうらおいのある美しいまちを創出するため、5000本(累計7万5千本)の配布目標を維持します。  |                     |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                |           |             |            |    |          |            |     |        |     |           |
|------------|----------------|-----------|-------------|------------|----|----------|------------|-----|--------|-----|-----------|
| <b>事業名</b> | 鳥がさえずる緑の回廊創成事業 |           |             |            |    |          | 施策番号       |     |        |     |           |
|            |                |           |             |            |    |          | VI-4-(1)-② |     |        |     |           |
| <b>コスト</b> | 事業費            | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 1,740 千円 | (備考)       | 担当局 | 環境局    |     |           |
|            |                | 9,307 千円  | 9,090 千円    |            | 課長 | 0.01 人   |            | 職員  | 0.15 人 | 担当課 | 環境未来都市推進室 |
|            |                |           |             |            | 係長 | 0.05 人   |            |     |        | 課長名 | 塚本        |
|            |                |           |             |            |    |          |            |     |        |     |           |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |   |   |          |          |                          |                              |                 |  |  |
|-----------------|---|---|----------|----------|--------------------------|------------------------------|-----------------|--|--|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか  | 処分場、工場などの産業用地として市民や自然と隔離されたイメージのある緑の回廊づくり等による環境整備を通して、産業と自然が調和した地区として再構築を図るとともに、市民と自然のふれあいの場として整備を行います。 |          |          |                          | <b>成果実績</b>                  | 23年度末で約20万本植樹達成 |  |  |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方) | 前年度実績   | 目標       | 実績 (達成率) | →                        | 【成果の状況】                      |                 |  |  |
|                 | 緑の回廊における緑化促進  |   |          | 37,920 本 |                          | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |                 |  |  |
|                 | 市民・NPO・企業・行政などさまざまな主体により、緑の回廊づくりを進めます。<br>(最終目標と目標年度) 平成35年までに30万本植樹  | 52,891 本  | 20,000 本 | 189.6 %  |                          |                              |                 |  |  |
|                 |   |   |          |          | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | <b>大変順調</b>                  |                 |  |  |
|                 | (最終目標と目標年度)   |   |          |          |                          |                              |                 |  |  |

|             |  |         |         |          |                          |                        |                 |  |  |
|-------------|--|---------|---------|----------|--------------------------|------------------------|-----------------|--|--|
| <b>活動計画</b> | さまざまな主体によって、15年間で30万本の苗木(どんぐりのなる木)を植栽します。                                  |         |         |          |                          | <b>活動実績</b>            | 23年度末で約20万本植樹達成 |  |  |
| <b>活動指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明)                   | 前年度実績   | 目標      | 実績 (達成率) | →                        | 【活動の状況】                |                 |  |  |
|             | 緑の回廊植樹会参加者   |         |         | 1,500 人  |                          | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |                 |  |  |
|             | 市民・NPO・企業・行政などさまざまな主体の参加により、毎年開催する緑の回廊植樹会において、1,500人規模の参加を促し、緑の回廊づくりを進めます。 | 1,300 人 | 1,500 人 | 100.0 %  |                          |                        |                 |  |  |
|             |  |         |         |          | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | <b>大変順調</b>            |                 |  |  |
|             |  |         |         |          |                          |                        |                 |  |  |

### 【Check】評価(分析)

|                  |   |   |  |
|------------------|---|---|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 市民をはじめ、企業やNPO、行政などさまざまな主体が植樹会に参加し、また、企業が独自に自社地における植樹により緑の回廊が広がっています。                               |
|                  | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | 植樹苗は「響・どんぐり銀行」を組織し、学校・企業・NPO・市民が協働して種にするどんぐり拾いから育苗まで行っています。また、その植樹も市民らの手によって行われているため、コストは抑えられています。 |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |   |  |
|---------------|---|--|
| <b>見直し状況等</b> | 課題<br>植樹会参加者も年々増え、参加者も目標に達成しています。参加者数の安定を図るように今後も取り組んでいきます。また、企業独自の植樹も引き続きお願いをし、緑の回廊がますます広がるよう努めます。 | その結果目指す成果(次年度の成果目標)                              |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)   | 緑化を進めるため、同様に植樹会を開催します。平成25年度から生物多様性戦略推進事業に統合します。 |
|               | 市民・NPO・企業・行政などさまざまな主体により、1,500人の参加を促し、年間20,000本の植樹を目標に緑の回廊づくりを進めます。                                 |  |



## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                             |           |             |            |    |          |      |            |       |     |           |
|------------|-----------------------------|-----------|-------------|------------|----|----------|------|------------|-------|-----|-----------|
| <b>事業名</b> | 北九州スマートコミュニティ創造事業(グリーングリッド) |           |             |            |    |          |      | 施策番号       |       |     |           |
|            |                             |           |             |            |    |          |      | VI-4-(1)-② |       |     |           |
| <b>コスト</b> | 事業費                         | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 2,575 千円 | (備考) | 担当局        | 環境局   |     |           |
|            |                             | 9,000 千円  | 3,000 千円    |            | 課長 | 0.05 人   |      | 職員         | 0.2 人 | 担当課 | 環境未来都市推進室 |
|            |                             |           |             |            | 係長 | 0.05 人   |      |            |       | 課長名 | 塚本        |
|            |                             |           |             |            |    |          |      |            |       |     |           |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |   |                                |                         |         |   |                              |  |  |  |
|-----------------|---|--------------------------------|-------------------------|---------|---|------------------------------|--|--|--|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか  | 「自然と人が融合し環境未来都市を先導する緑の東田地区」の実現 |                         |         |   | <b>成果実績</b>                  | 八幡東田グリーングリッド基本計画・基本設計の策定と一部壁面緑化等の工事(枝光前田1号線の植栽外) |  |  |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)   | 前年度実績                          | 目標                      | 実績(達成率) | → | 【成果の状況】                      |  |  |  |
|                 | 東田地区内の緑化推進  |                                |                         | 16 %    |   | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |  |  |  |
|                 | 生物多様性等に配慮した質の高い緑の創出を官民協働で取り組みます。既存の樹木や新たに植樹した樹木が成長していくことで、2050年には地区内の緑被率も倍増するような計画です。(現在16%→30%)<br>長期の計画であるため、数値目標の設定はありませんが、目標を達成するため、地区内の官民の緑化推進を図っていきます。<br><br>(最終目標と目標年度) |                                | 環境最先端のまちに<br>相応しい質の高い創出 |         |   | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ     | 順調   |  |  |
|                 |   |                                |                         |         |   |                              |  |  |  |

|             |  |       |    |         |   |                          |  |  |  |
|-------------|--|-------|----|---------|---|--------------------------|--|--|--|
| <b>活動計画</b> | 平成23年度は、東田グリーングリッドの基本計画・基本設計を行うとともに、一部の緑化工事を行います。      |       |    |         |   | <b>活動実績</b>              | 八幡東田グリーングリッド基本計画・基本設計の策定と一部壁面緑化等の工事(枝光前田1号線の植栽外) |  |  |
| <b>活動指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明) | 前年度実績 | 目標 | 実績(達成率) | → | 【活動の状況】                  |  |  |  |
|             | 基本計画・基本設計の策定   | -     | -  |         |   | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック   |  |  |  |
|             | 枝光前田1号線の緑化工事   | -     | -  |         |   | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 順調   |  |  |
|             |  |       |    |         |   |                          |  |  |  |

### 【Check】評価(分析)

|                  |   |   |   |
|------------------|---|---|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 基本計画・基本設計を策定し、一部の緑化工事を行いました。基本計画策定を受け、平成24年度より、LED照明の導入や道路・公園緑化の推進等、公共部門は建設局が「八幡東田グリーングリッド事業」として行っていくこととなりました。環境局としては、更なる民有地緑化の推進を図っていくため、詳細な環境調査を行い、民間への働きかけや事業の進捗を管理していきます。 |
|                  | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | 東田まちづくり連絡会への協力要請など、民間の緑化推進を図るためのPRを積極的に行っています。  |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |  |
|---------------|--|--|
| <b>見直し状況等</b> | 課題   | 現在、環境調査業務委託を実施しています。また、地区内の民間企業より緑化の相談や助成制度の説明などを求められたりしており、関心の高さが伺えます。今後も、公共の緑化を進めるとともに、民間の緑化推進を図るためのPRを積極的に行っていく必要があります。 |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)  | その結果目指す成果(次年度の成果目標)  |
|               | 引き続き環境調査を行うとともに、東田まちづくり連絡会への協力要請など、民間の緑化推進を図るためのPRを積極的に行っていきます。事業費(環境調査)は現状維持とします。 | 生物多様性等に配慮した質の高い緑の創出を官民協働で取り組みます。   |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                    |            |              |            |    |           |            |     |       |     |           |
|------------|--------------------|------------|--------------|------------|----|-----------|------------|-----|-------|-----|-----------|
| <b>事業名</b> | <b>響灘ビオトープ整備事業</b> |            |              |            |    |           | 施策番号       |     |       |     |           |
|            |                    |            |              |            |    |           | VI-4-(1)-② |     |       |     |           |
| <b>コスト</b> | 事業費                | 平成23年度執行額  | 平成24年度当初予算額  | 人件費<br>の目安 | 金額 | 13,125 千円 | (備考)       | 担当局 | 環境局   |     |           |
|            |                    | 127,816 千円 | 1,610,388 千円 |            | 課長 | 0.25 人    |            | 職員  | 0.7 人 | 担当課 | 環境未来都市推進室 |
|            |                    |            |              |            | 係長 | 0.5 人     |            |     |       | 課長名 | 塚本        |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |   |   |       |    |             |                          |                              |  |  |
|-----------------|---|---|-------|----|-------------|--------------------------|------------------------------|--|--|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたいのか   | 響灘廃棄物処分場において、エコタウン、次世代エネルギーパークと合わせて響灘地区環境学習資源の一つとして、「自然の回復力」に視点を当てた日本最大級となる「響灘ビオトープ」の整備を行うものです。 |       |    |             | <b>成果実績</b>              | 平成24年秋のオープンに向け工事中            |  |  |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)                     |   | 前年度実績 | 目標 | 実績<br>(達成率) | →                        | <b>【成果の状況】</b>               |  |  |
|                 | 響灘ビオトープ整備を平成24年9月までに完成させ、秋にオープンします。<br>(オープンが目標なので、数値で示すことが困難)<br>(最終目標と目標年度) オープン(H24年度) |   | -     | -  | 計画通り進行      |                          | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |  |  |
|                 | (最終目標と目標年度)   |   |       |    |             | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | <b>順調</b>                    |  |  |

|             |  |  |       |             |             |                          |                        |  |  |  |
|-------------|--|--|-------|-------------|-------------|--------------------------|------------------------|--|--|--|
| <b>活動計画</b> | 平成24年秋オープンを目指し、計画的な工事を行うとともに、条例の制定など事務作用を行っていきます。        |  |       |             | <b>活動実績</b> | 主要な工事の工事発注は完了。現在工事中。     |                        |  |  |  |
| <b>活動指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明) |  | 前年度実績 | 目標          | 実績<br>(達成率) | →                        | <b>【活動の状況】</b>         |  |  |  |
|             | 計画的な工事発注を行います。   |  |       | 単年度目標<br>なし |             |                          | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |  |  |  |
|             | 条例制定の準備(平成24年9月議会: 予定)                                   |  |       | 単年度目標<br>なし |             | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | <b>順調</b>              |  |  |  |

### 【Check】評価(分析)

|                  |   |   |   |
|------------------|---|---|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 予定どおりに、工事発注を行っています。現在現場では、様々な調整事項が発生している状況で、今後も調整事項が多数発生すると思われます。   |
|                  | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | ボランティアや専門家の意見を聞きながら、今後の整備、運営管理を進めていきます。運営管理については、指定管理者の導入を検討していきます。(平成26年度より隣接するエコタウンセンターと抱き合わせでの指定管理者の導入の検討) |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |  |  |  |
|---------------|--|--|--|--|
| <b>見直し状況等</b> | 課題   | 平成24年10月6日に無事にオープンし、予想を上回る来園者の入場があります。運営管理や施設管理に掛かる経費の効率化が今後の課題となるが、市民の関心が高く様々な要望があること(来園者アンケート)、ビオトープの生態系を維持していくためには、ある程度の維持費が必要となることなどから、運営管理等には、一定の経費が必要です。 |  |  |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)  | その結果目指す成果(次年度の成果目標)  |  |  |
|               | 響灘ビオトープ整備事業は完了しました。運営管理については、指定管理者の導入を検討し、条例の改正など指定管理者の導入に向けての準備を行います。(平成26年度より隣接するエコタウンセンターと抱き合わせでの指定管理者の導入の検討) | 響灘ビオトープ整備事業完了  |  |  |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                |           |             |            |    |              |      |            |           |
|------------|----------------|-----------|-------------|------------|----|--------------|------|------------|-----------|
| <b>事業名</b> | 市民と自然のふれあい推進事業 |           |             |            |    |              |      | 施策番号       |           |
|            |                |           |             |            |    |              |      | VI-4-(1)-③ |           |
| <b>コスト</b> | 事業費            | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 950 千円       | (備考) | 担当局        | 環境局       |
|            |                | 1,417 千円  | 2,059 千円    |            | 課長 | 0 人 職員 0.1 人 |      | 担当課        | 環境未来都市推進室 |
|            |                |           |             |            | 係長 | 0.02 人       |      | 課長名        | 塚本        |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |  |  |                  |                             |                          |                              |
|-----------------|--|--|------------------|-----------------------------|--------------------------|------------------------------|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか   | エコツアー(自然環境講座)の開催や冊子を使ったPRを通じて、市民の自然環境に対する関心を高め、自然への理解や自然を守り育む意識の形成を図ります。 | <b>成果実績</b>      | 多くの市民に北九州市の自然環境についてPRできました。 |                          |                              |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)  | 前年度実績  | 目標               | 実績 (達成率)                    | →                        | 【成果の状況】                      |
|                 | エコツアー(自然環境講座)への参加をきっかけに自然への関心を高める  |  | エコツアー参加により関心を高める |                             | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |
|                 | 市主催や「北九州市自然環境保全ネットワークの会」との協働でエコツアーを開催し、自然環境に対する意識向上に努め、自然環境保全に努めます。<br>(環境保全が目的のため、数値で示すことが困難)<br>(最終目標と目標年度) 毎回定員割れしない応募者数を確保 |  |                  |                             |                          | 順調                           |
|                 |  |  |                  |                             |                          |                              |
| (最終目標と目標年度)     |  |  |                  |                             |                          |                              |

|             |  |             |                             |          |                          |                        |
|-------------|--|-------------|-----------------------------|----------|--------------------------|------------------------|
| <b>活動計画</b> | 小倉南区曾根干潟でのカブトガニ産卵観察会や若松区響灘ビオトープでのエコツアーを実施し、エコツアーの参加者を募ります。         | <b>活動実績</b> | 多くの市民に北九州市の自然環境についてPRできました。 |          |                          |                        |
| <b>活動指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明)           | 前年度実績       | 目標                          | 実績 (達成率) | →                        | 【活動の状況】                |
|             | エコツアー(自然環境講座)への応募者数  |             |                             | 467 人    | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
|             | 市主催や「北九州市自然環境保全ネットワークの会」との協働で開催するエコツアー開催等により、市民と自然とのふれあいを推進していきます。 | 406 人       | 400 人                       | 116.8 %  |                          | 順調                     |
|             |  |             |                             |          |                          |                        |
|             |  |             |                             |          |                          |                        |

### 【Check】評価(分析)

|                  |   |   |   |
|------------------|---|---|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 自然環境への関心は短期間で構築できるものではないので、常に啓発する必要があります。 |
|                  | <b>【経済性】</b><br><b>【効率性】</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | NPOなどと協働開催を行っており、コストを抑えるようにしています。         |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |   |  |
|---------------|---|--|
| <b>見直し状況等</b> | 課題<br>エコツアー参加の応募も定員を超え、抽選となりましたが、関心の高まりがうかがえます。抽選になるほどの応募数があることは良いのですが、より多くの方が参加できるように工夫が必要です。<br>次年度の活動計画(見直し内容) | その結果目指す成果(次年度の成果目標)<br>市主催や「北九州市自然環境保全ネットワークの会」との協働でエコツアーを開催し、自然環境に対する意識向上に努め、自然環境保全に努めます。 |
|---------------|---|--|

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |            |           |             |            |       |                |      |            |       |
|------------|------------|-----------|-------------|------------|-------|----------------|------|------------|-------|
| <b>事業名</b> | 工場・事業場監視事業 |           |             |            |       |                |      | 施策番号       |       |
|            |            |           |             |            |       |                |      | VI-4-(2)-① |       |
| <b>コスト</b> | 事業費        | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額    | 56,300 千円      | (備考) | 担当局        | 環境局   |
|            |            | 21,309 千円 | 23,609 千円   |            | 課長    | 0.2 人 職員 5.6 人 |      | 担当課        | 監視指導課 |
|            |            |           | 係長          |            | 1.2 人 | 課長名            |      | 青柳         |       |
|            |            |           |             |            |       |                |      |            |       |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |   |  |       |         |         |             |                          |                              |  |  |
|-----------------|---|--|-------|---------|---------|-------------|--------------------------|------------------------------|--|--|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか  | 大気汚染防止法、水質汚濁防止法等の環境法令の規制生受ける工場・事業場に対して、法令順守の徹底を図ります。 |       |         |         | <b>成果実績</b> | 成果の状況は下記のとおりです。          |                              |  |  |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)</b><br>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)            |  | 前年度実績 | 目標      | 実績(達成率) | →           | 【成果の状況】                  |                              |  |  |
|                 | 公害に関する苦情・要望件数   |  | 301 件 | 400 件以下 | 291 件   | 72.8 %      | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |  |  |
|                 | 大気、水質、悪臭、騒音等公害に関する市民からの苦情・要望件数。安心して暮らせる快適なまちづくりを示す指標として設定しました。<br>(最終目標と目標年度) |  |       |         |         |             |                          |                              |  |  |
|                 |   |  |       |         |         |             |                          | 大変順調                         |  |  |
| (最終目標と目標年度)     |   |  |       |         |         |             |                          |                              |  |  |

|             |  |  |       |       |         |             |                          |                        |  |  |
|-------------|--|--|-------|-------|---------|-------------|--------------------------|------------------------|--|--|
| <b>活動計画</b> | 工場・事業場に対する施設・運転管理状況等確認のための立入検査及び排ガス・排水等の測定の実施                        |  |       |       |         | <b>活動実績</b> | 活動結果は下記のとおりです。           |                        |  |  |
| <b>活動指標</b> | <b>指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)</b><br>(上段:指標名 下段:指標の説明)                |  | 前年度実績 | 目標    | 実績(達成率) | →           | 【活動の状況】                  |                        |  |  |
|             | 工場・事業場に対する立入検査、測定の実施件数(大気、悪臭及び水質に限る)                                 |  | 353 件 | 400 件 | 484 件   | 121.0 %     | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |  |  |
|             | 立入検査及び測定が必要と思われる工場・事業場は、延べ数で市内に約500あり、平成23年度はその8割について対応することを目標としました。 |  |       |       |         |             |                          |                        |  |  |
|             |  |  |       |       |         |             |                          | 大変順調                   |  |  |
| (最終目標と目標年度) |  |  |       |       |         |             |                          |                        |  |  |

### 【Check】評価(分析)

|                  |  |  |   |
|------------------|--|--|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】<br/>【活動の状況】<br/>を踏まえた分析</b> | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 工場・事業場に関する苦情件数は、近年減少傾向にあり、工場・事業場に対する継続的な立入・測定の効果が現れていると思われます。平成23年度は、立入・調査件数が増加し、事業場の環境保全に関する意識向上に役に立ったと考えます。今後も、立入体制を継続して強化する方針です。 |
|                  | <b>「経済性」<br/>「効率性」<br/>の分析</b>         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 工場・事業場の場所等を鑑み、経路や時間帯を有効活用し、複数まとめて立入・調査をするようにし、効率化を図っています。   |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |   |  |
|---------------|---|--|
| <b>見直し状況等</b> | <b>課題</b><br>水質汚濁防止法の改正により、従来分に追加して立入検査を行う対象事業所・施設が増加しました(229事業所→317事業所(予定))。また、公害苦情件数は、過去に比較すると減少傾向にありますが、この数年で横這いになってきています(H21:285件→H23:291件)。公害に関する企業への指導は、規制以上の自主的な対応を促すものがほとんどであり、これに従うか否かは企業意識によるが多いため、企業の意識改革必要な場合もあります。 | その結果目指す成果(次年度の成果目標)                      |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)<br>次年度の事業所立入・測定の実施回数を、420回/年とします。また、事業所立入において、企業とのコミュニケーションに留意し、環境対策の重要性について更に認識を深めるよう指導することとします。事業費は、立入・測定の実施回数を増やすものの、より一層の経費節減を図り、縮小します。   | 公害苦情件数が400件以下となるよう、企業に対する環境保全の意識向上を図ります。 |



## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |          |           |             |            |    |           |      |            |       |     |       |
|------------|----------|-----------|-------------|------------|----|-----------|------|------------|-------|-----|-------|
| <b>事業名</b> | 不法投棄防止事業 |           |             |            |    |           |      | 施策番号       |       |     |       |
|            |          |           |             |            |    |           |      | VI-4-(2)-① |       |     |       |
| <b>コスト</b> | 事業費      | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 15,550 千円 | (備考) | 担当局        | 環境局   |     |       |
|            |          | 14,057 千円 | 19,611 千円   |            | 課長 | 0.2 人     |      | 職員         | 0.3 人 | 担当課 | 監視指導課 |
|            |          |           |             |            | 係長 | 1.1 人     |      |            |       | 課長名 | 青柳    |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |  |                                  |       |                 |             |                          |                              |  |  |
|-----------------|--|----------------------------------|-------|-----------------|-------------|--------------------------|------------------------------|--|--|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか   | 産業廃棄物の不法投棄の未然防止、早期発見及び拡大防止を図ります。 |       |                 |             | <b>成果実績</b>              | 成果の状況は下記のとおりです。              |  |  |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br/>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)</b>  |                                  | 前年度実績 | 目標              | 実績<br>(達成率) | →                        | <b>【成果の状況】</b>               |  |  |
|                 | 廃棄物の不法投棄量  |                                  | 106トン | 200<br>トン<br>以下 | 112トン       | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |  |  |
|                 | 市内で不法投棄された廃棄物の量。監視パトロール、監視カメラ設置、市民通報員の活用、警察との連携等の施策の結果、廃棄物の不法投棄が減ったことを表す指標として、不法投棄量を設定しました。<br>(最終目標と目標年度) |                                  |       |                 | 56.0%       |                          |                              |  |  |
|                 |  |                                  |       |                 |             |                          | <b>大変順調</b>                  |  |  |
| (最終目標と目標年度)     |  |                                  |       |                 |             |                          |                              |  |  |

|             |  |  |       |      |             |                          |                        |  |  |
|-------------|--|--|-------|------|-------------|--------------------------|------------------------|--|--|
| <b>活動計画</b> | 不法投棄の未然防止及び早期発見のため、監視パトロールを実施します。  |  |       |      | <b>活動実績</b> | 活動結果は下記のとおりです。           |                        |  |  |
| <b>活動指標</b> | <b>指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br/>(上段:指標名 下段:指標の説明)</b>   |  | 前年度実績 | 目標   | 実績<br>(達成率) | →                        | <b>【活動の状況】</b>         |  |  |
|             | 監視パトロールの実施回数   |  | 305回  | 308回 | 309回        | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |  |  |
|             | 不法投棄の未然防止及び早期発見のため、夜間(概ね月2回・3班:76回)、土日(概ね月1回・3班:33回)及び早朝・深夜(民間警備会社:200回)に、不法投棄されやすい箇所を中心に市内全域のパトロールを実施。(回数は平成23年度計画) |  |       |      | 100.3%      |                          |                        |  |  |
|             |  |  |       |      |             |                          | <b>大変順調</b>            |  |  |
| (最終目標と目標年度) |  |  |       |      |             |                          |                        |  |  |

### 【Check】評価(分析)

|                  |   |  |  |
|------------------|---|--|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。    | 不法投棄の処理件数は減少傾向にあり、夜間、土・日曜日及び早朝・深夜の不法投棄パトロールによる効果が現れているものと考えます。 |
|                  | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」<br>「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 市内各所にある不法投棄監視重点地区をパトロールするため、巡回範囲が広く、コスト削減は困難です。                |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |                                   |
|---------------|--|-----------------------------------|
| <b>見直し状況等</b> | 課題   |                                   |
|               | 本市の不法投棄件数は、平成23年度で1,704件が発見され、112トンが市により処理されています。これは、最も多かった平成17年度(発見件数:3,788、処理量:681トン)と比較すると大幅に減少していますが、それでも近隣都市の実績と比較するとかなり多めです。このため、今後も不法投棄防止事業を継続していく必要があると考えています。 |                                   |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)  | その結果目指す成果(次年度の成果目標)               |
|               | 不法投棄の未然防止及び早期発見のため、夜間、土日及び早朝・深夜に、市内全域のパトロールを実施し、パトロールコースは、昨年度の不法投棄多発箇所を効果的に廻ることができるよう、見直すこととします。また、不法投棄抑止効果を上げるため他の施策と協同することにより、事業費は現状維持です。                            | 不法投棄物処理量をさらに減量し、年間目標を180トン以下とします。 |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |             |           |             |        |       |          |      |            |       |     |
|------------|-------------|-----------|-------------|--------|-------|----------|------|------------|-------|-----|
| <b>事業名</b> | ダイオキシン類対策事業 |           |             |        |       |          |      | 施策番号       |       |     |
|            |             |           |             |        |       |          |      | VI-4-(2)-① |       |     |
| <b>コスト</b> | 事業費         | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費の目安 | 金額    | 3,825 千円 | (備考) | 担当局        | 環境局   |     |
|            |             | 11,162 千円 | 11,483 千円   |        | 課長    | 0.05 人   |      | 職員         | 0.3 人 | 担当課 |
|            |             |           | 係長          |        | 0.1 人 |          |      | 課長名        | 作花    |     |
|            |             |           |             |        |       |          |      |            |       |     |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |   |  |       |      |             |                          |                              |  |  |
|-----------------|---|--|-------|------|-------------|--------------------------|------------------------------|--|--|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか<br>ダイオキシン類対策特別措置法(平成11年7月16日法律第105号、以下「法」)第26条「常時監視」の規定に基づき、環境質(大気、水質(水底の底質を含む)および土壌)のダイオキシン類による汚染の状況を把握するため、調査測定(環境モニタリング)を行います。調査結果を環境保全計画の推進に資するとともに、環境質の現状維持に努めています。 |  |       |      | <b>成果実績</b> | 下記の代表的な成果指標のとおりです。       |                              |  |  |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)</b><br>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)  |  | 前年度実績 | 目標   | 実績(達成率)     | →                        | 【成果の状況】                      |  |  |
|                 | 環境の質の現状維持   |  | 現状維持  | 現状維持 | 現状維持        | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |  |  |
|                 | 生活環境の保全のため、大気、水質、土壌について、ダイオキシン類に係る環境モニタリング計画を立て測定を実施し、環境の質の現状維持に努めます。<br>(最終目標と目標年度)  |  |       |      |             |                          |                              |  |  |
|                 | (最終目標と目標年度)   |  |       |      |             |                          | 順調                           |  |  |

|             |   |  |  |  |             |                |  |  |  |
|-------------|---|--|--|--|-------------|----------------|--|--|--|
| <b>活動計画</b> | 大気(4地点×4回)、水質等(27地点×1回)の環境モニタリングを実施します。 |  |  |  | <b>活動実績</b> | 活動結果は下記のとおりです。 |  |  |  |
|-------------|---|--|--|--|-------------|----------------|--|--|--|

|  |   |  |       |       |         |         |                          |  |  |
|--|---|--|-------|-------|---------|---------|--------------------------|--|--|
| <b>活動指標</b>  | <b>指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)</b><br>(上段:指標名 下段:指標の説明) |  | 前年度実績 | 目標    | 実績(達成率) | →       | 【活動の状況】                  |  |  |
|  | 大気環境の質の現状維持   |  | 4 地点  | 4 地点  | 4 地点    | 100.0 % | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック   |  |  |
|  | 大気について、ダイオキシン類に係る環境モニタリング計画を立て測定を実施します。               |  |       |       |         |         |                          |  |  |
|  | 水質・土壌環境の質の現状維持  |  | 27 地点 | 27 地点 | 27 地点   | 100.0 % | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ |  |  |
| 河川、海域等の水質及び土壌について、ダイオキシン類に係る環境モニタリング計画を立て測定を実施します。 |   |  |       |       |         |         |                          |  |  |

### 【Check】評価(分析)

|                  |  |   |  |
|------------------|--|---|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】<br/>【活動の状況】<br/>を踏まえた分析</b> | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 活動について、予定通り調査・測定(環境モニタリング)を実施しました。成果について、測定結果や知見の集積ができ、環境質の現状維持に資することができました。 |
|                  | <b>「経済性」<br/>「効率性」<br/>の分析</b>         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | 試料採取及び分析業務を民間事業者へ委託し、経費削減に努めています。  |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|  |  |                             |
|--|--|-----------------------------|
| <b>見直し状況等</b>  | 課題   |                             |
|  | ダイオキシン類の環境モニタリングにより、測定結果や知見の集積が進み、環境質が現状維持されていること及び、従来の環境保全の取組みの有効性が確認されました。本事業は、ダイオキシン類対策特別措置法の規定に基づき、必ず市が行う必要があるもので、併せて経済性、効率性が求められています。 |                             |
|  | 次年度の活動計画(見直し内容)  | その結果目指す成果(次年度の成果目標)         |
| 測定頻度や地点数の見直し等、経済性、効率性を考慮しながら事業費を縮小するとともに、引き続き、大気、水質等の環境モニタリングを実施します。 |  | 測定結果や知見の集積を行い、環境の質の維持に努めます。 |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |        |           |             |                |    |          |      |            |       |     |       |
|------------|--------|-----------|-------------|----------------|----|----------|------|------------|-------|-----|-------|
| <b>事業名</b> | 環境対策事業 |           |             |                |    |          |      | 施策番号       |       |     |       |
|            |        |           |             |                |    |          |      | VI-4-(2)-① |       |     |       |
| <b>コスト</b> | 事業費    | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の<br>目安 | 金額 | 8,325 千円 | (備考) | 担当局        | 環境局   |     |       |
|            |        | 76,245 千円 | 76,871 千円   |                | 課長 | 0.05 人   |      | 職員         | 0.9 人 | 担当課 | 環境保全課 |
|            |        |           |             |                | 係長 | 0.1 人    |      |            |       | 課長名 | 作花    |
|            |        |           |             |                |    |          |      |            |       |     |       |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |   |   |      |         |                          |             |                              |  |  |
|-----------------|---|---|------|---------|--------------------------|-------------|------------------------------|--|--|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか  | 環境基本法他の法律及び条例に基づき、市民の生活環境を保全するための大気汚染、水質汚濁、騒音振動等の監視測定(環境モニタリング)等を行います。測定結果を本市の環境保全の推進に役立てるとともに、環境質の現状維持に努めています。 |      |         |                          | <b>成果実績</b> | 下記の代表的な成果指標のとおりです。           |  |  |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)           | 前年度実績   | 目標   | 実績(達成率) | →                        | 【成果の状況】     |                              |  |  |
|                 | 環境の質の現状維持   | 現状維持  | 現状維持 | 現状維持    | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 順調          | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |  |  |
|                 | 生活環境の保全のため、大気、水質、騒音、振動について、環境モニタリング計画を立て測定を実施し、環境の質の現状維持に努めます。<br>(最終目標と目標年度) |   |      |         |                          |             |                              |  |  |
|                 | (最終目標と目標年度)   |   |      |         |                          |             |                              |  |  |

|                                      |  |       |       |         |         |                          |                        |  |  |
|--------------------------------------|--|-------|-------|---------|---------|--------------------------|------------------------|--|--|
| <b>活動計画</b>                          | 大気汚染、水質汚濁、騒音振動等の環境モニタリング等を実施(有害大気汚染物質4地点等)します。         |       |       |         |         | <b>活動実績</b>              | 活動結果は下記のとおりです。         |  |  |
| <b>活動指標</b>                          | <b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明) | 前年度実績 | 目標    | 実績(達成率) | →       | 【活動の状況】                  |                        |  |  |
|                                      | 大気環境の質の現状維持  | 62 地点 | 80 地点 | 80 地点   | 100.0 % | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |  |  |
|                                      | 大気、騒音、振動について、環境モニタリング計画を立て測定を実施します。                    |       |       |         |         |                          |                        |  |  |
|                                      | 水環境の質の現状維持   | 71 地点 | 71 地点 | 71 地点   |         |                          |                        |  |  |
| 河川、海域等の水質について、環境モニタリング計画を立て測定を実施します。 |  |       |       |         |         |                          |                        |  |  |

### 【Check】評価(分析)

|                  |   |   |  |
|------------------|---|---|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 活動について、予定通り調査・測定(環境モニタリング)を実施しました。成果について、測定結果や知見の集積ができ、環境質の現状維持に資することができました。 |
|                  | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | 試料採取及び分析業務を民間事業者に委託し、経費削減に努めています。  |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |  |
|---------------|--|--|
| <b>見直し状況等</b> | 課題<br>環境モニタリングにより、測定結果や知見の集積が進み、環境質が現状維持されていること及び、従来の環境保全の取組みの有効性が確認されました。本事業は、環境基本法等の規定に基づき、必ず市が行う必要があるもので、併せて経済性、効率性が求められています。 | その結果目指す成果(次年度の成果目標)  |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)  | 測定頻度や地点数の見直し等、経済性、効率性を考慮しながら事業費を縮小するとともに、引き続き、大気汚染、水質汚濁、騒音振動等の環境モニタリング等を実施します。 |
|               | 測定頻度や地点数の見直し等、経済性、効率性を考慮しながら事業費を縮小するとともに、引き続き、大気汚染、水質汚濁、騒音振動等の環境モニタリング等を実施します。   | 測定結果や知見の集積を行い、環境の質の維持に努めます。  |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                  |           |             |            |    |                 |            |     |       |
|------------|------------------|-----------|-------------|------------|----|-----------------|------------|-----|-------|
| <b>事業名</b> | 大気汚染常時監視システム整備事業 |           |             |            |    |                 | 施策番号       |     |       |
|            |                  |           |             |            |    |                 | VI-4-(2)-① |     |       |
| <b>コスト</b> | 事業費              | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 7,075 千円        | (備考)       | 担当局 | 環境局   |
|            |                  | 36,864 千円 | 36,864 千円   |            | 課長 | 0.05 人 職員 0.6 人 |            | 担当課 | 環境保全課 |
|            |                  |           |             |            | 係長 | 0.2 人           |            | 課長名 | 作花    |
|            |                  |           |             |            |    |                 |            |     |       |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                  |   |  |       |      |              |                          |                                |  |  |  |
|------------------|---|--|-------|------|--------------|--------------------------|--------------------------------|--|--|--|
| <b>目的</b>        | 何を(誰を) 大気汚染防止法(昭和43年6月10日法律第97条、以下「法」)第22条の規定に基づく環境大気 どのよう 汚染状況の常時監視を行うため、公害監視センター及び市内21ヶ所に設置した常時監視測定 状態にした 局から成る測定環境を整備します。調査結果を本市の環境保全の推進に役立てるにとともに、 いか 環境の質の現状維持に努めています。 |  |       |      | <b>成果 実績</b> | 下記の代表的な成果指標のとおりです。       |                                |  |  |  |
| <b>代表的な 成果指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)   |  | 前年度実績 | 目標   | 実績 (達成率)     | →                        | <b>【成果の状況】</b>                 |  |  |  |
|                  | 環境の質の現状維持   |  | 現状維持  | 現状維持 | 現状維持         | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 代表的な成果指標 の実績などを参考に、成果の状況を チェック |  |  |  |
|                  | 二酸化いおう等による大気汚染の状況把握のため、連続測定を実施し、 環境の質の現状維持に努めます。<br>(最終目標と目標年度)   |  |       |      |              |                          |                                |  |  |  |
|                  | (最終目標と目標年度)   |  |       |      |              |                          | <b>順調</b>                      |  |  |  |
|                  |   |  |       |      |              |                          |                                |  |  |  |

|             |  |  |       |       |              |                |                          |  |  |  |
|-------------|--|--|-------|-------|--------------|----------------|--------------------------|--|--|--|
| <b>活動計画</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・公害監視センター、測定局9局の保守(H20-26)</li> <li>・測定局7局の借り入れ及び保守(H18-24)</li> <li>・測定局5局の借り入れ及び保守(H20-26)</li> </ul> |  |       |       | <b>活動 実績</b> | 活動結果は下記のとおりです。 |                          |  |  |  |
| <b>活動指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明)   |  | 前年度実績 | 目標    | 実績 (達成率)     | →              | <b>【活動の状況】</b>           |  |  |  |
|             | 大気汚染常時監視の測定環境の整備   |  | 22 カ所 | 22 カ所 | 22 カ所        | 100.0 %        | 活動指標の実績を 参考に、活動の状 況をチェック |  |  |  |
|             | 公害監視センターデータ処理装置及びテレメータシステムについて、それ ぞれ10年、12年のサイクルで更新計画を策定し、効率的な測定環境の整 備に努めています。   |  |       |       |              |                |                          |  |  |  |
|             |  |  |       |       |              |                | <b>順調</b>                |  |  |  |
|             |  |  |       |       |              |                |                          |  |  |  |

### 【Check】評価(分析)

|                     |   |   |   |
|---------------------|---|---|---|
| <b>分析 及び 課題の 整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったの か、成果を得るための活動は有 効だったのかなど、分析し課題 を整理する。また、影響を及ぼし た外的要因の分析も行う。 | 活動について、予定通り調査・測定(環境モニタリング)を実施しました。成果について、測定結果や知見の 集積ができ、環境質の現状維持に資することができました。 |
|                     | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」 「同じコストでより高い成果を」得 られないか。また、民間活力導 入による「経済性・効率性」の向 上はできないか。  | データ処理装置は10年、テレメータシステムは12年のサイクルで更新計画を策定し、支出の平準化を図るな ど適切な支出に努めています。             |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|                |   |                                   |
|----------------|---|-----------------------------------|
| <b>見直し 状況等</b> | 課題  |                                   |
|                | 平成23年度は計画通りに事業が進捗しました。平成24年度も計画どおり測定体制を整備し、環境質の現状把握を行い、必要な施策の検討・実施を通じて、その維持・向上に 努めています。今後とも事業内容を維持しながら、費用の削減に努めていきます。 |                                   |
|                | 次年度の活動計画(見直し内容)   | その結果目指す成果(次年度の成果目標)               |
|                | 計画通り測定環境を整備するとともに、課題解決に向け、分割化している更新計画の見直しを 行い事業費を縮小します。   | 平成27年度のシステム一括更新を目標として、更新計画を策定します。 |



## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |              |           |             |            |    |                 |      |            |       |
|------------|--------------|-----------|-------------|------------|----|-----------------|------|------------|-------|
| <b>事業名</b> | 新規法規制物質等対策事業 |           |             |            |    |                 |      | 施策番号       |       |
|            |              |           |             |            |    |                 |      | VI-4-(2)-① |       |
| <b>コスト</b> | 事業費          | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 3,075 千円        | (備考) | 担当局        | 環境局   |
|            |              | 9,484 千円  | 11,200 千円   |            | 課長 | 0.05 人 職員 0.2 人 |      | 担当課        | 環境保全課 |
|            |              |           |             |            | 係長 | 0.1 人           |      | 課長名        | 作花    |
|            |              |           |             |            |    |                 |      |            |       |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|           |   |             |                    |
|-----------|---|-------------|--------------------|
| <b>目的</b> | 何を(誰を)どのような状態にしたのか<br>大気汚染防止法(昭和43年6月10日法律第97条、以下「法」)第22条の規定に基づく環境大気汚染状況の常時監視を行うため、平成21年9月に環境基準が設定された微小粒子状物質(PM2.5)について、測定網を整備します。また、環境の質の現状維持及び知見の集積に努めます。 | <b>成果実績</b> | 下記の代表的な成果指標のとおりです。 |
|-----------|---|-------------|--------------------|

|                 | 指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)  | 前年度実績 | 目標   | 実績(達成率) | →                        | 【成果の状況】                      |
|-----------------|--|-------|------|---------|--------------------------|------------------------------|
| <b>代表的な成果指標</b> | 環境の質の現状維持  |       |      | 現状維持    |                          | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |
|                 | PM2.5による大気汚染の状況把握のため、平成22年から25年までの4年間で市内に7カ所のPM2.5測定局から成る測定網を整備します。また、環境の質の現状維持に努めます。<br>(最終目標と目標年度) | 現状維持  | 現状維持 |         |                          |                              |
|                 |  |       |      |         | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 順調                           |

|             |   |             |                |
|-------------|---|-------------|----------------|
| <b>活動計画</b> | 測定網の整備計画に基づき、平成23年度は2カ所のPM2.5測定局を整備します。 | <b>活動実績</b> | 活動結果は下記のとおりです。 |
|-------------|---|-------------|----------------|

|             | 指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明) | 前年度実績 | 目標  | 実績(達成率) | →                        | 【活動の状況】                |
|-------------|--|-------|-----|---------|--------------------------|------------------------|
| <b>活動指標</b> | 大気汚染常時監視の測定環境の整備                               |       |     | 2カ所     |                          | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
|             | 整備した測定局において、順次環境測定を開始します。                      | 1カ所   | 2カ所 | 100.0%  |                          |                        |
|             |  |       |     |         | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 順調                     |

### 【Check】評価(分析)

|                  |  |   |
|------------------|--|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析<br>活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 活動について、環境測定のうち成分分析は、参照すべき国のガイドラインの発行が遅れたため、年4回実施予定のところを年1回の実施となりました。成果について、予定どおり測定結果や知見の集積が出来ました。 |
|                  | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析<br>「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。          | 測定網の整備計画を策定し、支出の平準化を図るなど適切な支出に努めています。   |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |   |                            |
|---------------|---|----------------------------|
| <b>見直し状況等</b> | 課題  |                            |
|               | 平成23年度は計画通りに事業が進捗しました。平成24年度も計画どおり測定網を整備し、環境質の現状把握を行い、必要な施策の検討・実施を通じて、その維持・向上に努めています。今後、測定網の整備を進め、その完了後は、事業内容を維持しながら、経費の削減に努めていきます。 |                            |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)   | その結果目指す成果(次年度の成果目標)        |
|               | 測定網の整備計画に基づき(事業費縮小)、整備を進めていきます。   | 平成25年度までに測定網(市内7ヶ所)を整備します。 |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |              |           |             |            |    |                |      |            |           |
|------------|--------------|-----------|-------------|------------|----|----------------|------|------------|-----------|
| <b>事業名</b> | ノーマイカー普及戦略事業 |           |             |            |    |                |      | 施策番号       |           |
|            |              |           |             |            |    |                |      | VI-4-(2)-② |           |
| <b>コスト</b> | 事業費          | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 4,650 千円       | (備考) | 担当局        |           |
|            |              | 2,145 千円  | 3,024 千円    |            | 課長 | 0.1 人 職員 0.2 人 |      | 担当課        | 環境未来都市推進室 |
|            |              |           |             |            | 係長 | 0.2 人          |      | 課長名        | 塚本        |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|           |                    |   |             |                |
|-----------|--------------------|---|-------------|----------------|
| <b>目的</b> | 何を(誰を)どのような状態にしたのか | 過度なマイカー利用を抑制し、環境にやさしい公共交通機関を積極的な利用を促進します。 | <b>成果実績</b> | 成果の状況は以下の通りです。 |
|-----------|--------------------|---|-------------|----------------|

| 代表的な成果指標   | 指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方) | 前年度実績               | 目標   | 実績 (達成率) | →    | 【成果の状況】                  |
|--|--|---------------------|------|----------|------|--------------------------|
|  | ノーマイカーデー   | ノーマイカーデー参加者の数 (単年度) | 58 社 | 70 社     | 74 社 | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ |
| マイカー通勤者を主な対象として、参加企業数及び参加者の増加を図ります。<br>(最終目標と目標年度) |  | 105.7 %             |      |          |      |                          |
| ノーマイカーデー実施によるCO2削減量 (単年度)                          |  | 37 t                | 50 t | 71 t     | 順調   |                          |
| マイカー利用から公共交通機関を利用したことによるCO2の削減量<br>(最終目標と目標年度)     |  |                     |      | 142.0 %  |      |                          |

|             |   |             |                |
|-------------|---|-------------|----------------|
| <b>活動計画</b> | H22年度は10月から3月までの毎月毎週第2・第4水曜日をノーマイカーデーとし実施しましたが、H23年度は、10月から毎週水曜日をノーマイカーデーとし、市内企業及び市民に広く参加を呼びかけます。特に10月・11月の推進月間には市内飲食店で割引などの特典が受けられるなど楽しみながら取組む仕組みとします。 | <b>活動実績</b> | 活動の状況は以下の通りです。 |
|-------------|---|-------------|----------------|

| 活動指標   | 指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明) | 前年度実績                  | 目標         | 実績 (達成率) | →                    | 【活動の状況】                  |
|--|---|------------------------|------------|----------|----------------------|--------------------------|
|  | 市内企業や飲食店、交通事業者などへの協力依頼                            | 市内企業や飲食店、交通事業者などへの協力依頼 | 市内企業への参加依頼 | 効果的なPR   | 様々な媒体を利用した効果的なPRを行った | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ |
| ノーマイカーデー参加者を募るために市内企業への参加依頼や、JRやモレール、バスなどの駅や駅周辺、そして車内でのチラシ・ポスターのぼり旗掲示など幅広く普及啓発を行います。 |   | 順調                     |            |          |                      |                          |

### 【Check】評価(分析)

|                                     |  |  |
|-------------------------------------|--|--|
| <b>分析及び課題の整理</b>                    | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析                          | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。<br><br>H22年度よりも事業を拡大し、参加企業・参加者も増えましたが、更なる普及啓発が必要と考えます。今後は、ドライバーに直接訴えかけるPRを行い、事業の定着・参加者の拡大を図っていきます。 |
| <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | ノーマイカーデーの認知度があがれば、普及啓発の内容を絞り込むことが考えられるが、現段階では、H22年10月から本格スタートしたところであり、幅広にPRを行っていく必要があります。  |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |   |
|---------------|---|
| <b>見直し状況等</b> | 課題<br><br>ドライバーに直接視覚的に訴えかける「PR横断幕」の設置や、市民への周知を行うため、自治会と協力してのチラシの回覧などを実施しました。費用対効果に優れた参加者の拡大が課題です。 |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)   |
|               | その結果目指す成果(次年度の成果目標)   |
|               | 既存のPR媒体等の活用を見直すことで、大幅な経費節減を図りながら、引き続き個別企業との協議などを行い参加企業数を拡大させ、H25年環境モデル都市計画において見直します。「縮小」          |
|               | 市内企業100社程度の参加を目指します。  |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                   |           |             |            |    |                |            |     |           |
|------------|-------------------|-----------|-------------|------------|----|----------------|------------|-----|-----------|
| <b>事業名</b> | <b>エコドライブ推進事業</b> |           |             |            |    |                | 施策番号       |     |           |
|            |                   |           |             |            |    |                | VI-4-(2)-② |     |           |
| <b>コスト</b> | 事業費               | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 8,900 千円       | (備考)       | 担当局 | 環境局       |
|            |                   | 7,731 千円  | 4,405 千円    |            | 課長 | 0.1 人 職員 0.5 人 |            | 担当課 | 環境未来都市推進室 |
|            |                   |           |             |            | 係長 | 0.4 人          |            | 課長名 | 塚本        |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|           |                    |   |             |                |
|-----------|--------------------|---|-------------|----------------|
| <b>目的</b> | 何を(誰を)どのような状態にしたのか | 自動車から排出されるCO2削減のため、企業内でのエコドライブ活動を支援するとともに市民へのエコドライブの普及啓発を図ります。(※H24年からは、H23年までの他事務事業で行っていた「エコドラ北九州プロジェクト」の事業を統合しました。) | <b>成果実績</b> | 成果の状況は以下の通りです。 |
|-----------|--------------------|---|-------------|----------------|

| 代表的な成果指標                     | 指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方) | 前年度実績 | 目標    | 実績 (達成率) | →                        | 【成果の状況】 |
|------------------------------|--|-------|-------|----------|--------------------------|---------|
|                              | エコドラ北九州プロジェクト参加事業者のCO2削減量 (単年度)                              |       |       |          | 196 t                    |         |
| 参加事業者のCO2の削減量<br>(最終目標と目標年度) |  | 139 t | 150 t | 130.7 %  |                          |         |
| (最終目標と目標年度)                  |  |       |       |          | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 順調      |

|             |   |             |               |
|-------------|---|-------------|---------------|
| <b>活動計画</b> | 市内事業者へのエコドライブ活動の普及のため、「エコドラ北九州プロジェクト」を実施し、エコドライブ活動の支援を行います。優良活動企業には市からの認定や表彰を実施します。また市民向けに「エコドラ燃費グランプリ」や出前講演、アイドリングストップ運動を行います。 | <b>活動実績</b> | 活動実績は以下の通りです。 |
|-------------|---|-------------|---------------|

| 活動指標  | 指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明) | 前年度実績 | 目標   | 実績 (達成率) | →                        | 【活動の状況】 |
|---|---|-------|------|----------|--------------------------|---------|
|   | エコドラ北九州プロジェクト参加事業者数                             |       |      |          | 36 社                     |         |
| エコドライブ活動に取り組む市内事業者数                           |   | 9 社   | 50 社 | 72.0 %   |                          |         |
| 市民向けのエコドライブの普及啓発(各活動の参加者の合計)                  |   |       |      | 532 人    | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 順調      |
| アイドリングストップ運動への参加者数、個人向け燃費グランプリ参加者数、出前講演の受講者数。 |   | 380 人 | -    |          |                          |         |

### 【Check】評価(分析)

|                  |                               |   |  |
|------------------|-------------------------------|---|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | 【成果の状況】<br>【活動の状況】<br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | エコドラ北九州プロジェクトの参加事業者が増加しCO2削減効果も向上しました。また表彰を実施することで事業者の意欲が高まりました。今年度から市民へのさらなる普及を図るため、優良活動企業に対する市の認定制度や「エコドラ北九州プロジェクト」で構築した「燃費管理サイト」を活用し、市民向けに楽しみながらエコドライブに取り組める「エコドラ燃費グランプリ」を実施しました。 |
|                  | 「経済性」<br>「効率性」<br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | プロジェクトH19年度から5カ年計画でモデルを構築するものとしており、H23年度で一定のモデルが構築できました。今後はより低いコストでモデルの普及を図っていきます。   |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |
|---------------|--|
| <b>見直し状況等</b> | 課題   |
|               | 市内事業者に対して、エコドラ北九州プロジェクトの効果等をPRすることにより、参加事業者数を増やしていくことが課題です。  |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)  |
|               | その結果目指す成果(次年度の成果目標)  |
|               | エコドライブ活動モデルがある程度構築できたため、コンサルタント業務の見直しを行いながら、個別企業との協議を行い企業の自主的な参加を促すなど、平成25年環境モデル都市計画において見直します。「縮小」 |
|               | 参加事業者数・参加市民数を増やし、エコドライブの普及に繋げ、二酸化炭素削減効果を高めます。  |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                 |           |             |            |    |          |      |            |       |     |           |
|------------|-----------------|-----------|-------------|------------|----|----------|------|------------|-------|-----|-----------|
| <b>事業名</b> | 公用車における低公害車普及事業 |           |             |            |    |          |      | 施策番号       |       |     |           |
|            |                 |           |             |            |    |          |      | VI-4-(2)-② |       |     |           |
| <b>コスト</b> | 事業費             | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 8,650 千円 | (備考) | 担当局        | 環境局   |     |           |
|            |                 | 6,512 千円  | 24,825 千円   |            | 課長 | 0.1 人    |      | 職員         | 0.6 人 | 担当課 | 環境未来都市推進室 |
|            |                 |           |             |            | 係長 | 0.3 人    |      |            |       | 課長名 | 塚本        |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|   |  |  |        |        |         |                          |                    |                              |  |  |
|---|--|--|--------|--------|---------|--------------------------|--------------------|------------------------------|--|--|
| <b>目的</b>   | 何を(誰を)どのような状態にしたのか   | 市が率先して低公害車を導入することで広告塔としての役割を果たし、市民、企業への普及啓発を図るとともに公用車の低炭素化を図るものです。 |        |        |         | <b>成果実績</b>              | 下記の代表的な成果指標のとおりです。 |                              |  |  |
| <b>代表的な成果指標</b>   | <b>指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)</b>   |  | 前年度実績  | 目標     | 実績(達成率) | →                        | <b>【成果の状況】</b>     |                              |  |  |
|   | 次世代自動車(電気自動車、プラグインハイブリッド車の導入台数)(単年度)   |  | 8 台    | 8 台    | 8 台     | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 順調                 | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |  |  |
|   | H21年度から環境性能に優れた次世代自動車(電気自動車、プラグインハイブリッド車)をH25年度までに公用車の約1割(約80台)導入します。<br>(最終目標と目標年度) H25年度までに公用車の約1割(約80台) |  |        |        | 100.0 % |                          |                    |                              |  |  |
|   | 電気自動車へ転換した場合のCO2削減量(公用車における低公害車普及)(単年度)  |  | 14.8 t | 14.8 t | 14.8 t  |                          |                    |                              |  |  |
| 8台(H23年度の電気自動車導入台数)×1.85t(ガソリン車から電気自動車へ転換した場合のCO2排出係数)<br>(最終目標と目標年度)H25年度までに148t削減 |  | 100.0 %  |        |        |         |                          |                    |                              |  |  |

|             |   |  |  |  |  |             |  |  |  |
|-------------|---|--|--|--|--|-------------|--|--|--|
| <b>活動計画</b> | H23年度は、区役所を中心に電気自動車8台を導入します。また市民へのPRとしてわっしょい百万夏祭りのパレード参加、小学生への電気自動車教室、エコカーフェア(試乗等)を実施します。 |  |  |  |  | <b>活動実績</b> | 電気自動車8台を導入し、H22年度までに導入した車両とあわせ、計17台となりました。 |  |  |
|-------------|---|--|--|--|--|-------------|--|--|--|

|  |   |   |       |     |         |                          |                |                        |  |  |
|--|---|---|-------|-----|---------|--------------------------|----------------|------------------------|--|--|
| <b>活動指標</b>  | <b>指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)(上段:指標名 下段:指標の説明)</b> |   | 前年度実績 | 目標  | 実績(達成率) | →                        | <b>【活動の状況】</b> |                        |  |  |
|  | 次世代自動車(電気自動車、プラグインハイブリッド車の導入台数)                   |   | 8 台   | 8 台 | 8 台     | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 順調             | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |  |  |
|  | H23年度は、区役所を中心に電気自動車8台を導入します。                      |   |       |     | 100.0 % |                          |                |                        |  |  |
|  | 電気自動車を活用した市民へのPR                                  |   | -     | -   | 435 人   |                          |                |                        |  |  |
| わっしょい百万夏祭りの見学者数、小学生への電気自動車教室受講者数、エコカーフェア(試乗等)を参加者数 |   | - |       |     |         |                          |                |                        |  |  |

### 【Check】評価(分析)

|                  |  |   |   |
|------------------|--|---|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】<br/>【活動の状況】<br/>を踏まえた分析</b> | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 計画通りに、導入を行っています。通常の業務で使用し、市内を走行することで広告塔の役割を果たしています。またわっしょい百万夏祭りパレード参加、小学生EV教室、エコカーフェア(試乗会:200人が参加)を通じ、市民への普及啓発を積極的に行い、次世代自動車の普及に貢献しました。 |
|                  | <b>「経済性」<br/>「効率性」<br/>の分析</b>         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | 指名競争入札による導入を実施しており、現行考えられる最も低価格で実現できる契約を行っています。   |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |  |  |  |
|---------------|--|--|--|--|
| <b>見直し状況等</b> | 課題   | 平成24年度までにEV・PHVを52台導入しました。EV・PHVの価格がガソリン車よりも高く導入経費が高いことが課題です。      |  |  |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)  | その結果目指す成果(次年度の成果目標)  |  |  |
|               | 平成24年度までに52台のEV・PHVを導入しており、普及施策全体で集中と選択を図り、公用車への導入については一定の役割を果たしたと考えるため、平成25年度は一旦導入を中止します。「縮小」 | 平成25年度は、現在導入されている52台の電気自動車CO2を削減しつつ、平成25年度の環境モデル都市計画の中で導入計画を見直します。 |  |  |



## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                               |           |             |        |    |          |      |            |       |     |           |  |
|------------|-------------------------------|-----------|-------------|--------|----|----------|------|------------|-------|-----|-----------|--|
| <b>事業名</b> | EV(電気自動車)活用環境向上のためのネットワーク整備事業 |           |             |        |    |          |      | 施策番号       |       |     |           |  |
|            |                               |           |             |        |    |          |      | VI-4-(2)-② |       |     |           |  |
| <b>コスト</b> | 事業費                           | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費の目安 | 金額 | 6,400 千円 | (備考) | 担当局        | 環境局   |     |           |  |
|            |                               | 18,374 千円 | 0 千円        |        | 課長 | 0.1 人    |      | 職員         | 0.3 人 | 担当課 | 環境未来都市推進室 |  |
|            |                               |           |             |        | 係長 | 0.3 人    |      |            |       | 課長名 | 塚本        |  |
|            |                               |           |             |        |    |          |      |            |       |     |           |  |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |   |   |       |             |      |                              |             |                |  |  |
|-----------------|---|---|-------|-------------|------|------------------------------|-------------|----------------|--|--|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたいのか   | ガソリン車と比べて走行距離が短いEV(電気自動車)の普及推進のため、市内の公共施設に充電設備を整備します。 |       |             |      |                              | <b>成果実績</b> | 成果の状況は以下の通りです。 |  |  |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標</b><br><small>(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br/>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)</small>                | 前年度実績   | 目標    | 実績<br>(達成率) | →    | 【成果の状況】                      |             |                |  |  |
|                 | 電気自動車等の普及台数(単年度)  |   |       | 80 台        |      | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |             |                |  |  |
|                 | 市内の電気自動車等の普及台数<br><small>(最終目標と目標年度) H25年度までに市内で300台</small>  | 50 台  | 70 台  | 114.3 %     |      |                              |             |                |  |  |
|                 | 電気自動車へ転換した場合のCO2削減量(単年度)  |   |       | 148 t       | 大変順調 | 順調<br>やや遅れ<br>遅れ             |             |                |  |  |
|                 | 80台(H24年3月末の電気自動車普及台数)×1.85t(ガソリン車から電気自動車へ転換した場合のCO2排出係数)<br><small>(最終目標と目標年度)H25年度までに555t削減</small> | 92.5 t  | 130 t | 113.8 %     |      |                              |             |                |  |  |

|   |   |       |      |                  |      |                        |             |   |  |  |  |
|---|---|-------|------|------------------|------|------------------------|-------------|---|--|--|--|
| <b>活動計画</b>                               | 設置要望の高い急速充電器を北九州都市高速道路上のパーキングエリアに整備するとともに、空白地域にある公共施設等を中心に倍速充電器を整備します。    |       |      |                  |      |                        | <b>活動実績</b> | 急速充電器2箇所整備(北九州都市高速道路山路PA・富野PA)、倍速充電器9箇所整備(市営駐車場5箇所・北九州空港1箇所・出張所3箇所) |  |  |  |
| <b>活動指標</b>                               | <b>指標</b><br><small>(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br/>(上段:指標名 下段:指標の説明)</small> | 前年度実績 | 目標   | 実績<br>(達成率)      | →    | 【活動の状況】                |             |   |  |  |  |
|   | 市内公共施設へのEV充電設備  |       |      | 11 箇所            |      | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |             |   |  |  |  |
|   | 空白地や市民ニーズの高い場所に設置し、EVの利便性向上を図ります。   | 3 箇所  | 8 箇所 | 137.5 %          |      |                        |             |   |  |  |  |
|   | 今回の充電器設置箇所の利用回数   |       |      | 急速 300 回<br>倍速 5 | 大変順調 | 順調<br>やや遅れ<br>遅れ       |             |   |  |  |  |
| 公共施設に整備した充電器の利用回数を急速200回/月、倍速10回/月を目指します。 | -   | -     |      |                  |      |                        |             |   |  |  |  |

### 【Check】評価(分析)

|                  |   |  |  |
|------------------|---|--|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。    | 設置予定を超える箇所への整備が達成でき、その利用回数も順調に伸びていることから、EVユーザーの利便性向上とEV普及の推進を図ることができました。 |
|                  | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」<br>「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | 日産自動車からの充電器の寄贈や福北高速道路公社などの関連企業と連携し、コスト削減を図れました。                          |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |   |   |
|---------------|---|---|
| <b>見直し状況等</b> | 課題  | その結果目指す成果(次年度の成果目標)   |
|               | 市・民間を合わせた充電器の設置台数が増え、当初の平成25年度までに50ヶ所という目標を前倒して達成しました。また、市内のEV普及台数や充電器の利用回数も徐々に、順調に伸びており、今後は課金等の運用方法についても民間での動向などを見据えながら、事業を進める必要があります。 |   |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)   |   |
|               | 既存の充電器の利用状況や民間での設置状況を踏まえて今後の事業を再考する必要があるため、公共での整備はH24年度までで一旦中断します。「休止」  | 市で設置している充電器を維持し、民間でのEV普及状況や充電器の整備状況、そして運用状況(課金など)を踏まえて、平成25年度の環境モデル都市計画において見直します。 |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                       |           |             |            |    |          |      |            |       |     |           |
|------------|-----------------------|-----------|-------------|------------|----|----------|------|------------|-------|-----|-----------|
| <b>事業名</b> | 電気自動車導入及び充電インフラ整備助成事業 |           |             |            |    |          |      | 施策番号       |       |     |           |
|            |                       |           |             |            |    |          |      | VI-4-(2)-② |       |     |           |
| <b>コスト</b> | 事業費                   | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 8,900 千円 | (備考) | 担当局        | 環境局   |     |           |
|            |                       | 7,831 千円  | 16,000 千円   |            | 課長 | 0.1 人    |      | 職員         | 0.5 人 | 担当課 | 環境未来都市推進室 |
|            |                       |           |             |            | 係長 | 0.4 人    |      |            |       | 課長名 | 塚本        |

| 【Plan】計画 →   |  |  |         | 【Do】実施 → 【Check】評価 |      |                              |                |  |  |
|--|--|--|---------|--------------------|------|------------------------------|----------------|--|--|
| <b>目的</b>  | 何を(誰を)どのような状態にしたのか   | 電気自動車等の普及を推進するため、市内事業者を対象に購入費の助成するものです。また、電気自動車等の普及に必要な不可欠な充電インフラ設備の一部を助成するものです。 |         |                    |      | <b>成果実績</b>                  | 成果の状況は以下の通りです。 |  |  |
| <b>代表的な成果指標</b>  | <b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)    | 前年度実績  | 目標      | 実績<br>(達成率)        | →    | 【成果の状況】                      |                |  |  |
|  | 電気自動車等の普及台数(単年度)   |  |         | 80 台               |      | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |                |  |  |
|  | 市内の電気自動車等の普及台数及び普及に不可欠な充電インフラの設置箇所数<br><br>(最終目標と目標年度) H25年度までに市内で300台 | 50 台   | 70 台    | 114.3 %            |      |                              |                |  |  |
|  | 電気自動車へ転換した場合のCO2削減量(単年度)   |  |         | 148 t              | 大変順調 | 順調                           |                |  |  |
| 80台(H24年3月末の電気自動車普及台数)×1.85t(ガソリン車から電気自動車へ転換した場合のCO2排出係数)<br><br>(最終目標と目標年度)H25年度までに555t削減 | 92.5 t   | 130 t  | 113.8 % | やや遅れ<br>遅れ         |      |                              |                |  |  |

|                              |   |                 |                |             |      |                        |
|------------------------------|---|-----------------|----------------|-------------|------|------------------------|
| <b>活動計画</b>                  | 電気自動車1台あたり、上限25万円の助成を行いました。また充電インフラ工事費の3分の1(上限:急速充電器—100万円、倍速充電器20万円) | <b>活動実績</b>     | 成果の状況は以下の通りです。 |             |      |                        |
| <b>活動指標</b>                  | <b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明)                | 前年度実績           | 目標             | 実績<br>(達成率) | →    | 【活動の状況】                |
|                              | 電気自動車等の助成件数   |                 |                | 20 台        |      | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
|                              | 市内事業者に対する電気自動車等の購入助成を行います。  | -               | 50 台           | 40.0 %      |      |                        |
|                              | 充電インフラ整備助成件数  |                 |                | 急速3 基       | 大変順調 | やや遅れ<br>遅れ             |
| 市内事業者に対する充電インフラ工事費等の助成を行います。 | -   | 急速:3 基<br>倍速:20 |                |             |      |                        |

| 【Check】評価(分析)    |   |   |  |
|------------------|---|---|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 電気自動車等の助成については、目標台数の半分にも至りませんでした。要因としては、電気自動車に対する消費者の浸透不足やプラグインハイブリッド車の市販が申請期限後半であったことから助成件数が伸びなかったことが考えられます。しかしながら、今後は車種の増加やプラグインハイブリッド車の販売が伸びてくると考えられます。充電インフラ整備助成については、急速充電器の助成件数は、目標に達しましたが、倍速充電器の申請はありませんでした。充電インフラ整備については、電気自動車の台数が少ない中で設置者のメリットが不明確であったことが考えられます。 |
|                  | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | 充電インフラ整備については一般開放を条件としていたので、民間活力の導入により充電ネットワークの拡大につながりました。仮に1件あたりの助成金を減らすこととした場合、さらに申請件数が減ることが考えられるため、慎重に検討する必要があります。  |

以下、予算案作成時に記入

| 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入   |  |    |   |                 |                     |  |  |
|--|--|----|---|-----------------|---------------------|--|--|
| <b>見直し状況等</b>  | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">課題</td> <td>電気自動車等の助成は、募集からわずか2ヶ月で終了するなど市民の関心は高くなっています。しかし、補助金が打ち切られてから販売台数が減少したとの報告もあり普及が波に乗っているとはいえないものとなっています。一方、充電器の補助に関しては、ある程度市内での充電器の普及が進んだことや国の助成制度の拡大もあることから市の助成制度を見直す必要があります。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">次年度の活動計画(見直し内容)</td> <td style="text-align: center;">その結果目指す成果(次年度の成果目標)</td> </tr> <tr> <td>電気自動車等の助成は、エコカー補助金による普及促進効果や他都市の動向を勘案し、1台あたりの補助額を減らし、50台程度募集します。充電器の補助は次年度は行わず、国や民間での設置・課金の動向を踏まえて今後の計画を検討します。「縮小」</td> <td>H25年度に市内に官民合わせて、EV、PHV導入300台を目標に助成制度を活用します。環境未来都市計画に掲げるH28年までに6,000台に向けた普及を加速させます。</td> </tr> </table> | 課題 | 電気自動車等の助成は、募集からわずか2ヶ月で終了するなど市民の関心は高くなっています。しかし、補助金が打ち切られてから販売台数が減少したとの報告もあり普及が波に乗っているとはいえないものとなっています。一方、充電器の補助に関しては、ある程度市内での充電器の普及が進んだことや国の助成制度の拡大もあることから市の助成制度を見直す必要があります。 | 次年度の活動計画(見直し内容) | その結果目指す成果(次年度の成果目標) | 電気自動車等の助成は、エコカー補助金による普及促進効果や他都市の動向を勘案し、1台あたりの補助額を減らし、50台程度募集します。充電器の補助は次年度は行わず、国や民間での設置・課金の動向を踏まえて今後の計画を検討します。「縮小」 | H25年度に市内に官民合わせて、EV、PHV導入300台を目標に助成制度を活用します。環境未来都市計画に掲げるH28年までに6,000台に向けた普及を加速させます。 |
| 課題   | 電気自動車等の助成は、募集からわずか2ヶ月で終了するなど市民の関心は高くなっています。しかし、補助金が打ち切られてから販売台数が減少したとの報告もあり普及が波に乗っているとはいえないものとなっています。一方、充電器の補助に関しては、ある程度市内での充電器の普及が進んだことや国の助成制度の拡大もあることから市の助成制度を見直す必要があります。  |    |   |                 |                     |  |  |
| 次年度の活動計画(見直し内容)  | その結果目指す成果(次年度の成果目標)  |    |   |                 |                     |  |  |
| 電気自動車等の助成は、エコカー補助金による普及促進効果や他都市の動向を勘案し、1台あたりの補助額を減らし、50台程度募集します。充電器の補助は次年度は行わず、国や民間での設置・課金の動向を踏まえて今後の計画を検討します。「縮小」 | H25年度に市内に官民合わせて、EV、PHV導入300台を目標に助成制度を活用します。環境未来都市計画に掲げるH28年までに6,000台に向けた普及を加速させます。   |    |   |                 |                     |  |  |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |            |           |             |            |       |                |      |            |       |
|------------|------------|-----------|-------------|------------|-------|----------------|------|------------|-------|
| <b>事業名</b> | 工場・事業場監視事業 |           |             |            |       |                |      | 施策番号       |       |
|            |            |           |             |            |       |                |      | VI-4-(2)-③ |       |
| <b>コスト</b> | 事業費        | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額    | 56,300 千円      | (備考) | 担当局        | 環境局   |
|            |            | 21,309 千円 | 23,609 千円   |            | 課長    | 0.2 人 職員 5.6 人 |      | 担当課        | 監視指導課 |
|            |            |           | 係長          |            | 1.2 人 | 課長名            |      | 青柳         |       |
|            |            |           |             |            |       |                |      |            |       |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |  |  |             |                 |                          |                              |
|-----------------|--|--|-------------|-----------------|--------------------------|------------------------------|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたいのか  | 大気汚染防止法、水質汚濁法等の環境法令の規制を受ける工場・事業場に対して、法令順守の徹底を図ります。 | <b>成果実績</b> | 成果の状況は下記のとおりです。 |                          |                              |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)  | 前年度実績  | 目標          | 実績 (達成率)        | →                        | 【成果の状況】                      |
|                 | 工場に対する文書指導件数   | 4 件  | 10 件以下      | 9 件             | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |
|                 | 工場・事業場に対する監視・指導を通じて、各種環境法令遵守の徹底を図り、工場・事業場における環境管理の取組が促進され、結果として文書による指導件数も減少することから、成果指標として掲げました。<br>(最終目標と目標年度) |  |             | 90.0 %          |                          |                              |
|                 | (最終目標と目標年度)  |  |             |                 |                          | 順調                           |
| (最終目標と目標年度)     |  |  |             |                 |                          |                              |

|             |  |       |       |          |                          |                        |                |  |
|-------------|--|-------|-------|----------|--------------------------|------------------------|----------------|--|
| <b>活動計画</b> | 工場・事業場に対する施設・運転管理状況等確認のための立入検査及び排ガス・排水等の測定                           |       |       |          |                          | <b>活動実績</b>            | 活動結果は下記のとおりです。 |  |
| <b>活動指標</b> | <b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明)               | 前年度実績 | 目標    | 実績 (達成率) | →                        | 【活動の状況】                |                |  |
|             | 工場・事業場に対する立入検査、測定の実施件数(大気、悪臭及び水質に限る)                                 | 353 件 | 400 件 | 484 件    | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |                |  |
|             | 立入検査及び測定が必要と思われる工場・事業場は、延べ数で市内に約500あり、平成23年度はその8割について対応することを目標としました。 |       |       | 121.0 %  |                          |                        |                |  |
|             | (最終目標と目標年度)  |       |       |          |                          | 大変順調                   |                |  |
| (最終目標と目標年度) |  |       |       |          |                          |                        |                |  |

### 【Check】評価(分析)

|                  |   |   |   |
|------------------|---|---|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 公害に関する苦情・要望件数は、近年減少傾向にあり、工場・事業場に対する継続的な立入・測定の効果が現れていると思われます。<br>平成23年度は、立入・調査件数が増加し、事業者の環境保全に関する意識向上に役立ったと考えます。今後も、立入体制を継続して強化する方針です。 |
|                  | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | 工場・事業場の場所等を鑑み、経路や時間帯を有効活用し、複数まとめて立入・調査をするようにし、効率化を図っています。   |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |   |  |
|---------------|---|--|
| <b>見直し状況等</b> | 課題<br>水質汚濁防止法の改正により、従来分に追加して立入検査を行う対象事業所・施設が増加しました(229事業所→317事業所(予定))。また、公害苦情件数は、過去に比較すると減少傾向にありますが、この数年で横這いになってきています(H21:285件→H23:291件)。公害に関する企業への指導は、規制以上の自主的な対応を促すものがほとんどであり、これに従うか否かは企業意識によるところが多いため、企業の意識改革必要な場合もあります。 |  |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)   | その結果目指す成果(次年度の成果目標)                          |
|               | 次年度の事業所立入・測定の実施回数を、420回/年とします。<br>また、事業所立入において、企業とのコミュニケーションに留意し、環境対策の重要性について更に認識を深めるよう指導することとします。<br>事業費は、立入・測定の実施回数を増やすものの、より一層の経費節減を図り、縮小します。  | 工場・事業場に対する文書指導件数が10件以下となるよう、企業を指導していくこととします。 |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                   |           |             |        |       |                |             |     |         |
|------------|-------------------|-----------|-------------|--------|-------|----------------|-------------|-----|---------|
| <b>事業名</b> | <b>環境国際協力推進事業</b> |           |             |        |       |                | 施策番号        |     |         |
|            |                   |           |             |        |       |                | VII-1-(3)-① |     |         |
| <b>コスト</b> | 事業費               | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費の目安 | 金額    | 6,650 千円       | (備考)        | 担当局 | 環境局     |
|            |                   | 5,026 千円  | 20,043 千円   |        | 課長    | 0.1 人 職員 0.6 人 |             | 担当課 | 環境国際戦略課 |
|            |                   |           | 係長          |        | 0.1 人 | 課長名            |             | 久保  |         |
|            |                   |           |             |        |       |                |             |     |         |

| 【Plan】計画 →      |   |  |       | 【Do】実施 → 【Check】評価 |         |             |   |  |  |
|-----------------|---|--|-------|--------------------|---------|-------------|---|--|--|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか  | 国、国際機関等の補助事業を活用しながら、環境国際協力の実施を通じた地球環境保全、地球規模での持続可能な社会実現、北九州地域の活性化に資することにより、世界の環境首都の実現を目指します。 |       |                    |         | <b>成果実績</b> | マレーシア国において廃棄物管理効率化事業を実施(H23-24)<br>中国・上海市において環境教育推進事業を実施(H22-23)<br>インドネシア・スラバヤ市における分散型排水処理施設整備事業(H23-25) |  |  |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)</b><br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)  |  | 前年度実績 | 目標                 | 実績(達成率) | →           | 【成果の状況】   |  |  |
|                 | 戦略的国際環境協力事業の件数  |  |       |                    | 3 件     |             | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック  |  |  |
|                 | 本市が有する都市間ネットワークを活用した戦略的な環境分野に関するプロジェクトを実施し、国際機関等と連携を密にして、協力対象国や都市の「緑の成長」にも資する環境国際協力を目指します。<br><br>(最終目標と目標年度)2050年(環境モデル都市行動計画に基づくもの) |  | 3 件   | 3 件                | 100.0 % |             |   |  |  |
|                 |   |  |       |                    |         |             | 大変順調<br>遅れ  |  |  |
|                 |   |  |       |                    |         |             |   |  |  |

|   |   |     |       |         |             |   |                        |  |  |  |
|---|---|-----|-------|---------|-------------|---|------------------------|--|--|--|
| <b>活動計画</b>   | (独)国際協力機構(JICA)が実施する草の根技術協力事業を活用し、廃棄物分野や環境教育分野において事業を展開していきます。  |     |       |         | <b>活動実績</b> | マレーシア国において、コンポストバスケットの配布を行いました。上海市において、環境教育イベントを実施しました。 |                        |  |  |  |
| <b>活動指標</b>   | <b>指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)</b><br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明)   |     | 前年度実績 | 目標      | 実績(達成率)     | →   | 【活動の状況】                |  |  |  |
|   | マレーシア国におけるコンポストバスケット配布世帯数   |     |       |         | 245 世帯      |   | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |  |  |  |
|   | マレーシア国において、生ごみ堆肥化技術の技術指導を行うことで、家庭用コンポスト(生ごみ堆肥化)バスケットの活用世帯が広がりました。これにより、メタンガスの発生が抑制され地球温暖化防止につながっています。 |     | -     | 100 世帯  | 245.0 %     |   |                        |  |  |  |
|   | 上海市における環境教育イベント実施回数   |     |       |         | 3 回         |   | 大変順調<br>やや遅れ<br>遅れ     |  |  |  |
| 上海市において、環境教育プログラムの充実化を図る上で、本市の環境教育のノウハウについての現地指導を行い、小学生を対象とする環境教育イベントを実施しました。 |   | 2 回 | 3 回   | 100.0 % |             |   |                        |  |  |  |

| 【Check】評価(分析)    |                               |  |   |
|------------------|-------------------------------|--|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | 【成果の状況】<br>【活動の状況】<br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。    | 廃棄物や環境教育など本市の優れた分野において、アジア諸国の環境改善に貢献しました。また、同活動の中で人材ネットワークの構築など次の展開へと発展基礎づくりを行いました。 |
|                  | 「経済性」<br>「効率性」<br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」<br>「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | (独)国際協力機構(JICA)による補助事業を活用することで、本市の財務負担を軽減しています。                                     |

以下、予算案作成時に記入

| 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入 |  |
|--|--|
| <b>見直し状況等</b>                            | 課題   |
|  | 平成23年度は、マレーシア・ハントウワジャヤ市、中国・上海市、インドネシア・スラバヤ市において、環境国際協力事業を展開しました。平成24年度においては、マレーシア・ハントウワジャヤ市、インドネシア・スラバヤ市、バングラデシュ市、ブラジル・ミナスジェライス州において環境国際協力事業を展開しています。ODA予算が減少傾向ではありますが、積極的な活動を引き続き展開してまいります。 |
|  | 次年度の活動計画(見直し内容)  |
|  | その結果目指す成果(次年度の成果目標)  |
|  | 平成25年度においても、マレーシア・ハントウワジャヤ市、インドネシア・スラバヤ市、バングラデシュ市、西トウガラ州、ブラジル・ミナスジェライス州において事業を展開していく予定です。なお、事業費については、ODA予算など外部資金を活用し本市負担分を縮小しています。   |



## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                  |           |             |        |    |                |      |             |         |
|------------|------------------|-----------|-------------|--------|----|----------------|------|-------------|---------|
| <b>事業名</b> | アジアの環境人材育成拠点形成事業 |           |             |        |    |                |      | 施策番号        |         |
|            |                  |           |             |        |    |                |      | VII-1-(3)-① |         |
| <b>コスト</b> | 事業費              | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費の目安 | 金額 | 4,400 千円       | (備考) | 担当局         | 環境局     |
|            |                  | 3,050 千円  | 4,114 千円    |        | 課長 | 0.1 人 職員 0.3 人 |      | 担当課         | 環境国際戦略課 |
|            |                  |           |             |        | 係長 | 0.1 人          |      | 課長名         | 久保      |
|            |                  |           |             |        |    |                |      |             |         |

| 【Plan】計画 →      |  |  |       | 【Do】実施 → 【Check】評価 |         |                          |                              |             |  |  |
|-----------------|--|--|-------|--------------------|---------|--------------------------|------------------------------|-------------|--|--|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたいのか  | 環境問題に直面しているアジア地域の行政官を対象に研修事業を行い、現地での人材育成を図るとともに市職員・関係機関職員の能力開発を行うことで、アジアの環境人材育成拠点化を図ります。 |       |                    |         | <b>成果実績</b>              | 平成23年度 431人受入                |             |  |  |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br/>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)</b>  |  | 前年度実績 | 目標                 | 実績(達成率) | →                        | 【成果の状況】                      |             |  |  |
|                 | アジアの環境人材育成拠点化  |  | 389 人 | 400 人              | 431 人   | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |             |  |  |
|                 | アジアの途上国やその都市が自らの力で取り組みを進めることができるよう、本市において環境人材育成を行います。あわせて、本市の優れた環境人材を海外において指導できるよう育成します。<br>(最終目標と目標年度)H24年度～H28年度 2200人受入 |  |       |                    | 107.8 % |                          |                              |             |  |  |
|                 |  |  |       |                    |         |                          |                              | <b>大変順調</b> |  |  |
| (最終目標と目標年度)     |  |  |       |                    |         |                          |                              |             |  |  |

|             |  |  |       |    |             |                          |                        |             |  |  |
|-------------|--|--|-------|----|-------------|--------------------------|------------------------|-------------|--|--|
| <b>活動計画</b> | 平成24年度から平成28年度までの5年間に、2200人の研修員を受け入れます。                |  |       |    | <b>活動実績</b> | 研修員の受入総数140カ国6,638人      |                        |             |  |  |
| <b>活動指標</b> | <b>指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br/>(上段:指標名 下段:指標の説明)</b> |  | 前年度実績 | 目標 | 実績(達成率)     | →                        | 【活動の状況】                |             |  |  |
|             | 新規研修プログラムの確立   |  |       |    | 9 コース       | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |             |  |  |
|             | 省エネルギーや太陽光をテーマとする、時代の変遷に伴うニーズの変化に対応した研修プログラムの確立        |  |       |    | 9 コース       |                          |                        |             |  |  |
|             |  |  |       |    |             |                          |                        | <b>大変順調</b> |  |  |
|             |  |  |       |    |             |                          |                        |             |  |  |

| 【Check】評価(分析)    |                               |   |  |
|------------------|-------------------------------|---|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | 【成果の状況】<br>【活動の状況】<br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 研修生の受け入れについて、年度当初は震災の影響もあり、研修員のキャンセルが目立ちましたが、本市のPRを行うことで、積極的なプロモート活動・協力要請により、目標とする年間400人を達成しました。 |
|                  | 「経済性」「効率性」の分析                 | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | (公財)北九州国際技術協力協会(KITA)や(独)国際協力機構(JICA)などと連携することで、コストの軽減を図りました。                                    |

以下、予算案作成時に記入

| 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入   |  |    |  |                 |                     |  |   |
|--|--|----|--|-----------------|---------------------|--|---|
| <b>見直し状況等</b>  | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">課題</td> <td>平成23年度においては、目標を超える431名の研修員を受け入れました。平成24年度においても、KITAやJICAと連携を図りながら研修員受入を推進しています。また、ODA予算が減少傾向であることから、本市の独自性をより強く打ち出し、研修誘致を積極的に展開していきます。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">次年度の活動計画(見直し内容)</td> <td style="text-align: center;">その結果目指す成果(次年度の成果目標)</td> </tr> <tr> <td>事業は順調に推移しており、引き続きKITAやJICAと連携を図りながら、事業を実施していきます。また、事業経費については縮小致しますが、時代の変遷に伴う新規研修プログラムの構築などを行うことで研修事業の魅力を高めていき、これまで以上に多くの研修員を受け入れていきます。</td> <td>計画通り、平成24～28年度の5年間で2,200人の研修員を受入れ、単年度では440人の受入を目指します。</td> </tr> </table> | 課題 | 平成23年度においては、目標を超える431名の研修員を受け入れました。平成24年度においても、KITAやJICAと連携を図りながら研修員受入を推進しています。また、ODA予算が減少傾向であることから、本市の独自性をより強く打ち出し、研修誘致を積極的に展開していきます。 | 次年度の活動計画(見直し内容) | その結果目指す成果(次年度の成果目標) | 事業は順調に推移しており、引き続きKITAやJICAと連携を図りながら、事業を実施していきます。また、事業経費については縮小致しますが、時代の変遷に伴う新規研修プログラムの構築などを行うことで研修事業の魅力を高めていき、これまで以上に多くの研修員を受け入れていきます。 | 計画通り、平成24～28年度の5年間で2,200人の研修員を受入れ、単年度では440人の受入を目指します。 |
| 課題   | 平成23年度においては、目標を超える431名の研修員を受け入れました。平成24年度においても、KITAやJICAと連携を図りながら研修員受入を推進しています。また、ODA予算が減少傾向であることから、本市の独自性をより強く打ち出し、研修誘致を積極的に展開していきます。   |    |  |                 |                     |  |   |
| 次年度の活動計画(見直し内容)  | その結果目指す成果(次年度の成果目標)  |    |  |                 |                     |  |   |
| 事業は順調に推移しており、引き続きKITAやJICAと連携を図りながら、事業を実施していきます。また、事業経費については縮小致しますが、時代の変遷に伴う新規研修プログラムの構築などを行うことで研修事業の魅力を高めていき、これまで以上に多くの研修員を受け入れていきます。 | 計画通り、平成24～28年度の5年間で2,200人の研修員を受入れ、単年度では440人の受入を目指します。  |    |  |                 |                     |  |   |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                 |           |             |            |    |           |             |     |       |     |         |
|------------|-----------------|-----------|-------------|------------|----|-----------|-------------|-----|-------|-----|---------|
| <b>事業名</b> | アジア低炭素化センター推進事業 |           |             |            |    |           | 施策番号        |     |       |     |         |
|            |                 |           |             |            |    |           | VII-1-(3)-① |     |       |     |         |
| <b>コスト</b> | 事業費             | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額 | 90,675 千円 | (備考)        | 担当局 | 環境局   |     |         |
|            |                 | 49,347 千円 | 196,850 千円  |            | 課長 | 1.95 人    |             | 職員  | 3.9 人 | 担当課 | 環境国際戦略課 |
|            |                 |           |             |            | 係長 | 3.9 人     |             |     |       | 課長名 | 小田      |
|            |                 |           |             |            |    |           |             |     |       |     |         |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|           |                    |  |             |  |
|-----------|--------------------|--|-------------|--|
| <b>目的</b> | 何を(誰を)どのような状態にしたのか | 市内企業が有する環境技術をパッケージ化し、アジア諸都市のニーズに即した技術輸出を行うことで、企業のビジネス支援を行います。様々な事業を通じて環境国際ビジネスの海外展開を推進し、アジア地域の低炭素化社会の実現に寄与します。 | <b>成果実績</b> | 単年度の成果を数値検証することは困難ですが、FS調査事業やビジネスマッチングなどを通じて着実に環境国際ビジネスを推進しています。 |
|-----------|--------------------|--|-------------|--|

| 代表的な成果指標    | 指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方) | 前年度実績  | 目標 | 実績(達成率)           | →                        | 【成果の状況】 |
|-------------|---|--|----|-------------------|--------------------------|---------|
|             | アジア地域でのCO2排出量を削減  | 2050年までに、本市の2005年比で、150%相当のCO2排出量を、アジア地域で削減することを目標とします。<br>(最終目標と目標年度) 150%削減(2050年) |    | 未定(削減量の定量化手法を作成中) |                          |         |
| (最終目標と目標年度) |   |  |    |                   | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 順調      |

|             |  |             |                |
|-------------|--|-------------|----------------|
| <b>活動計画</b> | 国からの調査受託事業などを活用するなど、市内企業とともに各種のプロジェクトを実施します。また海外でのビジネス展開を図るための国内外の商談会への参加支援などを実施します。さらに、北京環境交易所と覚書締結を締結するなど、海外の各機関、各都市との連携協力を図ります。 | <b>活動実績</b> | 活動結果は下記のとおりです。 |
|-------------|--|-------------|----------------|

| 活動指標            | 指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br>(上段:指標名 下段:指標の説明)                                       | 前年度実績                                     | 目標    | 実績(達成率)          | →                        | 【活動の状況】 |
|-----------------|--|---|-------|------------------|--------------------------|---------|
|                 | プロジェクト推進数  | 国からの調査受託事業を活用するなど、市内企業とともに各種のプロジェクトを実施する。 | 7 件   | 30 件             | 30 件<br>100.0 %          |         |
| 企業協議、ビジネスマッチング数 | 市内企業の海外でのビジネス展開を進めるため、企業との協議を実施するほか、同センターが仲介し、市内企業と相手企業とのビジネスマッチング等を行うことで、ビジネスを支援する。 | 401 件                                     | 430 件 | 572 件<br>133.0 % | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 順調      |

### 【Check】評価(分析)

|                  |                               |   |   |
|------------------|-------------------------------|---|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | 【成果の状況】<br>【活動の状況】<br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 海外でのCO2削減量を数値で表すことは、現在は困難ですが、国内外の商談会への参加や、国からの調査受託事業などを活用して、市内企業とともに各種の事業実現可能性調査等の実施支援を行いました。市内企業の環境技術をアジアのニーズに即して輸出することが重要なため、事業実現可能性調査などを通じて、アジア展開を着実に進めていると判断しました。成果の状況については、海外(上海、マレーシア)で開催された商談会や市内で開催したエコテックでの商談会を通じて、ビジネスマッチングを行うとともに、国等に採択された調査受託事業7件の支援を行うなど、有効性の高い活動ができたと考え順調と判断しました。 |
|                  | 【経済性】<br>【効率性】<br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  | ビジネス展開に必要な現地調査活動等に関して、本年度は多くの国等の事業に採択され、調査受託事業を活用することで、本市の負担額の削減に努めています。今後、「国際戦略総合特区」や「環境未来都市」の国からの補助事業の更なる活用を検討します。  |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |   |
|---------------|--|---|
| <b>見直し状況等</b> | 課題   | その結果目指す成果(次年度の成果目標)                             |
|               | アジア地域でのCO2削減という目標達成のために、市内企業の環境技術をアジアのニーズに即して輸出することが重要であると考え、事業実現可能性調査等各種プロジェクトに加え、24年度は「グリーンシティ輸出のための北九州モデル構築事業」を実施し、パッケージ輸出のためのモデル構築を図り、アジア展開を着実に進めています。今後は、現在海外でのCO2削減量を数値で表すことが困難なため、定量化の仕組みづくりにも取り組めます。 |   |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)  |   |
|               | アジア地域でのCO2削減に向け、事業実現可能性調査の実施などを通じて、各種プロジェクトの事業化を目指します。プロジェクトの実施にあたり、国からの調査受託事業の活用に加え、「国際戦略総合特区」や「環境未来都市」等の国からの補助事業の予算を活用することで、市単独の経費を削減しつつ、エネルギー、リサイクル分野などにおける環境負荷低減プロジェクトを実施します。                            | 2050年までにアジア地域での150%のCO2削減を目指し、各種プロジェクトの推進を図ります。 |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                     |           |             |            |       |                 |             |     |         |
|------------|---------------------|-----------|-------------|------------|-------|-----------------|-------------|-----|---------|
| <b>事業名</b> | 中小企業アジア環境ビジネス展開支援事業 |           |             |            |       |                 | 施策番号        |     |         |
|            |                     |           |             |            |       |                 | VII-1-(3)-① |     |         |
| <b>コスト</b> | 事業費                 | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費<br>の目安 | 金額    | 2,325 千円        | (備考)        | 担当局 | 環境局     |
|            |                     | 8,871 千円  | 14,800 千円   |            | 課長    | 0.05 人 職員 0.1 人 |             | 担当課 | 環境国際戦略課 |
|            |                     |           | 係長          |            | 0.1 人 | 課長名             |             | 重岡  |         |
|            |                     |           |             |            |       |                 |             |     |         |

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

|                 |   |  |             |               |             |                          |                              |
|-----------------|---|--|-------------|---------------|-------------|--------------------------|------------------------------|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたいのか   | アジア地域などの海外に低炭素化技術の移転を目指す市内中小企業を対象に、自社が所有する既存の技術・製品を、特定の海外でのニーズに合わせた現地での実証試験に要する費用を助成し、市内企業の海外への技術移転の推進を図ります。 | <b>成果実績</b> | 成果の状況は下記のとおり。 |             |                          |                              |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)<br/>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)</b> |  | 前年度実績       | 目標            | 実績<br>(達成率) | →                        | 【成果の状況】                      |
|                 | 事業化が有望な案件の採択  |  |             |               | 2 件         |                          | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |
|                 | 本事業は、市内企業の海外への技術移転の推進を目的としているため。<br>(最終目標と目標年度)                     |  |             | 2 件           | 100.0 %     |                          |                              |
|                 |   |  |             |               |             | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | <b>大変順調</b>                  |
| (最終目標と目標年度)     |   |  |             |               |             |                          |                              |

|                                  |  |             |   |         |             |                          |                        |
|----------------------------------|--|-------------|---|---------|-------------|--------------------------|------------------------|
| <b>活動計画</b>                      | 6月から事業の公募を行い、7月末に採択企業を決定します。各企業の事業進捗状況に応じて、現地確認等の検査を行い、経費の執行状況についても適宜確認します。また、各企業の事業完了後に精算を行います。 | <b>活動実績</b> | 以下の2件を採択。<br>・大韓民国における建設資材市場参入のための光触媒抗菌タイルの実証試験<br>・タイ王国におけるCCFLを使った省エネ照明「ソラナ」の実証試験 |         |             |                          |                        |
| <b>活動指標</b>                      | <b>指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)<br/>(上段:指標名 下段:指標の説明)</b>   |             | 前年度実績   | 目標      | 実績<br>(達成率) | →                        | 【活動の状況】                |
|                                  | 申請書のダウンロード数  |             |   |         | 9 件         |                          | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック |
|                                  | 本事業の認知度を判断する。事業を広く周知することで、市内企業の海外展開への意欲向上を図る。  |             |   | 10 件    | 90.0 %      |                          |                        |
|                                  | 採択企業の実証状況の現地確認   |             |   |         | 2 件         | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | <b>順調</b>              |
| 採択企業の実証状況を現地確認することで、事業の適正な推進を図る。 |  |             | 2 件   | 100.0 % |             |                          |                        |

### 【Check】評価(分析)

|                  |   |   |
|------------------|---|---|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。<br><br>成果の状況、活動の状況ともに概ね順調。23年度は4件の申請件数のうち2件を採択しました。   |
|                  | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。<br><br>企業の採択にあたっては、産学官各界よりの審査員による公平・適正な審査を行うとともに、事業の進捗状況等の調査を外部の専門家に委託することで、迅速で効率的な事業運営を行っています。 |

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

|               |  |  |
|---------------|--|--|
| <b>見直し状況等</b> | 課題   |  |
|               |  | 技術移転という目標達成のためには、実証試験の前段階で事業の可能性調査が必要であると考え、24年度より事業対象に事業可能性調査を追加しました。                 |
|               | 次年度の活動計画(見直し内容)  | その結果目指す成果(次年度の成果目標)  |
|               | 平成25年度は採択案件のより一層の精査のため事業費は縮小いたしますが、平成24年度に拡充した事業可能性調査は引き続き実施予定です。また、平成23年度からの採択事業者のその後の事業進捗状況の把握に努めます。 | 本事業の成果を広く周知し、市内事業者の海外展開への意欲を高め、技術移転の推進を図ります。<br>(平成25年度の事業化が有望な案件の採択件数 実証1件、事業可能性調査2件) |

## PDCAチェックシート (平成23年度実績評価)

|            |                              |           |             |        |    |           |      |             |       |     |         |
|------------|------------------------------|-----------|-------------|--------|----|-----------|------|-------------|-------|-----|---------|
| <b>事業名</b> | 経済協力開発機構(OECD)「グリーンシティプログラム」 |           |             |        |    |           |      | 施策番号        |       |     |         |
|            |                              |           |             |        |    |           |      | VII-1-(3)-① |       |     |         |
| <b>コスト</b> | 事業費                          | 平成23年度執行額 | 平成24年度当初予算額 | 人件費の目安 | 金額 | 14,500 千円 | (備考) | 担当局         | 環境局   |     |         |
|            |                              | 25,932 千円 | 10,000 千円   |        | 課長 | 0.5 人     |      | 職員          | 0.5 人 | 担当課 | 環境国際戦略課 |
|            |                              |           |             |        | 係長 | 0.5 人     |      |             |       | 課長名 | 久保      |
|            |                              |           |             |        |    |           |      |             |       |     |         |

| 【Plan】計画 →      |  |   |       | 【Do】実施 → 【Check】評価 |             |   |                          |                              |
|-----------------|--|---|-------|--------------------|-------------|---|--------------------------|------------------------------|
| <b>目的</b>       | 何を(誰を)どのような状態にしたのか   | 本市の環境分野や経済分野に関する政策や実績などがOECDによって、世界的に情報発信され、世界のグリーン成長を促進するとともに、本市の都市ブランド力が向上することを目指します。 |       |                    | <b>成果実績</b> | 市長がOECD本部において本市の取組みをPRするなど、本市の認知度が高まりました。 |                          |                              |
| <b>代表的な成果指標</b> | <b>指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)</b><br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)   |   | 前年度実績 | 目標                 | 実績(達成率)     | →   | 【成果の状況】                  |                              |
|                 | 本市の認知度の向上  |   |       |                    |             |   | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ | 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック |
|                 | グリーンシティプログラムにおいて、本市の取組みをより多く取上げてもらうため、OECD内における本市の認知度向上を図り、最終的には本市のグリーン成長戦略(日本語版OECDレポート)を策定します。<br>(最終目標と目標年度)H25 報告書の世界的発信 |   |       |                    |             |   |                          |                              |
|                 |  |   |       |                    |             |   |                          | <b>順調</b>                    |
| (最終目標と目標年度)     |  |   |       |                    |             |   |                          |                              |

|   |   |  |       |             |   |   |                          |
|---|---|--|-------|-------------|---|---|--------------------------|
| <b>活動計画</b>   | OECDが、グリーンシティプログラムの報告書を取りまとめるにあたり、本市に関する追加情報等を提供していきます。<br>OECD本部で開催されるレビューなどに参加し、本市の取組みPRしていきます。 |  |       | <b>活動実績</b> | 市民向けシンポジウムの実施<br>OECD調査団によるヒアリング対応<br>バックグラウンドレポートの作成 |   |                          |
| <b>活動指標</b>   | <b>指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載)</b><br>(上段: 指標名 下段: 指標の説明)   |  | 前年度実績 | 目標          | 実績(達成率)   | → | 【活動の状況】                  |
|   | OECDへの情報提供  |  | —     | 13 回        | 13 回  |   | 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック   |
|   | 本市の政策を的確に伝えるためヒアリングを行います。   |  |       |             | 100.0 %   |   |                          |
|   | 市民への情報発信  |  | —     | 1 回         | 1 回   |   | 大変順調<br>順調<br>やや遅れ<br>遅れ |
| 市民に対して、OECDグリーンシティプログラムの活動内容を認識してもらうためシンポジウムを開催します。 |   |  |       | 100.0 %     |   |   |                          |

| 【Check】評価(分析)    |   |  |  |
|------------------|---|--|--|
| <b>分析及び課題の整理</b> | <b>【成果の状況】</b><br><b>【活動の状況】</b><br>を踏まえた分析 | 活動や成果は予定通りだったのか、成果を得るための活動は有効だったのかなど、分析課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 | 本市がグリーンシティプログラムを実施していくにあたり、市内有識者で構成する地元チームを立上げ、内容の充実化を図るなどの対応をしました。<br>市長が本部を表敬するなどトップセールスを図り、本市の取組みを積極的にPRしました。<br>OECD本部で開催された地域開発政策委員会作業部会にて本市の環境政策をアピールしました。 |
|                  | <b>「経済性」</b><br><b>「効率性」</b><br>の分析         | 「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 | OECD調査団のヒアリング対応において、同時通訳ブースが必要な中、国際会議場を利用するなど、費用軽減に努めました。<br>本市の統計情報について、専門業者へ委託することで、効率的且つクオリティの高い情報収集活動が行えました。   |

以下、予算案作成時に記入

| 【Action】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入  |  |                 |                     |   |  |
|---|--|-----------------|---------------------|---|--|
| <b>見直し状況等</b>   | 課題   |                 |                     |   |  |
|   | 市長がOECD本部において、本市の取組みをPRするなど、本市の認知度が高まりました。北九州市に関する報告書(英語版)については、平成25年春頃に発行される予定であり、これを日本語訳したものをいかにわかりやすく市民の皆さんへ周知していくかが課題です。   |                 |                     |   |  |
|   | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">次年度の活動計画(見直し内容)</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">その結果目指す成果(次年度の成果目標)</td> </tr> <tr> <td>OECDが発行するOECDグリーンシティプログラムにおいて評価された本市の取組みを世界的に普及させるため、OECDグリーンシティモデル都市(パリ・シカゴ・ストックホルム)やアジア諸都市も参加する国際会議を開催し、グリーン成長に関する政策の共有を図り、普及・連携への合意を目指します。なお、事業費は国際会議等を開催するにあたり、拡充しています。</td> <td>OECDグリーンシティプログラムにおいて策定された「北九州レポート」等を基に、アジアで唯一のグリーンシティ・モデル都市としての経験等を、アジアを中心に情報発信するとともに、「世界の環境首都」の都市ブランドの確立など、本市の発展に資するものとします。</td> </tr> </table> | 次年度の活動計画(見直し内容) | その結果目指す成果(次年度の成果目標) | OECDが発行するOECDグリーンシティプログラムにおいて評価された本市の取組みを世界的に普及させるため、OECDグリーンシティモデル都市(パリ・シカゴ・ストックホルム)やアジア諸都市も参加する国際会議を開催し、グリーン成長に関する政策の共有を図り、普及・連携への合意を目指します。なお、事業費は国際会議等を開催するにあたり、拡充しています。 | OECDグリーンシティプログラムにおいて策定された「北九州レポート」等を基に、アジアで唯一のグリーンシティ・モデル都市としての経験等を、アジアを中心に情報発信するとともに、「世界の環境首都」の都市ブランドの確立など、本市の発展に資するものとします。 |
| 次年度の活動計画(見直し内容)   | その結果目指す成果(次年度の成果目標)  |                 |                     |   |  |
| OECDが発行するOECDグリーンシティプログラムにおいて評価された本市の取組みを世界的に普及させるため、OECDグリーンシティモデル都市(パリ・シカゴ・ストックホルム)やアジア諸都市も参加する国際会議を開催し、グリーン成長に関する政策の共有を図り、普及・連携への合意を目指します。なお、事業費は国際会議等を開催するにあたり、拡充しています。 | OECDグリーンシティプログラムにおいて策定された「北九州レポート」等を基に、アジアで唯一のグリーンシティ・モデル都市としての経験等を、アジアを中心に情報発信するとともに、「世界の環境首都」の都市ブランドの確立など、本市の発展に資するものとします。   |                 |                     |   |  |